

事業年度	令和8年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	小大工-5

課長	係長	検算	設計

工事名 可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。

積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市 教育委員会事務局 教育総務課

当初 設計書



工事番号	小大工-5	工事箇所	可児市 久々利 地内	施設名	東明小学校
工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）				
理 由			工 事 概 要		
<p>本工事は東明小学校において、令和5年度に策定した「可児市小中学校トイレ改修計画」に基づき、経年により老朽化して環境が悪化したトイレの環境改善と共に、洋式化やバリアフリー化を図り、多様性へ十分配慮したトイレを整備するものである。</p>			<p>建築工事 一式  ・躯体改修工事  ・防水改修工事  ・建具改修工事  ・内装改修工事  ・塗装改修工事</p> <p>電気設備工事 一式  ・電灯設備工事  ・コンセント設備工事  ・自動火災報知設備工事</p> <p>機械設備工事 一式  ・空調設備工事  ・換気設備工事  ・衛生器具設備工事  ・給水設備工事  ・排水通気設備工事</p>		
金 額		円	内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書					
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工事事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>2. 建設副産物有効利用及び適正処理について</p> <p>(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。</p> <p>(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。</p> <p>3. 使用材料</p> <p>(1) 生コンクリートについて  本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート(24N/mm<sup>2</sup>以上)については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート(21N/mm<sup>2</sup>以下)については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。</p> <p>4. 工事施工について</p> <p>(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。</p> <p>(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。</p> <p>5. 工事保険について  本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。</p> <p>6. ワンデーレスポンスの取組について</p> <p>(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。  「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。</p> <p>(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。</p> <p>(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。</p>					

7. 電子納品について  
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。
8. 暴力団等による不当介入における通報義務について  
(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。  
(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。
9. 現場代理人の兼務について  
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。  
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人を兼務することができる。
  1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
  2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
  3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
  4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
  5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。  
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 可児市公共基準点の保全について  
公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鋸を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう十分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。
11. 法定外の労災保険の付保  
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について  
工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。  
また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。
13. 統一の一斉休工の取組について  
(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制モデル工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー(中部地区統一の一斉休工)」に取組むものとする。  
なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。  
(2) 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。  
(巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く)
14. その他  
(1) 学校の児童や先生、来校者への安全対策に配慮すること。また、学校運営に支障が無いようにするため、学校や教育委員会と事前に仮設計画や工程等に関する協議を行うこと。  
(2) 工事共通仕様  
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版  
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版  
(3) 工事用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書  
(条件明示)

工事名 可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。  
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ( )	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 8. 施工時期	<input type="checkbox"/> A. 施工時期 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 9. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 )
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~ No. ) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期( ) <input type="checkbox"/> C. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期( ) <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否( )
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 ( ) <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
公 害 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 騒音 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 ) <input checked="" type="checkbox"/> B. 振動 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 ) <input type="checkbox"/> C. 水質 ( ) <input type="checkbox"/> D. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり
	<input type="checkbox"/> 4. 土壌汚染対策法に関する届出	<input type="checkbox"/> A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 石綿含有に関する事前調査	<input checked="" type="checkbox"/> A. 発注者による含有調査( 含有有り ) <input type="checkbox"/> B. 受注者による含有調査 <input type="checkbox"/> C. 調査結果の報告(一定規模以上)
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. フロン回収あり <input type="checkbox"/> B. その他 ( )
安 全 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input checked="" type="checkbox"/> C. 時間制限あり ( 登下校時間帯 )
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 3. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 4. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり ( ) <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ( )
	<input type="checkbox"/> 5. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 ( 学校敷地内及び学校周囲通行時徐行 )
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 ( ) <input type="checkbox"/> C. 路面工 ( ) <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 ( ) <input type="checkbox"/> E. 構造 ( ) <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生廃棄物係	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地 ( 押土、敷均、締固等 ) 必要 <input type="checkbox"/> D. 整地 ( 押土 ) 必要
	<input type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地 ( 押土、敷き均し、転圧 ) あり <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり ( 運搬距離 km ) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋戻し <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 ( ) <input type="checkbox"/> B. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可見市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票 ( マニフェスト ) <input type="checkbox"/> B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コブリス <input checked="" type="checkbox"/> D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり ( 電気 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり ( 電話 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり ( 水道 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり ( 下水道 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり ( ガス )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり ( マンホール蓋、仕切り弁蓋等 )	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ( )
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり ( その他 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
再生材使用	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. RC <input checked="" type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材 ( 30% 再生 ) <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材 ( 100% 再生 ) <input type="checkbox"/> D. 再生材を使用できない場合別途協議 <input type="checkbox"/> E.
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 納入場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 現場環境改善	<input type="checkbox"/> A. 仮設費 ( ) <input type="checkbox"/> B. 安全費 ( ) <input type="checkbox"/> C. 営繕費 ( ) <input type="checkbox"/> D. 地域連携 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 「可見市工物品質証明実施要領」該当あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. 部分使用	<input type="checkbox"/> A. 範囲 ( ) <input type="checkbox"/> B. 時期 ( )
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

記号	工事名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)						
A	建築工事		1.0	式			
E	電気設備工事		1.0	式			
M	機械設備工事		1.0	式			
I	直接工事費 計		1.0	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費 計						
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格 計						
V	消費税相当額		1.0	式			
	総合計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)	北舎-西棟	一般トイレ(改修A)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	防水工事		1.0	式			
5	タイル工事		1.0	式			
6	木工事		1.0	式			
7	金属工事		1.0	式			
8	左官工事		1.0	式			
9	建具工事		1.0	式			
10	塗装工事		1.0	式			
11	内装工事		1.0	式			
12	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	91.8	m2			
	養生	内部 複合改修	91.8	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	91.8	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	91.8	m2			
	内部足場	脚立足場 直列	10.7	m			
	作業用通路養生	シート+ベニヤ程度	340.0	m2			
	壁面養生	シート張り程度	58.2	m2			
	サッシ養生	ベニヤ張り程度	21.6	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	24.4	m			
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカ	3.9	m3			
	床 モルタル撤去		3.7	m2			
	床 タイル撤去	下地モルタル共	3.9	m2			
	床 塩ビシート撤去		74.6	m2			
	床 フローリング撤去		2.6	m2			
	杓摺撤去		6.0	箇所			
	壁 石膏ボード撤去	GL工法 石綿含有	127.0	m2			
	壁 石膏ボード撤去	軽量下地 石綿含有	126.0	m2			
	壁 合板撤去	胴縁下地共	6.5	m2			
	壁 メラミン化粧板撤去		154.0	m2			
	間仕切下地 撤去	LGS	92.6	m2			
	天井 石膏ボード撤去	廻り縁共	99.2	m2			
	天井下地 撤去	LGS	86.7	m2			
	トイレブース 撤去		90.9	m2			
	洗面カウンター 撤去	L2100	2.0	箇所			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	洗面カウンター 撤去	L1550	4.0	箇所			
	発生材内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	4.7	m3			
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	12.6	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙明細-1
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(地業)						
	砕石地業	再生材 土間下 人力	2.6	m3			
	床下防湿材敷き	ポリエチレンフィルム t0.15	25.6	m2			
	床下断熱材敷き	ポリスチレンフォーム保温板 t25	25.6	m2			
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D13	306.0	kg			
	スクラップ控除		8.20	kg			
	鉄筋加工組立		294.0	kg			
	鉄筋運搬費		294.0	kg			
	金属拡張アンカー	D13 L600	50.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	土間 24-15-20	3.8	m3			
	普通コンクリート	レベル調整 24-15-20	0.2	m3			
	打設手間	ポンプ 土間	3.8	m3			







	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	木工事						
	巾木	杉 H75 材工共	5.6	m			
	三方枠	コム積層材 25x140 材工共	16.2	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
7	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	94.3	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	19.6	m2			
	壁下地開口補強	65形 三方 1800x2000程度	2.0	箇所			
	壁下地開口補強	65形 三方 1200x2000程度	1.0	箇所			
	壁下地開口補強	65形 三方 900x2000程度	2.0	箇所			
	壁下地開口補強	65形 四方 600x1200程度	3.0	箇所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	90.2	m2			
	軽量鉄骨下り壁下地	19形	12.6	m			
	天井下地開口補強	19形 300x300程度	6.0	箇所			
	(雑金物)						
	杓摺	SUS HL t1.5xW40xH20	4.2	m			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	建具工事						
	(鋼製軽量建具)						
	LSD-5	片開き戸	2.0	箇所			
	(鋼製建具)						
	SD-1	片開き点検口	3.0	箇所			
	(トイレブース)						
	TB-1	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-2	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-3	トイレブース	2.0	箇所			
	TB-4	トイレブース	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	塗装工事						
	WP塗り	木部 細幅物 素地ごしらえ共	21.8	m			
	NAD塗り	ケイカル板面 素地ごしらえ共	90.2	m <sup>2</sup>			
	EP-G塗り	石膏ボード面 素地ごしらえ共	22.8	m <sup>2</sup>			
	SOP塗替え	木部 細幅物 下地調整RB種	11.8	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	内装工事						
	(床)						
	複合フローリング 直張り(補修張り)	t12.0 表層なら単板t2.0	2.3	m2			
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	65.4	m2			
	(壁)						
	壁 石膏ボード 重張り	下地石膏ボードt12.5共	22.8	m2			
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	154.0	m2			
	壁 石膏ボード	t12.5 突付 GL工法	108.0	m2			
	石膏ボード継目処理		22.8	m2			
	壁 化粧けい酸カルシウム板	t6.0 ジョイナー共	262.0	m2			
	ソフト巾木	H60	96.6	m			
	(天井)						
	天井 化粧吸音石膏ボード	t9.5 突付	9.8	m2			
	天井 けい酸カルシウム板	t6.0 突付	90.2	m2			
	下り壁見切	塩ビ製	12.6	m			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	ユニット・その他工事						
	(サイン)						
	室名サイン	平付型 アクリル製200x200	9.0	箇所			
	室名表示	カッティングシート 50角/文字	3.0	箇所			
	(雑)						
	面台	ポストフォームカウンター 20x150	18.9	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	北舎-西棟	多目的トイレ工事(改修A)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	防水工事		1.0	式			
5	金属工事		1.0	式			
6	左官工事		1.0	式			
7	建具工事		1.0	式			
8	ガラス工事		1.0	式			
9	塗装工事		1.0	式			
10	内装工事		1.0	式			
11	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	5.5	m2			
	養生	内部 複合改修	5.5	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	5.5	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	5.5	m2			
	内部足場	脚立足場 直列	2.6	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	3.7	m			
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカ	0.5	m3			
	床 モルタル撤去		0.9	m2			
	沓摺撤去		1.0	箇所			
	発生材場内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	0.5	m3			
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	0.1	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙明細-2
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(地業)						
	砕石地業	再生材 土間下 人力	0.3	m3			
	床下防湿材敷き	ポリエチレンフィルム t0.15	3.3	m2			
	床下断熱材敷き	ポリスチレンフォーム保温板 t25	3.3	m2			
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D13	39.3	kg			
	スクラップ控除		1.0	kg			
	鉄筋加工組立		37.8	kg			
	鉄筋運搬費		37.8	kg			
	金属拡張アンカー	D13 L600	10.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	土間 24-15-20	0.5	m3			
	普通コンクリート	レベル調整 24-15-20	0.1	m3			
	打設手間	ポンプ 土間	0.5	m3			





	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
5	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	15.3	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	1.6	m2			
	壁下地開口補強	65形 三方 1200x2000程度	1.0	箇所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	4.9	m2			
	天井下地開口補強	19形 300x300程度	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	建具工事						
	(鋼製軽量建具)						
	LSD-1	2枚連動片引きハンガー戸(壁内収納)	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						





	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	内装工事						
	(床)						
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	4.5	m2			
	(壁)						
	壁 石膏ボード 重張り	下地石膏ボードt12.5共	3.2	m2			
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	10.6	m2			
	壁 石膏ボード	t12.5 突付 GL工法	4.9	m2			
	壁 化粧けい酸カルシウム板	t6.0 ジョイナー共	18.7	m2			
	ソフト巾木	H60	7.7	m			
	(天井)						
	天井 けい酸カルシウム板	t6.0 突付	4.9	m2			
	廻り縁	塩ビ製 突付	8.8	m			
	天井点検口	アルミ製 450角 内外額縁枠	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	ユニット・その他工事						
	(サイン)						
	室名サイン	平付型 アクリル製250x250	1.0	箇所			
	(雑)						
	面台	ポストフォームカウンター 20x150	1.6	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	北舎-東棟	一般トイレ(改修B)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	防水工事		1.0	式			
5	タイル工事		1.0	式			
6	木工事		1.0	式			
7	金属工事		1.0	式			
8	左官工事		1.0	式			
9	建具工事		1.0	式			
10	ガラス工事		1.0	式			
11	塗装工事		1.0	式			
12	内装工事		1.0	式			
13	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	84.0	m2			
	養生	内部 複合改修	84.0	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	84.0	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	84.0	m2			
	内部足場	脚立足場 直列	12.0	m			
	作業用通路養生	シート+ベニヤ程度	97.2	m2			
	壁面養生	シート張り程度	54.3	m2			
	サッシ養生	ベニヤ張り程度	20.7	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	39.9	m			
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカ	3.2	m3			
	コンクリート躯体解体	ハンドブレーカ	2.0	m3			
	床 モルタル撤去		1.1	m2			
	床 タイル撤去	下地モルタル共	4.1	m2			
	床 塩ビシート撤去		40.9	m2			
	杓摺撤去		3.0	箇所			
	壁 石膏ボード撤去	GL工法	83.5	m2			
	壁 石膏ボード撤去	軽量下地	98.3	m2			
	壁 マラミン化粧板撤去		105.0	m2			
	間仕切下地 撤去	LGS	50.0	m2			
	天井 石膏ボード撤去	廻り縁共	74.3	m2			
	天井 合板撤去	廻り縁共	2.9	m2			
	天井下地 撤去	LGS	74.3	m2			
	トイレブース 撤去		29.1	m2			
	金属製建具 撤去	SD 320x1350 枠共	3.0	箇所			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	金属製建具 撤去	SD 400x650 枠共	3.0	箇所			
	ガラス撤去		2.0	m2			
	洗面カウンター 撤去	L1600	3.0	箇所			
	洗面カウンター 撤去	L900	3.0	箇所			
	SUS流し 撤去	L1350	2.0	箇所			
	SUS流し 撤去	L2350	4.0	箇所			
	発生材内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	5.9	m3			
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	7.8	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙明細-3
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(地業)						
	砕石地業	再生材 土間下 人力	2.1	m3			
	床下防湿材敷き	ポリエチレンフィルム t0.15	20.8	m2			
	床下断熱材敷き	ポリスチレンフォーム保温板 t25	20.8	m2			
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D13	249.0	kg			
	スクラップ控除		6.70	kg			
	鉄筋加工組立		240.0	kg			
	鉄筋運搬費		240.0	kg			
	接着系アンカー	D13 L600	48.0	本			
	金属拡張アンカー	D13 L600	44.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	スラブ 24-15-20	0.1	m3			
	普通コンクリート	土間 24-15-20	3.1	m3			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	普通コンクリート	レベル調整 24-15-20	0.1	m3			
	打設手間	ポンプ スラブ	0.1	m3			
	打設手間	ポンプ 土間	3.1	m3			
	打設手間	ポンプ レベル調整	0.1	m3			
	ポンプ圧送費・基本料		0.5	回			
	小計						
	改め計						





	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	木工事						
	三方枠	ゴム積層材 25x125 材工共	15.9	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	95.6	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	11.7	m2			
	壁下地開口補強	65形 三方 1200x2000程度	3.0	箇所			
	壁下地開口補強	65形 四方 600x1200程度	6.0	箇所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	77.9	m2			
	軽量鉄骨下り壁下地	19形	11.2	m			
	(雑金物)						
	杓摺	SUS HL t1.5xW40xH20	1.2	m			
	サッシ取合見切	AL t1.5加工	6.4	m			
	壁付手摺	SUS樹脂被覆 φ34	1.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	左官工事						
	床 コンクリート面直均し仕上げ	金ごて	19.5	m2			
	床 モルタル塗り	金ごて t30	7.1	m2			
	階段 モルタル塗り	金ごて t30	1.2	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	建具工事						
	(鋼製建具)						
	SD-1	片開き点検口	3.0	箇所			
	(トイレブース)						
	TB-5	トイレブース	3.0	箇所			
	TB-6	トイレブース	3.0	箇所			
	(アルミ製建具)						
	AW-K3	2連2段引き違い窓(既設改修)	3.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	ガラス工事						
	型板強化ガラス	TF4	0.6	m2			
	アルミ複合パネル	t3.0	2.0	m2			
	ガラス留シーリング		41.3	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	塗装工事						
	WP塗り	木部 細幅物 素地ごしらえ共	15.9	m			
	NAD塗り	ケイカル板面 素地ごしらえ共	77.9	m2			
	EP-G塗り	石膏ボード面 素地ごしらえ共	26.5	m2			
	SOP塗替え	木部 細幅物 下地調整RB種	32.3	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	内装工事						
	(床)						
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	60.6	m2			
	(壁)						
	壁 石膏ボード 重張り	下地石膏ボードt12.5共	26.5	m2			
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	130.0	m2			
	壁 石膏ボード	t12.5 突付 GL工法	97.6	m2			
	石膏ボード継目処理		26.5	m2			
	壁 化粧けい酸カルシウム板	t6.0 ジョイナー共	228.0	m2			
	ソフト巾木	H60	87.2	m			
	ソフト巾木	H75	7.9	m			
	(天井)						
	天井 けい酸カルシウム板	t6.0 突付	77.9	m2			
	下り壁見切	塩ビ製	11.2	m			
	廻り縁	塩ビ製 突付	123.0	m			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13	ユニット・その他工事						
	(家具)						
	ステンレス流し	W1130xD600xH750	2.0	箇所			
	(サイン)						
	室名サイン	平付型 アクリル製200x200	9.0	箇所			
	室名表示	カットイングシート 50角/文字	1.0	箇所			
	(雑)						
	面台	ポストフォームカウンター 20x150	10.1	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)	屋内運動場	一般トイレ(改修G)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	防水工事		1.0	式			
5	タイル工事		1.0	式			
6	木工事		1.0	式			
7	金属工事		1.0	式			
8	左官工事		1.0	式			
9	建具工事		1.0	式			
10	ガラス工事		1.0	式			
11	塗装工事		1.0	式			
12	内装工事		1.0	式			
13	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	25.5	m2			
	養生	内部 複合改修	25.5	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	25.5	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	25.5	m2			
	内部足場	脚立足場 直列	5.0	m			
	作業用通路養生	シート+ベニヤ程度	26.6	m2			
	壁面養生	シート張り程度	45.6	m2			
	サッシ養生	ベニヤ張り程度	2.5	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	11.5	m			
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカ	0.3	m3			
	床 モルタル撤去		3.4	m2			
	床 塩ビシート撤去	石綿含有	3.4	m2			
	沓摺撤去		2.0	箇所			
	壁 タイル撤去	下地モルタル共	21.3	m2			
	壁 合板撤去	胴縁下地共	23.4	m2			
	間仕切下地 撤去	CBt100	7.4	m2			
	間仕切下地 撤去	ALCt100	22.3	m2			
	天井 石膏ボード撤去	廻り縁共	5.4	m2			
	天井 ケイカル板撤去	廻り縁共 石綿含有	18.7	m2			
	天井下地 撤去	LGS	22.1	m2			
	トイレブース 撤去		18.6	m2			
	発生材内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	4.0	m3			
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	1.6	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙明細-4



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(鉄筋)						
	接着系アンカー	D13 L600	110.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	スラブ <sup>*</sup> 24-15-20	0.3	m3			
	打設手間	ポンプ <sup>*</sup> スラブ <sup>*</sup>	0.3	m3			
	ポンプ <sup>*</sup> 圧送費・基本料		0.5	回			
	(型枠)						
	普通合板型枠		2.7	m2			
	型枠運搬費		2.7	m2			
	小計						
	改め計						







	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
7	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	22.6	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	6.2	m2			
	壁下地開口補強	65形 三方 900x2000程度	2.0	箇所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	23.1	m2			
	天井下地開口補強	19形 300x300程度	2.0	箇所			
	(雑金物)						
	床見切	SUS FB-5x20	2.3	m			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	建具工事						
	(鋼製軽量建具)						
	LSD-3	片引きハンガー戸(壁内収納)	2.0	箇所			
	(トイレブース)						
	TB-13	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-14	トイレブース	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	ガラス工事						
	型板強化ガラス	TF4	0.3	m2			
	ガラス留シーリング		8.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	塗装工事						
	SOP塗り	木部 細幅物 素地ごしらえ共	5.3	m			
	NAD塗り	ケイカル板面 素地ごしらえ共	23.1	m <sup>2</sup>			
	EP-G塗り	石膏ボード面 素地ごしらえ共	10.2	m <sup>2</sup>			
	SOP塗替え	木部 細幅物 下地調整RB種	2.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	内装工事						
	(床)						
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	19.1	m2			
	(壁)						
	壁 石膏ボード 重張り	下地石膏ボードt12.5共	16.8	m2			
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	9.7	m2			
	石膏ボード継目処理		10.2	m2			
	壁 化粧けい酸カルシウム板	t6.0 ジョイナー共	16.4	m2			
	壁 化粧けい酸カルシウム板	t6.0 直張り ジョイナー共	44.3	m2			
	ソフト巾木	H60	23.1	m			
	(天井)						
	天井 化粧石膏ボード	t9.5 突付	1.8	m2			
	天井 けい酸カルシウム板	t6.0 突付	23.1	m2			
	廻り縁	塩ビ製 突付	29.5	m			
	天井点検口	アルミ製 450角 内外額縁枠	2.0	箇所			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13	ユニット・その他工事						
	(サイン)						
	室名サイン	平付型 アクリル製200x200	2.0	箇所			
	(雑)						
	面台	ポストフォームカウンター 20x150	5.9	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(5)	屋内運動場	多目的トイレ(改修G)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	防水工事		1.0	式			
5	木工事		1.0	式			
6	金属工事		1.0	式			
7	左官工事		1.0	式			
8	建具工事		1.0	式			
9	ガラス工事		1.0	式			
10	塗装工事		1.0	式			
11	内装工事		1.0	式			
12	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	5.8	m2			
	養生	内部 複合改修	5.8	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	5.8	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	5.8	m2			
	内部足場	脚立足場 直列	4.8	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	8.0	m			
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカ	0.3	m3			
	床 モルタル撤去		1.9	m2			
	床 塩ビシート撤去	石綿含有	4.8	m2			
	壁 合板撤去	胴縁下地共	25.8	m2			
	間仕切下地 撤去	LGS	8.2	m2			
	天井 石膏ボード撤去	廻り縁共	9.8	m2			
	天井下地 撤去	LGS	5.6	m2			
	木製建具 撤去	FD 800x2000 枠共	1.0	箇所			
	発生材場内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	0.5	m3			
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	0.4	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙明細-5
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(地業)						
	砕石地業	再生材 土間下 人力	0.3	m3			
	床下防湿材敷き	ポリエチレンフィルム t0.15	2.5	m2			
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D13	33.1	kg			
	スクラップ控除		0.9	kg			
	鉄筋加工組立		31.8	kg			
	鉄筋運搬費		31.8	kg			
	金属拡張アンカー	D13 L600	24.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	土間 24-15-20	0.4	m3			
	普通コンクリート	レベル調整 24-15-20	0.1	m3			
	打設手間	ポンプ 土間	0.4	m3			
	打設手間	ポンプ レベル調整	0.1	m3			





	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	木工事						
	胴縁組	杉 格子組 35x40@455/16x40@455 材工共	12.8	m2			
	壁 合板張り	しな合板t5.5 目スカシ 材工共	12.8	m2			
	巾木	杉 H100 材工共	6.9	m			
	出隅見切	杉 45x45 材工共	2.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
6	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	50形 @450	5.3	m2			
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	12.0	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	0.7	m2			
	壁下地開口補強	65形 三方 1200x2000程度	1.0	箇所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	5.1	m2			
	天井下地開口補強	19形 300x300程度	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	建具工事						
	(鋼製軽量建具)						
	LSD-1	2枚連動片引きハンガー戸(壁内収納)	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	ガラス工事						
	型板強化ガラス	TF4	0.2	m <sup>2</sup>			
	ガラス留シーリング		4.2	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	塗装工事						
	SOP塗り	木部 素地ごしらえ共	12.8	m2			
	SOP塗り	木部 細幅物 素地ごしらえ共	9.3	m			
	NAD塗り	ケイカル板面 素地ごしらえ共	5.1	m2			
	EP-G塗り	石膏ボード面 素地ごしらえ共	3.9	m2			
	SOP塗替え	木部 下地調整RB種	13.3	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	内装工事						
	(床)						
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	5.0	m2			
	(壁)						
	壁 石膏ボード 重張り	下地石膏ボードt12.5共	6.9	m2			
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	16.1	m2			
	石膏ボード継目処理		3.9	m2			
	壁 化粧けい酸カルシウム板	t6.0 ジョイナー共	19.1	m2			
	ソフト巾木	H60	7.0	m			
	(天井)						
	天井 化粧石膏ボード	t9.5 突付	4.7	m2			
	天井 けい酸カルシウム板	t6.0 突付	5.1	m2			
	廻り縁	塩ビ製 突付	16.6	m			
	天井点検口	アルミ製 450角 内外額縁枠	1.0	箇所			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	ユニット・その他工事						
	(サイン)						
	室名サイン	平付型 アクリル製250x250	1.0	箇所			
	室名表示	カッティングシート 50角/文字	1.0	箇所			
	(雑)						
	面台	ポストフォームカウンター 20x150	0.8	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-1	発生材積込・運搬	(1) 一般トイレA					
	コンクリートがら		3.0	m3			
	モルタルがら・他		1.5	m3			
	ガラス・陶磁器くず		0.2	m3			
	廃石膏ボード		0.9	m3			
	廃プラスチック類		0.2	m3			
	木くず		0.1	m3			
	混合廃材		7.3	m3			
	金属くず		0.9	t			
	小計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-2	発生材積込・運搬	(2) 多目的トイレA					
	コンクリートがら		0.4	m3			
	モルタルがら・他		0.1	m3			
	金属くず		0.9	t			
	小計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-3	発生材積込・運搬	(3) 一般トイレB					
	コンクリートがら		3.7	m3			
	モルタルがら・他		1.9	m3			
	ガラス・陶磁器くず		0.3	m3			
	廃石膏ボード		2.9	m3			
	廃プラスチック類		0.1	m3			
	木くず		0.1	m3			
	混合廃材		3.8	m3			
	金属くず		0.9	t			
	小計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-4	発生材積込・運搬	(7) 一般トイレG					
	コンクリートがら		0.7	m3			
	モルタルがら・他		3.0	m3			
	ガラス・陶磁器くず		0.3	m3			
	廃石膏ボード		0.1	m3			
	木くず		0.6	m3			
	混合廃材		0.7	m3			
	石綿含有建材		0.1	m3			
	金属くず		0.1	t			
	小計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-5	発生材積込・運搬	(8) 多目的トイレG					
	コンクリートがら		0.3	m3			
	モルタルがら・他		0.1	m3			
	廃石膏ボード		0.1	m3			
	木くず		0.3	m3			
	石綿含有建材		0.1	m3			
	金属くず		0.1	t			
	小計						





	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	31.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	68.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(PF管内)	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	39.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(PF管内)	5.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	2.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	1.0	m			
	分電盤改修費	LP-2	1.0	式			
	照明器具	A1 LED埋込ベースライト 40形 W150	5.0	台			
	照明器具	A2 LED埋込ベースライト20形 W150	1.0	台			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	4.0	台			
	照明器具	B2 LED直付ベースライト20形 W150	3.0	台			
	照明器具	C LEDダウンライト 100形	8.0	台			
	照明器具	D LEDダウンライト 150形	12.0	台			
	人感センサ	親機 8A	9.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	人感センサ	子機	4.0	個			
	人感センサ	子機(換気扇連動)	6.0	個			
	切替スイッチ	1回路用	3.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	6.0	個			
	ケーブル接続費		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	78.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	74.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	6.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(PF管内)	4.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	40.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	4.0	m			
	電線管	E25mm(露出)	17.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールC型	4.0	m			
	埋込コンセント	2P15A×1+ET×1 (新金属P)	12.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	11.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	23.0	個			
	プルボックス	SS150×150×150	3.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	9.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 C型	4.0	個			
	コア抜き		1.0	式			
	塗装工事		1.0	式			



	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
3	撤去工事						
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(PF管内)	3.0	m			
	ケーブル	EM-AE1.2mm-3C(天井内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-AE1.2mm-3C(PF管内)	5.0	m			
	ケーブル	EM-AE1.2mm-2C(PF管内)	2.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	1.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	7.0	m			
	照明器具	D LEDダウンライト 150形	2.0	台			
	人感センサ	親機(換気扇連動)	1.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	1.0	個			
	呼出装置	1窓	1.0	台			
	表示灯		1.0	個			
	復旧釦		1.0	個			
	呼出釦	ひも付き	2.0	個			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	6.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(PF管内)	2.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	6.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	2.0	m			
	埋込コンセント	2P15A×1 (新金属P)	1.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×1+ET×1 (新金属P)	2.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	1.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	4.0	個			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-CE8mm2-3C(天井内)	13.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	18.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	63.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(PF管内)	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	45.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(管内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(PF管内)	5.0	m			
	電線	EM-IE5.5mm2×1(接地線)	13.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	5.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	1.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールA型	2.0	m			
	新設分電盤	N1L-1	1.0	面			
	新設分電盤	N2L-1	1.0	面			
	新設分電盤	N3L-1	1.0	面			
	分電盤改修費	N1L-1K,N2L-1K,N3L-1K	1.0	式			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	照明器具	A2 LED埋込ベースライト20形 W150	6.0	台			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	6.0	台			
	照明器具	C LEDダウンライト 100形	9.0	台			
	照明器具	D LEDダウンライト 150形	3.0	台			
	人感センサ	親機 8A	9.0	個			
	人感センサ	子機	3.0	個			
	人感センサ	子機(換気扇連動)	6.0	個			
	切替スイッチ	1回路用	3.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	6.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×1 (新金属P)	6.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 A型	3.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1個用	3.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	3.0	個			
	ケーブル接続費		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	43.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	48.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(PF管内)	12.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	48.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	12.0	m			
	埋込コンセント	2P15A×1+ET×1 (新金属P)	6.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	9.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	15.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	9.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	自動火災報知設備工事						
	ケーブル	EM-HP1.2mm-10P(管内)	4.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2mm-5P(管内)	11.0	m			
	ケーブル	EM-HP0.9mm-20P(管内)	3.0	m			
	ケーブル	EM-AE1.2mm-4C(管内)	11.0	m			
	ケーブル	EM-AE1.2mm-2C(管内)	11.0	m			
	電線管	E31mm(露出)	11.0	m			
	電線管	E25mm(露出)	4.0	m			
	電線管	E19mm(露出)	12.0	m			
	端子盤	1T-1	1.0	台			
	端子盤	2T-1	1.0	台			
	端子盤	3T-1	1.0	台			
	発信機	P型1級	3.0	台			
	ベル	DC24V	3.0	台			
	表示灯	AC/DC24V、LED	3.0	台			
	アウトレットボックス	中形四角44mm	1.0	個			
	天井点検口	450mm角	3.0	箇所			



	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	撤去工事						
	配管配線切断工事		1.0	式			
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	26.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	21.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(管内)	2.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールA型	1.0	m			
	新設分電盤	L-2	1.0	面			
	分電盤改修費	L-1	1.0	式			
	照明器具	A1 LED埋込ベースライト 40形 W150	1.0	台			
	照明器具	A2 LED埋込ベースライト20形 W150	1.0	台			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	2.0	台			
	照明器具	C LEDダウンライト 100形	4.0	台			
	人感センサ	親機 8A	2.0	個			
	人感センサ	子機	2.0	個			
	人感センサ	子機(換気扇連動)	2.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	2.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 A型	2.0	個			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-CET14mm2(天井内)	33.0	m			
	ケーブル	EM-CET14mm2(管内)	15.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	51.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	26.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	5.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(管内)	1.0	m			
	電線	EM-IE5.5mm2×1(接地線)	48.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	2.0	m			
	電線管	E39mm(露出)	23.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールA型	12.0	m			
	埋込コンセント	2P15A×1+ET×1 (新金属P)	3.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	5.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	3.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	3.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 A型	7.0	個			



	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
3	撤去工事						
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	6.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	5.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(管内)	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(PF管内)	1.0	m			
	ケーブル	EM-AE1.2mm-3C(天井内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-AE1.2mm-3C(PF管内)	5.0	m			
	ケーブル	EM-AE1.2mm-2C(PF管内)	2.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	7.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールA型	1.0	m			
	照明器具	D LEDダウンライト 150形	2.0	台			
	人感センサ	親機(換気扇連動)	1.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	1.0	個			
	呼出装置	1窓	1.0	台			
	表示灯		1.0	個			
	復旧釦		1.0	個			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-CET14mm2(天井内)	33.0	m			
	ケーブル	EM-CET14mm2(管内)	8.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	9.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	12.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	6.0	m			
	電線	EM-IE5.5mm2×1(接地線)	40.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	2.0	m			
	電線管	E39mm(露出)	15.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールA型	4.0	m			
	埋込コンセント	2P15A×1 (新金属P)	1.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×1+ET×1 (新金属P)	1.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	2.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	2.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 A型	1.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1個用	2.0	個			
	塗装工事		1.0	式			



	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
3	撤去工事						
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						





	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	空調設備						
	冷媒用・断熱材被覆銅管	液管 (t=10mm) 12.7φ	9.0	m			
	冷媒用・断熱材被覆銅管	ガス管 (t=20mm) 25.4φ	9.0	m			
	ドレン・硬質ポリ塩化ビニル管 VP	屋内一般 50A	16.0	m			
	EM-EEFケーブル	1.6-3C 冷媒管共巻	9.0	m			
	冷媒ガス回収・再充填費		1.0	式			
	保温工事		1.0	式			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	換気設備						
	FV-1 天井埋込形換気扇	150φ × 300m <sup>3</sup> /h × 20Pa	6.0	台			
	スパイラルダクト	150φ	14.0	m			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	保温工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-1	11.0	組			
	小便器	U-1	9.0	組			
	洗面カウンター	ML-3	1.0	組			
	洗面カウンター	ML-4	5.0	組			
	多目的流し	SK-1	3.0	組			
	L型手すり	TR-1	6.0	組			
	小便器用手すり	TR-3	3.0	組			
	化粧鏡	M-1	11.0	枚			
	モップ掛け	AS-1	2.0	組			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 100A	4.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 65A	4.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 50A	9.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 40A	6.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 32A	2.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 25A	7.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	66.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HVP 50A	2.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HVP 40A	1.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HVP 30A	2.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HVP 25A	5.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HVP 20A	20.0	m			
	弁類	BV 100	1.0	個			
	弁類	GV 50	1.0	個			
	弁類	GV 40	2.0	個			
	弁名札	樹脂製	4.0	個			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 150A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	19.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	4.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	8.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 40A	10.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 100A	41.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 75A	33.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 65A	6.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 50A	15.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 40A	20.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	9.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	2.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 100A	3.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 75A	11.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 65A	9.0	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 50A	22.0	m			
	床上掃除口	CIR 65	14.0	個			
	満水継手	100A	2.0	個			
	満水継手	80A	2.0	個			
	研り工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	混合廃棄物	1.36	m3			
	積込・運搬	金属くず	0.07	ton			
	積込・運搬	廃プラスチック	1.18	m3			
	積込・運搬	ガラスくず	0.24	m3			
	積込・運搬	陶磁器くず	5.09	m3			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-2 天井埋込形換気扇	100φ × 150m <sup>3</sup> /h × 50Pa	1.0	台			
	F-1 屋外フード	ステンレス製深形フード 100φ	1.0	個			
	スパイラルダクト	100φ	12.0	m			
	研り工事		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	保温工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-3	1.0	組			
	洗面器	L-1	1.0	組			
	フィッティングボード	FB-1	1.0	組			
	背もたれ	BR-1	1.0	組			
	L型手すり	TR-1	1.0	組			
	はね上げ手すり	TR-2	1.0	組			
	化粧鏡	M-2	1.0	枚			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	1.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 20A	7.0	m			
	保温工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	5.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 40A	2.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	2.0	m			
	床上掃除口	CIR 65	2.0	個			
	スリーブ工事		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FR-1 壁換気扇	250φ×600m <sup>3</sup> /h ステンレス製ウェザーカバー	6.0	台			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-1	9.0	組			
	小便器	U-1	9.0	組			
	洗面カウンター	ML-2	3.0	組			
	洗面カウンター	ML-3	3.0	組			
	多目的流し	SK-1	3.0	組			
	L型手すり	TR-1	6.0	組			
	小便器用手すり	TR-3	3.0	組			
	化粧鏡	M-1	6.0	枚			
	レバー式横水栓	F-1	4.0	個			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 80A	6.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 65A	18.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 50A	5.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 40A	5.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 32A	1.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 25A	4.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	61.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HVP 65A	3.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HVP 50A	4.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HVP 40A	6.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HVP 30A	1.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HVP 20A	15.0	m			
	弁類	GV 50	1.0	個			
	弁類	GV 40	3.0	個			
	弁類	GV 20	1.0	個			
	弁名札	樹脂製	5.0	個			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	11.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	14.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	2.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	7.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 40A	7.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 100A	27.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 75A	42.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 65A	5.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 50A	14.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 40A	22.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	7.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	3.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 100A	4.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 75A	11.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 65A	13.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 50A	7.0	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	床上掃除口	CIR 65	14.0	個			
	満水継手	100A	2.0	個			
	満水継手	80A	2.0	個			
	研り工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
5	消火設備						
	消火・配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(白) 65A	2.0	m			
	消火・配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(白) 50A	6.0	m			
	消火・配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(白) 40A	1.0	m			
	HB-1A 屋内消火栓	易操作性1号 埋込式	3.0	組			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	仮設消火器		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	混合廃棄物	1.41	m3			
	積込・運搬	金属くず	0.22	ton			
	積込・運搬	廃プラスチック	1.06	m3			
	積込・運搬	ガラスくず	0.43	m3			
	積込・運搬	陶磁器くず	4.81	m3			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-2 天井埋込形換気扇	100φ × 150m <sup>3</sup> /h × 50Pa	2.0	台			
	スパイラルダクト	100φ	3.0	m			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	保温工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-1	5.0	組			
	小便器	U-1	3.0	組			
	洗面カウンター	ML-1	1.0	組			
	洗面カウンター	ML-5	1.0	組			
	多目的流し	SK-1	1.0	組			
	L型手すり	TR-1	2.0	組			
	小便器用手すり	TR-3	1.0	組			
	化粧鏡	M-1	3.0	枚			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 40A	2.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 32A	2.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 25A	3.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	25.0	m			
	弁類	GV 40	2.0	個			
	弁類	GV 32	1.0	個			
	弁名札	樹脂製	3.0	個			
	保温工事		1.0	式			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	8.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	14.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	2.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	9.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 40A	11.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	6.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	5.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	6.0	m			
	床上掃除口	CIR 65	3.0	個			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	混合廃棄物	0.07	m3			
	積込・運搬	金属くず	0.02	ton			
	積込・運搬	廃プラスチック	0.29	m3			
	積込・運搬	ガラスくず	0.05	m3			
	積込・運搬	陶磁器くず	1.03	m3			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-2 天井埋込形換気扇	100φ × 150m <sup>3</sup> /h × 50Pa	1.0	台			
	F-2 屋外フード	ステンレス製ベントキャップ 100φ	1.0	個			
	スパイラルダクト	100φ	5.0	m			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	保温工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-3	1.0	組			
	洗面器	L-1	1.0	組			
	オストメイトパック	OP-1	1.0	組			
	ベビーシート	BS-1	1.0	組			
	ベビーチェア	BC-1	1.0	組			
	フィッティングボード	FB-1	1.0	組			
	背もたれ	BR-1	1.0	組			
	L型手すり	TR-1	1.0	組			
	はね上げ手すり	TR-2	1.0	組			
	化粧鏡	M-2	1.0	枚			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	1.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 20A	6.0	m			
	保温工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	6.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	2.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 40A	3.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	2.0	m			
	床上掃除口	CIR 65	3.0	個			
	スリーブ工事		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)	発生材処分	一般トイレ					
	コンクリートがら		7.5	m3			
	モルタルがら・他		6.3	m3			
	ガラス・陶磁器くず		0.8	m3			
	廃石膏ボード		3.8	m3			
	廃プラスチック類		0.2	m3			
	木くず		0.7	m3			
	混合廃材		11.8	m3			
	石綿含有建材		3.2	m3			
	金属くず		1.8	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	発生材処分	多目的トイレ					
	コンクリートがら		0.6	m3			
	モルタルがら・他		0.2	m3			
	廃石膏ボード		0.1	m3			
	木くず		0.3	m3			
	石綿含有建材		0.1	m3			
	金属くず		0.1	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	発生材処分	電気設備					
	ガラス・陶磁器くず		0.03	m3			
	廃プラスチック類		0.01	m3			
	混合廃材		0.33	m3			
	金属くず		0.17	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)	発生材処分	機械設備					
	ガラス・陶磁器くず		11.65	m3			
	廃プラスチック類		2.53	m3			
	混合廃材		2.85	m3			
	金属くず		0.32	t			
	残土		9.18	m3			
	小計						
	改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費	積上計上					
工事用ゲート	キャスターゲート W6000xH1800	1.0	箇所			
工事用ゲート	キャスターゲート W3000xH1800	1.0	箇所			
仮囲い	成形鋼板 H2000	53.0	m			
学校用仮設トイレ		1.0	式			別紙明細-1
荷下ろしステージ		1.0	式			別紙明細-2
揚重機械費	16t オペレーター付	10.0	日			
交通誘導員		5.0	日			
学校用仮設トイレ電気設備工事		1.0	式			別紙明細-3
学校用仮設トイレ電気設備工事	撤去工事	1.0	式			別紙明細-4
小計						
改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-1	学校用仮設トイレ						
	仮設トイレ上屋	単管小屋	47.5	m2			
	メッシュシート張り		96.0	m2			
	仮設トイレ	水洗式 配管共	12.0	棟			
	仮設手洗い流し	SUS L1200	2.0	台			
	小計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-3	学校用仮設トイレ電気設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	13.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	12.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(露出)	22.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(管内)	3.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	12.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールA型	3.0	m			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	6.0	台			
	人感センサ	親機 8A	2.0	個			
	切替スイッチ	1回路用	2.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1個用	2.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	2.0	個			
	ブレーカー配線接続費		1.0	式			
	小計						



# 可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)

## 図 面 目 録

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A01	改修工事特記仕様書-1	A31	改修後 建具表-2	E01	電気設備工事工事特記仕様書	M01	機械設備工事特記仕様書-1
A02	改修工事特記仕様書-2	A32	各部詳細図-1	E02	配置図、付近見取図	M02	機械設備工事特記仕様書-2
A03	改修工事特記仕様書-3	A33	各部詳細図-2	E03	校舎1階 平面図	M03	機械設備工事特記仕様書-3
A04	改修工事特記仕様書-4	A34	各部詳細図-3	E04	校舎2階 平面図	M04	改修後 換気設備機器表 改修後 衛生設備器具表
A05	改修工事特記仕様書-5	A35	各部詳細図-4	E05	校舎3階 平面図	M05	改修前・後 衛生設備系統図
A06	改修工事特記仕様書-6	A36	各部詳細図-5	E06	改修前・後 北舎 自動火災報知設備系統図	M06	改修前 1階衛生設備図1
A07	改修工事特記仕様書-7	A37	各部詳細図-6	E07	屋内運動場 平面図	M07	改修後 1階衛生設備図1
A08	特記事項・工事区分表			E08	分電盤単線結線図1	M08	改修前 1階衛生設備図2
A09	付近見取図・配置図兼仮設計画図			E09	分電盤単線結線図2	M09	改修後 1階衛生設備図2
A10	内部仕上表-1			E10	凡例・照明器具参考姿図	M10	改修前 2階衛生設備図
A11	内部仕上表-2			E11	改修前・後 北舎1階西トイレ 電灯・コンセント設備図	M11	改修後 2階衛生設備図
A12	改修前 1階平面図・仮設計画図			E12	改修前・後 北舎2階西トイレ 電灯・コンセント設備図	M12	改修前 3階衛生設備図
A13	改修前 2階平面図・仮設計画図			E13	改修前・後 北舎3階西トイレ 電灯・コンセント設備図	M13	改修後 3階衛生設備図
A14	改修前 3階平面図・仮設計画図			E14	改修前・後 北舎1階東トイレ 電灯・コンセント・自動火災報知設備図	M14	改修前 R階衛生設備図
A15	改修前 屋内運動場平面図・仮設計画図			E15	改修前・後 北舎2階東トイレ 電灯・コンセント・自動火災報知設備図	M15	改修後 R階衛生設備図
A16	改修前 平面詳細図・展開図 北舎-西棟 1階 男女トイレ			E16	改修前・後 北舎3階東トイレ 電灯・コンセント・自動火災報知設備図	M16	改修前・後 北舎1階西 トイレ平面詳細図
A17	改修後 平面詳細図・展開図 北舎-西棟 1階 男女トイレ			E17	改修前・後 屋内運動場トイレ 電灯・コンセント設備図	M17	改修前・後 北舎2階西 トイレ平面詳細図
A18	改修前 平面詳細図・展開図 北舎-西棟 2,3階 男女トイレ					M18	改修前・後 北舎1階東 トイレ平面詳細図
A19	改修後 平面詳細図・展開図 北舎-西棟 2,3階 男女トイレ					M19	改修前・後 北舎2階西 トイレ平面詳細図
A20	改修前 平面詳細図・展開図 北舎-東棟 1階 男女トイレ					M20	改修前・後 屋内運動場 トイレ平面詳細図
A21	改修後 平面詳細図・展開図 北舎-東棟 1階 男女トイレ						
A22	改修前 平面詳細図・展開図 北舎-東棟 2,3階 男女トイレ						
A23	改修後 平面詳細図・展開図 北舎-東棟 2,3階 男女トイレ						
A24	改修前 平面詳細図・展開図 屋内運動場 男女トイレ						
A25	改修後 平面詳細図・展開図 屋内運動場 男女トイレ						
A26	改修後 1階建具配置図						
A27	改修後 2階建具配置図						
A28	改修後 3階建具配置図						
A29	改修後 屋内運動場 建具配置図						
A30	改修後 建具表-1						

Ⅱ 建築改修工事仕様		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																											
<b>工事概要</b> 工事名称 可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期） 主要用途 小学校 工事種別 改修 敷地 可児市久々利1945番地 敷地面積 29,341㎡ 都市計画法等 都市計画区域 ○ 都市計画区域内（市街化区域・市街化調整区域○その他） ・都市計画区域外 用途地域（無指定） 防火地域 ・防火地域 ・準防火地域 ○指定なし その他の指定 ・2.2条指定区域内 ○2.2条指定区域外・（ ） ・（ ） 建築基準法 道 路 ・国道 ・県道 ○市道 ・町道 ・村道 ・私道 幅員 m（2以上の道路に接する場合は、広い方の道路幅員を記入） 指定の建ぺい率 60.0% 指定の容積率 200.0% 工事建物の概要 1 北舎-西棟 :RC 造・3階建て、延べ床面積 885㎡ 2 北舎-東棟 :RC 造・3階建て、延べ床面積 1,107㎡ 3 屋内運動場 :S 造・平屋建て、延べ床面積 1,099㎡ 工事の範囲 ○建築工事（トイレ改造に伴う内装、建具等） ○電気設備工事（トイレ改造に伴う幹線、電灯設備等） ○機械設備工事（トイレ改修に伴う換気、衛生、給排水設備等） ○外構工事一式 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ・構造特記仕様書 ・外構工事特記仕様書 ・植栽工事特記仕様書 ○解体工事特記仕様書 ・電気設備工事特記仕様書 ・機械設備工事特記仕様書 ○可児市建設工事特記仕様書 別途工事 ・ 1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版【令和5年3月改定】)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。 なお、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版【令和5年3月改定】)」(以下「標準仕様書」という。)による。 (2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。 (3) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査(同法第7条の3の定めによる中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。 2. 本特記仕様書の表記 (1) 図目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の[ ]内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策強化地域における工事にあっては、南海トラフ地震に関連する事情(臨時)が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。 上記事項が発生した場合は、契約書第2.6条(臨機応変)の規定による。 (5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例等を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。	⑧ 発生材の処理等 ⑨ 埋戻し及び盛土 ⑩ 砂利地業 ⑪ 環境への配慮 ⑫ 材料の品質等	※引渡しを要するもの(金属類 ※PCB含有物) (1.3.12) ・特別管理産業廃棄物(※廃石綿) ( ) ・現場において再利用を図るもの( ) ・再生資材の活用を図るもの( ) ・アスベスト成形板としての処理を要するもの( ) ※改修標準仕様書の9章 環境配慮改修工事による ・PCB含有シーリング材の分析調査 ・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う 採取箇所数(計 箇所) 採取場所(※図示 ) ・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う 分析個数(計 個) ・除去処理工事 撤去工法「標準施工要領書(日本シーリング工業共同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による 除去範囲(※図示 ) ※再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書の提出 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出するものとする。 なお、計画書及び報告書は「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成したものとす。	① 共通事項 ⑬ 技能士 ⑭ 技能資格者 ⑮ 施工の検査等 ⑯ 施工の立会い ⑰ 化学物質の濃度測定 ⑱ 完成時の提出書類 ⑳ 電子納品	・施工数量調査(防水改修) (1.5.2、3) 調査範囲 ※防水改修範囲 ・図示 調査方法 ・図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・ ※適用する 適用する技能士 (1.6.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能士検定職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>○とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>○鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td>○型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>○コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>建築大工</td> <td>・大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>内装仕上施工</td> <td>○鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>防水施工</td> <td>・7A7F防水工事作業 ・ルネックス系塗膜防水工事作業 ・7A7F系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セパテ防水工事作業 ○シート防水工事作業 ・改質7A7Fシート工法防水 ・FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びびと改修工事</td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>樹脂接着剤注入施工</td> <td>・樹脂接着剤注入工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>左官</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイル張り</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>サッシ施工</td> <td>○ビル用サッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガラス施工</td> <td>○ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>自動ドア施工</td> <td>・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築大工</td> <td>・大工工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内装仕上施工</td> <td>○鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内装仕上施工</td> <td>○7A7F系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上工事作業 ○ボード仕上工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表装</td> <td>・壁装作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>左官</td> <td>○左官作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイル張り</td> <td>○タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>塗装</td> <td>○建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>型枠施工</td> <td>・型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄筋施工</td> <td>・鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>・コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面標示施工</td> <td>・溶融ペイントマーク工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園</td> <td>・造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table> ① 共通事項 ⑲ 設計G/L ※設計G/L=BM+ mm(現状地盤高は図示) ⑳ 建設機械 ㉑ 設備工事との取り合い ㉒ 事故報告 ㉓ 養生その他 ㉔ 完成写真 ㉕ 建設発生土の処理 ㉖ 書類の書式等 ㉗ 概成工期 ㉘ 下請施工業務 ㉙ 産業廃棄物の適正処理 ㉚ 下請業者等	工事種目	技能士検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	○とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	○型枠工事作業		コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業	石工事	石材施工	・石張り作業	木工事	建築大工	・大工工事作業	金属工事	内装仕上施工	○鋼製下地工事作業		建築板金	・内外装板金作業	防水改修工事	防水施工	・7A7F防水工事作業 ・ルネックス系塗膜防水工事作業 ・7A7F系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セパテ防水工事作業 ○シート防水工事作業 ・改質7A7Fシート工法防水 ・FRP防水工事作業	屋根及びびと改修工事	建築板金	・内外装板金作業	外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業		左官	・左官作業		タイル張り	・タイル張り作業	建具改修工事	サッシ施工	○ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	○ガラス工事作業	内装改修工事	自動ドア施工	・自動ドア施工作業		建築大工	・大工工事作業		内装仕上施工	○鋼製下地工事作業		建築板金	・内外装板金作業		内装仕上施工	○7A7F系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上工事作業 ○ボード仕上工事作業		表装	・壁装作業		左官	○左官作業		タイル張り	○タイル張り作業	塗装改修工事	塗装	○建築塗装作業	耐震改修工事	型枠施工	・型枠工事作業		鉄筋施工	・鉄筋組立作業		コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業	排水工事	配管	・建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイントマーク工事作業	植栽工事	造園	・造園工事作業	国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(平成28年版)」による工事写真撮影ガイドブック(平成30年版)及び国土交通大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。 ・ 1) 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正平成13年4月9日国土交通省告示第487号)に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 2) 本工事においては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日国総施第215号、最終改定平成23年7月13日国総環第1号)に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明書等により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。 本工事の施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強 ※駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通知するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ材、在来ならぬ補修すること。 ※粉じん対策 粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。 工事車両の洗車及び道路の清掃をすること。 搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。 工事車両の出入口及び出隅部分に透明板付の仮囲いや赤色灯を設置すること。 ・騒音対策 隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。 ・夜間照明 仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。 撮影箇所数( )箇所・航空写真( )箇所 ○監督員の指示による 本完成写真の著作権の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ※電子データ 1部 画素:長辺で2880PIX以上 記録方式:RGB(フルカラー)・JPEG最高画質 記録媒体:CD-R(ISO) ・カラープリント キヤピネ版( )部 アルバム(黒表紙金文字300mm×300mm程度) ※無し・有り ・四つ切( )枚 ※アルミ額縁・印刷用紙:A4縦 ・半切( )枚 ※アルミ額縁・撮影内容:監督員の指示による ・全紙( )枚 ※アルミ額縁・提出部数:監督員の指示による [3.2.5] 「建設発生土情報交換システム」(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 可児市建設発生土処理基準に基づき適正に処分すること。 ・場外指定場所に搬出する。 ※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 ・場内指定場所に敷き均し( ) ・場内指定場所に堆積( ) ・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。 本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「営繕工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。 総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店(建設業法(附則24年法律第100号)に規定する主たる営業所を含む。)を有する者の中から選定するよう努めること。 産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。 下請業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。
	工事種目	技能士検定職種	技能検定作業																																																																																															
仮設工事	とび	○とび作業																																																																																																
鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業																																																																																																
コンクリート工事	型枠施工	○型枠工事作業																																																																																																
	コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業																																																																																																
石工事	石材施工	・石張り作業																																																																																																
木工事	建築大工	・大工工事作業																																																																																																
金属工事	内装仕上施工	○鋼製下地工事作業																																																																																																
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																
防水改修工事	防水施工	・7A7F防水工事作業 ・ルネックス系塗膜防水工事作業 ・7A7F系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セパテ防水工事作業 ○シート防水工事作業 ・改質7A7Fシート工法防水 ・FRP防水工事作業																																																																																																
屋根及びびと改修工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業																																																																																																
	左官	・左官作業																																																																																																
	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																																
建具改修工事	サッシ施工	○ビル用サッシ施工作業																																																																																																
	ガラス施工	○ガラス工事作業																																																																																																
内装改修工事	自動ドア施工	・自動ドア施工作業																																																																																																
	建築大工	・大工工事作業																																																																																																
	内装仕上施工	○鋼製下地工事作業																																																																																																
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																
	内装仕上施工	○7A7F系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上工事作業 ○ボード仕上工事作業																																																																																																
	表装	・壁装作業																																																																																																
	左官	○左官作業																																																																																																
	タイル張り	○タイル張り作業																																																																																																
塗装改修工事	塗装	○建築塗装作業																																																																																																
耐震改修工事	型枠施工	・型枠工事作業																																																																																																
	鉄筋施工	・鉄筋組立作業																																																																																																
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業																																																																																																
排水工事	配管	・建築配管作業																																																																																																
舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイントマーク工事作業																																																																																																
植栽工事	造園	・造園工事作業																																																																																																
<b>章 項目</b> ① 適用基準等 ② 適用区分 ③ 工事実績情報サービス(GORINS)への登録 ④ 施工計画書 5 電気保安技術者 6 工事に用電力設備保安責任者 ⑦ 施工条件	特記事項 ・建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通大臣官房官庁営繕部整備課 各図面において、(○-○-○)内の数字は適用する上記詳細番号を示す。 工事写真撮影ガイドブック(平成30年度版)建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部 ・建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)国土交通大臣官房官庁営繕部整備課 ・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速(V <sub>0</sub> =32 m/s) 地表面粗度区分(Ⅲ) ○積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表(24) ③ 工事実績情報サービス(GORINS)への登録 工事請負金額が500万円以上(消費税込み)の工事について、(1.1.4)工事実績情報を登録するものとする。 (登録先:(一財)日本建設情報総合センター) なお、登録内容を訂正する必要がある場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。 また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。(1.2.2) ④ 施工計画書 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書(総合施工計画書)を作成し、監督員に提出する。 次の工種に該当する工事の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。 ○仮設工事 ○防水改修工事 ・外壁改修工事 ○建具改修工事 ○内装改修工事 ○塗装改修工事 ・耐震改修工事 ○環境配慮改修工事 ○解体工事 ⑬ 特別な材料の工法 ⑭ 施工調査 ※施工計画調査 (1.5.1~3) 本工事該当部位及び関連部位について既存施設(埋設配管等を含む)について、施工計画作成のための事前調査、情報収集を行う。 報告書 監督員に2部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付 調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。 ・埋設配管の試掘 範囲、復旧方法 ※図示 ・ ・施工数量調査(外壁改修) (1.5.2、3) 調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示 調査内容 ひび割れの幅及び長さ等を調査する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・ ・既存塗膜の付着力試験 試験箇所及び箇所数については、監督員と協議の上決定する																																																																																																	

① 共通事項	項目	特記事項																							
	③⑦ 軽微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。																							
	③⑧ 事故防止策	安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を遵守するほか次のとおり講じなければならない。 1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 2) 墜落制止用器具は一連の作業において縦綱の架け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照）の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2) 当該工事内容等の周知徹底 3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4) 当該工事における災害対策訓練 5) その他、安全・訓練等として必要な事項 https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishu.html																							
	③⑨ 工事着手前協議	受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を確認し、受注者及び発注者側が現場状況を確認の上、設計と現場との整合性及び問題点を整理した後に、工事前協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。																							
	④⑩ 県産材の利用	「公共施設県産材利用推進方針」（岐阜県）に基づいて県産材利用促進に取り組む。																							
② 仮設工事	項目	特記事項																							
	① 騒音・粉じん等対策	(2.1.3) ・防音パネル ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・足場全面 ○粉じん飛散防止対策（仮設間仕切り）																							
	② 足場等	(2.2.1)(表2.2.1) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同おける2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。 外部足場 ○設置する（設置範囲 ○工事に必要な範囲） ・設置しない 防護シート ○設置する（設置範囲 ○工事に必要な範囲） ・設置しない 内部足場 ○設置する（※脚立、足場板等） ・設置しない  材料、撤去材等の運搬方法 種類（・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ○E種） C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（北倉屋内階段）																							
	③ 既存部分の養生	(2.3.1) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																							
	④ 仮設間仕切り	(2.3.2)(表2.3.1) 1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 2) 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ（厚さmm）</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・せつこうボード（9.5mm） 種類（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材</td> <td>・片面 ・なし</td> <td>グラスウール 厚さ（ ）mm</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・合板（9.0mm） 材種（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○C種</td> <td>防火シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 3) 仮設間仕切りに貼る仮設扉の材質等 <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>設置箇所</th> </tr> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>・なし ・片面</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填	・A種	・せつこうボード（9.5mm） 種類（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材	・片面 ・なし	グラスウール 厚さ（ ）mm	・B種	・合板（9.0mm） 材種（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材			○C種	防火シート			材質	仕上げ	塗装	設置箇所	※木製	※合板張り程度	・なし ・片面
種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填																						
・A種	・せつこうボード（9.5mm） 種類（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材	・片面 ・なし	グラスウール 厚さ（ ）mm																						
・B種	・合板（9.0mm） 材種（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材																								
○C種	防火シート																								
材質	仕上げ	塗装	設置箇所																						
※木製	※合板張り程度	・なし ・片面	・図示																						
⑤ 監督職員事務所	(2.4.1) ・構内既存建物の一部を使用する。 ・構内に新設する。 規模(m2程度) ・10 ・20 ※35 ・65 ・100																								

② 仮設工事	項目	特記事項																													
	⑥ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できる（※有償 ・無償） ・利用できない																													
	⑦ 工事電力	構内既存の施設 ※利用できる（※有償 ・無償） ・利用できない																													
	8 確認済の表示	建築基準法第89条に基づく「確認があった旨」の表示をする。 ※適用する ・適用しない																													
	9 イメージファブ	工事概要及びイメージパースを印刷した看板を 簡所設置する。 なお、内容、設置位置については監督員と協議する。																													
③ 防水改修工事	項目	特記事項																													
	① 一般事項	防水工事は、専門業者の責任施工とする。																													
	2 既存防水の処理	既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (3.2.3~6) ・行う（・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X）																													
	3 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 (3.2.6)																													
	4 アスファルト防水	屋根保護防水 (3.1.4)(3.3.2~5) 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.1~6) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>※ポリエチレンフィルム</td> <td>※乾式保護材 ・コンクリート ・れんが押え</td> </tr> <tr> <td>・PIB</td> <td>・B-1 ※B-2 ・B-3</td> <td>厚さ ・0.15mm以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2AI</td> <td>・A1-1 ・A1-2 ・A1-3</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種 b A（スキん層付き）</td> <td>※フラットヤーン クロス 70g/m2程度</td> </tr> <tr> <td>・PIBI ・TIBI</td> <td>※B1-1 ・B1-2 ・B1-3</td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table> ・乾式保護材 ・窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様）厚さ（ ）mm 幅（ ）mm ・窯業系パネルⅡ類（一般地仕様）厚さ（ ）mm 幅（ ）mm 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの ・金属複合板 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示		※ポリエチレンフィルム	※乾式保護材 ・コンクリート ・れんが押え	・PIB	・B-1 ※B-2 ・B-3	厚さ ・0.15mm以上		・P2AI	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3	図示		(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種 b A（スキん層付き）	※フラットヤーン クロス 70g/m2程度	・PIBI ・TIBI	※B1-1 ・B1-2 ・B1-3	厚さ(mm) ・25 ・50				
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	絶縁用シート	立上り部の保護																										
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示		※ポリエチレンフィルム	※乾式保護材 ・コンクリート ・れんが押え																										
・PIB	・B-1 ※B-2 ・B-3			厚さ ・0.15mm以上																											
・P2AI	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3	図示		(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種 b A（スキん層付き）	※フラットヤーン クロス 70g/m2程度																										
・PIBI ・TIBI	※B1-1 ・B1-2 ・B1-3			厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・M3E</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3DI ・M4DI</td> <td>・DI-1 ※DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>厚さ(mm) ・25 ・50</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無	・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			厚さ(mm) ・25 ・50	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	・有 ・無																									
・M3D ・M3E	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																									
				厚さ(mm) ・25 ・50																											
屋根露出防水	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.2~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> </tr></table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4																					
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																									
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4																														

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																									
3	12 防水改修工事	[13.2.2][13.3.2、3][表13.2.1] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチによる区分</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">山高 山ピッチ</td> <td rowspan="2">( )種</td> <td>※鋼板製</td> <td rowspan="2">・有り ・無し</td> <td rowspan="2">・有り ・無し</td> <td rowspan="2">・30分 ・無し</td> </tr> <tr> <td>※アルミニウム合金板製</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 ( )  塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ( )  タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理  標準仕様書表14.2.2による ・E種 ・F種  断熱材 ・有り(種別: 厚さ(mm): 耐火性能: 時間)  ・無し  工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)の風圧力に対応した工法折板のけらば納め  ※けらば包みによる方法</p>	施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能	・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形		山高 山ピッチ	( )種	※鋼板製	・有り ・無し	・有り ・無し	・30分 ・無し	※アルミニウム合金板製	4-2	3 浮き部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.4)(4.4.4、10~15) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m2)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m2)</th> <th rowspan="2">注入量(ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p>	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2)		注入口の箇所数(箇所/m2)		注入量(ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	—	—	—	—	—	・充填工法	—	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	4-3	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100㎡かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm2以上とする	5	⑤ 1 改修工法	(5.1.3) <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td>・内部</td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合  壁部分の開口の開け方 ※図示  新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示  建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○アルミニウム製建具			※建具表による	・樹脂製建具			※建具表による	・鋼製建具	・外部		※建具表による	・鋼製軽量建具	・内部		※建具表による	・ステンレス製建具			※建具表による
		施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																											
・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形		山高 山ピッチ	( )種	※鋼板製	・有り ・無し	・有り ・無し	・30分 ・無し																																																																																																													
				※アルミニウム合金板製																																																																																																																
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2)		注入口の箇所数(箇所/m2)		注入量(ml/箇所)																																																																																																															
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																
○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																															
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																															
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																															
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																															
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	—	—	—	—	—																																																																																																															
・充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																															
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																															
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																	
○アルミニウム製建具			※建具表による																																																																																																																	
・樹脂製建具			※建具表による																																																																																																																	
・鋼製建具	・外部		※建具表による																																																																																																																	
・鋼製軽量建具	・内部		※建具表による																																																																																																																	
・ステンレス製建具			※建具表による																																																																																																																	
4	1 可とう性エポキシ樹脂	(品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による	(4.2.2)	4-3	1 外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	1 ひび割れ部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.5.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上)  注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130	4-4	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	1 ひび割れ部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.3.2)(4.3.4) <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0以下</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上)  注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	150~250	130																																																																	
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70																																																																																																																	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130																																																																																																																	
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70																																																																																																																	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	150~250	130																																																																																																																	
4	2 パテ状エポキシ樹脂	(品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による	(4.2.2)	4-3	2 欠損部改修工法	2 欠損部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.5.3)(4.5.7) ・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系	4-4	外壁改修(塗り仕上げ外壁改修)	1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	(4.6.3)(表4.6.2~5) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上げ面全体</td> <td>※ひび割れ部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法(30MPa程度以上)</td> <td>※既存仕上げ面全体</td> <td>※浮き部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上げ面全体</td> <td>※欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法(15MPa程度)</td> <td>※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外既存仕上げ面</td> <td></td> </tr> </table>	工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体	※ひび割れ部改修工法	・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体	※浮き部改修工法	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体	※欠損部改修工法	・水洗い工法(15MPa程度)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外既存仕上げ面																																																																																											
工法	処理範囲	下地面の補修																																																																																																																		
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体	※ひび割れ部改修工法																																																																																																																		
・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体	※浮き部改修工法																																																																																																																		
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体	※欠損部改修工法																																																																																																																		
・水洗い工法(15MPa程度)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外既存仕上げ面																																																																																																																			
4	3 エポキシ樹脂モルタル	(品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による	(4.2.2)	4-3	3 浮き部改修工法	3 浮き部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.5.4)(4.5.9~15) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m2)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m2)</th> <th rowspan="2">注入量(ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p>	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2)		注入口の箇所数(箇所/m2)		注入量(ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	—	—	—	—	—	※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25	4-4	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	2 下地調整塗材	(4.6.3、4) ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル																																															
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2)		注入口の箇所数(箇所/m2)		注入量(ml/箇所)																																																																																																															
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																															
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																															
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																															
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																															
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	—	—	—	—	—																																																																																																															
※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25																																																																																																															
4	4 シーリング材	(品質、試験方法) 建築用シーリング材 (JIS A 5758) による	(4.2.2)	4-3	4 目地改修工法	4 目地改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.5.16) ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による	4-4	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	3 仕上げ塗材仕上げ	(4.1.5)(4.2.2)(4.6.5) ※規制対象外 新規仕上げ塗材の種類 (表4.2.4~6) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・薄付け仕上げ塗材</td> <td>・外装薄塗材S i</td> <td>・砂壁状</td> <td>・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材S i</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・吹付け・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・凹凸状</td> <td>・吹付け・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・着色骨材砂壁状</td> <td>・吹付け・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・厚付け仕上げ塗材</td> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し</td> <td>・凸凹処理</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材S i</td> <td>・凹凸状</td> <td>・ひき起し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・複層仕上げ塗材</td> <td>・複層塗材CE</td> <td>・吹放し</td> <td>・凸凹処理</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・吹放し</td> <td>・凸凹処理</td> </tr> </table>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材S i	・砂壁状	・さざ波状	・可とう形外装薄塗材S i	・ゆず肌状	・吹付け・ローラー塗り	・外装薄塗材E	・凹凸状	・吹付け・こて塗り	・可とう形外装薄塗材E	・着色骨材砂壁状	・吹付け・こて塗り	・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材C	・吹放し	・凸凹処理	・外装厚塗材S i	・凹凸状	・ひき起し	・複層仕上げ塗材	・複層塗材CE	・吹放し	・凸凹処理	・可とう形複層塗材CE	・吹放し	・凸凹処理																																																																										
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																	
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材S i	・砂壁状	・さざ波状																																																																																																																	
	・可とう形外装薄塗材S i	・ゆず肌状	・吹付け・ローラー塗り																																																																																																																	
	・外装薄塗材E	・凹凸状	・吹付け・こて塗り																																																																																																																	
	・可とう形外装薄塗材E	・着色骨材砂壁状	・吹付け・こて塗り																																																																																																																	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材C	・吹放し	・凸凹処理																																																																																																																	
	・外装厚塗材S i	・凹凸状	・ひき起し																																																																																																																	
・複層仕上げ塗材	・複層塗材CE	・吹放し	・凸凹処理																																																																																																																	
	・可とう形複層塗材CE	・吹放し	・凸凹処理																																																																																																																	
4	5 ポリマーセメントモルタル	(品質、性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による	(4.2.2)	4-3	5 タイルの形状、寸法等	5 タイルの形状、寸法等	(4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> <tr> <td>・玄関</td> <td>・廊下</td> <td>・階段</td> <td>・有</td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td>・無</td> <td>・標準</td> <td>・特注</td> <td>・有</td> <td>・無</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする  試験張り ・行う ・行わない  見本焼き ・行う ・行わない</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用	吸水率による区分			役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考	I	II	III	・玄関	・廊下	・階段	・有	・無	・有	・無	・標準	・特注	・有	・無	4-4	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	4 マスチック塗材塗り	別種 ・A種 ・B種 (4.1.5)(4.7.2)(表4.7.1)																																																																																
施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用	吸水率による区分			役物	色				耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																																							
			I	II	III																																																																																																															
・玄関	・廊下	・階段	・有	・無	・有	・無	・標準	・特注	・有	・無																																																																																																										
4	6 ポリマーセメントスラリー	(品質、試験方法) 試験方法、品質基準(独立行政法人 都市再生機構)による	(4.2.2)	4-3	7 既調合モルタル	7 既調合モルタル	(品質・性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による	4-4	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	7 樹脂製建具	(5.2.2)(5.3.2~5) 性能値等 外部に面する建具の種類 ・A種(建具符号: ※建具表による) ・B種(建具符号: ※建具表による) ・C種(建具符号: ※建具表による) 枠の見込み寸法 ・建具表による																																																																																																									
4-1	1 ひび割れ部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.3.2)(4.3.4) <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0以下</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上)  注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	150~250	130	(4.1.4)(4.2.2)(4.3.3)(4.3.7) ・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	4-1	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	2 欠損部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.3.3)(4.3.7) ・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	4-1	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	2 欠損部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.3.3)(4.3.7) ・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル																																																																																					
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70																																																																																																																	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	150~250	130																																																																																																																	
4-2	1 ひび割れ部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)(4.4.5) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上)  注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8) ・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	4-2	外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	2 欠損部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8) ・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	4-2	外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	2 欠損部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8) ・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル																																																																																					
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70																																																																																																																	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130																																																																																																																	
4-2	2 欠損部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8) ・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8) ・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	4-2	外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	2 欠損部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8) ・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル	4-2	外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	2 欠損部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8) ・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル																																																																																																									

工事名	可見市立東明小学校トイレ大規模改修工事(II期)		
種別	改修工事特記仕様書-3	図面番号	A-03
縮尺	-	作成年月	令和6年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項						
⑤	10 ステンレス製 建具	性能値級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号: ※建具表による) ・ ・S-5(建具符号: ※建具表による) ・ ・S-6(建具符号: ※建具表による) ・	⑤	18 オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・125(1250) ・アルミニウムタイプ ・100(1000) ・ファイバーグラスタイプ ・75(750) ・50(500)	⑥	7 造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.5.2)(表6.5.3、4)						
		防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( )			断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( )			耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( )	3.7.2)(5.13.2~4)	② 既存床の撤去及び下地補修 (6.2.2)	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材	
		ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ			⑨ ガラス			フロート板ガラス 品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	型板ガラス 厚さによる種類 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	③ 既存壁の撤去及び下地補修 (6.3.2)	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
		⑪ 木製建具 [16.7.2~4][表16.7.1~11]			⑩ ガラス			強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	④ 木下地等の表面仕上げ (6.5.1)(表6.5.1、2)	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
		⑫ 建具用金物 (5.7.2、3)			⑪ ガラス			合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	5 製材	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
		金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書 表5.7.1により適用は建具表による			⑫ ガラス			強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑤ 製材	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
		金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5.7.2による			⑬ 鍵			強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑥ 造作用集材	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
		樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5.7.3による			⑭ 自動ドア開閉装置			強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑦ 接着剤	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
		握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※建具表による			⑮ 自重シャッター			強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑧ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
		⑬ 鍵 (5.7.4)			⑯ 自重シャッター			強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑨ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
		マスターキー ・製作する ※製作しない ・既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組			⑰ 重量シャッター			強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑩ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
		鍵箱 ・無 ・有 鋼製 ・10 ・20 ・30 ・60 ・120 ・200本用			⑱ 軽量シャッター			強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑪ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
		⑭ 自動ドア開閉装置 (5.8.2~4)(表5.8.1~6)			⑲ 軽量シャッター			強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑫ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
		引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.5による			⑳ ガラスフロック			強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑬ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
		多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.6による			㉑ ガラス用フィルム			強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑭ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	
引き戸用検出装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.3による	㉒ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑮ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
引き戸用検出装置の種類 ※標準仕様書 表5.8.4による	㉓ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑯ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
戸の開閉方式 ※建具表による	㉔ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑰ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
引き戸用検出装置の種類 ※標準仕様書 表5.8.4による	㉕ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑱ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
凍結防止措置 ・適用する ・適用しない	㉖ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	⑳ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
⑮ 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3、4)(表5.9.1)	㉗ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉑ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
性能値等 ※標準仕様書 表5.9.11による (試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による	㉘ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉒ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
⑯ 重量シャッター (5.10.2~5)(表5.10.1~4)	㉙ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉓ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
シャッターの種類 ・管理用シャッター耐風圧強度 ( ) N/m2 ・外壁用防火シャッター耐風圧強度 ( ) N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター	㉚ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉔ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示	㉛ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉕ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示	㉜ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉖ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※図示 (設置箇所 ※図示)	㉝ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉗ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの ※障害物感知装置(自動閉鎖型)	㉞ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉘ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
管理用シャッターのシャッターケース ※図示 ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12	㉟ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉙ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
⑰ 軽量シャッター (5.11.2~5)(表5.11.1、2)	㊱ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉚ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度 ( ) N/m2 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示	㊲ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉛ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
スラットの材質の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Z06又はF06)	㊳ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉜ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※AZ90)	㊴ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉝ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							
スラットの形状 ・インターロック形 ・オーバーラッピング形	㊵ 改修範囲	強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による	網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による	㉞ 防蟻	6	内装改修工事	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材							

工事名	可見市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
種別	改修工事特記仕様書-4	図面番号	A-04
縮尺	-	作成年月	令和6年10月
設計者氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁		

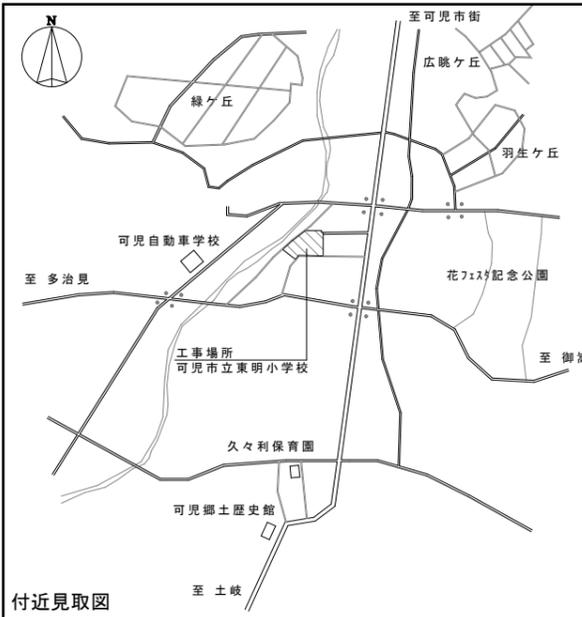


章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																															
⑧	1 フリーアクセスフロア [20.2.2]	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上材</th> </tr> <tr> <td>・置数式 ・支柱調整柱</td> <td>・500×500</td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> <td></td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)～(c)による</p> <p>パネルの長さ ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>パネルの平面形状(角度) ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>フリーアクセスフロアの高さ ※±0.5mm以内</p> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	・置数式 ・支柱調整柱	・500×500	・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット		⑧	8 表示 [20.2.10]	<p>・衝突防止表示 形状・寸法(・30φ・ ) 材質(・ステンレス製・ )</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示 ・適用する(※消防法に適合する市販品・ ) ・適用しない 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※図示 その他の表示 ※図示</p>	⑧	3 グレーチング [21.2.1]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>垂鉛めつき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目 ・普通目 ・細目</td> <td></td> <td>・凹凸形 ・平形</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目 ・普通目 ・細目</td> <td></td> <td>・凹凸形 ・平形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び荷重試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めつき(付着量)	上面形状	・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目		・凹凸形 ・平形	・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目		・凹凸形 ・平形																																																																																																																																																																
		施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材																																																																																																																																																																																																		
		・置数式 ・支柱調整柱	・500×500	・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																																																																																																																																																																																																				
		材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めつき(付着量)	上面形状																																																																																																																																																																																																		
		・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目		・凹凸形 ・平形																																																																																																																																																																																																		
		・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目		・凹凸形 ・平形																																																																																																																																																																																																		
		2 可動間仕切 [20.2.3]	<table border="1"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性(dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>・メタリン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具・あり(※図示・ )・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としては、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512によるF☆☆☆☆以上</p>	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・メタリン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃		9 煙突ライニング [20.2.11]	<p>煙突用成形ライニング材 種類・ソノトライト系けい酸カルシウムライニング材 適用安全使用温度(上限温度)・400℃・650℃ 適用安全使用温度(下限温度) (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃の場合) 品質・性能及び試験方法 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃以外の場合) 品質・性能等</p>			10 ブラインド [20.2.12]			<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>行幅(mm)</th> <th>ボウ・レドの材質</th> <th>幅・高さ</th> </tr> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする。</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	行幅(mm)	ボウ・レドの材質	幅・高さ	・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示	・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示	11 ロールスクリーン [20.2.13]	<p>操作方式・スプリング式・コード式・電動式 幅・高さ ※図示 材質・ガラス繊維製・合成・天然繊維製・木製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による</p>	12 カーテン [20.2.14]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ・手引き ・電動</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>(省略)</td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする。 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・手引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(省略)	13 カーテンレール [20.2.14]	<p>材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成型材 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p>	14 ブラインドボックス及びカーテンボックス [20.2.14]	<p>溝型×深さ(mm) ・150×80 ・120×80 ・120×150 ・180×150 図示 材質 ・集成材(仕上げ) ・アルミニウム製 押し出し型材(市販品) 表面処理 種別(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 色合い ・鋼製(仕上げ)</p>	15 天井点検口 [20.2.14]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製</td> <td>○450×450 ○600×600</td> <td>○一般形 ○気密形</td> <td>○屋内外用 ○屋内用</td> <td>○縦線タイプ ○目地タイプ</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	寸法	形式	外枠	内枠	○アルミニウム製	○450×450 ○600×600	○一般形 ○気密形	○屋内外用 ○屋内用	○縦線タイプ ○目地タイプ	16 床点検口 [20.2.14]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き	17 止水板 [20.2.10]	<p>形状・差込式・据置式・壁張り式 施工箇所 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> <td>・50・100 ・150</td> <td>・有り( ) ・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>外部は防水型とする</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製</td> <td>・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table>	材質	寸法(mm)	耐火性能	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50・100 ・150	・有り( ) ・無し		材質	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金		18 エキスパンションジョイント金物 [20.2.11]	<p>品質・性能 (1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 (2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示</p>	19 くつふきマット [20.2.11]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・カーバー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	形式	材質	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・カーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		20 流し台ユニット [20.2.11]	<p>品質・性能 (1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 (2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示</p>	21 旗竿 [20.2.11]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ(mm)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・カーバー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材質	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・カーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		22 旗竿受金物 [20.2.11]	<p>材質・ステンレス製(SUS304)</p>	23 車止めさく [20.2.11]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>標準品</th> <th>材質</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖内蔵式 ・スプリング式</td> <td>・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	形式	標準品	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖内蔵式 ・スプリング式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製			24 プレキャストコンクリート [20.3.3、4]	<p>コンクリートの設計基準強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 ※図示</p>	25 間知石及びコンクリート間知ブロック積み [20.4.2、3]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石 ・コンクリート間知ブロック</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・</td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み・布積み 目塗り・図示 伸縮調整目地 材質 ※図示 厚さ ※図示</p>	材質	種類	種類	質量区分	備考	・間知石 ・コンクリート間知ブロック	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・A ・B		26 屋外雨水排水 [21.2.1、2][表21.2.1、2]	<p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>外圧管(1種) ・VP ・VU ・RS-VU</td> <td>・B形管</td> <td>・図示 ・図示 ・図示</td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ※図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側溝の形状及び寸法 ※図示 排水溝の種類 ※図示 砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラングG 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※S0295A 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※S0295A 現場打ちの場合の足掛け金物 ※標準仕様書21.2.2(6)(f) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p>	材質	種類・記号	形状	呼び径	・遠心力鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管	外圧管(1種) ・VP ・VU ・RS-VU	・B形管	・図示 ・図示 ・図示	27 1 路床 [22.2.2、3、5][表22.2.1]	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土 ・凍上抑制層 ・フィルター層</td> <td>・A種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラング ・クラッシュラング ・切込み砂利 ・砂</td> <td>※図示 設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup> ※図示 ※図示</td> </tr> </table> <p>・路床安定処理 安定処理の方法 ・置換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種G ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/m<sup>3</sup>(目標CBR・3以上 ) ・ポオキスタイル 単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10<sup>-6</sup>cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(SBR)試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土 ・凍上抑制層 ・フィルター層	・A種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラング ・クラッシュラング ・切込み砂利 ・砂	※図示 設計基準強度 ※18N/mm <sup>2</sup> ※図示 ※図示	28 2 路盤 [22.2.2、3、5][表22.3.1]	<p>路盤の厚さ ※図示 路盤材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>・クラッシュラング ・粒度調整砕石 ・再生材 ・クラッシュラングG ・粒度調整砕石G ・クラッシュラング鉄筋スラグG ・粒度調整鉄筋スラグG ・水硬性粒度調整鉄筋スラグG</td> <td></td> </tr> </table>	種類	種類	・クラッシュラング ・粒度調整砕石 ・再生材 ・クラッシュラングG ・粒度調整砕石G ・クラッシュラング鉄筋スラグG ・粒度調整鉄筋スラグG ・水硬性粒度調整鉄筋スラグG		29 3 アスファルト舗装 [22.4.2~6][表 22.4.4]	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルトG(・60~80 ・80~100 ) ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材G</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13F) ・密粒度アスファルト混合物(13F)</p> <p>シールコートの乳剤の種類 ・PK-1 ・PK-2 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	30 3 0 その他(舗装工事)	<table border="1"> <tr> <th>工事名</th> <td colspan="3">可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)</td> </tr> <tr> <th>種別</th> <td>改修工事特記仕様書-6</td> <td>図面番号</td> <td>A-06</td> </tr> <tr> <th>縮尺</th> <td>-</td> <td>作成年月</td> <td>令和6年10月</td> </tr> <tr> <th>設計者</th> <td colspan="3">株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁</td> </tr> <tr> <th>氏名印</th> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)			種別	改修工事特記仕様書-6	図面番号	A-06	縮尺	-	作成年月	令和6年10月	設計者	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁
構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能																																																																																																																																																																																																						
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・メタリン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																																																																																																																																																																																							
形式	操作方法	種類	スラットの材質	行幅(mm)	ボウ・レドの材質	幅・高さ																																																																																																																																																																																																				
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示																																																																																																																																																																																																				
・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示																																																																																																																																																																																																				
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																					
・シングル ・ダブル	・片引き ・手引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(省略)																																																																																																																																																																																																					
材質	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																																						
○アルミニウム製	○450×450 ○600×600	○一般形 ○気密形	○屋内外用 ○屋内用	○縦線タイプ ○目地タイプ																																																																																																																																																																																																						
材質	寸法	形式	備考																																																																																																																																																																																																							
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き																																																																																																																																																																																																							
材質	寸法(mm)	耐火性能	備考																																																																																																																																																																																																							
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50・100 ・150	・有り( ) ・無し																																																																																																																																																																																																								
材質	受け枠	備考																																																																																																																																																																																																								
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金																																																																																																																																																																																																									
形式	材質	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																					
・アルミニウム合金製	・カーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																																						
材質	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																					
・アルミニウム合金製	・カーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																																						
形式	標準品	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																																																																																																																						
・上下式鎖内蔵式 ・スプリング式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製																																																																																																																																																																																																								
材質	種類	種類	質量区分	備考																																																																																																																																																																																																						
・間知石 ・コンクリート間知ブロック	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・A ・B																																																																																																																																																																																																							
材質	種類・記号	形状	呼び径																																																																																																																																																																																																							
・遠心力鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管	外圧管(1種) ・VP ・VU ・RS-VU	・B形管	・図示 ・図示 ・図示																																																																																																																																																																																																							
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																								
・盛土 ・凍上抑制層 ・フィルター層	・A種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラング ・クラッシュラング ・切込み砂利 ・砂	※図示 設計基準強度 ※18N/mm <sup>2</sup> ※図示 ※図示																																																																																																																																																																																																								
種類	種類																																																																																																																																																																																																									
・クラッシュラング ・粒度調整砕石 ・再生材 ・クラッシュラングG ・粒度調整砕石G ・クラッシュラング鉄筋スラグG ・粒度調整鉄筋スラグG ・水硬性粒度調整鉄筋スラグG																																																																																																																																																																																																										
工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)																																																																																																																																																																																																									
種別	改修工事特記仕様書-6	図面番号	A-06																																																																																																																																																																																																							
縮尺	-	作成年月	令和6年10月																																																																																																																																																																																																							
設計者	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁																																																																																																																																																																																																									
氏名印																																																																																																																																																																																																										

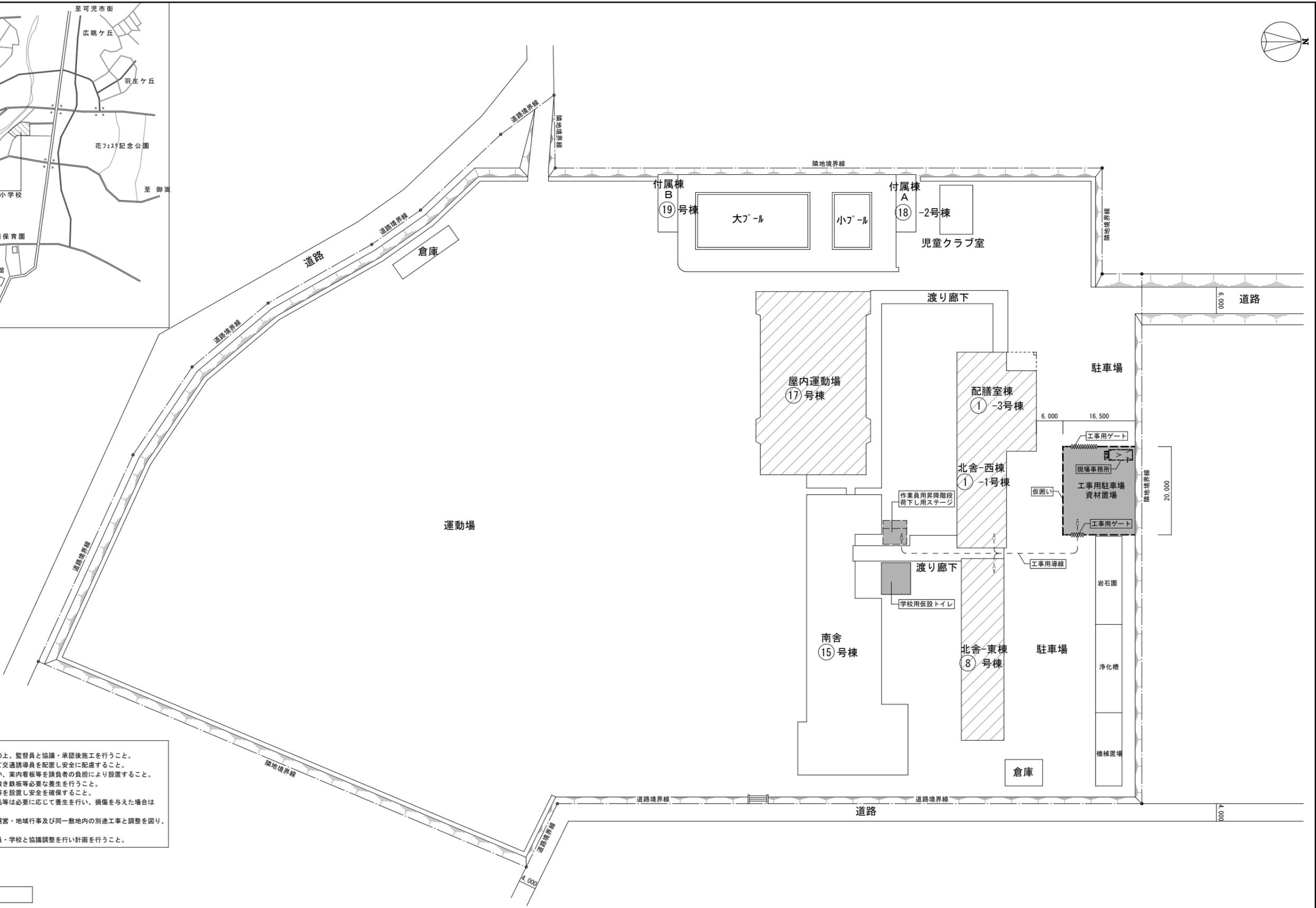
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																														
12	石綿含有建材の除去工事	<p>施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲 (○ 内部改修範囲 ・ 図示 ) 貸与資料 ( なし )</p> <p>・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示 ・</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 4</td> <td></td> <td>セキュリティーゾーン入口</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速 1m/s以下の位置 計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 6</td> <td></td> <td>処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 9</td> <td>1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 4</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JIS K 3850-11に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ 直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示 ・ 除去工法 ※9.1.3 (2) (7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・ 固形化</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ・ 図示 ・ 除去工法 ・ 破砕して除去 ・ 手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○石綿含有成型板の除去 除去対象範囲 ・ 図示 ・ 除去した石綿含有成型板の処分 ・石綿含有せつこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ○石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成型板 ○埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○ 図示 ・</p>	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4				・箇所数( )	・箇所数( )				・箇所数( )	・箇所数( )				・箇所数( )	・箇所数( )				・箇所数( )	・箇所数( )			適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)		測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点		測定 2		調査対象室外部の付近	計 点		測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点		測定 4		セキュリティーゾーン入口	計 点		測定 5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/s以下の位置 計 点		測定 6		処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界			測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点		測定 8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点		測定 9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点	測定名称	測定方法	測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	測定 4	25	5	30	測定 5				・	47	10	120	・	47	10	240	・				2	断熱アスファルト防水改修工事	改修特記仕様書3章による	2	透水性アスファルト舗装改修工事	<p>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示 ・</p> <p>路床 路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュチャラン [G] ・ クラッシュチャラン ・ 切込み砂利</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ・ 適用する ・ 適用しない 路床安定処理の方法 ・ 添加材料による安定処理 ・ ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [D] ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 ( ・ 特号 ・ 1号 ) ・ 消石灰 ( ・ 特号 ・ 1号 ) ・ 添加量 ・ kg (目標 CBR ・ 3以上 ・ ) 目標 CBR を満足する添加量の確認方法 ・ 安定処理土の CBR 試験 ・</p> <p>・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ 厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 ・ 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ 透水係数 ・ 1.5×10<sup>-2</sup>cm/sec以上 ・</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床工の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない 現場 CBR 試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路盤 路盤の厚さ ・ 図示 ・ 路盤材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砕石</td> <td>・クラッシュチャラン ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・クラッシュチャラン [G] ・粒度調整砕石 [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・クラッシュチャラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> </tbody> </table> <p>舗装の構成 ・ 図示 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの ・</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュチャラン [G] ・ クラッシュチャラン ・ 切込み砂利	・ 図示	・フィルター層	・ 砂	・ 図示	種 類		砕石	・クラッシュチャラン ・粒度調整砕石	再生材	・クラッシュチャラン [G] ・粒度調整砕石 [G]		・クラッシュチャラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]	3	外断熱改修工事	<p>断熱材 断熱材の種類 ・ 断熱材の厚さ (mm) ・ 施工箇所 ・ 図示 ・ ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・ 鋼材による</p> <p>笠木 改修特記仕様書第3章 ・ アルミニウム製笠木による</p> <p>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による ・</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ 通気層の有無 ・ あり ( mm ) ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示 ・ 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による</p>	種類	防火性能	備考				6	ガラス改修工事	<p>複層ガラス 材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・ 建具表による 断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S 乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン</p> <p>上記以外は、改修特記仕様書5章 建具改修工事による</p>	4	断熱・防露改修工事	<p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づき发泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工箇所 ・ ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種 1 ・ A種 1H ・ 吹き付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示 ・ (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p>	5	屋上緑化改修工事	<p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示 ・ (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する (種類 ・ ) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年 ・</p>
材 料 名	定性分析方法			定量分析方法																																																																																																																																																					
	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4																																																																																																																																																							
	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																																							
	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																																							
	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																																							
	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																																							
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																																					
	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																					
	測定 2		調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																					
	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																					
	測定 4		セキュリティーゾーン入口	計 点																																																																																																																																																					
	測定 5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/s以下の位置 計 点																																																																																																																																																					
	測定 6		処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界																																																																																																																																																						
	測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																					
	測定 8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																					
	測定 9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																					
測定名称	測定方法																																																																																																																																																								
測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																								
測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																						
測定 4	25	5	30																																																																																																																																																						
測定 5																																																																																																																																																									
・	47	10	120																																																																																																																																																						
・	47	10	240																																																																																																																																																						
・																																																																																																																																																									
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																																							
・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示																																																																																																																																																							
・凍上抑制層	・再生クラッシュチャラン [G] ・ クラッシュチャラン ・ 切込み砂利	・ 図示																																																																																																																																																							
・フィルター層	・ 砂	・ 図示																																																																																																																																																							
種 類																																																																																																																																																									
砕石	・クラッシュチャラン ・粒度調整砕石																																																																																																																																																								
再生材	・クラッシュチャラン [G] ・粒度調整砕石 [G]																																																																																																																																																								
	・クラッシュチャラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																								
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																							

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事 (Ⅱ期)		
種 別	改修工事特記仕様書-7	図面番号	A-07
縮 尺	-	作成年月	令和 6 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		





付近見取図



- 特記事項
- ※ 仮設物の設置に先立ち、仮設計画提出の上、監督員と協議・承認後施工を行うこと。
  - ※ 工事用大型車両の出入り等必要に応じて交通誘導員を配置し安全に配慮すること。
  - ※ 工事中必要な場合は監督員の指示に従い、案内看板等を請負者の負担により設置すること。
  - ※ 監督員と協議の上、マンホール等には敷き鉄板等必要な養生を行うこと。
  - ※ 工事進捗状況に合わせ簡易バリケード等を設置し安全を確保すること。
  - ※ 工事範囲内に存する既設仕上面及び備品等は必要に応じて養生を行い、損傷を与えた場合は請負者の負担にて現況復旧を行うこと。
  - ※ 仮設計画・工程計画等については学校運営・地域行事及び同一敷地内の別途工事と調整を図り、円滑に工事を進めること。
  - ※ 作業日時・工事導線等については監督員・学校と協議調整を行い計画を行うこと。

配置図 S=1/600

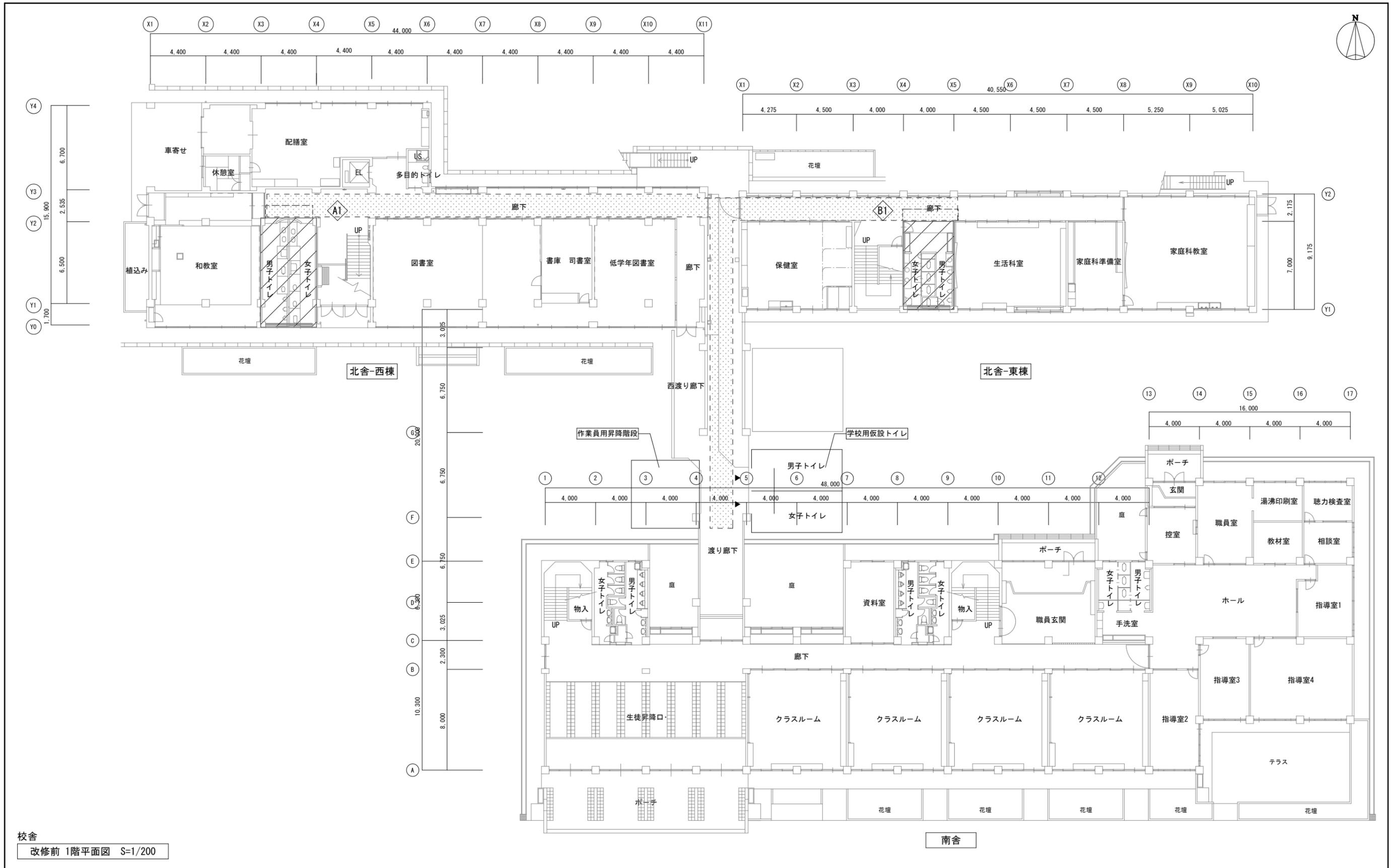
凡例		工事用ゲート	
	工事対象建物を示す		工事用ゲート キャスターゲート W=6000/3000×H=1800
			仮囲い 成形鋼板 H=2000

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	付近見取図 配置図兼仮設計画図	図面番号	A-09
縮尺	1/600	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁		



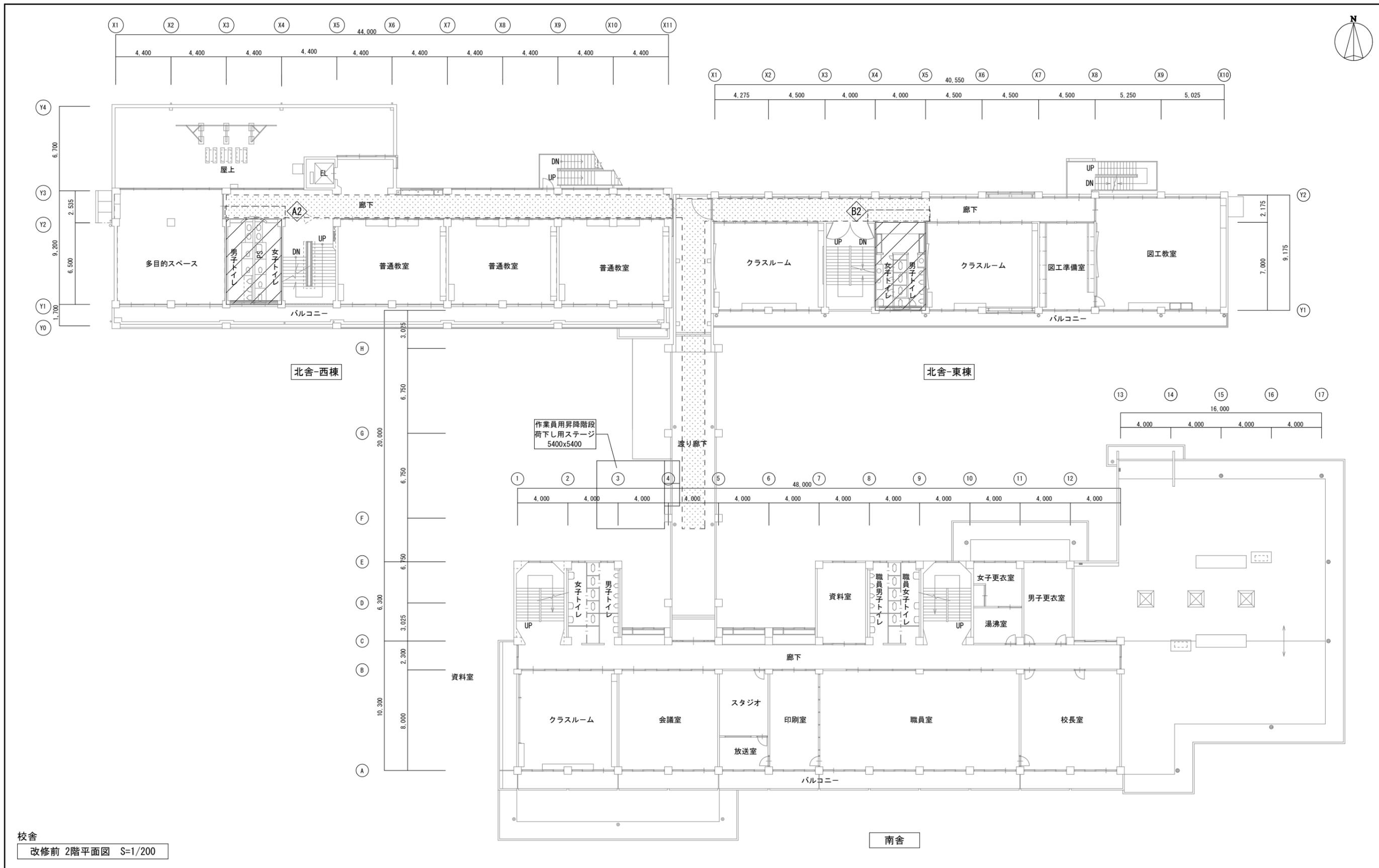
内部仕上表-2																						
場所	種別	室名	床高 (各FL±0)	天井高 (各床面±0)	床			巾木			腰壁			上部壁			天井			廻縁		備考
					改修概要	仕上	既設	改修概要	仕上	既設	改修概要	仕上	既設	改修概要	仕上	既設	改修概要	仕上	既設	改修概要	仕上	
北舎-東棟 2・3階 (改修B2・B3)	現況	男子トイレ	±0	2800	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 現況のまま	MにてFS	全面撤去 一部撤去 現況のまま	---	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 現況のまま	GB-R12.5 MF3.0	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 現況のまま	GB-R12.5 RE	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 現況のまま	GB-D9.5	●全面撤去 一部撤去 現況のまま	塩ビ製						
	改修	女子トイレ	±0	2400	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 新設 塗装改修	MにてFS 既設M下地FS	全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	ソフト巾木 H=60	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	GB-R12.5 化粧FK6.0	下地とも 全面復旧 仕上のみ 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	FK6.0 NAD	●全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	塩ビ製	室名札					
	現況	女子トイレ	±0	2800	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 現況のまま	MにてFS	全面撤去 一部撤去 現況のまま	---	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 現況のまま	GB-R12.5 MF3.0	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 現況のまま	GB-R12.5 RE	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 現況のまま	GB-D9.5	●全面撤去 一部撤去 現況のまま	塩ビ製						
	改修	男子トイレ	±0	2400	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 新設 塗装改修	既設M下地FS 小便器前：汚濁タイル t=6.0	全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	ソフト巾木 H=60	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	GB-R12.5 化粧FK6.0	下地とも 全面復旧 仕上のみ 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	FK6.0 NAD	●全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	塩ビ製	室名札					
屋内運動場 (改修G)	現況	男子トイレ	-50	2450	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	M MT	全面撤去 一部撤去 現況のまま	---	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	M 100T	下地とも 全面撤去 仕上のみ 一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	FK6.0 VE	●全面撤去 一部撤去 現況のまま	塩ビ製						
	現況	踏込	±0	2400	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	MにてFS	全面撤去 一部撤去 現況のまま	木製 H=100 SOP	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	合板 t=5.5 SOP	下地とも 全面撤去 仕上のみ 一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	GB-D9.5	●全面撤去 一部撤去 現況のまま	塩ビ製						
	改修	男子トイレ	±0	2400	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	CにてFS 小便器前：汚濁タイル t=6.0	全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	ソフト巾木 H=60	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	GB-R12.5 2重張り 化粧FK6.0 GB-R12.5 化粧FK6.0 化粧FK6.0 直張り	下地とも 全面復旧 仕上のみ 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	FK6.0 NAD	●全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	塩ビ製	室名札、室名表示					
	現況	女子トイレ	-50	2450	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	M MT	全面撤去 一部撤去 現況のまま	---	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	M 100T	下地とも 全面撤去 仕上のみ 一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	FK6.0 VE	●全面撤去 一部撤去 現況のまま	塩ビ製						
	現況	踏込	±0	2400	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	MにてFS	全面撤去 一部撤去 現況のまま	木製 H=100 SOP	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	合板 t=5.5 SOP	下地とも 全面撤去 仕上のみ 一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	GB-D9.5	●全面撤去 一部撤去 現況のまま	塩ビ製						
	改修	女子トイレ	±0	2400	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	CにてFS	全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	ソフト巾木 H=60	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	GB-R12.5 2重張り 化粧FK6.0 GB-R12.5 化粧FK6.0 化粧FK6.0 直張り	下地とも 全面復旧 仕上のみ 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	FK6.0 NAD	●全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	塩ビ製	室名札					
	現況	更衣室	±0	2400	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	MにてFS	全面撤去 一部撤去 現況のまま	木製 H=100 SOP	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	合板 t=5.5 SOP	下地とも 全面撤去 仕上のみ 一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	GB-D9.5	●全面撤去 一部撤去 現況のまま	塩ビ製						
	改修	多目的トイレ	±0	2400	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	CにてFS	全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	ソフト巾木 H=60	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	GB-R12.5 2重張り 化粧FK6.0 GB-R12.5 化粧FK6.0	下地とも 全面復旧 仕上のみ 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	FK6.0 NAD	●全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	塩ビ製	室名札					
改修	更衣室	±0	2400	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	---	全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	木製 H=100 SOP	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	シナ合板 t=5.5 SOP 既設合板SOP塗替え	下地とも 全面復旧 仕上のみ 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	GB-D9.5	●全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	塩ビ製	室名表示						
現況	ホール・廊下	±0	2400	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	MにてFS	全面撤去 一部撤去 現況のまま	木製 H=100 SOP	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	合板 t=5.5 SOP	下地とも 全面撤去 仕上のみ 一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	GB-D9.5	●全面撤去 一部撤去 現況のまま	塩ビ製							
改修	ホール・廊下	±0	2400	●下地とも●全面撤去 ●仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	---	全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	木製 H=100 SOP	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 ●新設 ●新設 塗装改修	シナ合板 t=5.5 SOP 既設合板SOP塗替え	下地とも 全面復旧 仕上のみ 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	←	●下地とも●全面撤去 仕上のみ一部撤去 新設 ●新設 塗装改修	GB-D9.5	●全面復旧 一部復旧 新設 ●新設 塗装改修	塩ビ製							

仕上略号表										仕上略号表									
M	モルタル塗り	シナ合板 t=00	シナ合板 II類 (OO: 数字は厚みを表す)	GB-R00	石膏ボード (OO: 数字は厚みを表す)	SOP	合成樹脂ペイント塗り	仕上名称	下縁表記のある建材は石綿含有建材を示す (レベル3)	工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事 (II期)								
Mにて	モルタル塗り 金ごて押え	FR	複合フローリング t=12.0 塗装品 直張り (表層: なら単板 t=2.0)	GB-S00	耐水石膏ボード (OO: 数字は厚みを表す)	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	種別	内部仕上表-2	図面番号	A-11								
C放	コンクリート打放し補修	FS	複層ビニル床シート t=2.0 (抗菌性・重歩行) フックス不要品	GB-H00	普通硬質石膏ボード (OO: 数字は厚みを表す)	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	縮尺	-	作成年月	令和 6 年 10 月								
Cにて	コンクリート面 金ごて仕上	FS (防滑)	複層ビニル床シート t=2.5 (凹凸・耐候性・抗菌性・重歩行) フックス不要品	GB-F00	強化石膏ボード (OO: 数字は厚みを表す)	WP	木材保護着色塗料塗り	設計者	株式会社 廣建築設備設計										
調整コンクリート	レベル調整用コンクリート 24N-15-15	MFOO	メラミン不燻化粧板 (OO: 数字は厚みを表す) (※セラール 同等品)	GB-P00	化粧石膏ボード (OO: 数字は厚みを表す)	UC	1液形ポリウレタン樹脂ニス 3回塗り	氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁										
MT	I類 モザイクタイル張り	FKOO	繊維混入けい酸カルシウム板 (OO: 数字は厚みを表す)	GB-P00	化粧吸音石膏ボード (OO: 数字は厚みを表す)	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り												
100T	II類 100角タイル張り	化粧FKOO	化粧繊維混入けい酸カルシウム板 (OO: 数字は厚みを表す)	GB-HcOO	化粧調湿石膏ボード (OO: 数字は厚みを表す)	DP	調湿構造用耐候性塗料 3種 (ポリウレタン樹脂系)												



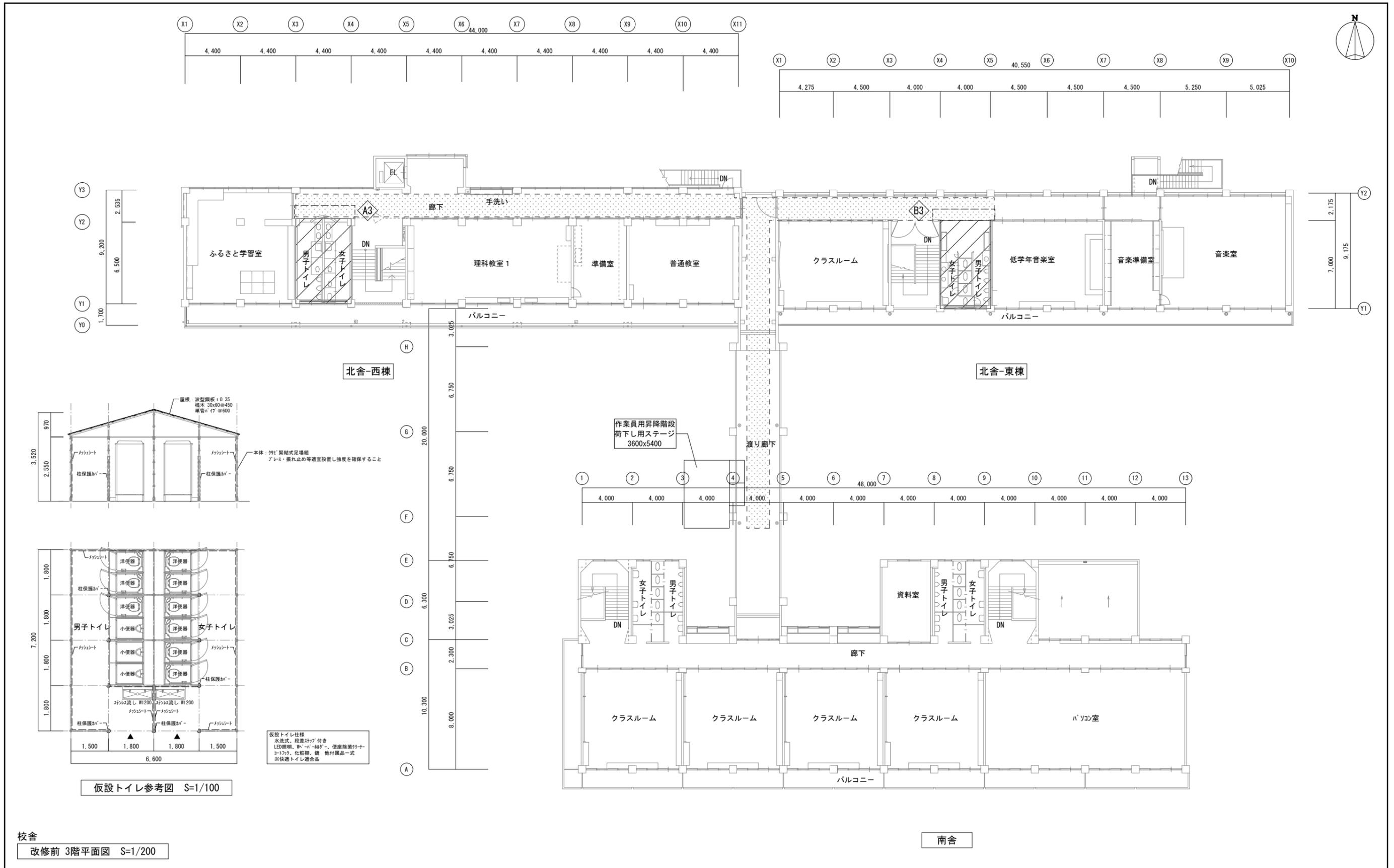
校舎  
改修前 1階平面図 S=1/200

凡例		工事名	
	工事番号を示す	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)	
	工事範囲を示す	種別	改修前 1階平面図・仮設計画図
		図面番号	A-12
		縮尺	1/200
		作成年月	令和6年10月
		設計者	株式会社 廣建築設備設計
		氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁



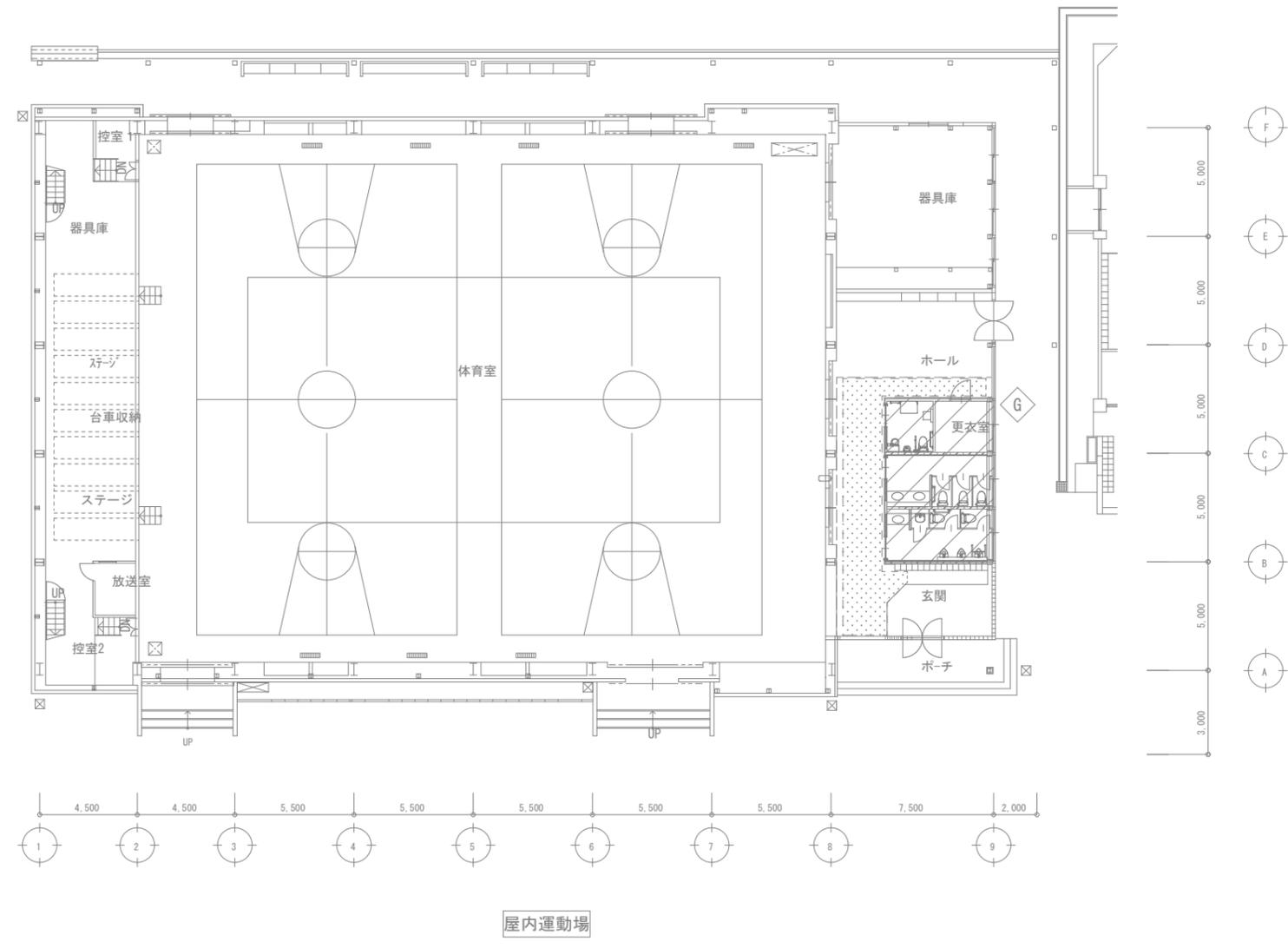
校舎  
改修前 2階平面図 S=1/200

凡例				工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
	工事番号を示す		工事用通路養生 ベニヤシート程度	種別	改修前 2階平面図・仮設計画図	図面番号	A-13
	工事範囲を示す		仮間仕切・壁養生 ビニルシート張り程度	縮尺	1/200	作成年月	令和6年10月
			サッシ養生 ベニヤ張り程度	設計者	株式会社 廣建築設備設計		
				氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



校舎  
改修前 3階平面図 S=1/200

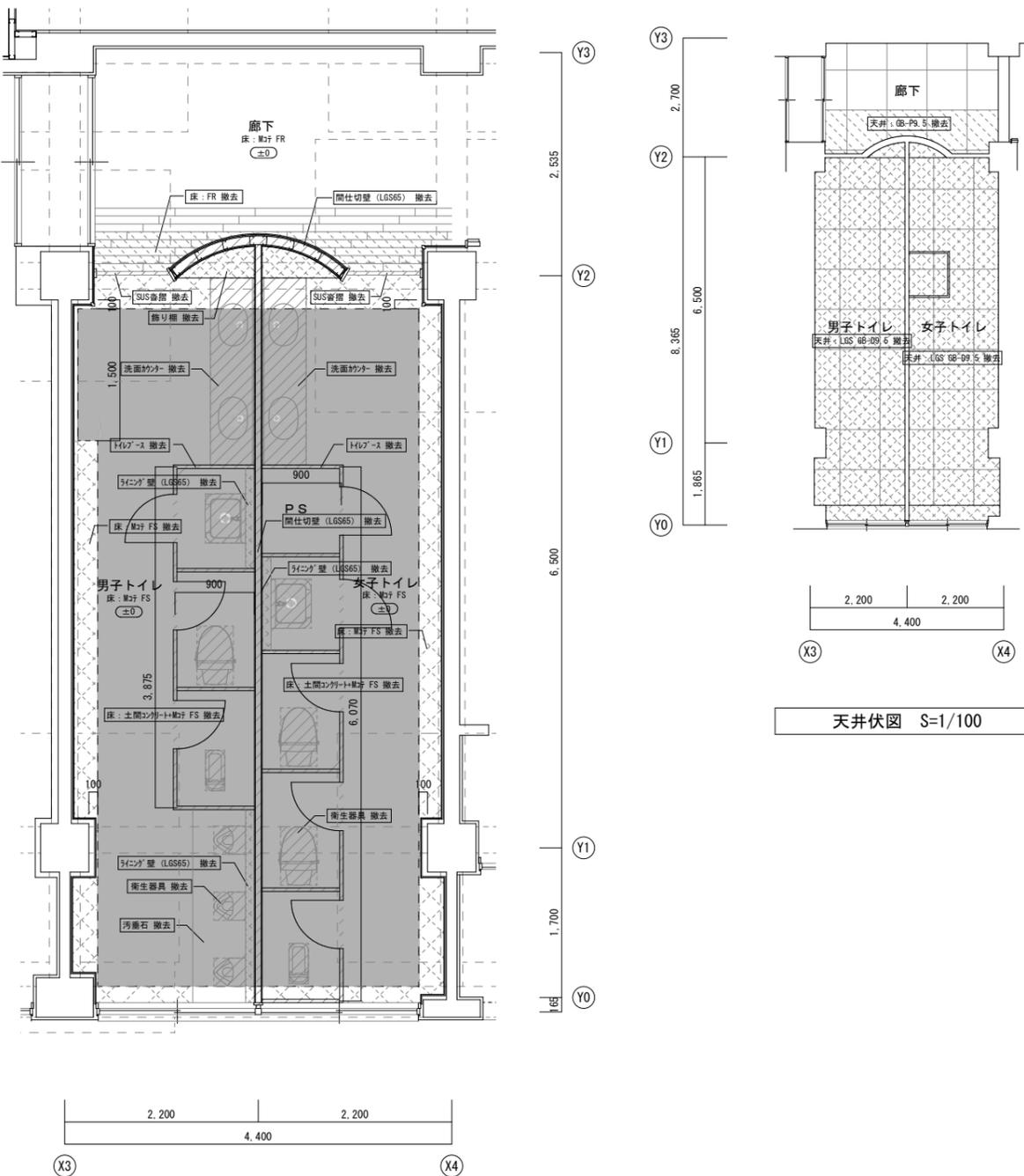
凡例		工事名	
	工事番号を示す	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	
	工事範囲を示す	種別	改修前 3階平面図・仮設計画図
		図面番号	A-14
		縮尺	1/200
		作成年月	令和6年10月
		設計者	株式会社 廣建築設備設計
		氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁



屋内運動場

凡例			
	工事番号を示す		工事用通路養生 ベニア+シート程度
	工事範囲を示す		仮間仕切・壁養生 ビニルシート張り程度
			サッシ養生 ベニア張り程度

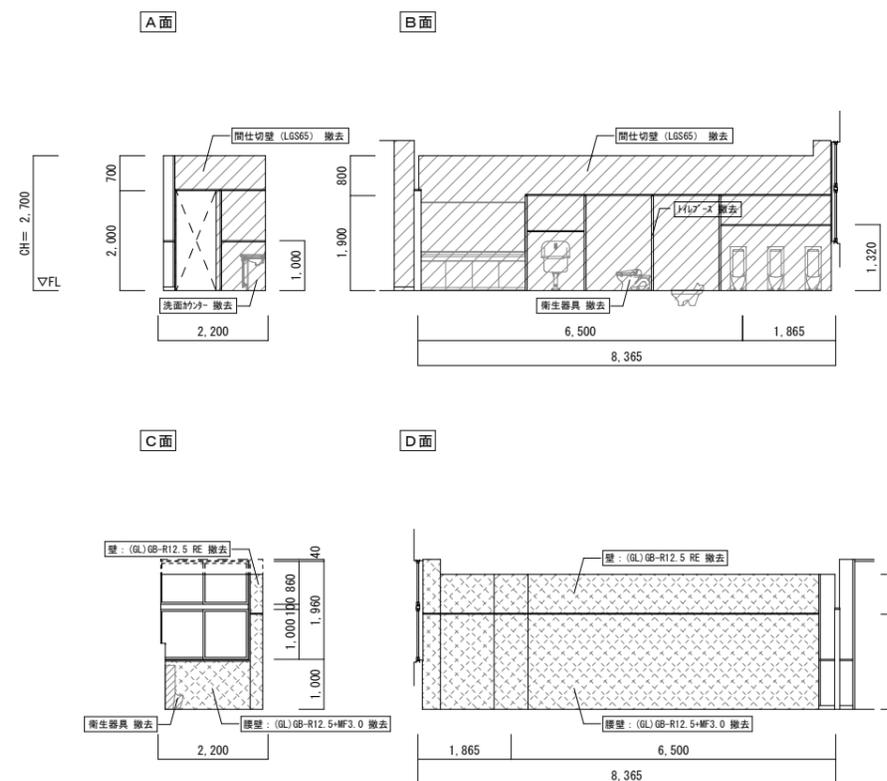
工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
種別	改修前 屋内運動場 平面図・仮設計画図	図面番号	A-15
縮尺	1/200	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		



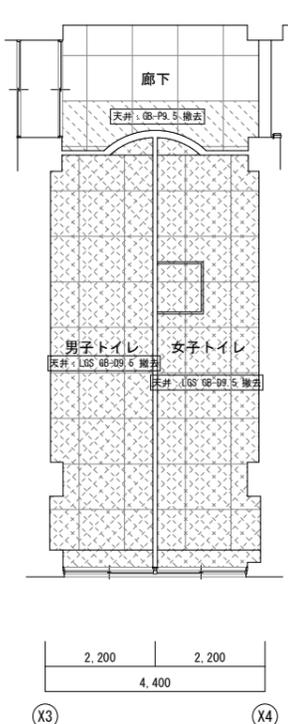
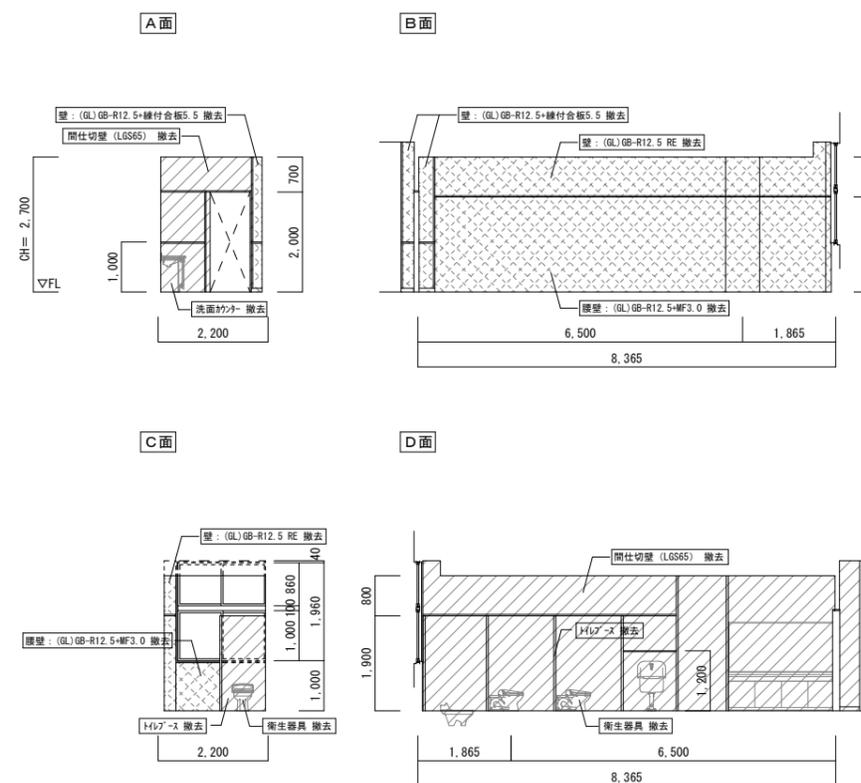
平面詳細図 S=1/50



展開図 男子トイレ



女子トイレ



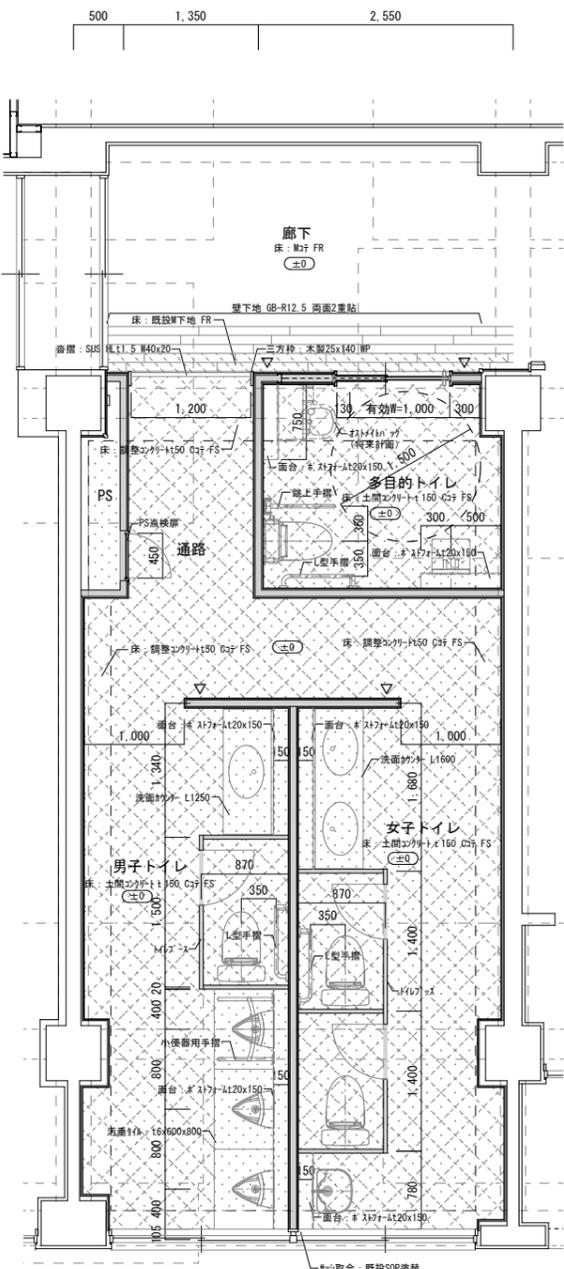
天井伏図 S=1/100

凡例

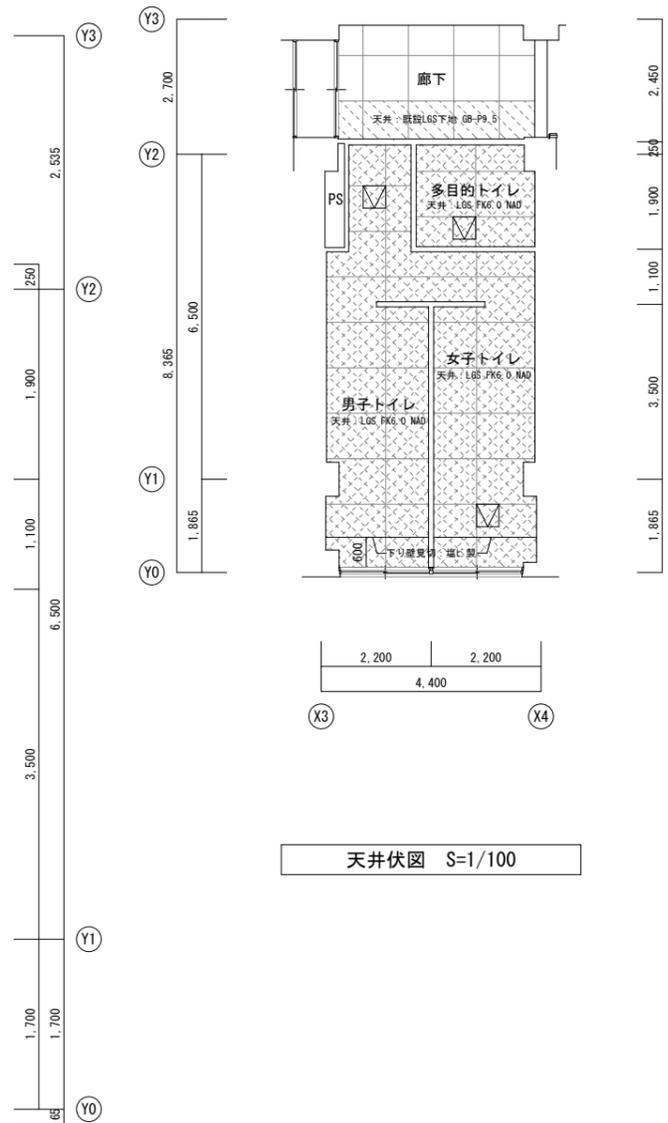
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等
	(現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品		(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品
	(現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共
			(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
種別	改修前 平面詳細図・展開図 北舎-西棟 1階 男女トイレ	図面番号	A-16
縮尺	1/50, 100	作成年月	令和 6 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		

±0 床高を示す(基準:各階F.L.)  
※特記なき床高はF.L.±0

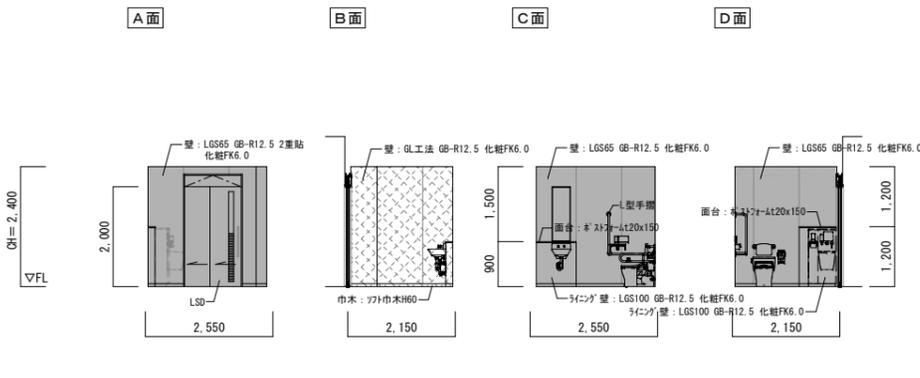


平面詳細図 S=1/50

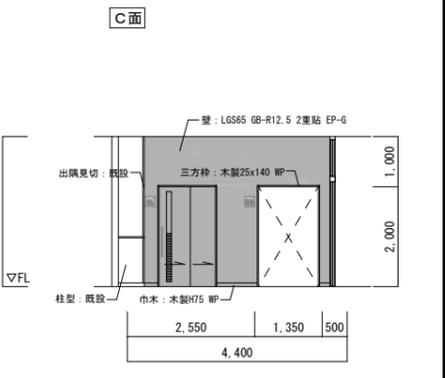


天井伏図 S=1/100

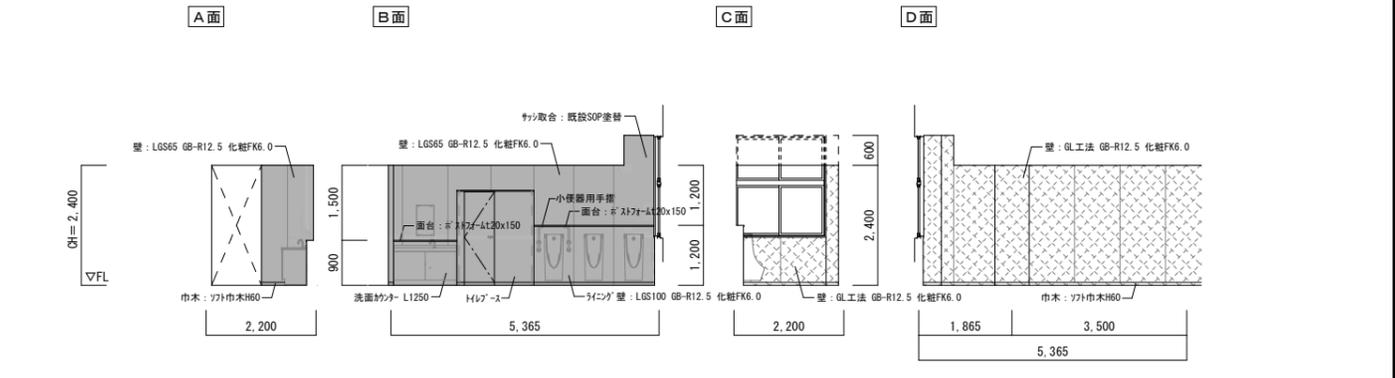
展開図 多目的トイレ



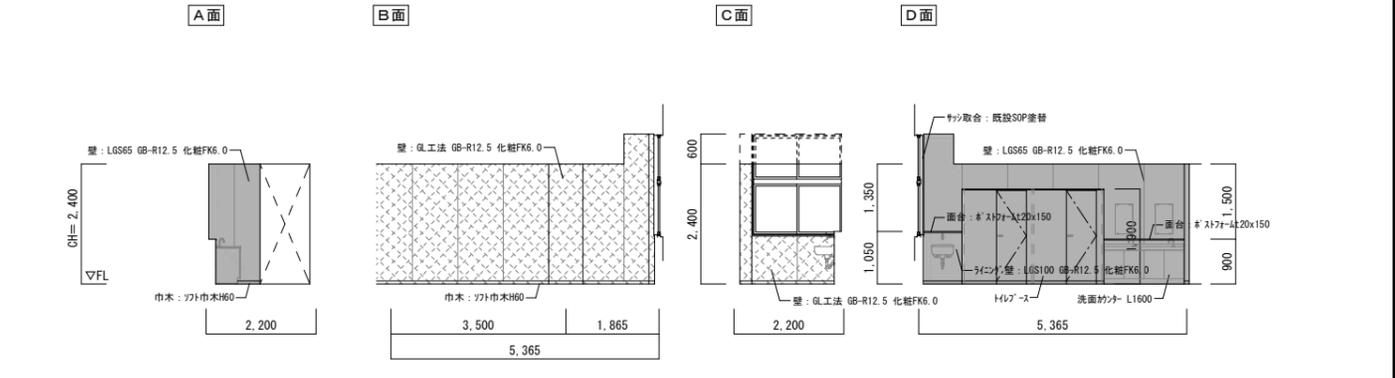
廊下 S=1/100



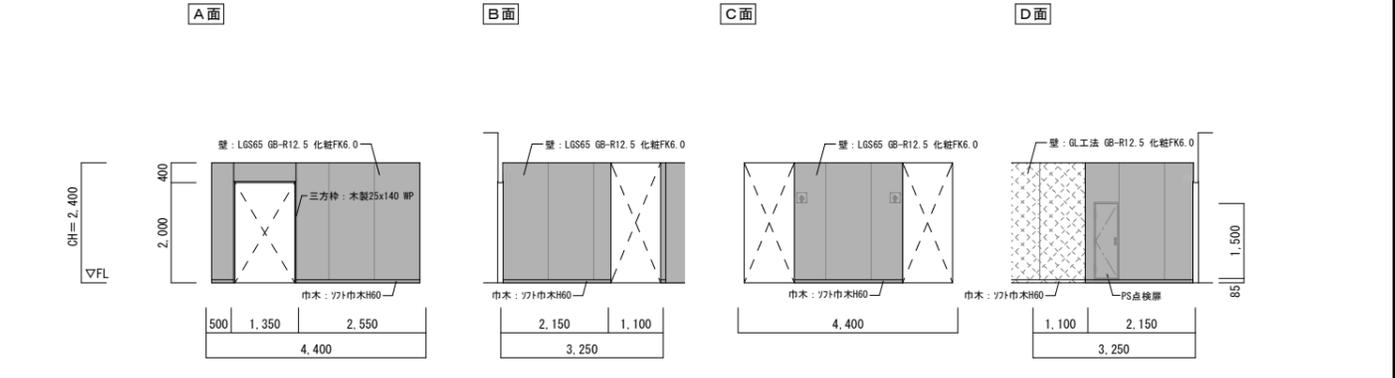
男子トイレ



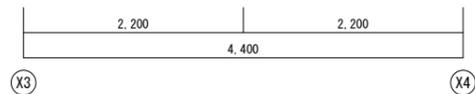
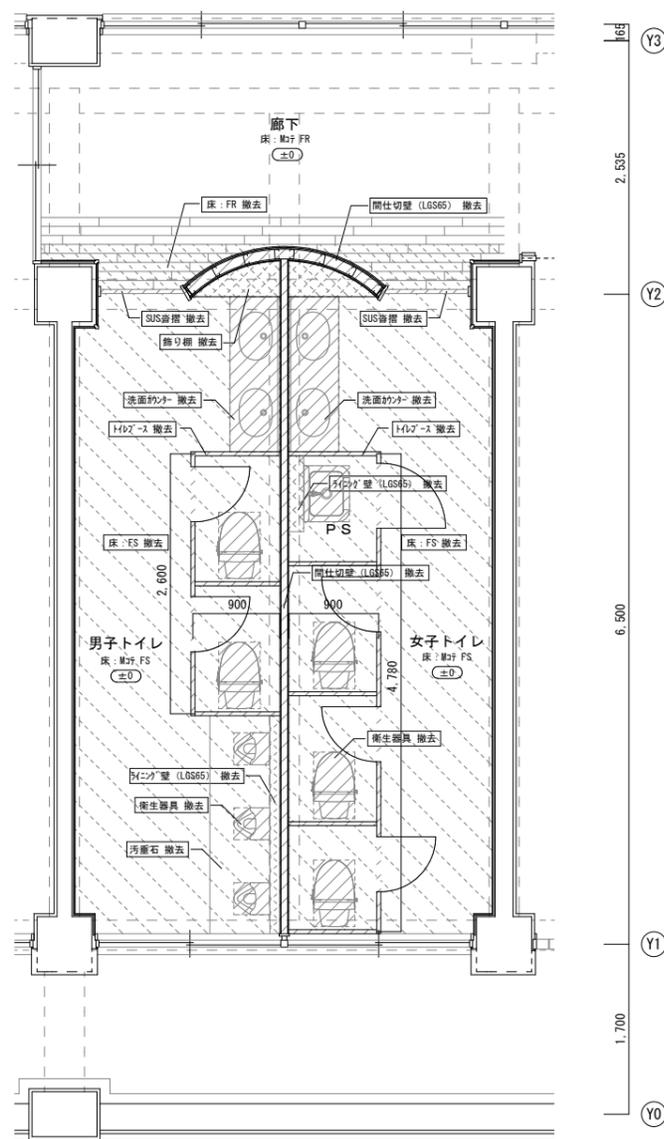
女子トイレ



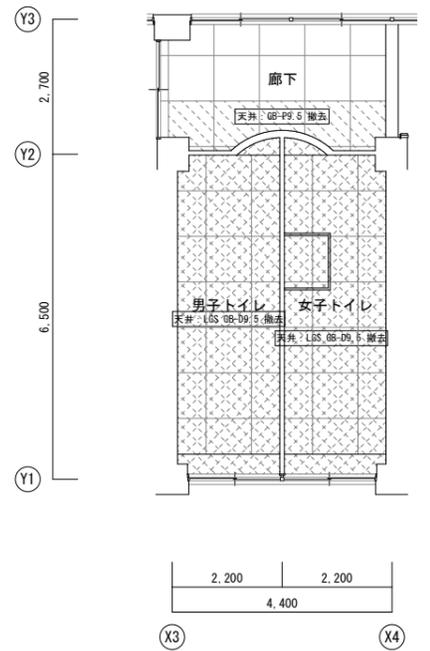
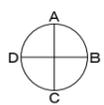
通路



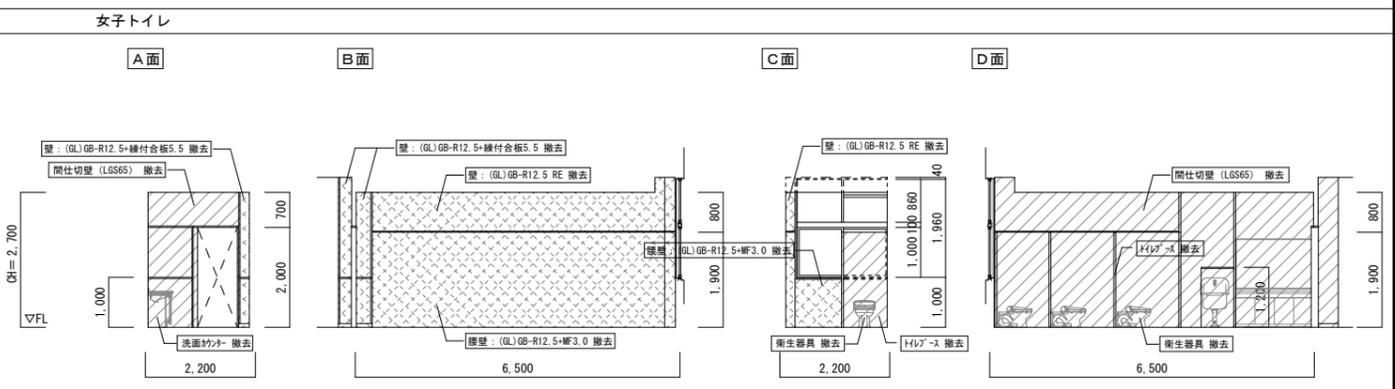
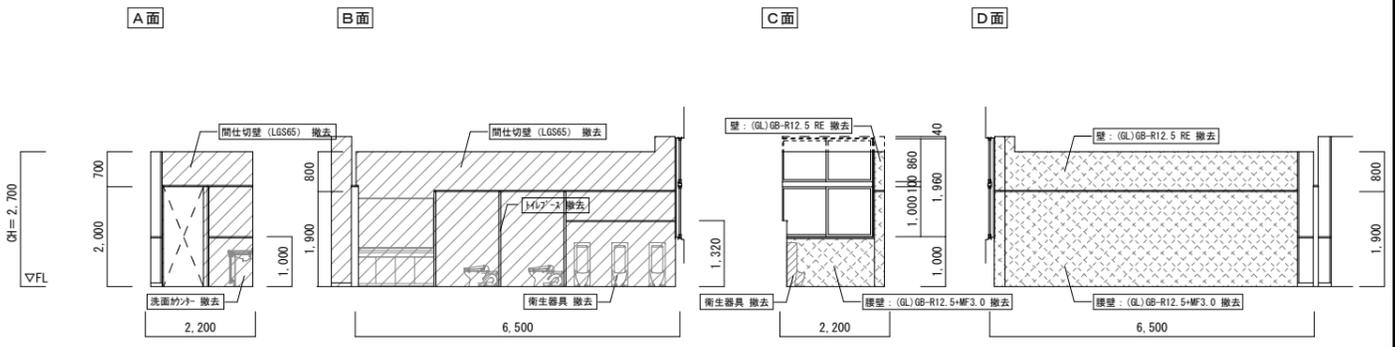
<p>凡例</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切り壁・建具設置等</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ</p>		<p>▼</p> <p>▼</p> <p>◇</p>	<p>室名札</p> <p>室名札</p> <p>室名表示</p>	<p>天井点検口 450角</p> <p>アルミ製 縦線枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p> <p>天井点検口 600角</p> <p>アルミ製 縦線枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p>	<p>工事名</p> <p>種別</p> <p>縮尺</p> <p>設計者</p> <p>氏名印</p>	<p>可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)</p> <p>改修後 平面詳細図・展開図</p> <p>北舎-西棟 1階 男女トイレ</p> <p>1/50, 100</p> <p>作成年月</p> <p>令和 6 年 10 月</p> <p>株式会社 廣建築設備設計</p> <p>一級建築士 第31127号 野内理仁</p>
---	--	----------------------------	-----------------------------------	---	--	---



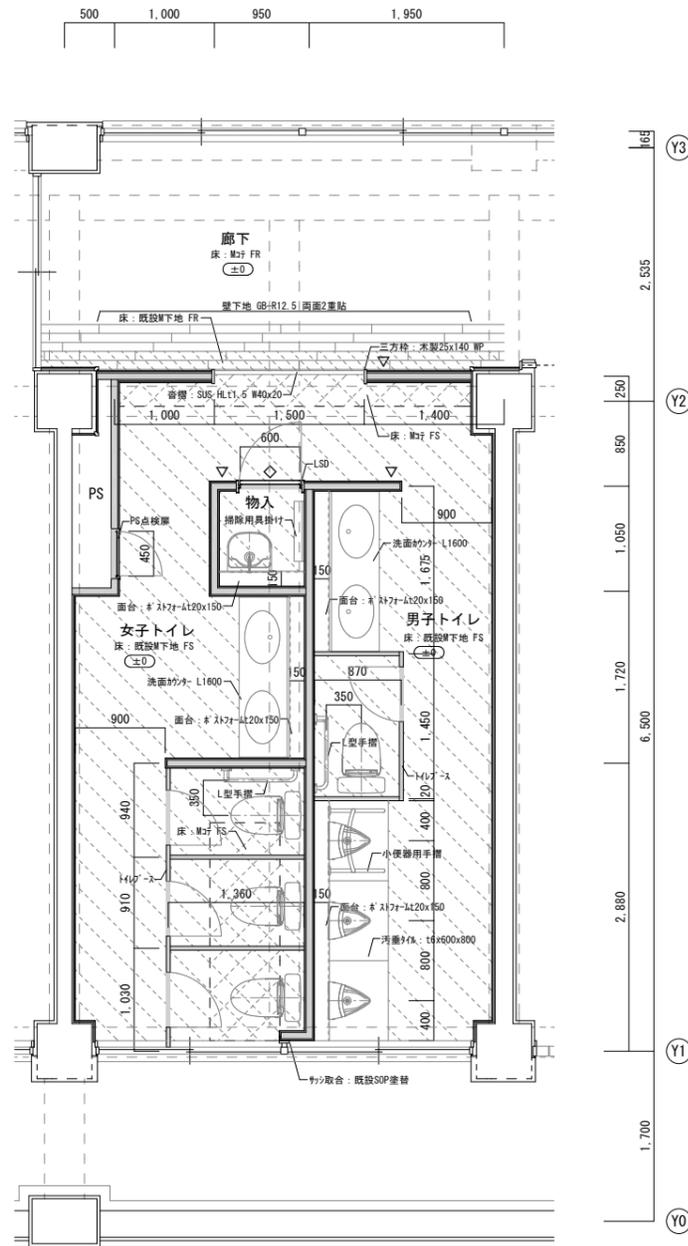
平面詳細図 S=1/50



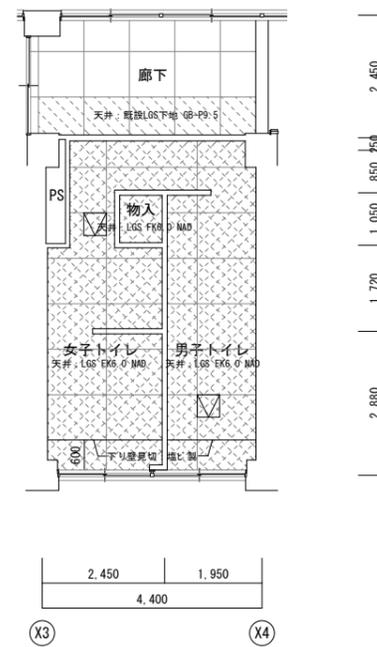
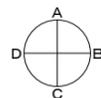
天井伏図 S=1/100



<p>凡例</p> <p>○ ○ ○ ○ (現況) 取壊し・撤去概要を示す</p> <p>○ ○ ○ ○ (現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品</p> <p>■ (現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート</p>		<p>(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等</p> <p>(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品</p> <p>(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共</p> <p>(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ</p>						<p>工事名 可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)</p> <p>種別 改修前 平面詳細図・展開図 図面番号 A-18</p> <p>縮尺 1/50,100 作成年月 令和6年10月</p> <p>設計者 株式会社 廣建築設備設計</p> <p>氏名印 一級建築士 第311227号 野内理仁</p>	
						<p>±0 床高を示す(基準:各階FL) ※特記なき床高はFL±0</p>			



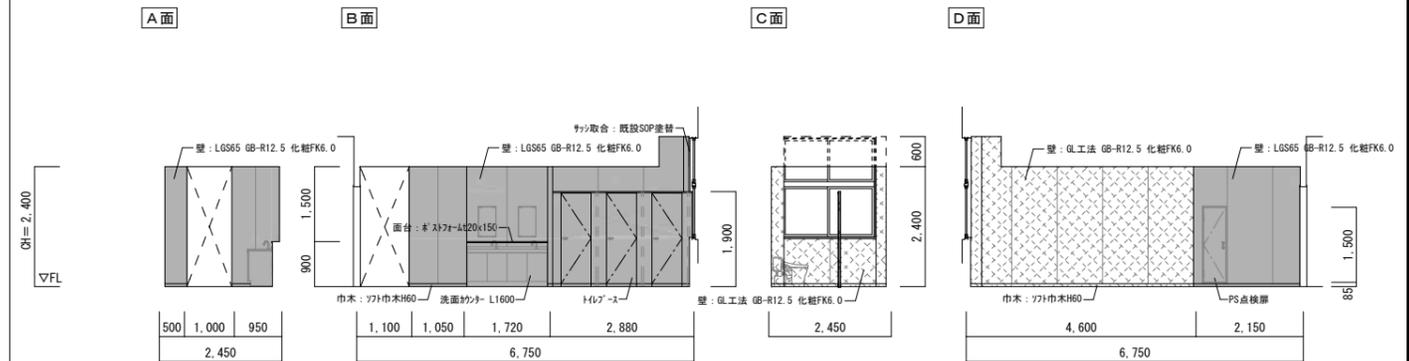
平面詳細図 S=1/50



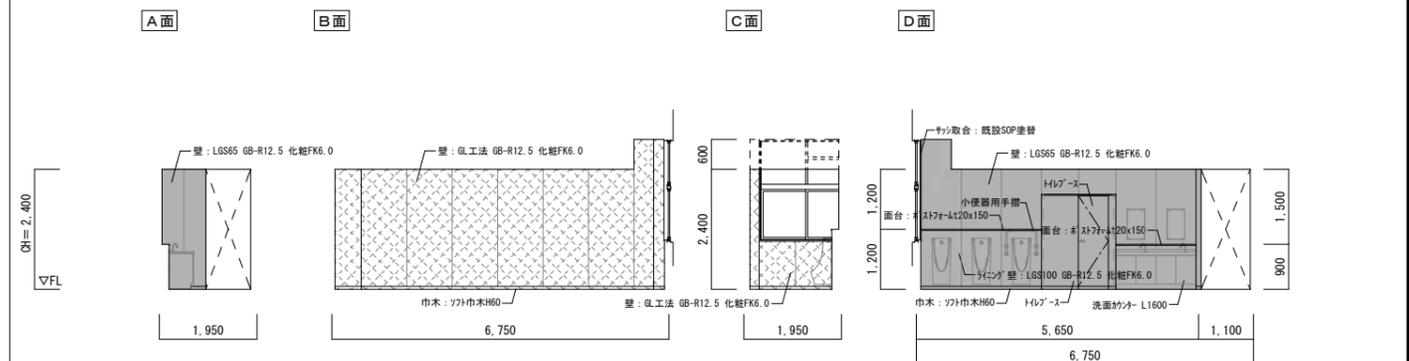
天井伏図 S=1/100

展開図 女子トイレ

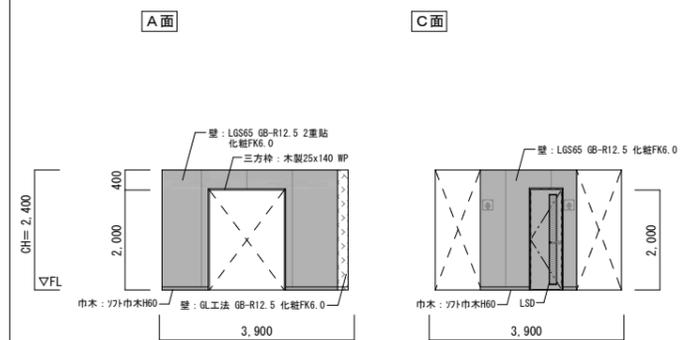
S=1/100



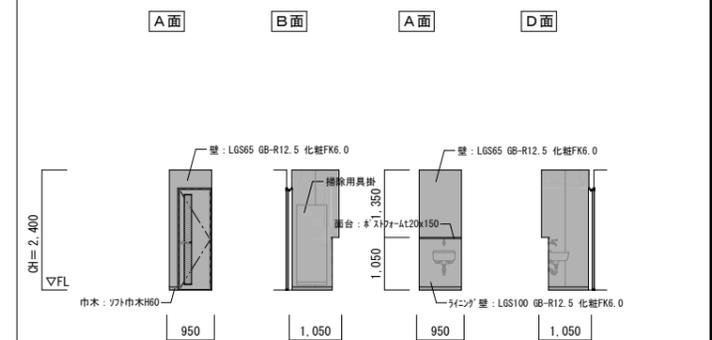
男子トイレ



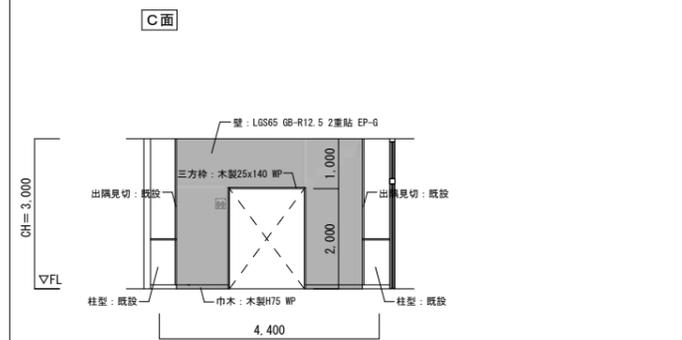
踏込



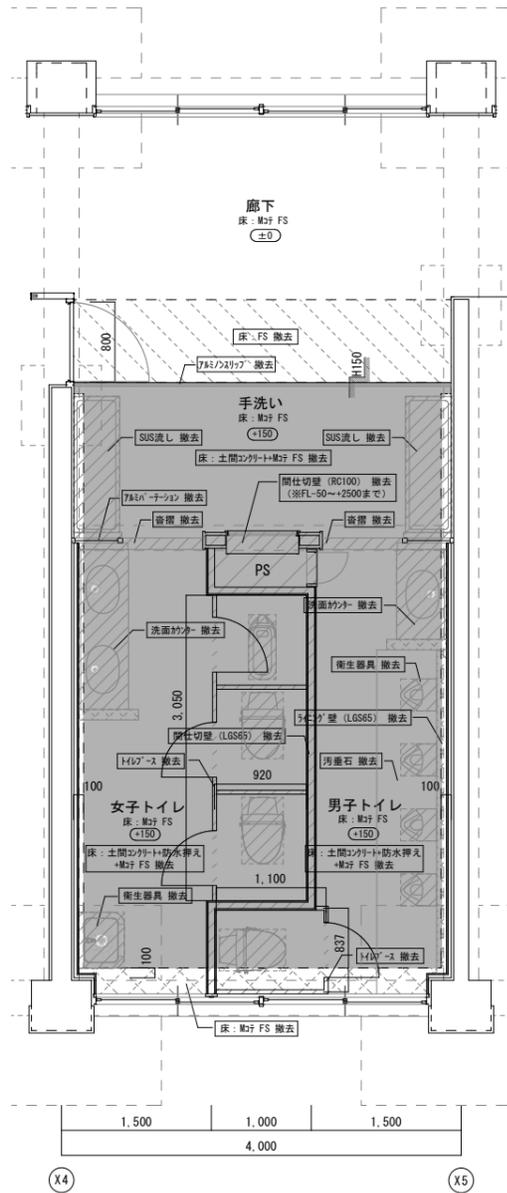
掃除用具入



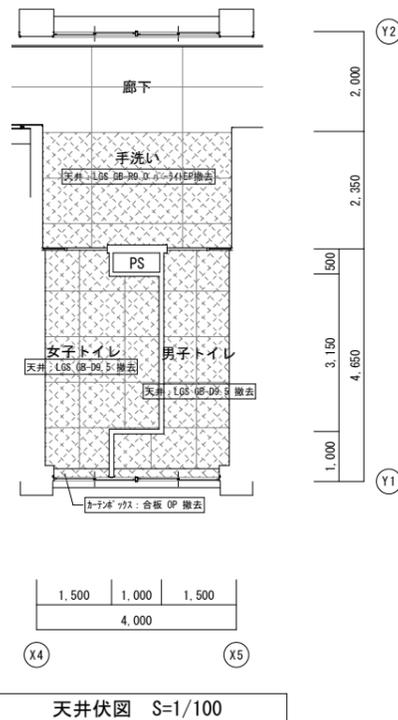
廊下



凡例				工事名 可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)			
(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等	▼	室名札 亚克力製250×250 平付タイプ	☑	天井点検口 450角 アルミ製 縦線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定		種別 改修後 平面詳細図・展開図 北舎-西棟 2,3階 男女トイレ	図面番号 A-19
(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧	▽	室名札 亚克力製200×200 平付タイプ	☑	天井点検口 600角 アルミ製 縦線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定		縮尺 1/50, 100	作成年月 令和6年10月
(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共	◇	室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度				設計者 株式会社 廣建築設備設計	
(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ						氏名印 一級建築士 第311227号 野内理仁	
					±0	床高を示す(基準:各階F.L.) ※特記なき床高はF.L.±0	

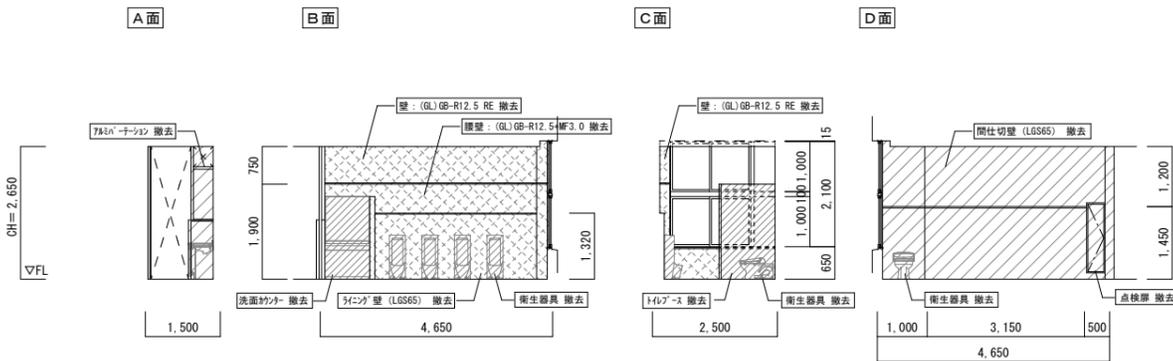


平面詳細図 S=1/50

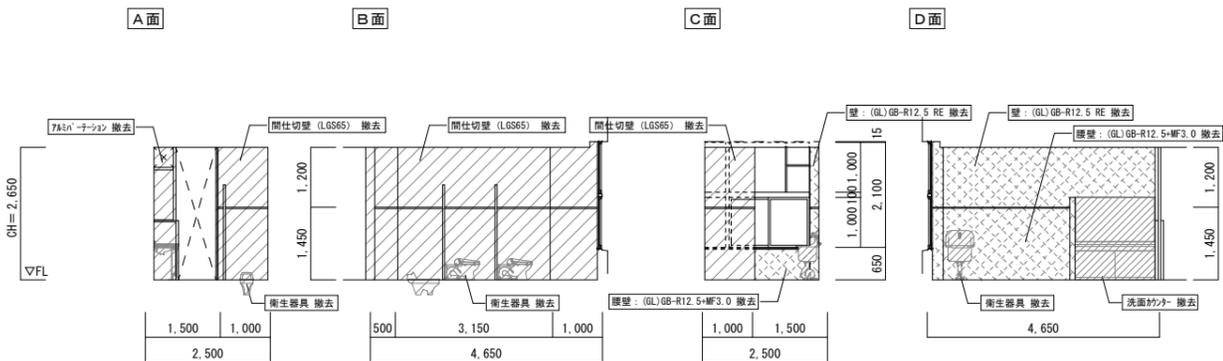


天井伏図 S=1/100

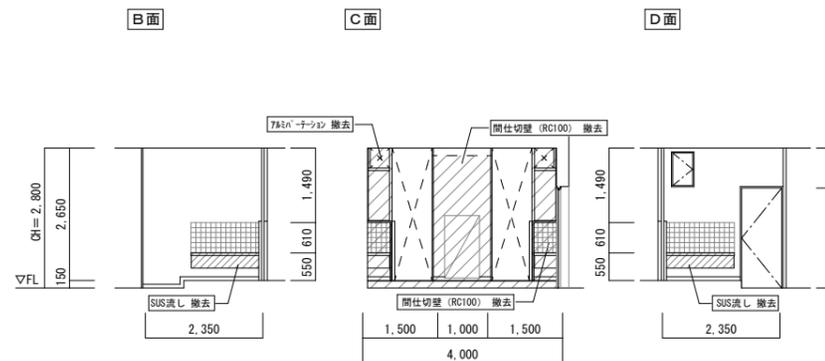
展開図 男子トイレ



女子トイレ



手洗い

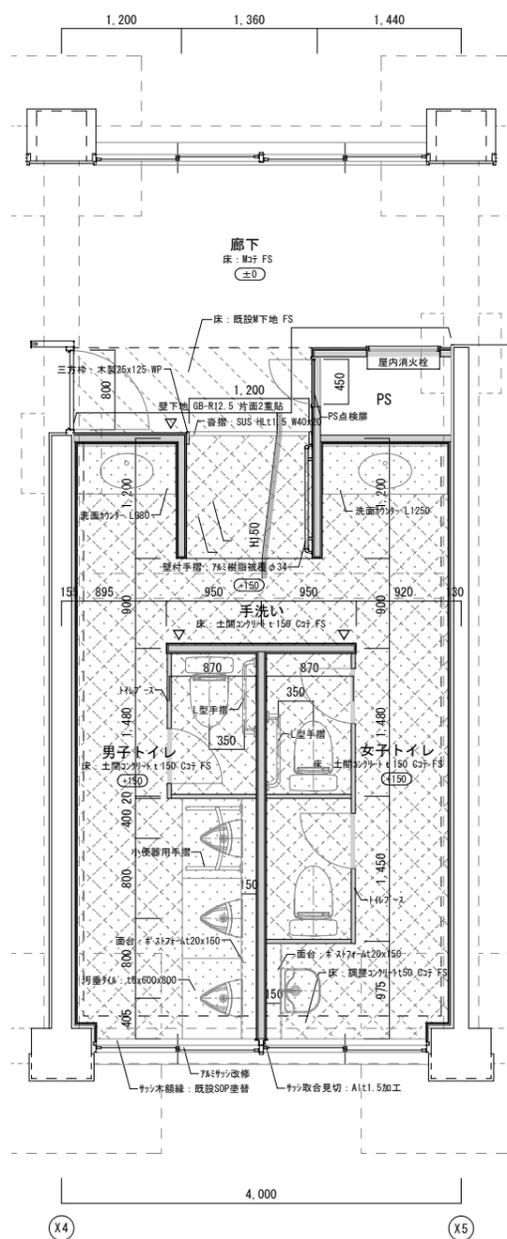


凡例	
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す
	(現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品
	(現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート
	(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等
	(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品
	(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共
	(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ

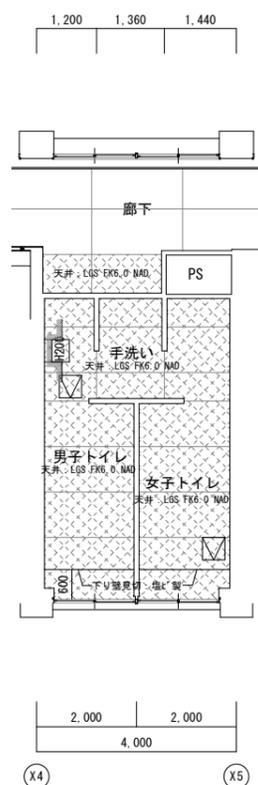
工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
種別	改修前 平面詳細図・展開図 北舎-東棟 1階 男女トイレ	図面番号	A-20
縮尺	1/50, 100	作成年月	令和 6 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		

±0

床高を示す(基準:各階F.L.)  
※特記なき床高はF.L.±0

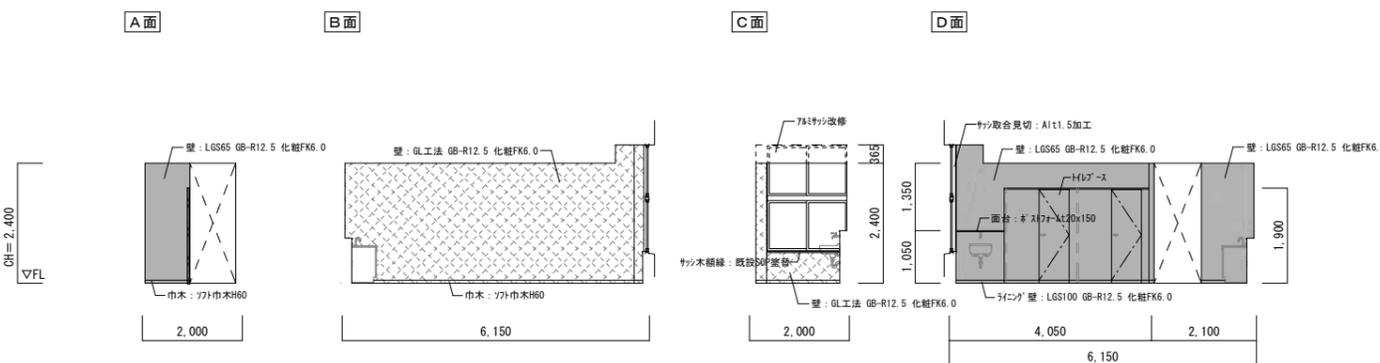


平面詳細図 S=1/50

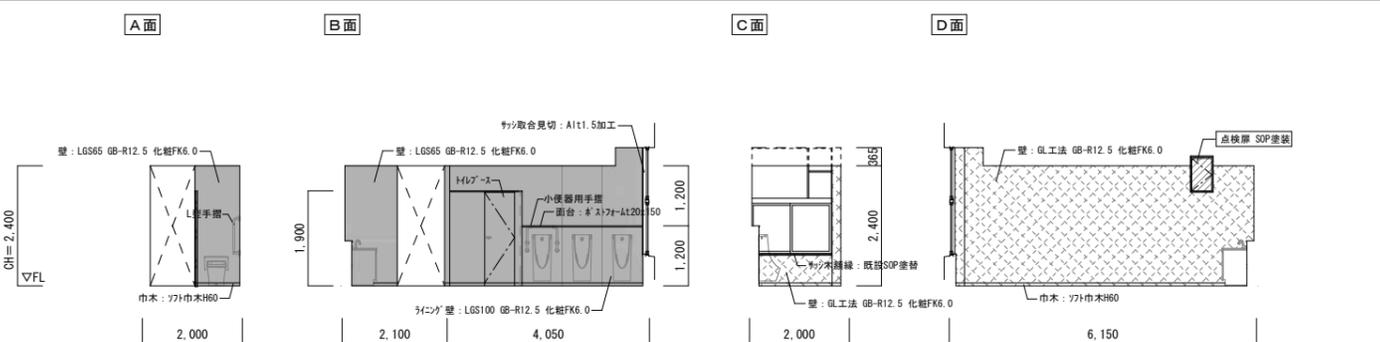


天井伏図 S=1/100

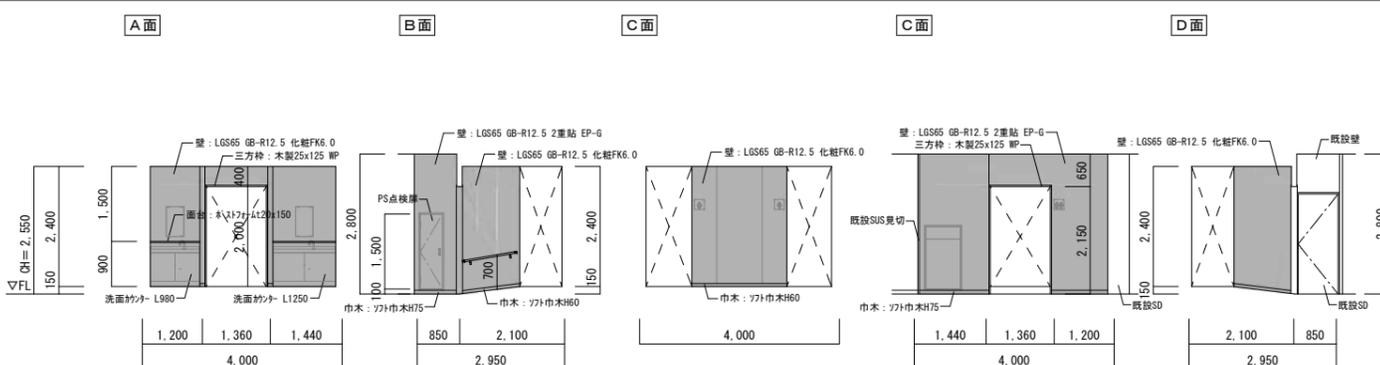
展開図 女子トイレ



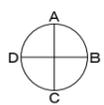
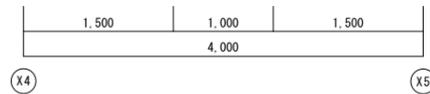
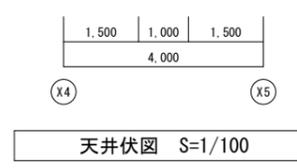
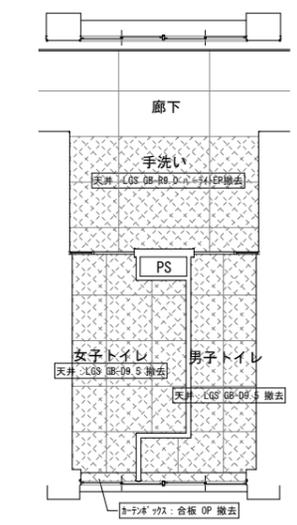
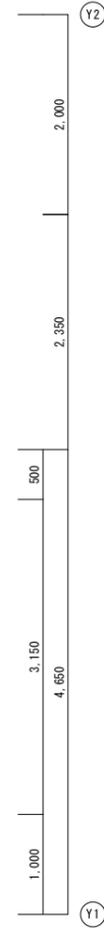
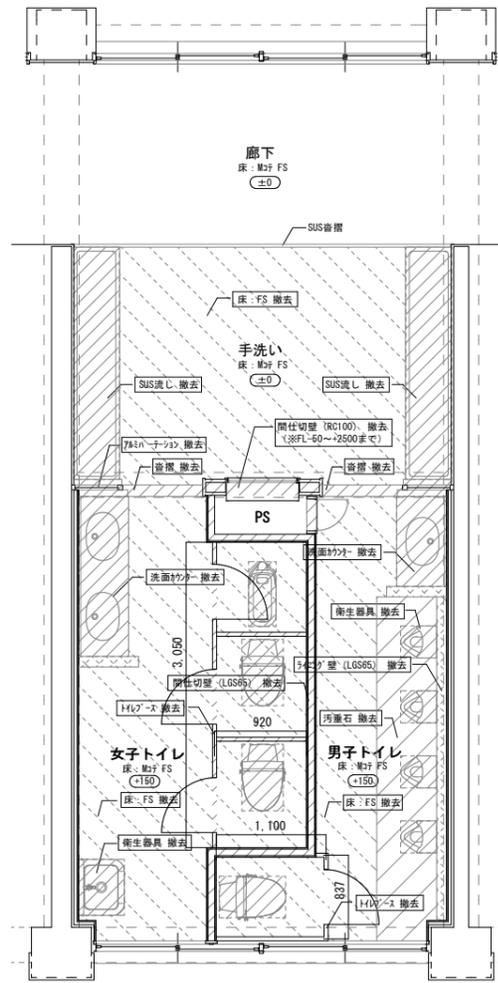
男子トイレ



手洗い・廊下

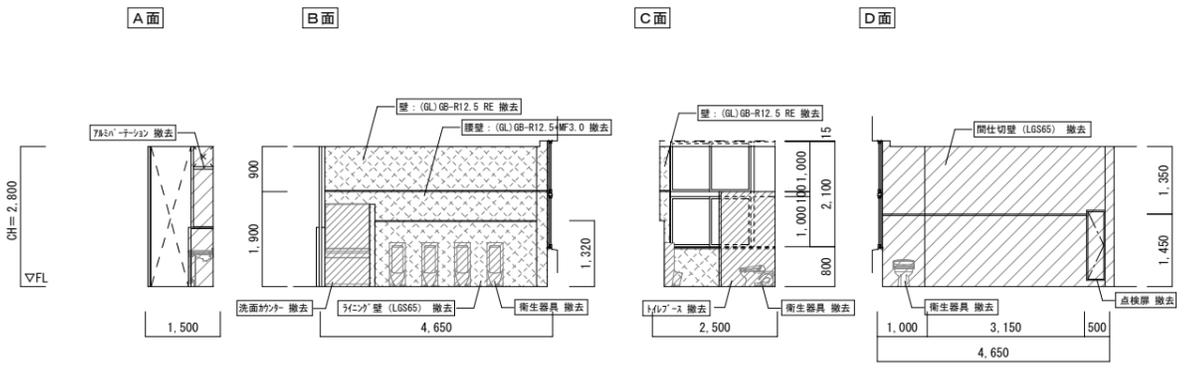


凡例				工事名	
	(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等	▼	室名札 亚克力製250×250 平付タイプ	☑	天井点検口 450角 アルミ製 縦線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定
	(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧	▽	室名札 亚克力製200×200 平付タイプ	☑	天井点検口 600角 アルミ製 縦線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共	◇	室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度		
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ				
					±0 床高を示す(基準:各階FL) ※特記なき床高はFL±0
				工種別	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)
				縮尺	1/50,100 作成年月 令和6年10月
				設計者	株式会社 廣建築設備設計
				氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁
				図面番号	A-21

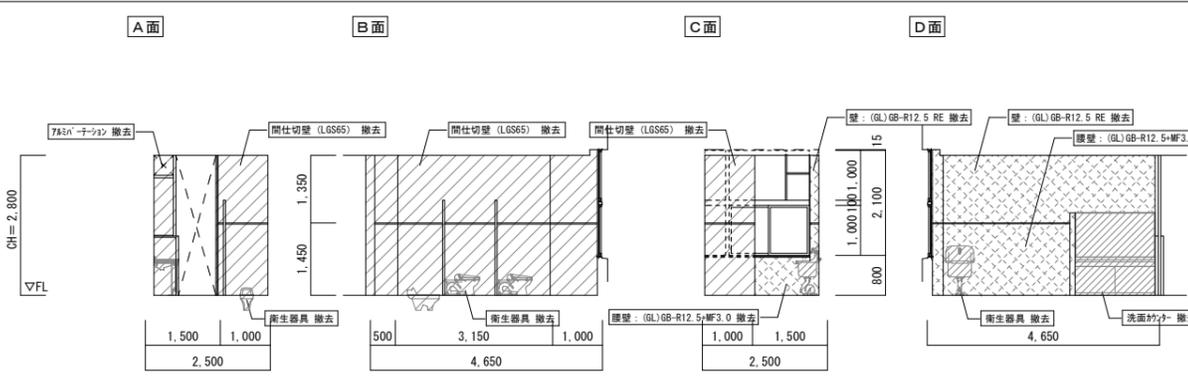


平面詳細図 S=1/50

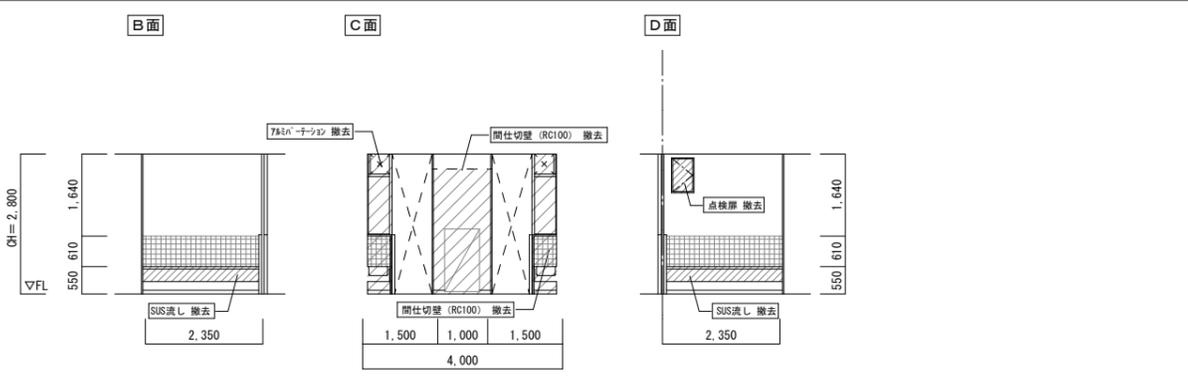
展開図 男子トイレ



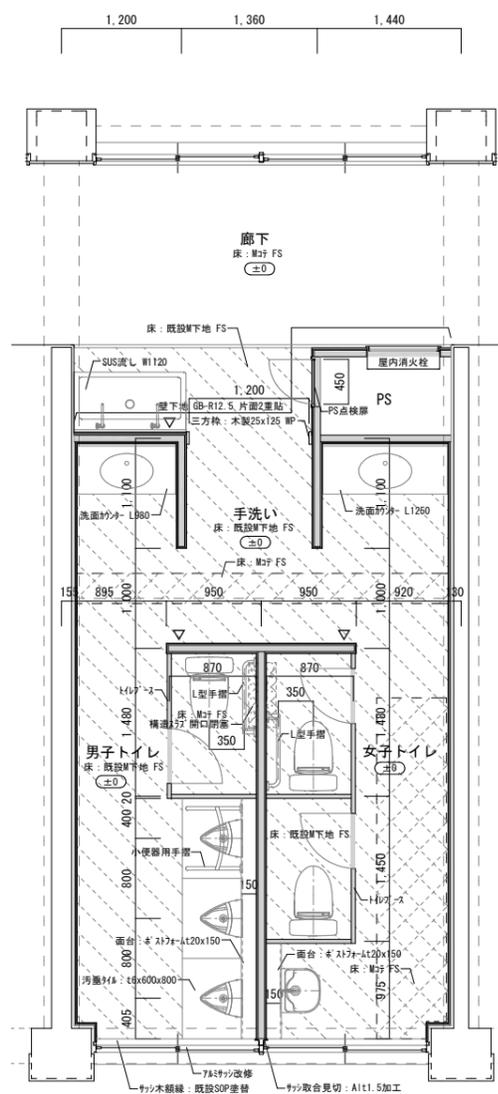
女子トイレ



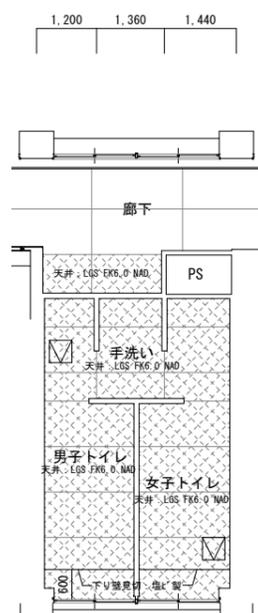
手洗い



凡例		工事名	
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	
	(現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品	種別	改修前 平面詳細図・展開図 北舎-東棟 2,3階 男女トイレ
	(現況) 撤去範囲を示す:	縮尺	1/50, 100
	床スラブ・土間コンクリート	作成年月	令和 6 年 10 月
	(現況) 撤去範囲を示す:	設計者	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁
	間仕切壁、建具、衛生器具等	氏名印	
	(現況) 取外し・撤去範囲を示す:		
	建具、衛生器具等 ※再使用品		
	(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共		
	(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ		
		±0	床高を示す(基準:各階F.L.) ※特記なき床高はF.L.±0

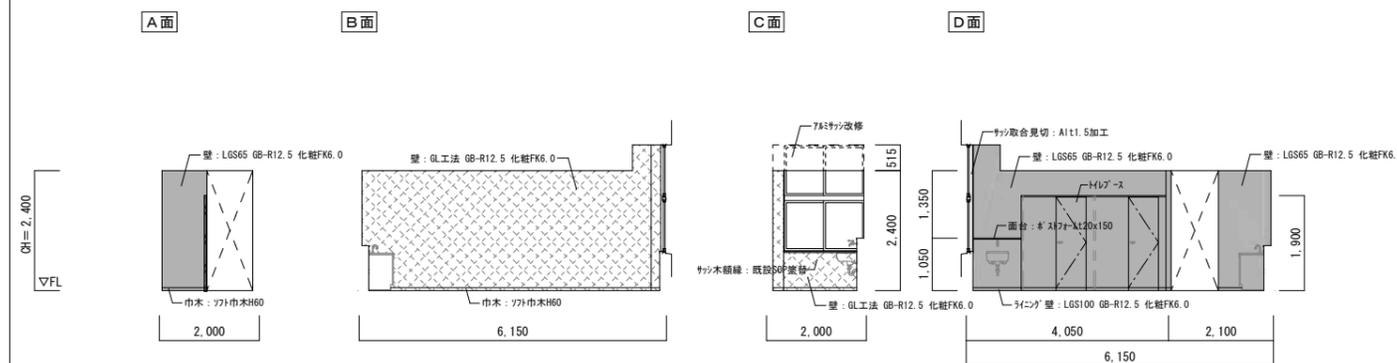


平面詳細図 S=1/50

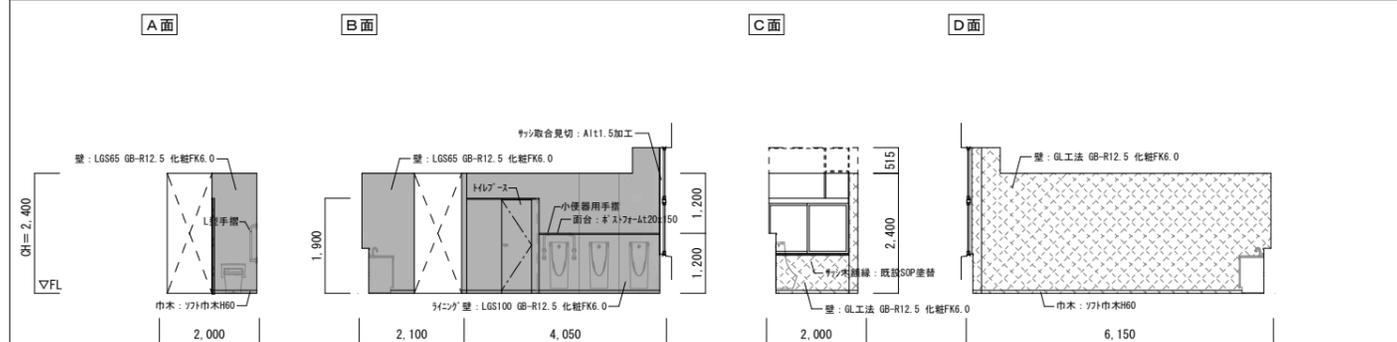


天井伏図 S=1/100

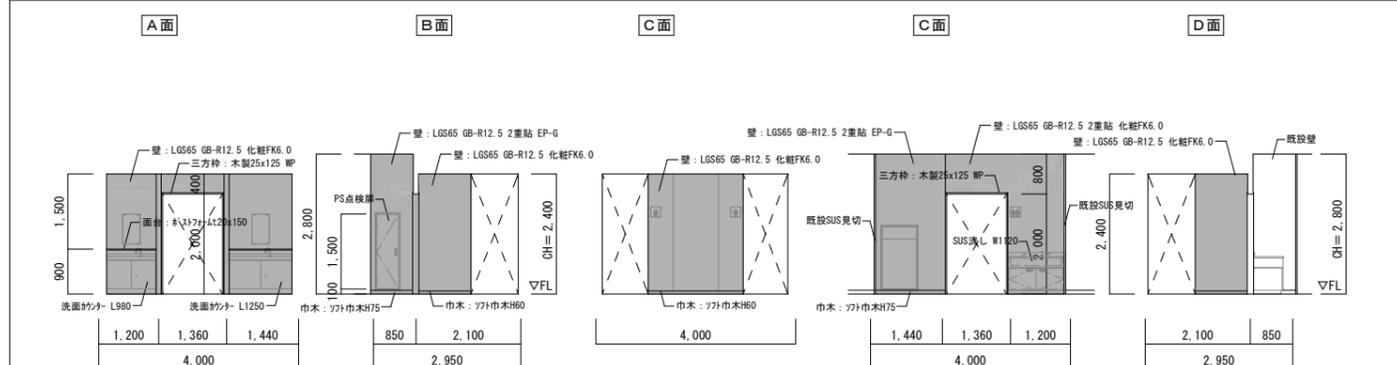
展開図 女子トイレ



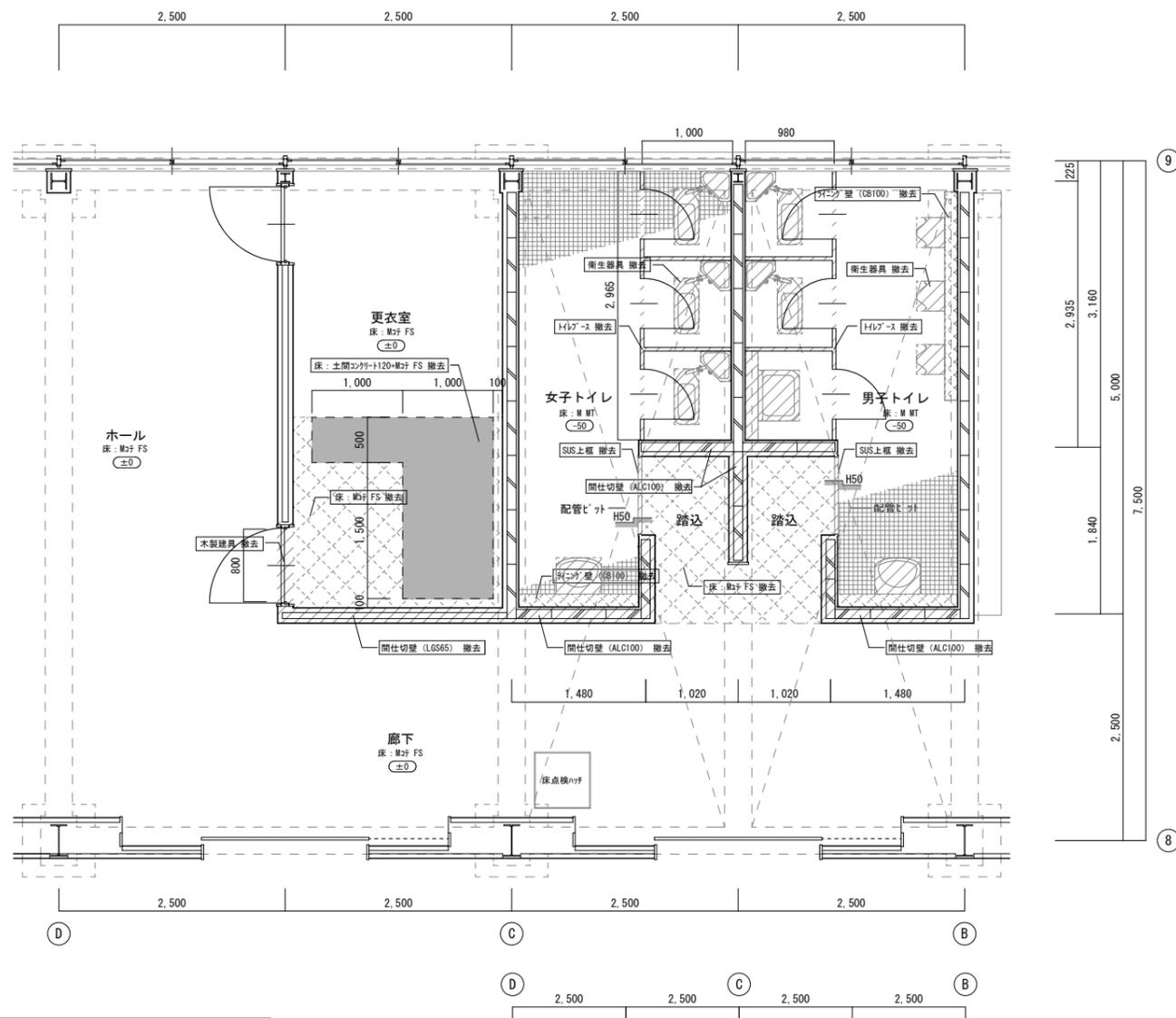
男子トイレ



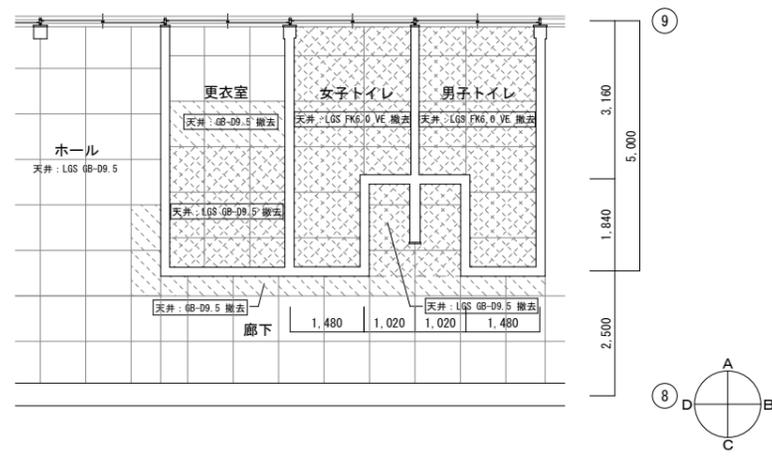
手洗い・廊下



凡例				工事名	
	(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等	▼	室名札 亚克力製250×250 平付タイプ		天井点検口 450角 アルミ製 縦線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定
	(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧	▽	室名札 亚克力製200×200 平付タイプ		天井点検口 600角 アルミ製 縦線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共	◇	室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度		
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ				
					床高を示す(基準:各階FL) ※特記なき床高はFL±0
				±0	
		種別		改修後 平面詳細図・展開図 北舎-東棟 2,3階 男女トイレ	
		縮尺		1/50, 100 作成年月 令和6年10月	
		設計者		株式会社 廣建築設備設計	
		氏名印		一級建築士 第311227号 野内理仁	

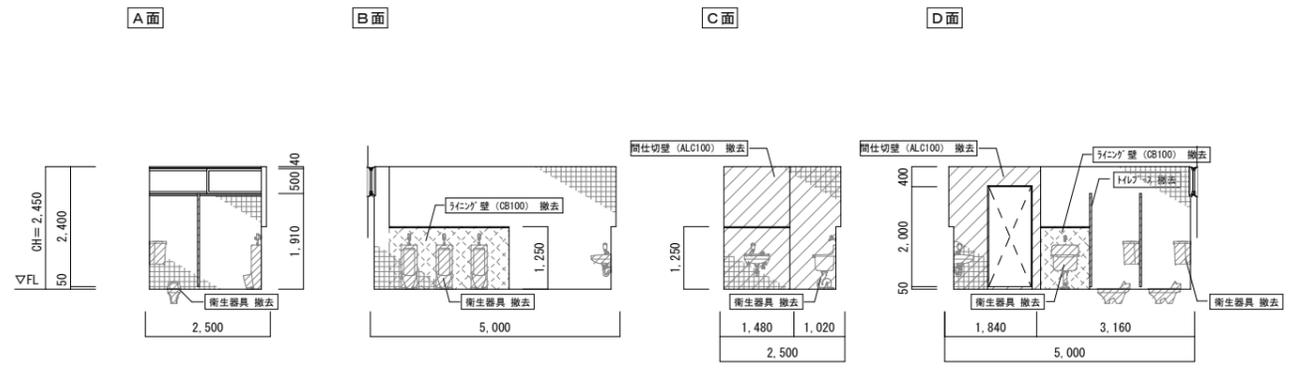


平面詳細図 S=1/50

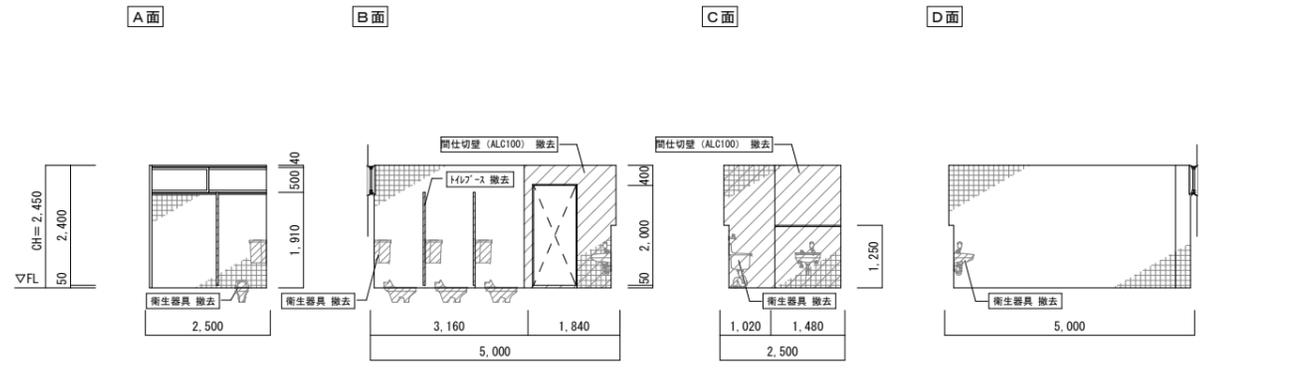


天井伏図 S=1/100

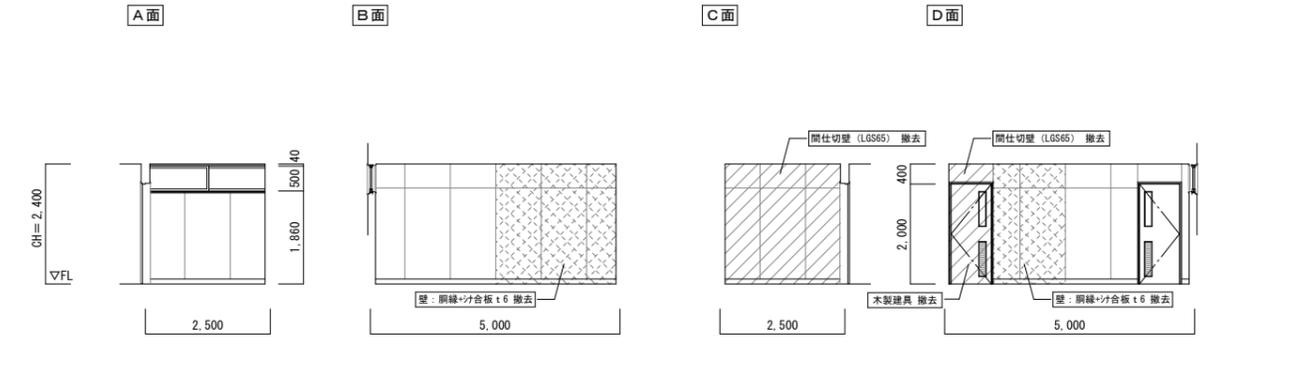
展開図 男子トイレ



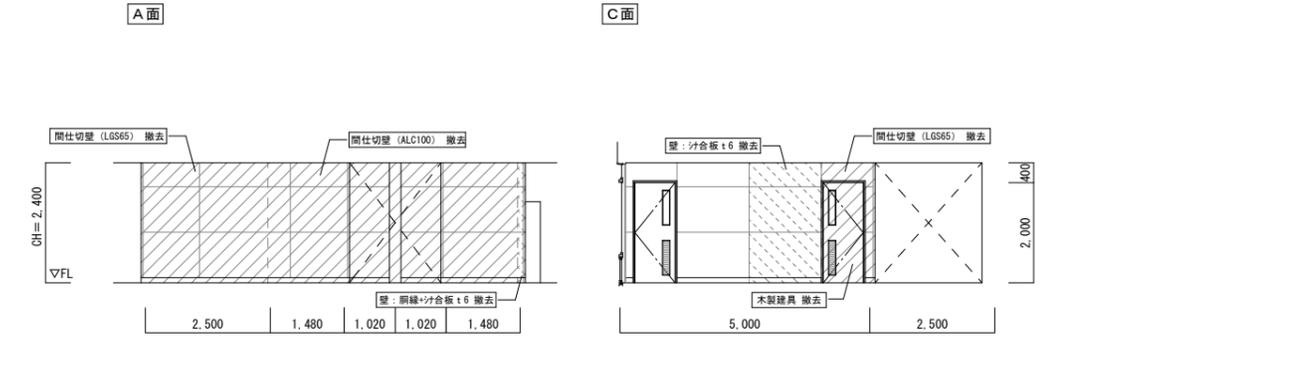
女子トイレ



更衣室

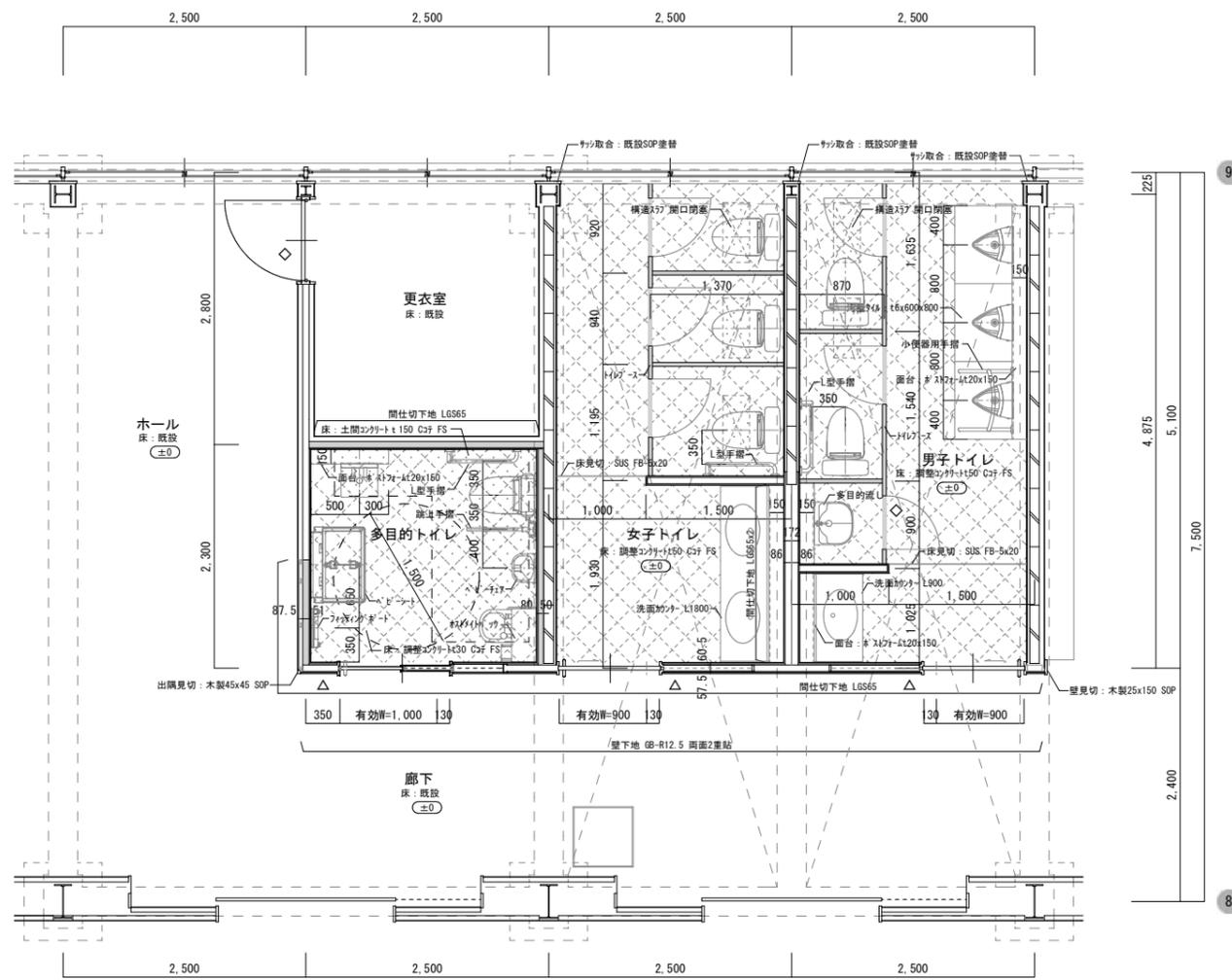


ホール・廊下

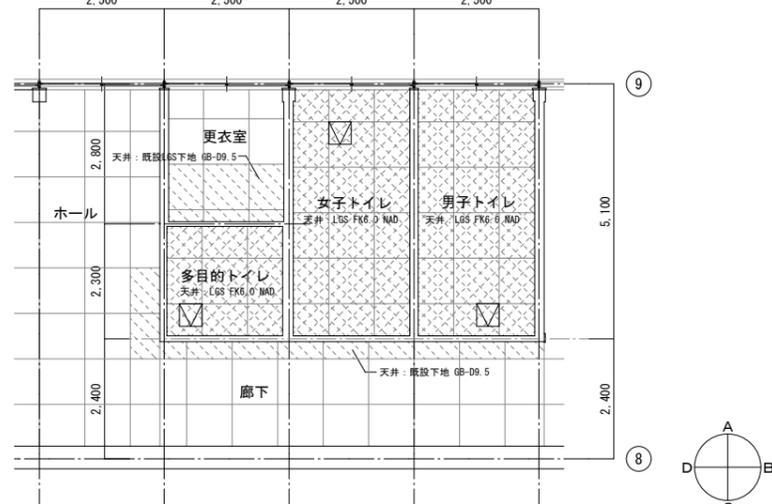


凡例		撤去範囲を示す		取外し・撤去範囲を示す		部分撤去範囲を示す		撤去範囲を示す		工事名		
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等		(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共		(現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)
												改修前 平面詳細図・展開図
												図面番号 A-24
												縮尺 1/50, 100
												作成年月 令和 6 年 10 月
												設計者 株式会社 廣建築設備設計
												氏名印 一級建築士 第311227号 野内理仁

±0 床高を示す(基準:各階FL) ※特記なき床高はFL±0

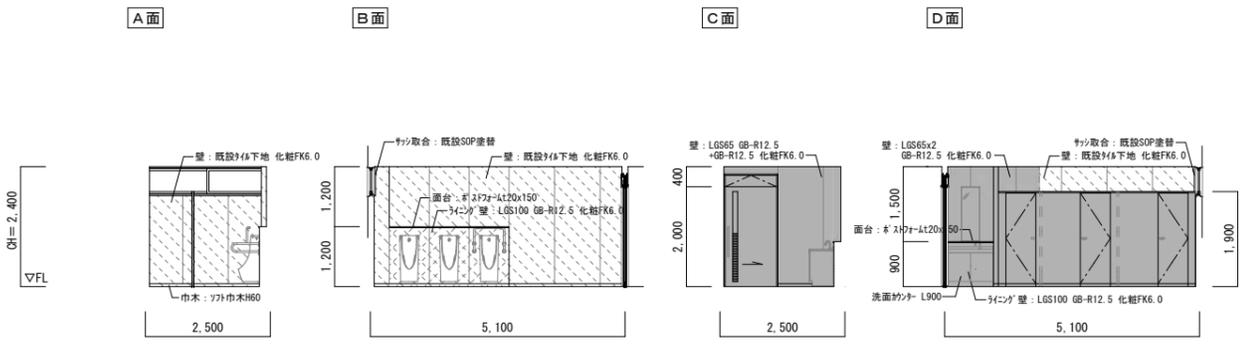


平面詳細図 S=1/50

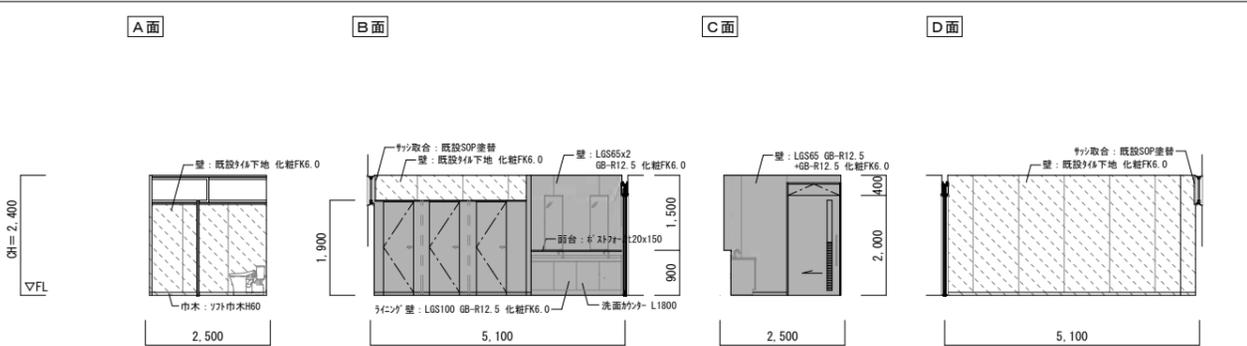


天井伏図 S=1/100

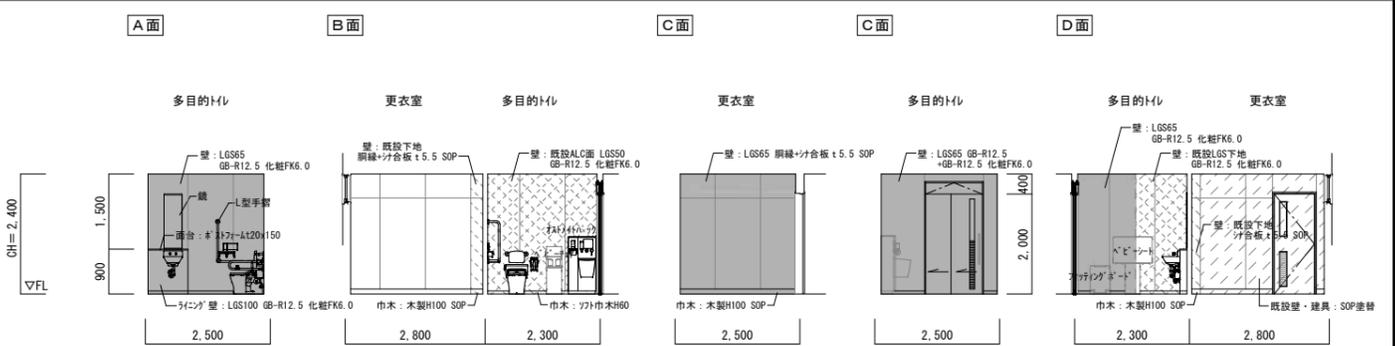
展開図 男子トイレ



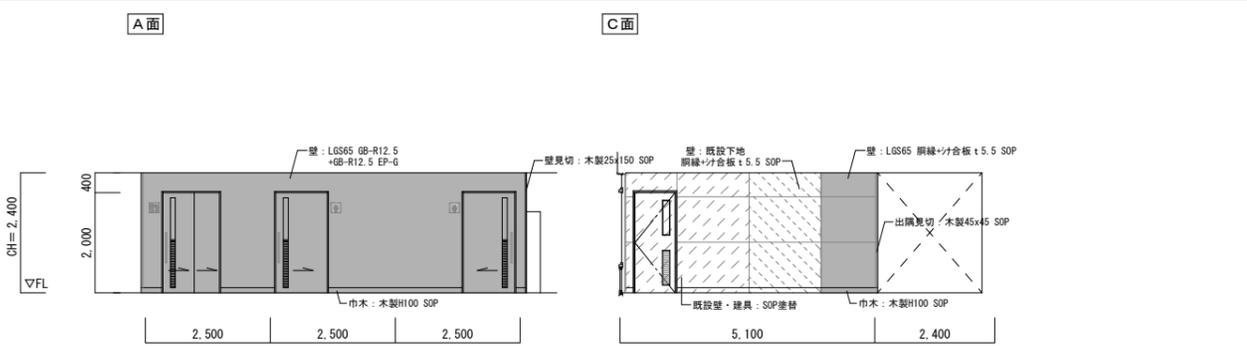
女子トイレ



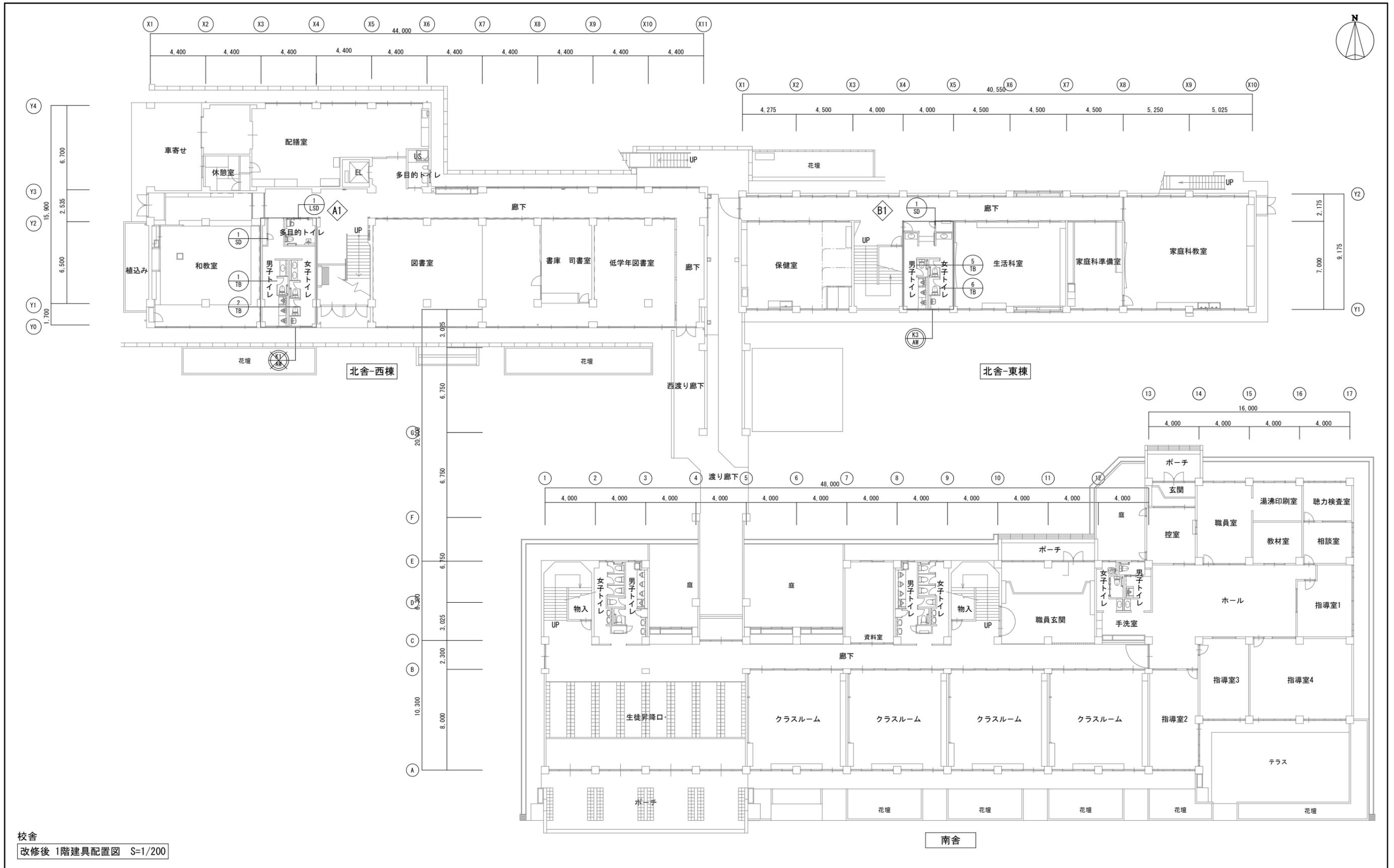
多目的トイレ・更衣室



ホール・廊下

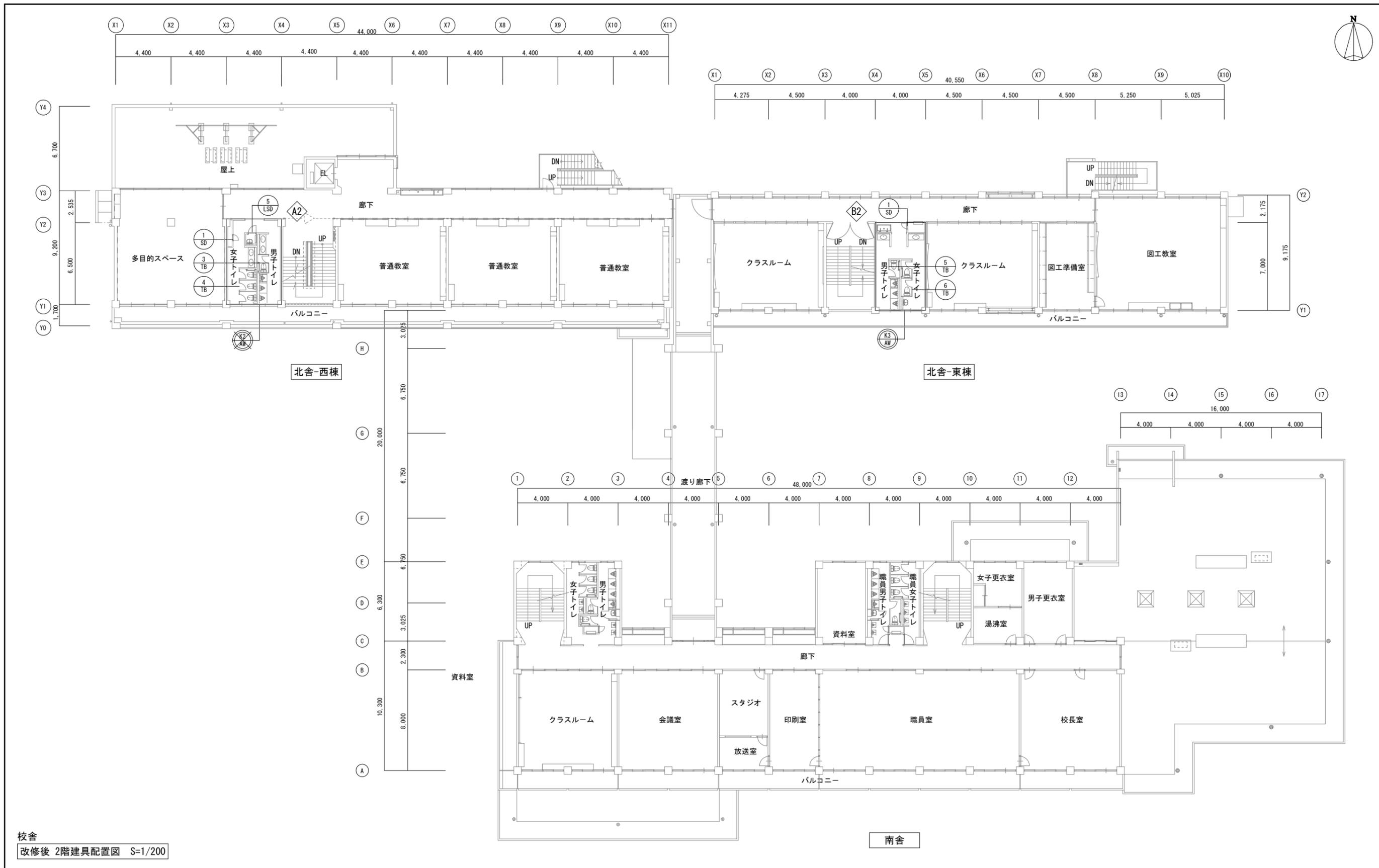


<p>凡例</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ</p>		<p>▼ 室名札 亚克力製 250×250 平付タイプ</p> <p>▽ 室名札 亚克力製 200×200 平付タイプ</p> <p>◇ 室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度</p>	<p>☑ 天井点検口 450角 アルミ製 縦線枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p> <p>☑ 天井点検口 600角 アルミ製 縦線枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p>	<p>工事名 可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事 (II期)</p> <p>種別 改修後 平面詳細図・展開図 屋内運動場 男女トイレ</p> <p>縮尺 1/50, 100 作成年月 令和 6 年 10 月</p> <p>設計者 株式会社 廣建築設備設計 氏名印 一級建築士 第31127号 野内理仁</p>
--	--	---	---	--



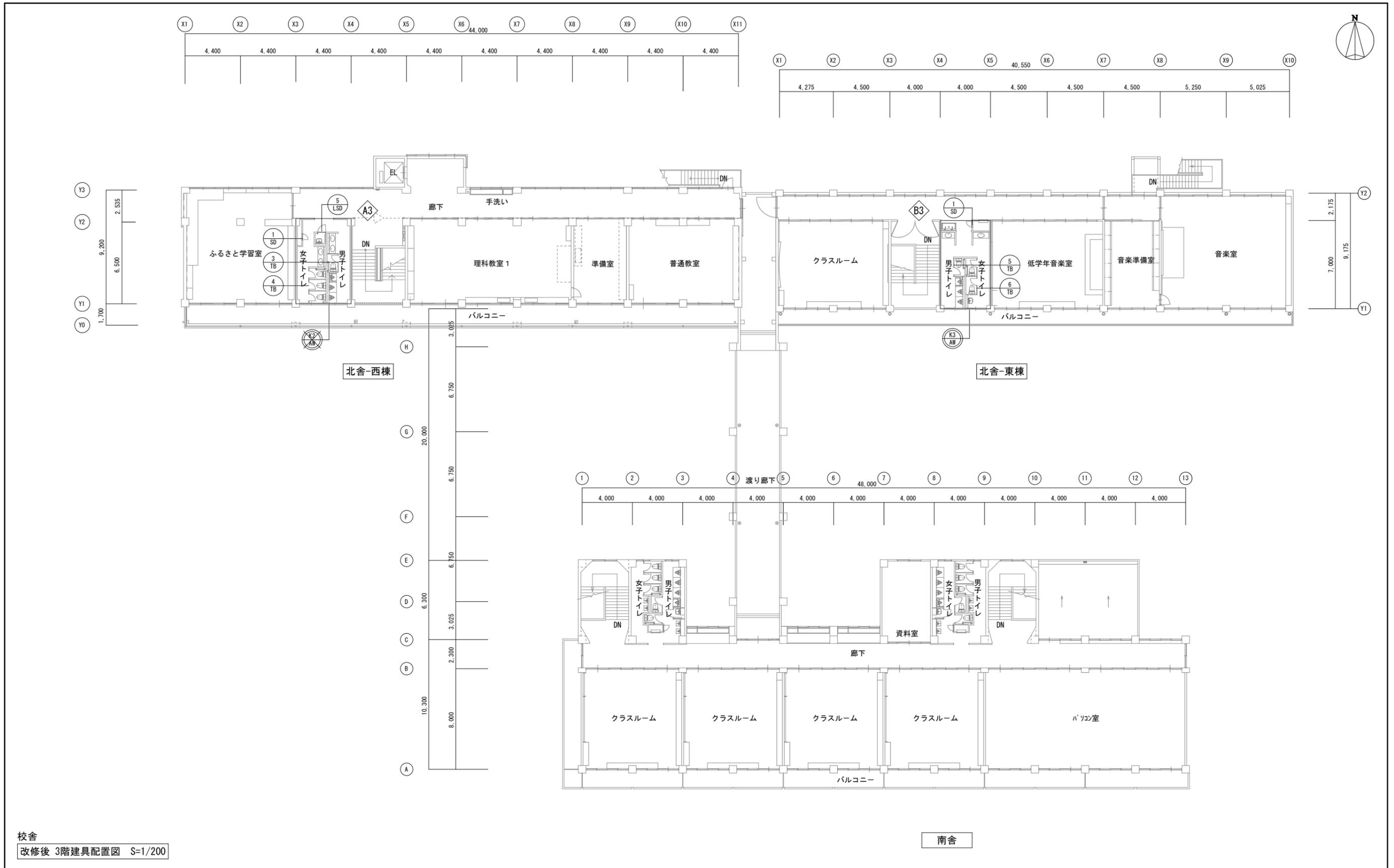
校舎  
改修後 1階建具配置図 S=1/200

凡例		○ : (新設) 建具符号 ◐ : (改修) 建具符号 ○ : (既存) 建具符号		工事名 可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期) 種別 改修後 1階建具配置図 図面番号 A-26 縮尺 1/200 作成年月 令和 6 年 10 月 設計者 株式会社 廣建築設備設計 氏名印 一級建築士 第311227号 野内雅仁
◐ 工事番号を示す				



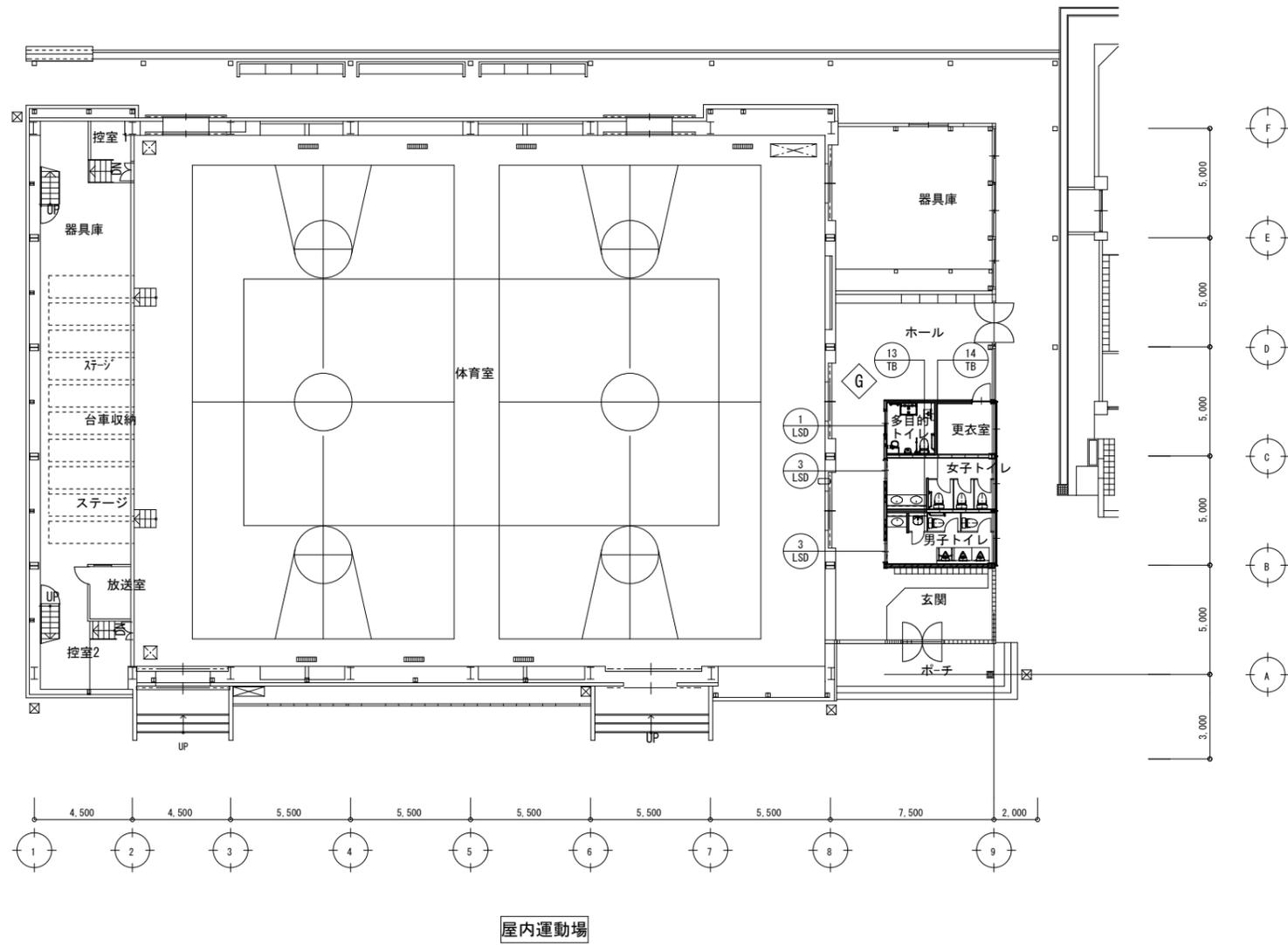
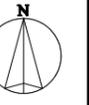
校舎  
改修後 2階建具配置図 S=1/200

凡例				工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
◇	工事番号を示す	○	:(新設) 建具符号	種別	改修後 2階建具配置図	図面番号	A-27
		○	:(改修) 建具符号	縮尺	1/200	作成年月	令和6年10月
		○	:(既存) 建具符号	設計者	株式会社 廣建築設備設計		
				氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



校舎  
改修後 3階建具配置図 S=1/200

凡例				工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
	工事番号を示す		:(新設) 建具符号	種別	改修後 3階建具配置図	図面番号	A-28
	工事範囲を示す		:(改修) 建具符号	縮尺	1/200	作成年月	令和 6 年 10 月
			:(既存) 建具符号	設計者	株式会社 廣建築設備設計		
				氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



屋内運動場

凡例				工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
◇	工事番号を示す	○	:(新設) 建具符号	種別	改修後	図面番号	A-29
		○	:(改修) 建具符号	屋内運動場	建具配置図		
		○	:(既存) 建具符号	縮尺	1/200	作成年月	令和6年10月
				設計者	株式会社 廣建築設備設計		
				氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

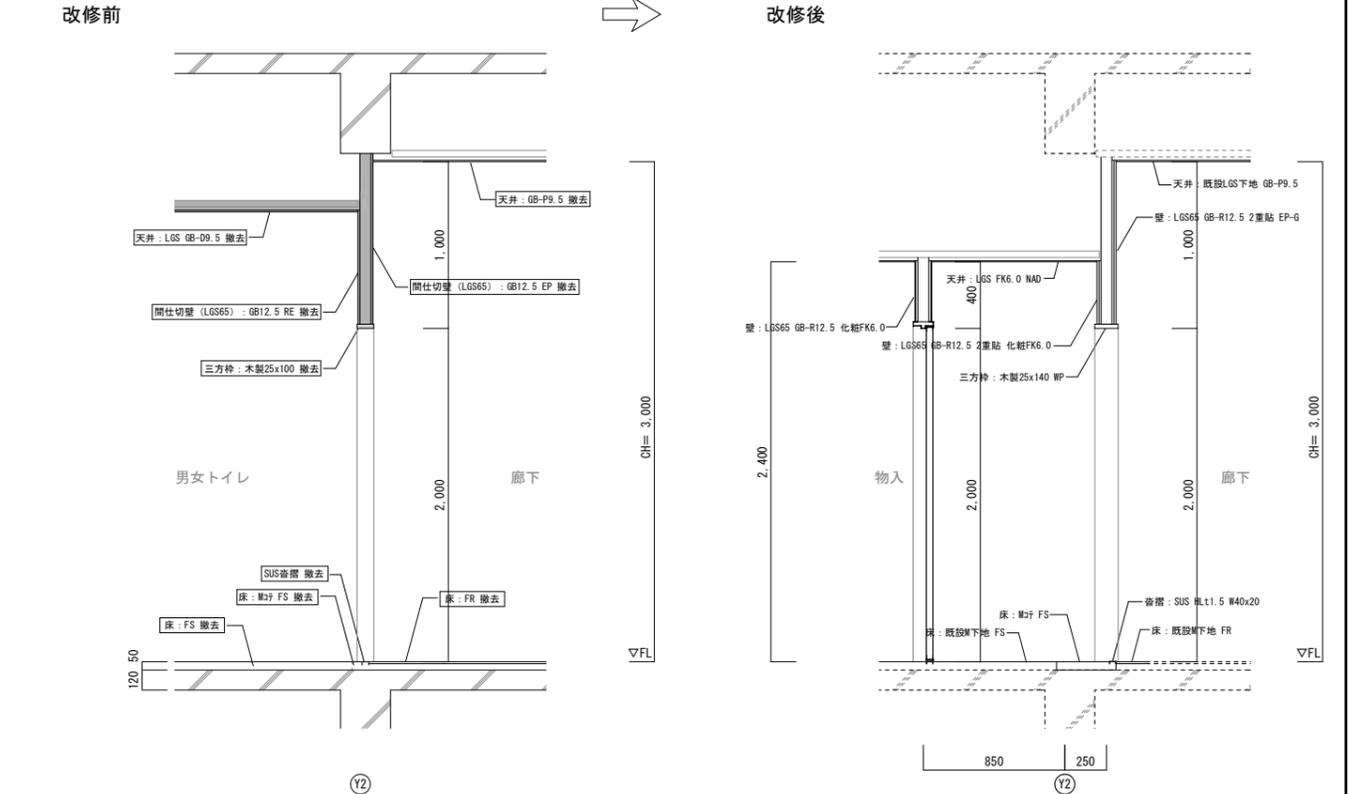
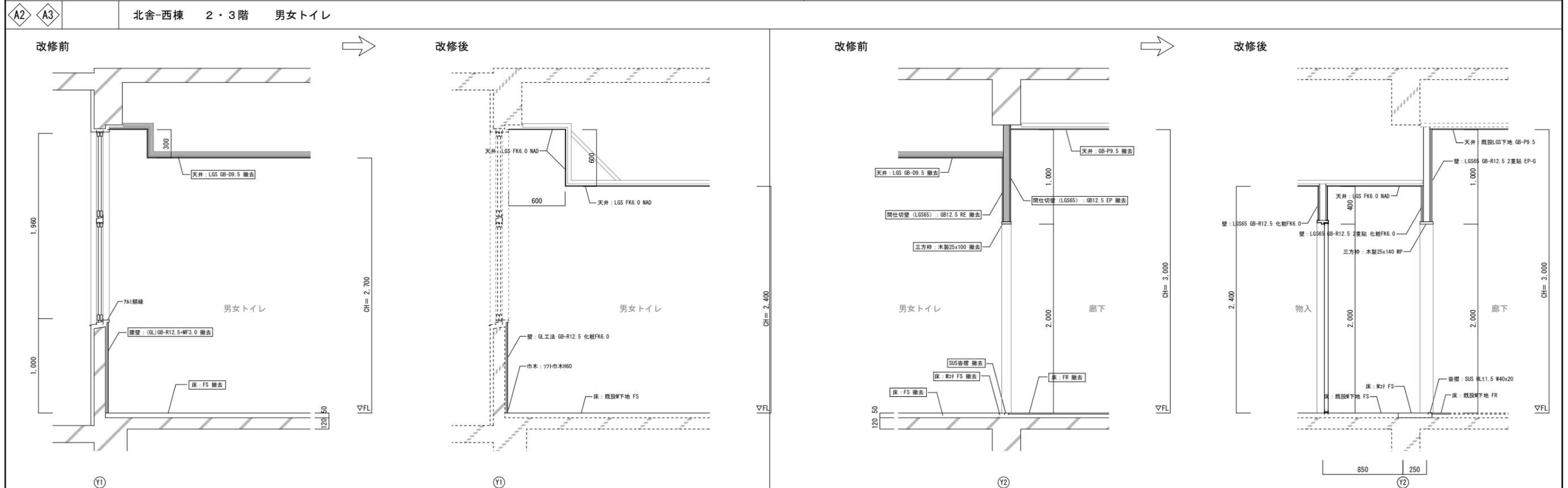
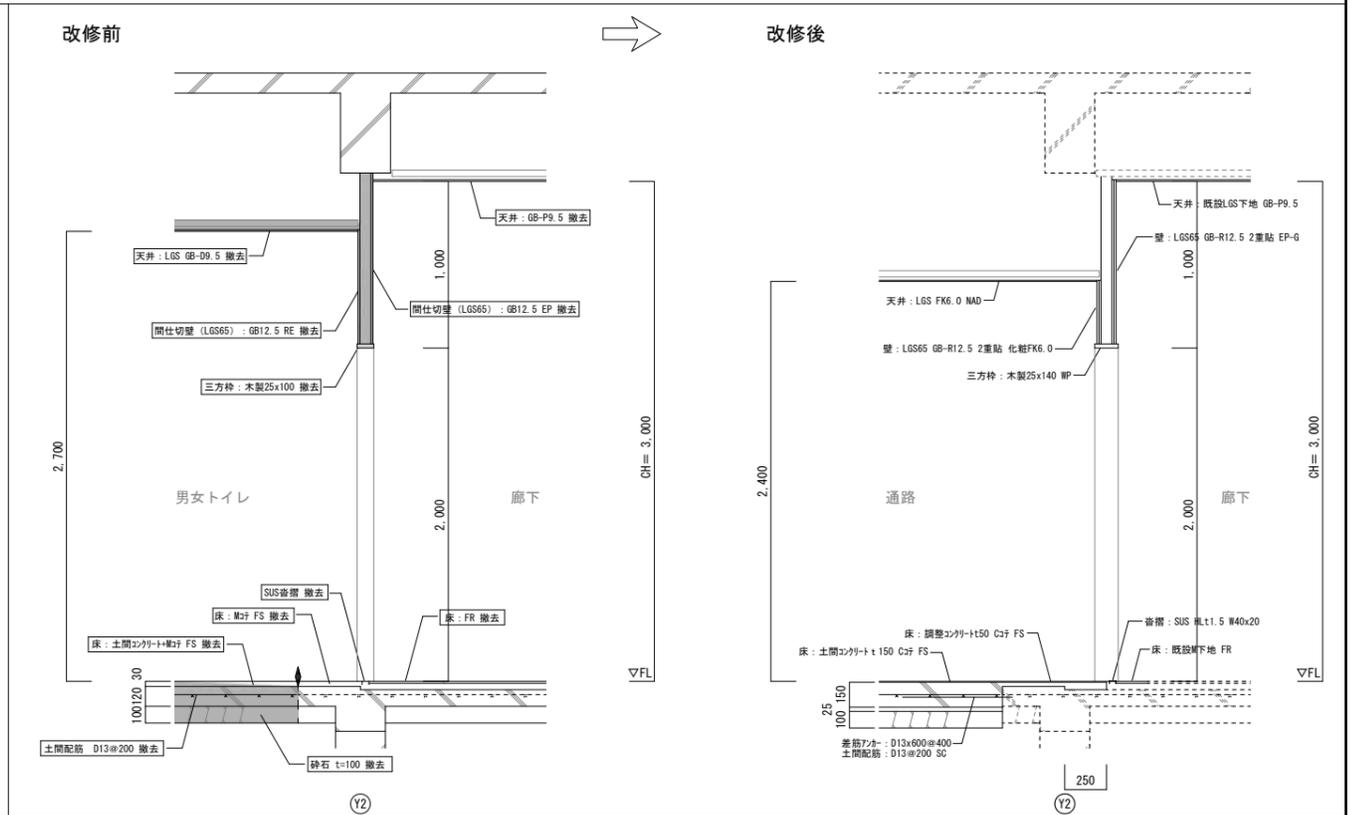
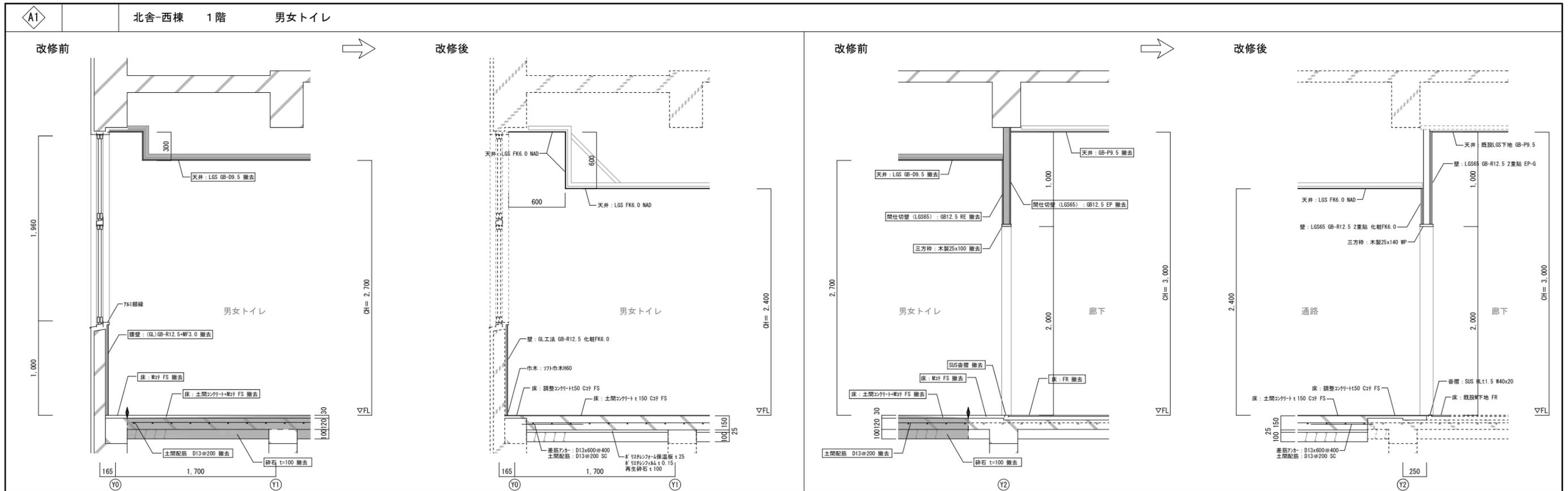
符号・名称	1 LSD 軽量スチールドア 2枚連動片引きハンガー戸（壁内収納） 新設	2 LSD 軽量スチールドア 2枚連動片引きハンガー戸（壁内収納） 新設	3 LSD 軽量スチールドア 片引きハンガー戸（壁内収納） 新設	4 LSD 軽量スチールドア 片引き戸 新設	5 LSD 軽量スチールドア 片引き戸 新設
図					
場所	北舎-西棟 1F、 屋内運動場	南舎 1F 通級	屋内運動場	南舎 2F 東側	北舎-西棟 2,3F
数量	2	2	2	2	2
ガラス	TF4	TF4	TF4	TF4	---
見込	枠140 扉40	枠145 扉40	枠140 扉40	枠120 扉40	枠120 扉40
材質・仕上	扉：溶融亜鉛めっき鋼板 t0.6 フラッシュ 焼付塗装、枠・カバー：溶融亜鉛めっき鋼板 t1.6 焼付塗装	扉：溶融亜鉛めっき鋼板 t0.6 フラッシュ 焼付塗装、枠・カバー：溶融亜鉛めっき鋼板 t1.6 焼付塗装	扉：溶融亜鉛めっき鋼板 t0.6 フラッシュ 焼付塗装、枠・カバー：溶融亜鉛めっき鋼板 t1.6 焼付塗装	扉：溶融亜鉛めっき鋼板 t0.6 フラッシュ、枠：溶融亜鉛めっき鋼板 t1.6 焼付塗装	扉：溶融亜鉛めっき鋼板 t0.6 フラッシュ、枠：溶融亜鉛めっき鋼板 t1.6 焼付塗装
金物等	自閉機構（フリーストップ）、I79'パネ'ブレーキ、SUS表示錠（大型）非常解錠付シリンダ カバー：7&#246;製 L600（H2160同等品）、切窓、7&#246;製（焼付塗装）、指詰防止ゴム SUS音摺W40、付属金物一式	自閉機構（フリーストップ）、I79'パネ'ブレーキ、SUS表示錠（大型）非常解錠付シリンダ カバー：7&#246;製 L600（H2160同等品）、切窓、7&#246;製（焼付塗装）、指詰防止ゴム SUS音摺W40、付属金物一式	自閉機構（フリーストップ）、I79'パネ'ブレーキ、SUS表示錠（大型）非常解錠付シリンダ カバー：7&#246;製 L600（H2160同等品）、切窓、7&#246;製（焼付塗装）、指詰防止ゴム SUS音摺W40、付属金物一式	7&#246;製カバー（UL822同等品）、SUS錠（フリーストップ）、SUS丁番、ドアヒック 切窓、7&#246;製（焼付塗装）、SUS音摺 W40、戸当り 付属金物一式	7&#246;製カバー（UL822同等品）、SUS錠（フリーストップ）、SUS丁番、ドアヒック 7&#246;製（焼付塗装）、SUS音摺 W40、戸当り 付属金物一式
符号・名称	1 SD スチールドア 片引き点検口 新設		K1 FD (既設) フラッシュドア 片引き戸 既設再取付		
図					
場所	北舎、南舎 1~3F		南舎 1F 西側・東側		
数量	10		2		
ガラス	---		---		
見込	枠33 扉25		枠120 扉33		
材質・仕上	扉：溶融亜鉛めっき鋼板 t1.2 吹付塗装、枠：溶融亜鉛めっき鋼板 t1.2 吹付塗装 平面ハード、ビネットヒンジ		扉：ホリ合板フラッシュ、枠：木製 SOP 取手、丁番、マ'ネットヒンジ		
金物等	付属金物一式				
符号・名称	K1 AN (既設) アルミウィンドウ 2連2段引き違い窓 既設改修	K2 AN (既設) アルミウィンドウ 2連2段引き違い窓 既設改修	K3 AN (既設) アルミウィンドウ 2連2段引き違い窓 既設改修	K4 AN (既設) アルミウィンドウ 引き違い窓/FIX窓 既設改修	K5 AN (既設) アルミウィンドウ 引き違い窓/FIX窓 既設改修
図					
場所	北舎-西棟 1F	北舎-西棟 2,3F	北舎-東棟 1~3F	南舎 2,3F 西側	南舎 2,3F 東側
数量	1	2	3	2	2
ガラス	既設：F4 改修：TF4、7&#246;複合パネ t3	既設：F4 改修：TF4、7&#246;複合パネ t3	既設：F4 改修：TF4、7&#246;複合パネ t3	既設：腰 FW6.8、他 F4 改修：7&#246;複合パネ t3	既設：腰 FW6.8、他 F4 改修：7&#246;複合パネ t3
見込	70	70	70	70	70
材質・仕上	改修：7&#246;フレーム、障子固定用アングル	改修：7&#246;フレーム、障子固定用アングル	改修：7&#246;フレーム、障子固定用アングル	改修：障子固定用アングル	改修：障子固定用アングル
金物等					
符号・名称	K6 AN (既設) アルミウィンドウ 引き違い窓/FIX窓 既設改修				
図					
場所	南舎 1F 通級				
数量	1				
ガラス	既設：腰 FW6.8、他 F4 改修：7&#246;複合パネ t3				
見込	70				
材質・仕上					
金物等					

建具略号	ガラス略号	建具符号	●共通事項 ※特記なき場合は下記による。	●金属製建具 ※特記なき場合は下記による。	・姿図中「F」はFIX部分を示す。 ・姿図中「P」はアルミパネル部分を示す。
SUS : ステンレス製建具	FL : フロート板ガラス	○ : (新設) 建具符号	1. 建具寸法は概要を示すものであり、製作の際には原寸図作成の上、係員の承諾を受けて製作のこと。	1. アルミサッシは一流メーカー品とする。(B種耐風圧性S-5 240kg/m2以上、気密性A-3、8等級、水密性W-4、35等級、表面処理B-1種)	工事名 可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)
SW : スチールウィンドウ	F : 型板ガラス	○ : (改修) 建具符号	2. ドアクローザーは特記なき限りストップ付とする。	2. 金物は一流メーカーの一般とし、特記なき限りステンレス製とする。但し、レディメイドサッシはメーカーの指定品とする。指定のない金物あるいは、指定不明確な金物は、外観・性能・機種・取付・個数などが建具に応じたものを用い、主要な金物は見本品により監督員の承諾を得て使用する。	
SD : スチールドア	TP : 強化ガラス	○ : (既存) 建具符号	3. キーブランは鍵製作に先立ちフラン図作成の上監督員の承諾を得て製作・取付を行う。 鍵は全て塩ビ製鍵札を取付て金属製専用ボックスに収納し提出する。	3. ガラス留付材はSR-1シリコン系シーリングとする。防火設備には防火設備用指定シーリング材を用いる。	種別 改修後 建具表-1
SS : スチールシャッター	PW : 網入磨き板ガラス	○ : (既存) 建具符号	●木製建具 ※特記なき場合は下記による。	4. 落下防止装置：外部に面するアルミサッシは、完全内はずし式（引違いに適用）又は落下防止付とする。	
LSD : 軽量スチールドア	FW : 網入型板ガラス	○ : (既存) 建具符号	1. 建具材：B種 樹種は米松・スプルース・ノープル及び標準仕様書による。	5. 軽量スチール建具は一流メーカー品とし、電気亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装仕上を用いる。	図面番号 A-30
AD : アルミドア	PWL : 網入磨き板ガラス	○ : (既存) 建具符号	2. 建具金物：一流メーカーの一般品とする。主要な金物は見本品により監督員の承諾を受けて使用し、金物の取付は特及び建具の狂いを修正した後本取付を行う。		縮尺 1/100
AW : アルミウィンドウ	FWL : 網入型板ガラス	○ : (既存) 建具符号	3. フラッシュ戸には横板材に空気を設ける。		
AG : アルミガラリ	f : フスマ	○ : (既存) 建具符号			作成年月 令和 6 年 10 月
SG : スチール可動間仕切		○ : (既存) 建具符号			設計者 氏名印
AP : アルミ可動間仕切		○ : (既存) 建具符号			

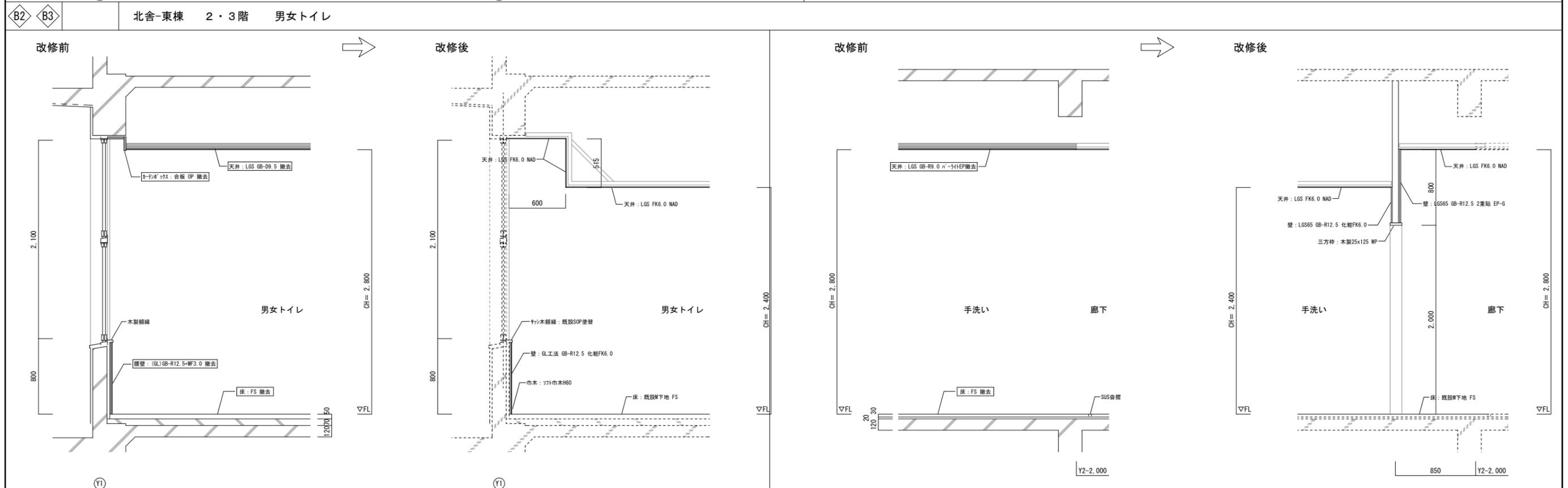
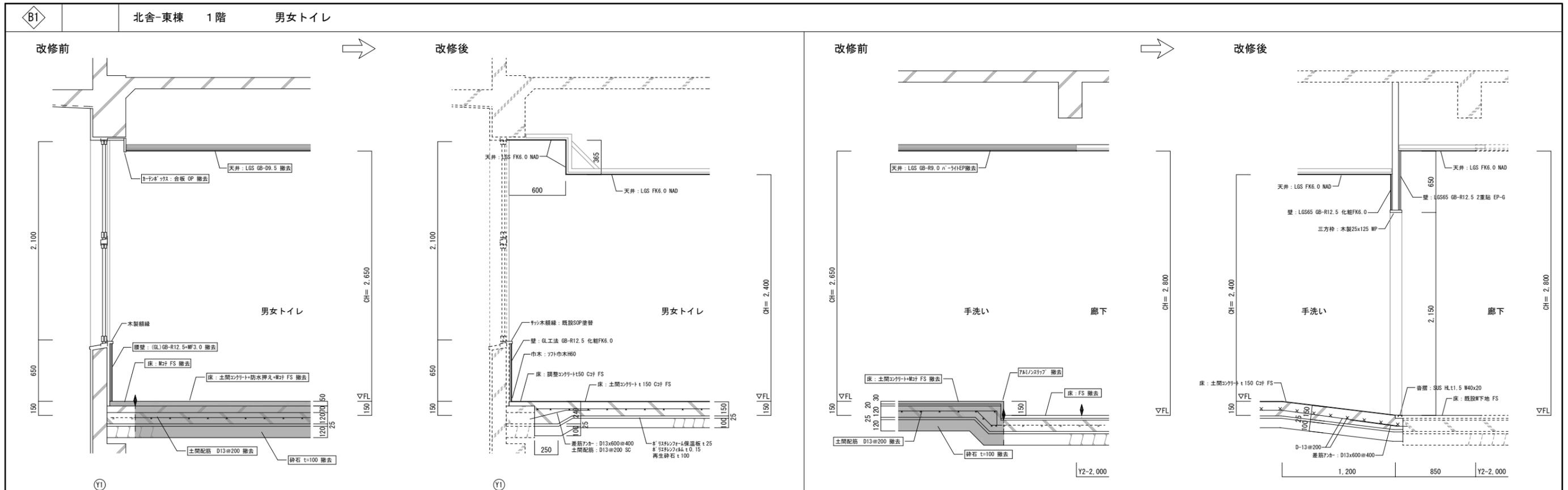
株式会社 廣建築設備設計  
一級建築士 第311227号 野内理仁

符号・名称	1 TB トイレブース 新設	2 TB トイレブース 新設	3 TB トイレブース 新設	4 TB トイレブース 新設	5 TB トイレブース 新設
図					
場所	北舎-西棟 1F	北舎-西棟 1F	北舎-西棟 2.3F	北舎-西棟 2.3F	北舎-東棟 1~3F
数量	1	1	2	2	3
ガラス	見込 ---	見込 ---	見込 ---	見込 ---	見込 ---
材質・仕上	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)
金物等	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)
符号・名称	6 TB トイレブース 新設	7 TB トイレブース 新設	8 TB トイレブース 新設	9 TB トイレブース 新設	10 TB トイレブース 新設
図					
場所	北舎-東棟 1~3F	南舎 2.3F 西側・東側	南舎 2.3F 西側・東側	南舎 2.3F 西側・東側	南舎 2F 東側
数量	3	3	3	3	1
ガラス	見込 ---	見込 ---	見込 ---	見込 ---	見込 ---
材質・仕上	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)
金物等	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、SK引手、戸当帽子 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)
符号・名称	11 TB トイレブース 新設	12 TB トイレブース 新設	13 TB トイレブース 新設	14 TB トイレブース 新設	15 TB トイレブース 新設
図					
場所	南舎 2F 東側	南舎 2.3F 西側・東側	屋内運動場	屋内運動場	プール 北側
数量	1	4	1	1	1
ガラス	見込 ---	見込 ---	見込 ---	見込 ---	見込 ---
材質・仕上	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)
金物等	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、SK引手、戸当帽子 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け SK引手、戸当帽子、付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)
符号・名称	16 TB トイレブース 新設	17 TB トイレブース 新設	18 TB トイレブース 新設	19 TB トイレブース 新設	20 TB トイレブース 新設
図					
場所	プール 南側	プール 南側	南舎 1F 西側・東側	南舎 1F 西側・東側	南舎 1F 西側・東側
数量	2	1	2	2	2
ガラス	見込 ---	見込 ---	見込 ---	見込 ---	見込 ---
材質・仕上	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)	MDF下地 高圧珪素樹脂化粧板 (ペーパーコート)
金物等	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、SK引手、戸当帽子 付属金物一式 (※TB-GP 同等品)	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け	笠木・壁面レール: 7&#224;押し出型材 クリア塗装、エッジ: 7&#224;押し出型材 7&#224;形状 クリア塗装 中心吊りレール: ティン、SUS巾木H60、表示付きスライドロック (非常解放付)、戸当帽子掛け

建具略号	ガラス略号	建具符号	●共通事項 ※特記なき場合は下記による。	●金属製建具 ※特記なき場合は下記による。	●木製建具 ※特記なき場合は下記による。	●図面中の「F」はF1×部分を示す。 ●図面中の「P」はアルミパネル部分を示す。
SUS : ステンレス製建具	SLW : スライディングウォール	FL : フロートガラス	1. 建具寸法は概要を示すものであり、製作の際には原寸図作成の上、係員の承諾を受けて製作のこと。	1. アルミサッシは一流メーカー品とする。(B種耐風圧性S-5 240kg/m2以上、気密性A-3、8等級、水密性W-4、35等級、表面処理B-1種)	1. 建具材: B種 樹種は米松・スプルース・ノープル及び標準仕様書による。	1. 改修後 建具表-2
SW : スチールウィンドウ	WAS : 木アルミ複合スクリーン	F : 型板ガラス	2. ドアクローザーは特記なき限りストップ付とする。	2. 金物は一流メーカーの一般とし、特記なき限りステンレス製とする。但し、レディメイドサッシはメーカーの指定品とする。指定のない金物あるいは、指定不明確な金物は、外観・性能・機種・取付・個数などが建具に応じたものを用い、主要な金物は見本品により監督員の承諾を得て使用する。	2. 建具金物: 一流メーカーの一般品とする。主要な金物は見本品により監督員の承諾を受けて使用し、金物の取付は特及び建具の狂いを修正した後本取付を行う。	図面番号 A-31
SD : スチールドア	WAW : 木アルミ複合ウィンドウ	TP : 強化ガラス	3. キーブランは鍵製作に先立ちブランク作成の上監督員の承諾を得て製作・取付を行う。	3. ガラス留付材はSR-1シリコン系シーリングとする。防火設備用には防火設備用指定シーリング材を用いる。	3. フラッシュ戸には横板材に空気穴を設ける。	縮尺 1/100
SS : スチールシャッター	WAD : 木アルミ複合ドア	TF : 型板強化ガラス	鍵は全て塩化錠を付けて金属製専用ボックスに収納し提出する。	4. 落下防止装置: 外部に面するアルミサッシは、完全内はずし式 (引違いに適用) 又は落下防止付とする。		作成年月 令和 6 年 10 月
LSD : 軽量スチールドア	WSP : 木製学校間仕切	PW : 網入磨き板ガラス		5. 軽量スチール建具は一流メーカー品とし、電気亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装仕上を用いる。		設計者 株式会社 廣建築設備設計
AD : アルミドア	WD : 木製ドア	FW : 網入型板ガラス				氏名印 一級建築士 第311227号 野内理仁
AW : アルミウィンドウ	WW : 木製ウィンドウ	PWL : 網入磨き板ガラス				
AG : アルミガラリ	FD : フラッシュドア	FWL : 網入型板ガラス				
SP : スチール可動間仕切	TB : トイレブース					
AP : アルミ可動間仕切	f : フスマ					



凡例		工事名	
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	
	(現況) 撤去範囲を示す	種別	各部詳細図-1
	(現況) カッター入れを示す	図面番号	A-32
		縮尺	1/30
		作成年月	令和6年10月
		設計者	株式会社 廣建築設備設計
		氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁



凡例		工事名	
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)	
	(改修) 既設部分を示す	種別	各部詳細図-2
	(改修) シーリングを示す	図面番号	A-33
	(現況) カッター入れを示す	縮尺	1/30
		作成年月	令和6年10月
		設計者	株式会社 廣建築設備設計
		氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁

G

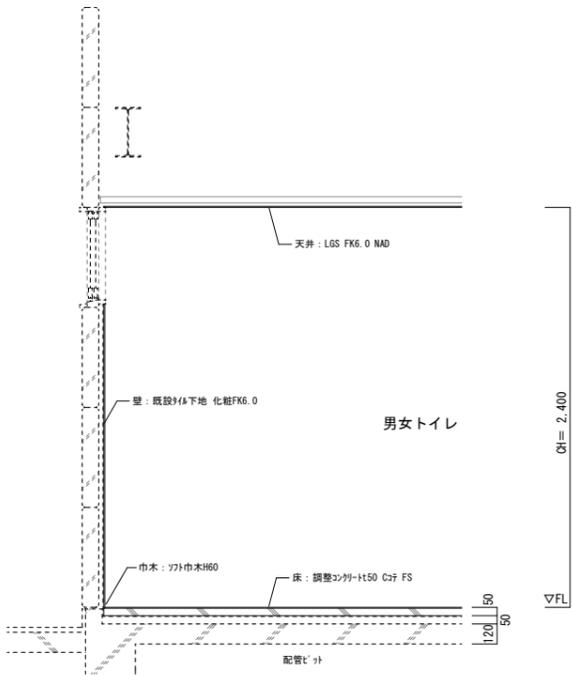
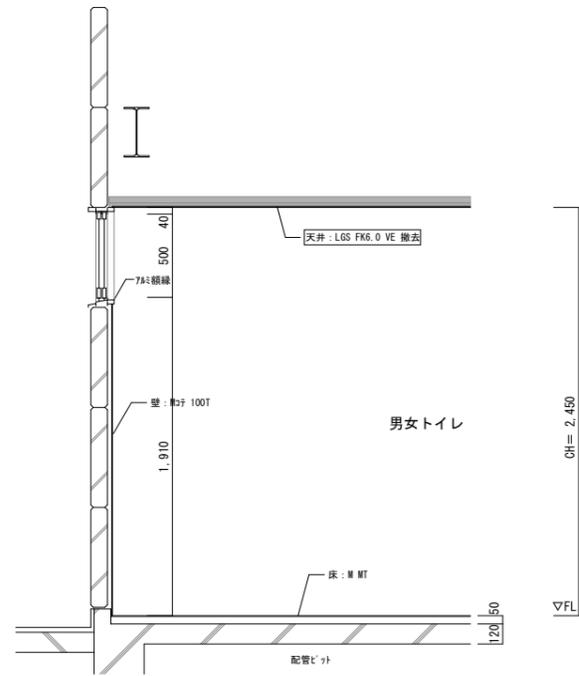
屋内運動場

男女トイレ

改修前



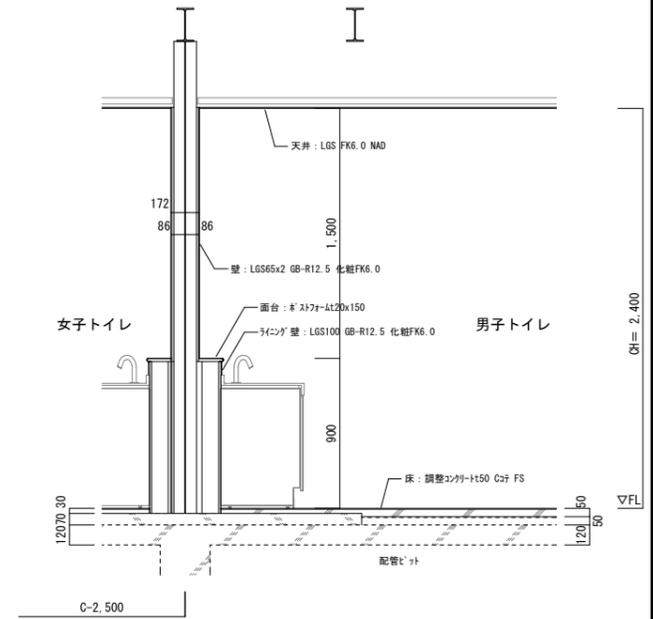
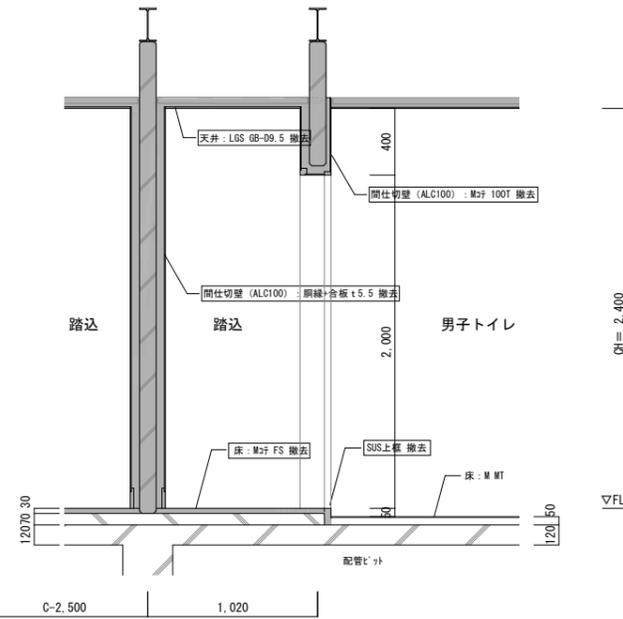
改修後



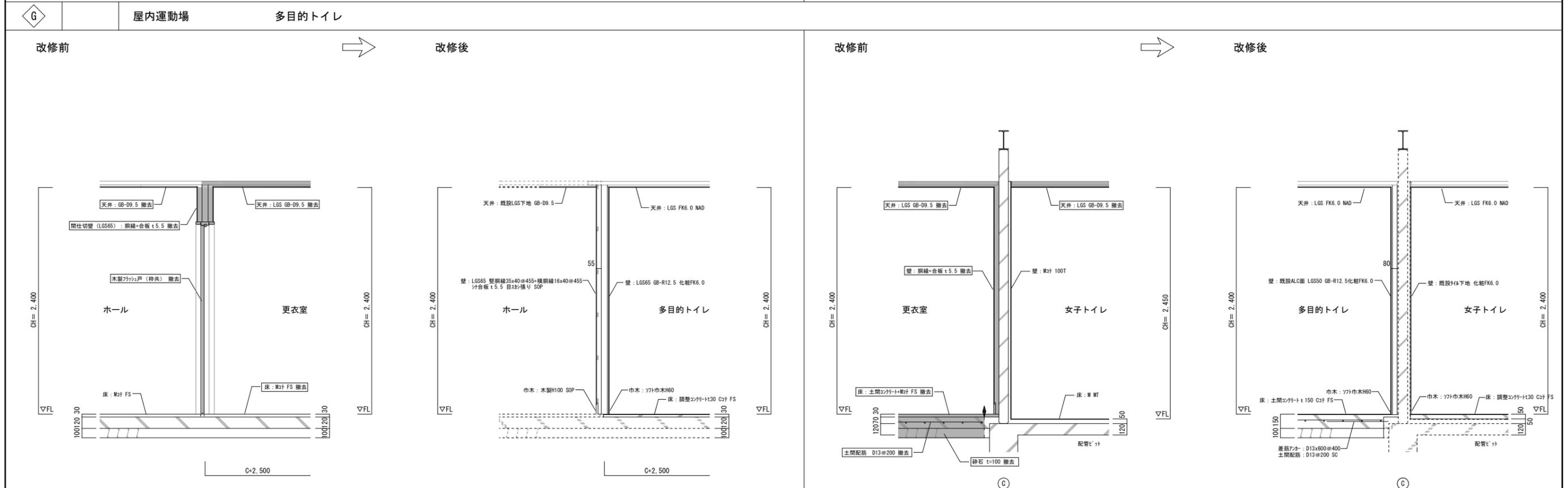
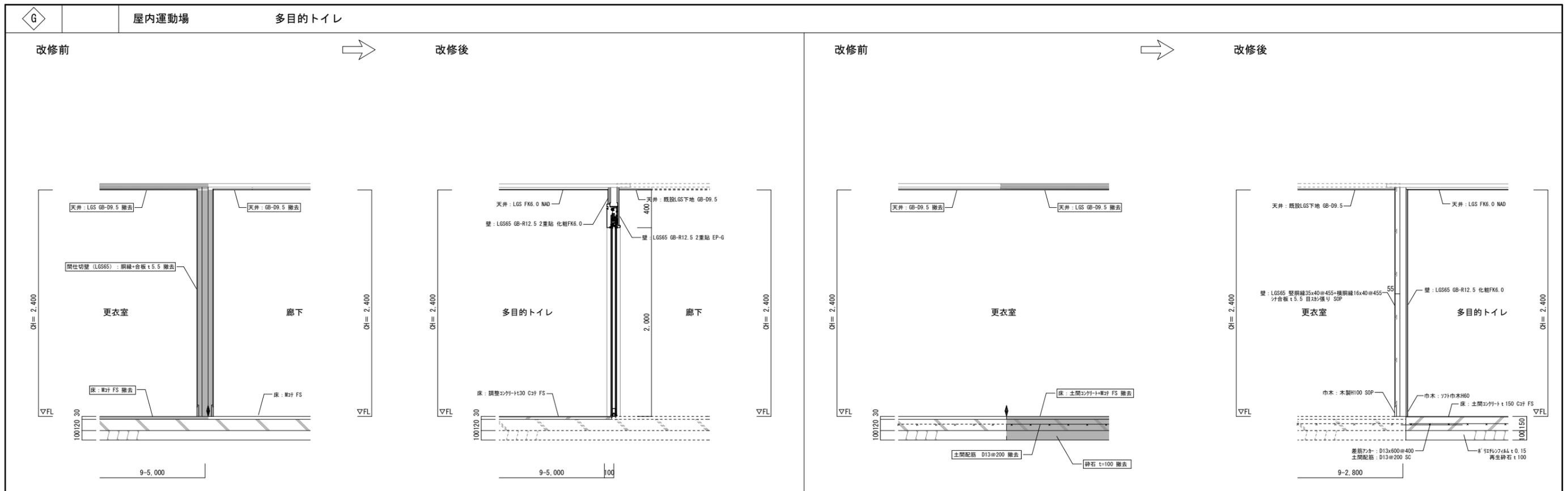
改修前



改修後

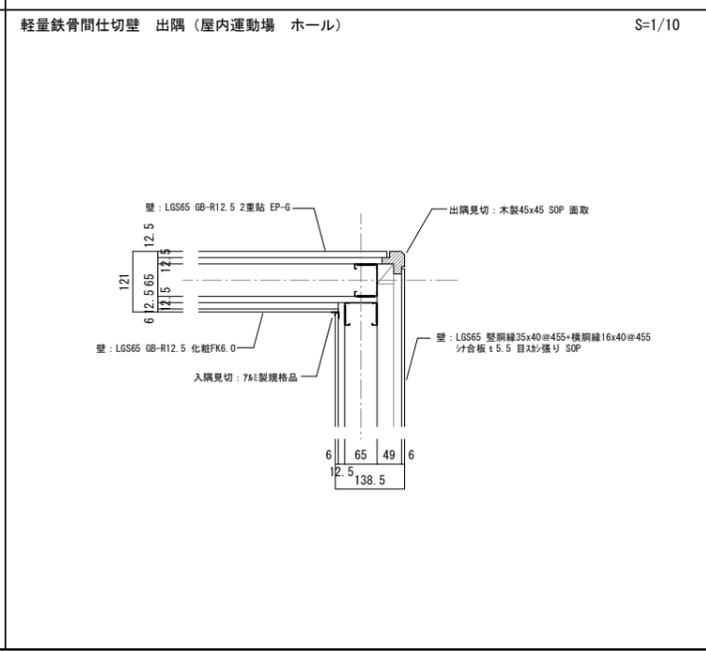
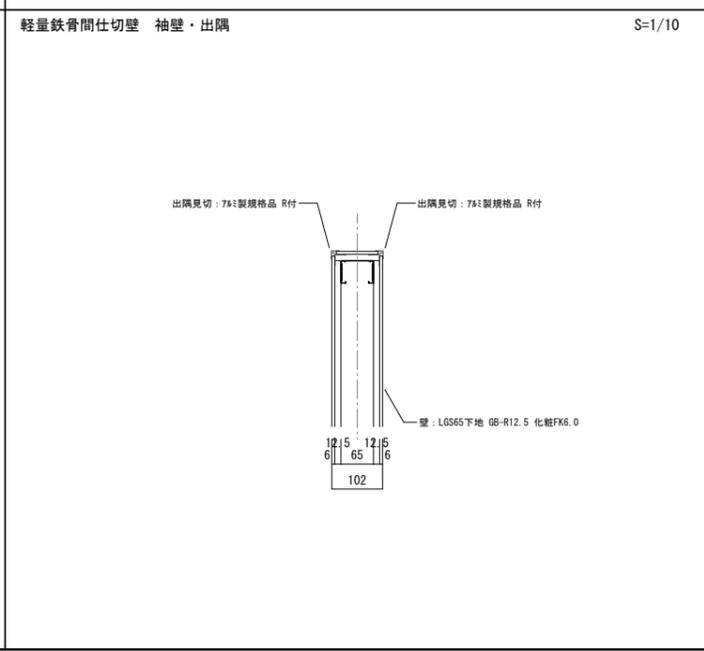
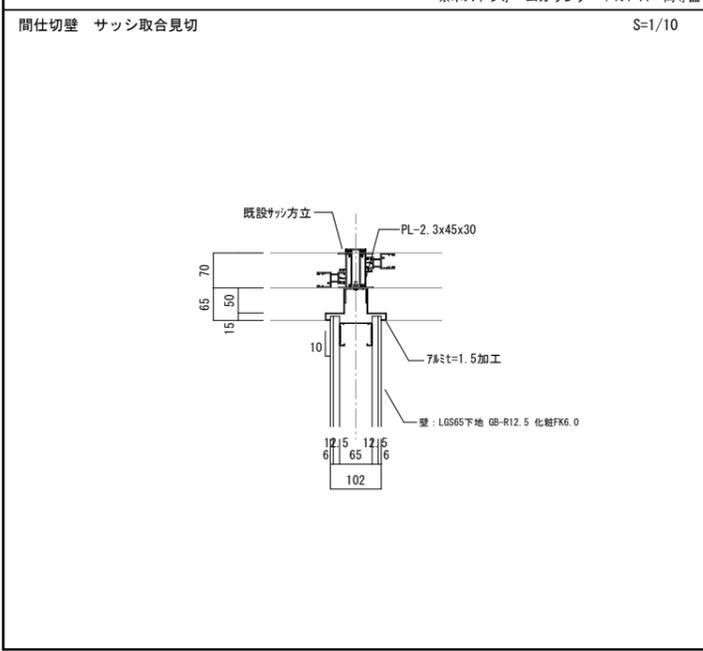
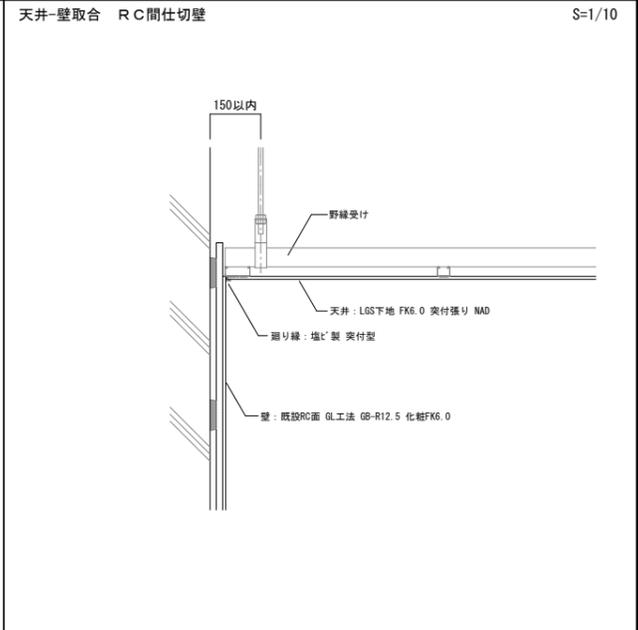
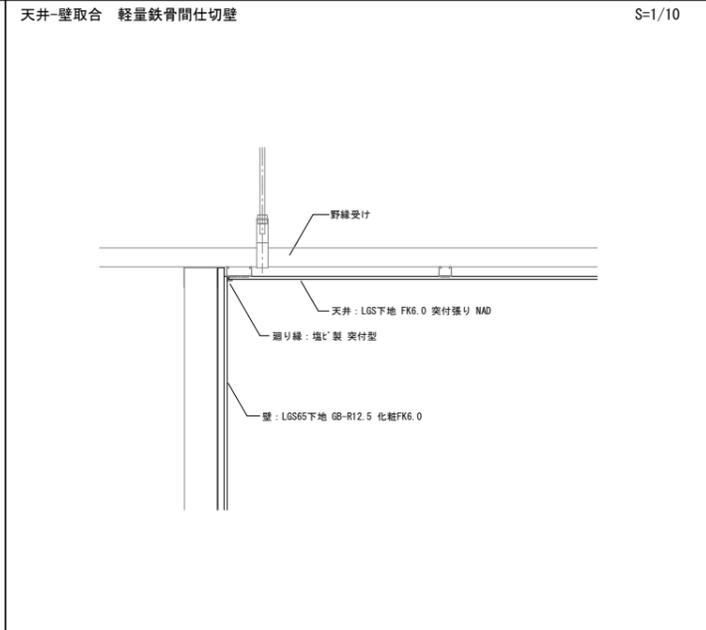
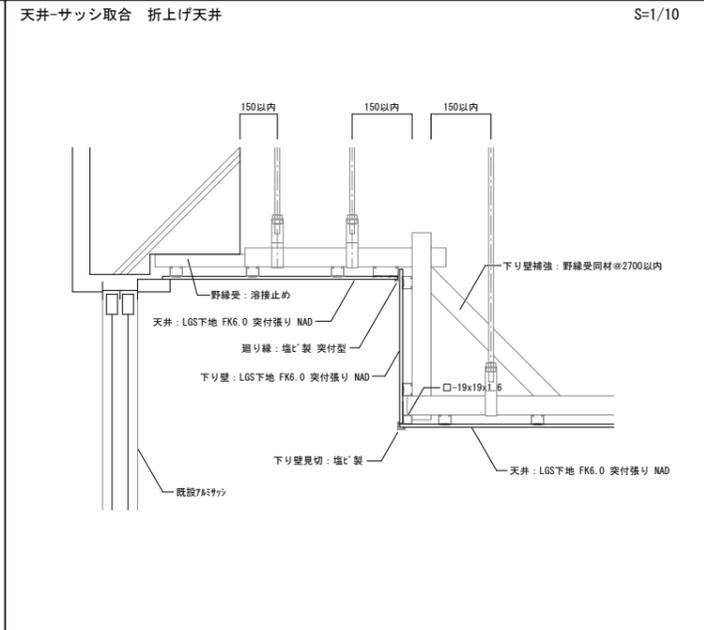
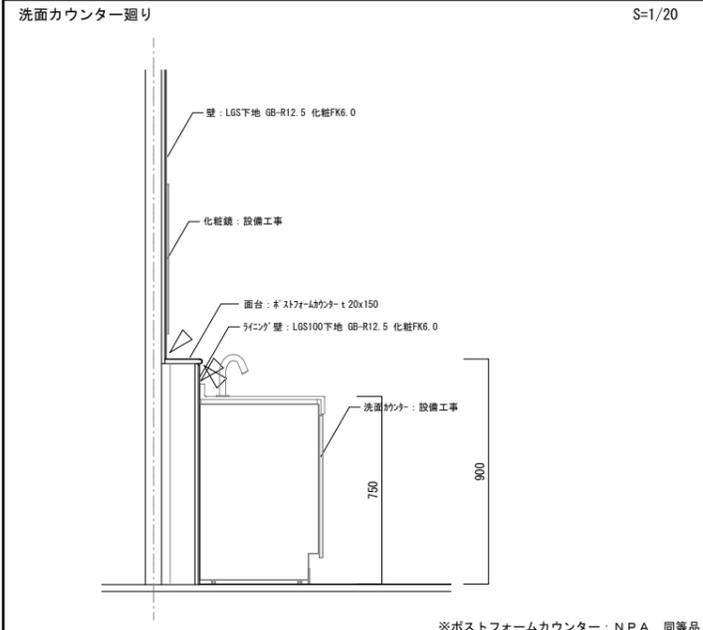
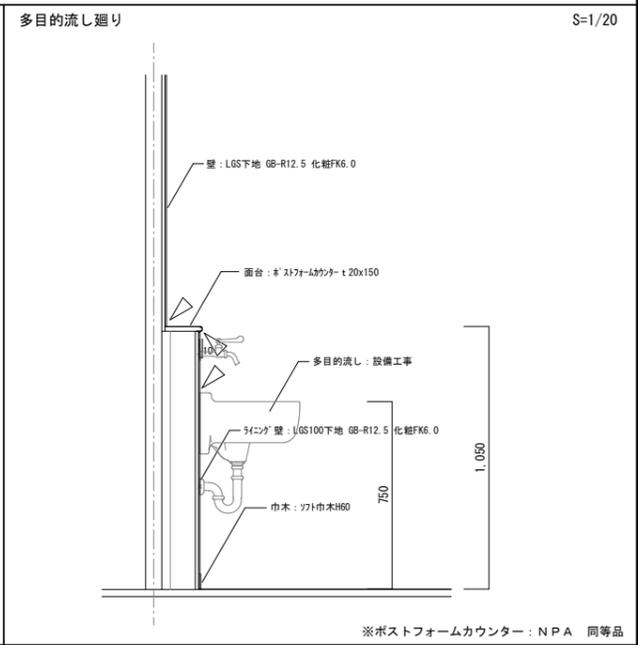
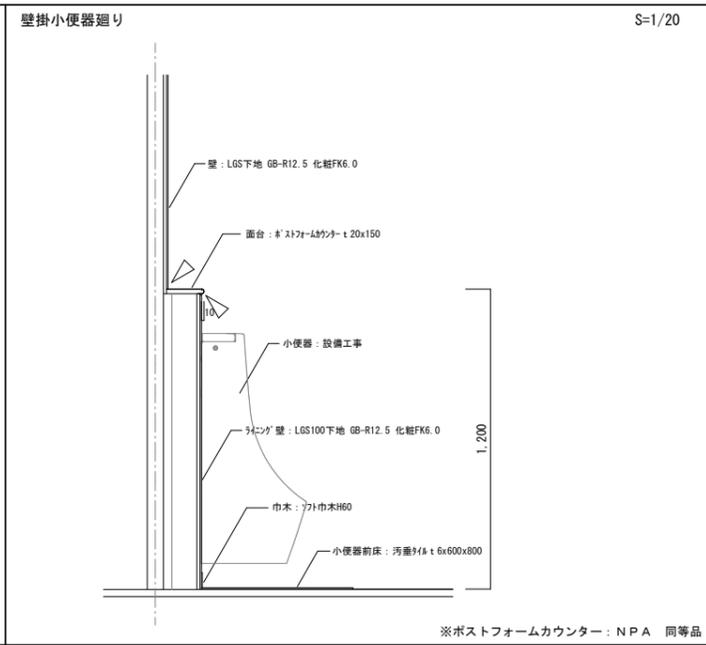
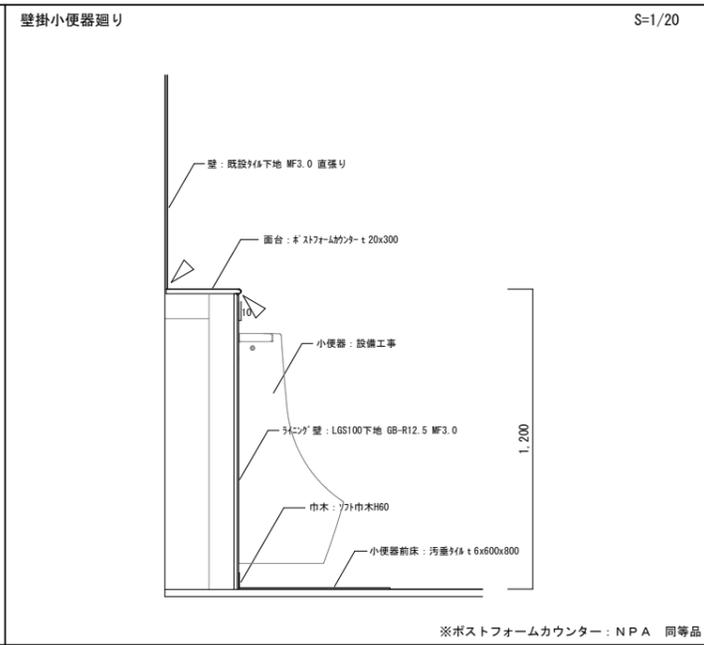
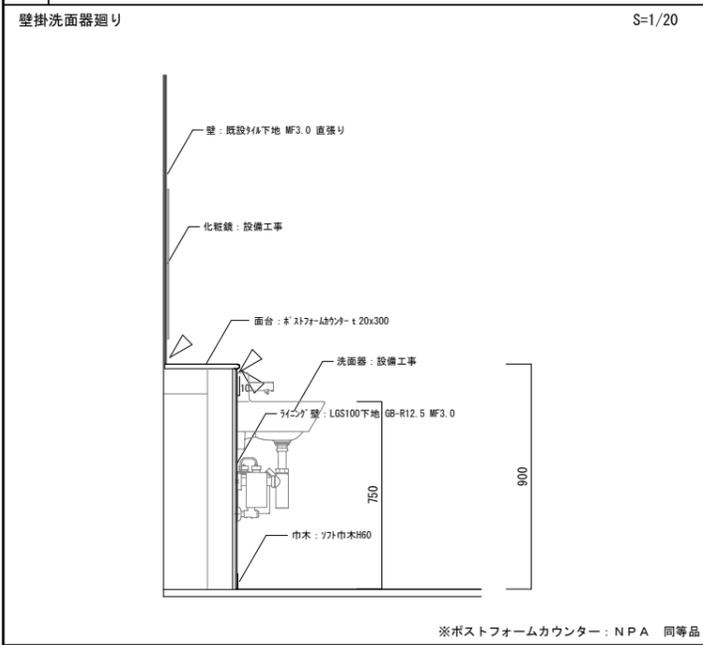


凡例		工事名	可見市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す	種別	各部詳細図-3	図面番号	A-34
	(改修) 既設部分を示す	縮尺	1/30	作成年月	令和6年10月
	(改修) シーリングを示す	設計者	株式会社 廣建築設備設計		
	(現況) カッター入れを示す	氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



凡例		工事項	
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	
	(現況) 撤去範囲を示す	種別	各部詳細図-4
	(現況) カッター入れを示す	縮尺	1/30
		図面番号	A-35
		作成年月	令和6年10月
		設計者	株式会社 廣建築設備設計
		氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁

各部詳細図



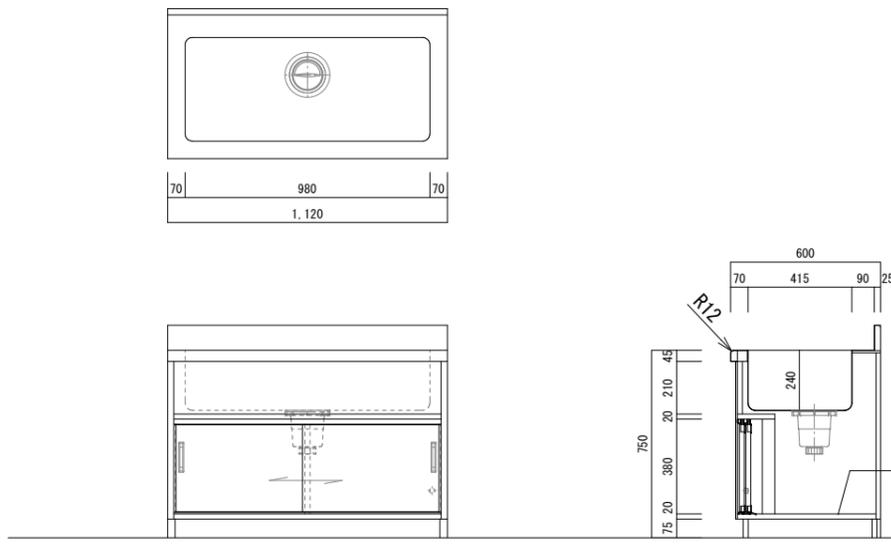
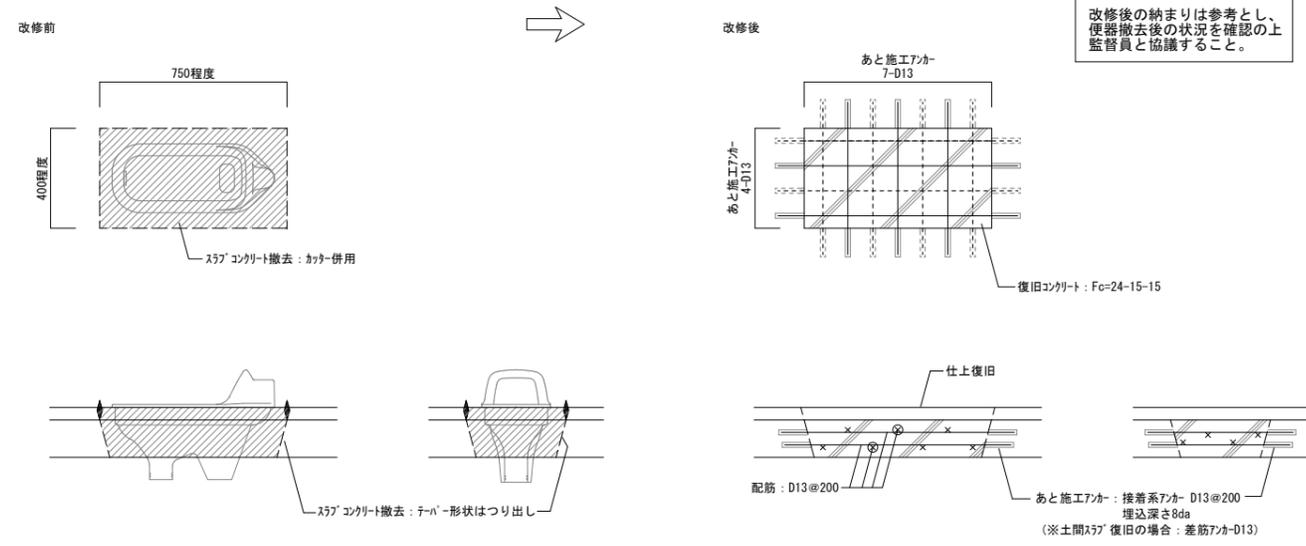
工事名	可児市立東明小学校トイレ規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	各部詳細図-5	図面番号	A-36
縮尺	1/10.20	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁		

和便器開口閉塞要領

S=1/20

SUS流し

S=1/20



名称	材質・仕様
作業天板	t45 ステンレス304 t1.0 (正面木口R加工)
流し	ステンレス304 t1.0 (正面木口R加工) 大型排水トラップ (ゴミカゴ付) 流し裏面：結露防止加工
外装	ポリエステル樹脂合板
内装	耐摩耗紙化粧板
側板見付	硬質耐熱性樹脂エッジ (ABS樹脂)
見付	樹脂エッジ (ABS樹脂)
引違戸	t20 ポリエステル樹脂合板 木口：樹脂エッジ (ABS樹脂) 成形引手 (ABS樹脂) 一体成形ガイドレール (PP樹脂) 成形ソフト縦枠Ⅱ型 (ABS樹脂) 一体成形Vレール (ABS樹脂)
台輪	ポリエステル樹脂合板
給水栓	角部：セーフティカバー27L (ABS樹脂) (設備工事)

室名札 S=1/5

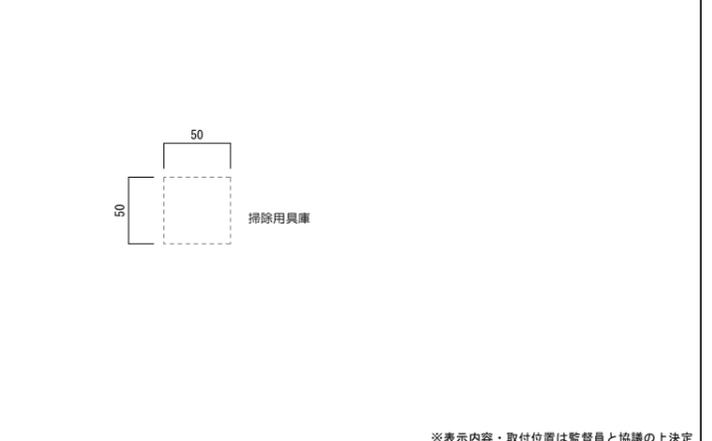
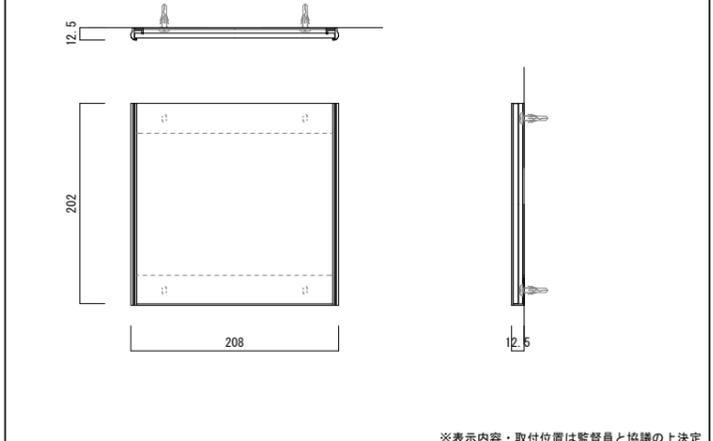
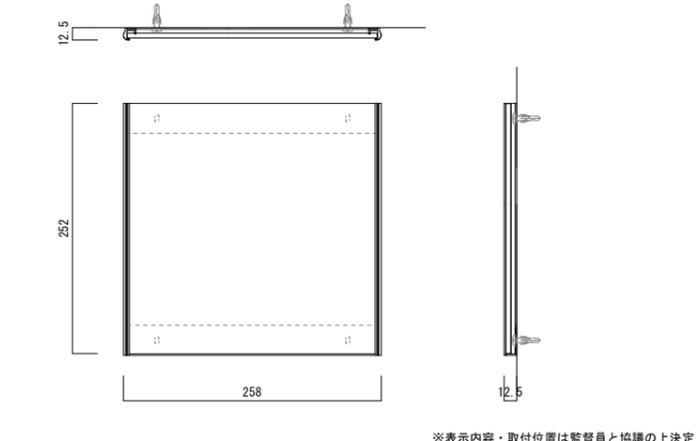
名称	材質・仕様
フレーム	アルミ型材 アルマイト仕上
表示基板	アクリル板 t 5.0
表示方法	UV印刷
	※FA250-SV (正面型) 同等品

室名札 S=1/5

名称	材質・仕様
フレーム	アルミ型材 アルマイト仕上
表示基板	アクリル板 t 5.0
表示方法	UV印刷
	※FA200-SV (正面型) 同等品

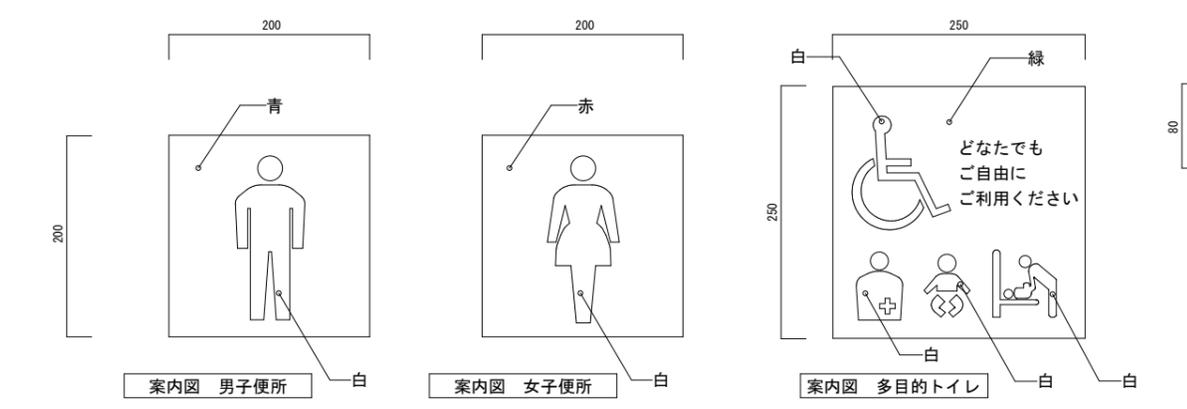
室名表示 S=1/5

名称	材質・仕様
表示	カッティングシート切文字貼



サイン姿図

S=1/5

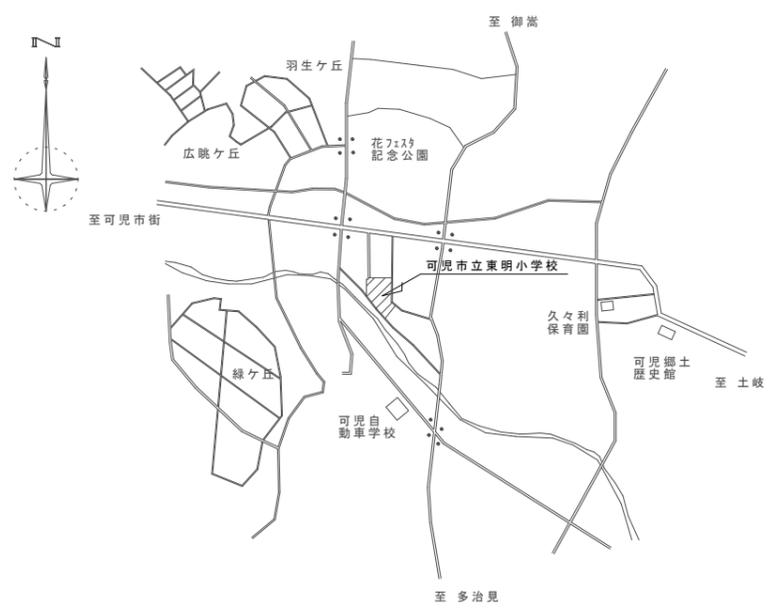


室名札仕様  
 本体：アクリル板 厚5.0 つや消し  
 表示：インジェット印刷  
 枠材：アルミ型材 (シルバー)  
 ※表示する案内用図記号はJIS Z 8210による。  
 ※案内用図記号の色彩はJIS Z 9101-1995による。  
 ※多目的トイレ用の表示マークは設置する設備による。

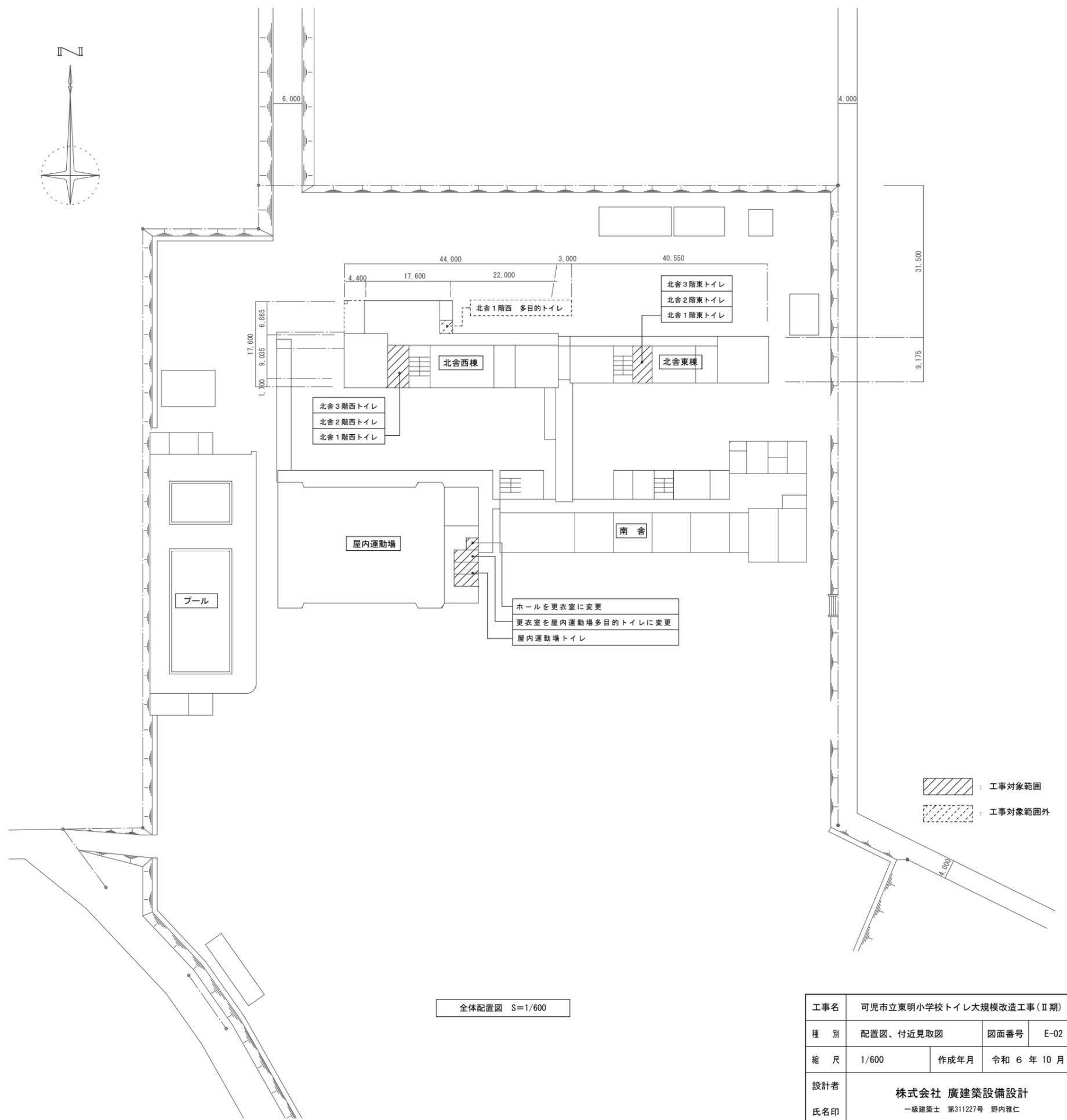
工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	各部詳細図-6	図面番号	A-37
縮尺	1/5, 10, 20	作成年月	令和6年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		

※表示内容・取付位置は監督員と協議の上決定





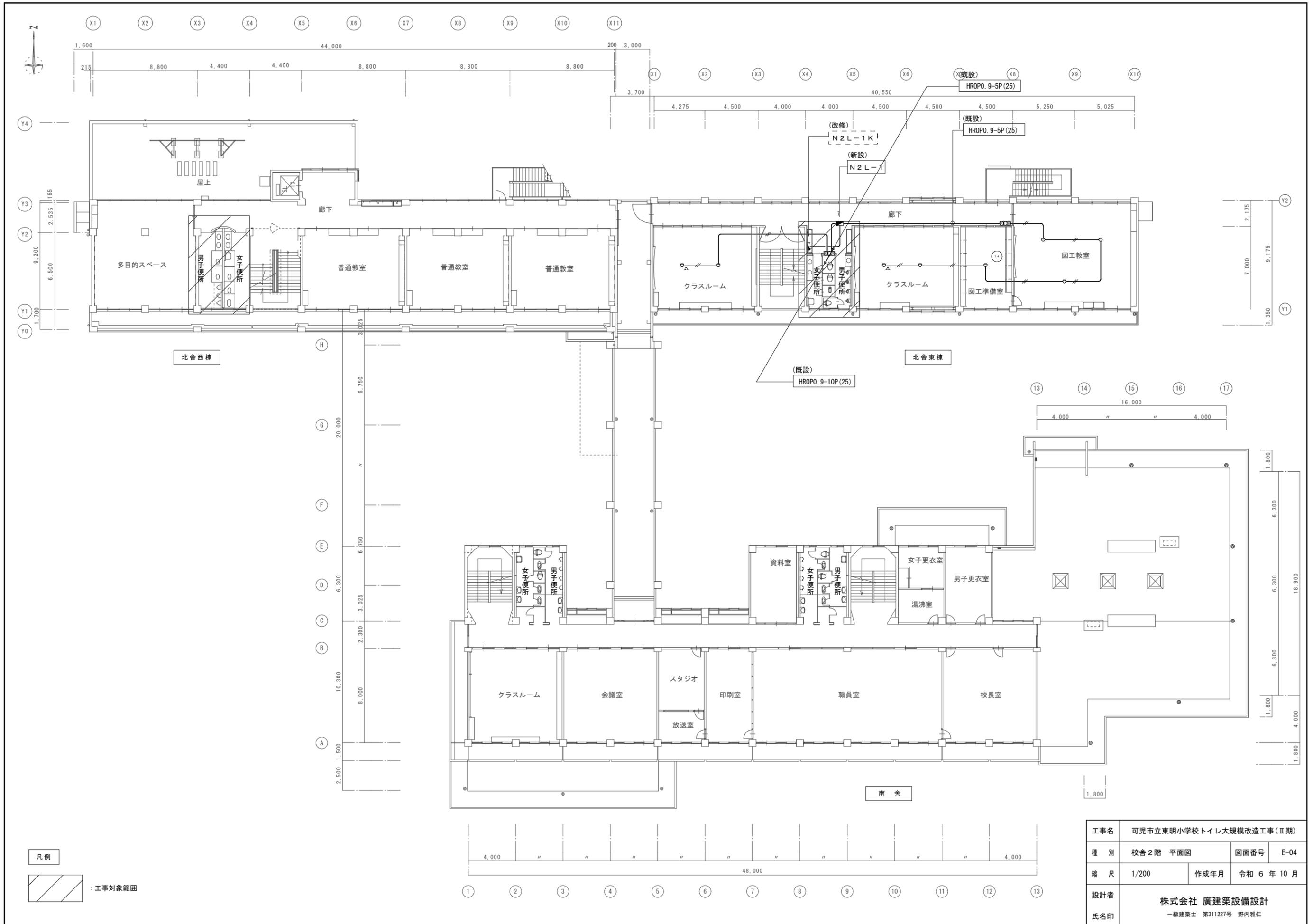
付 近 見 取 図



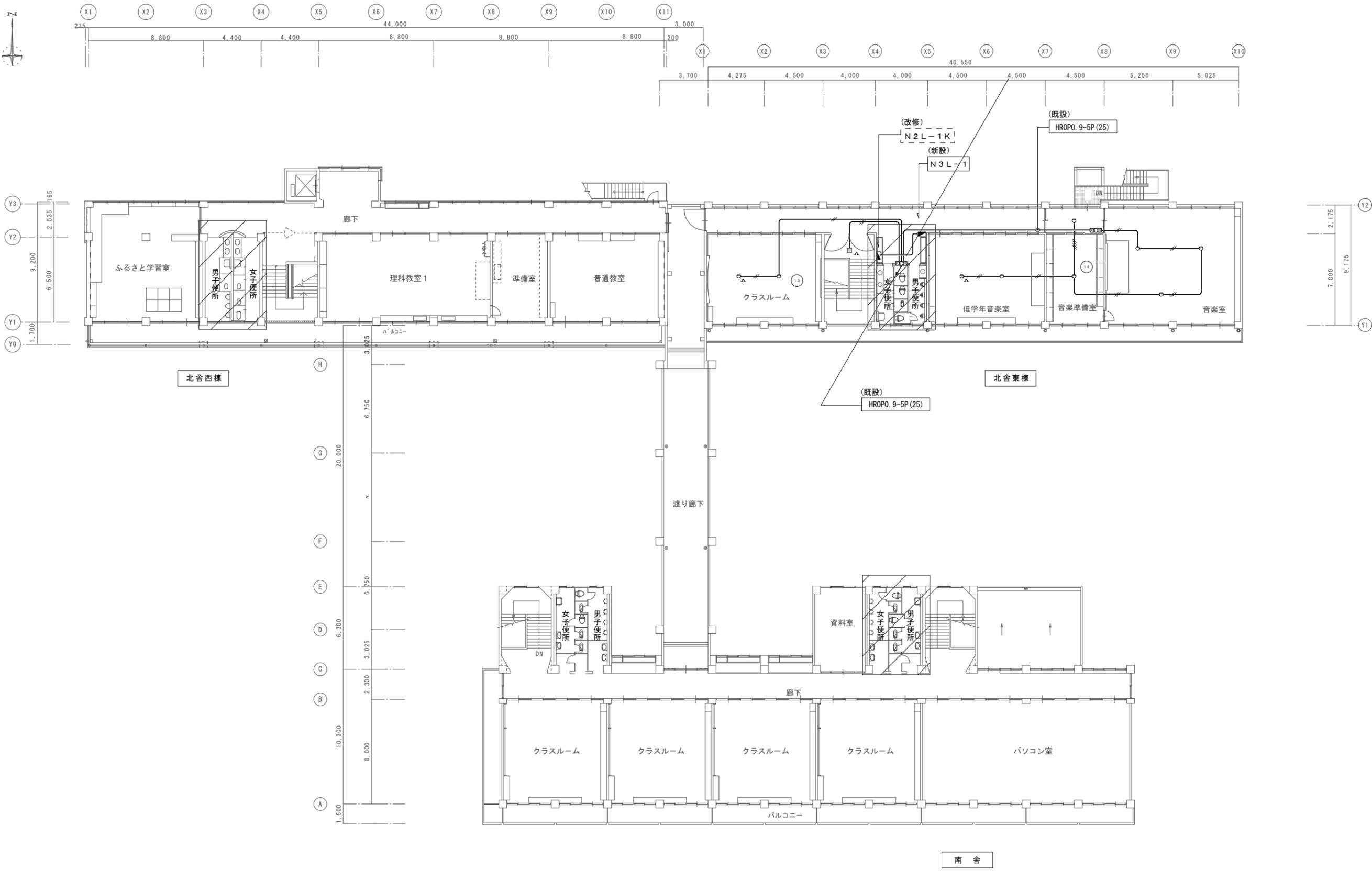
全体配置図 S=1/600

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種 別	配置図、付近見取図	図面番号	E-02
縮 尺	1/600	作成年月	令和 6 年 10 月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

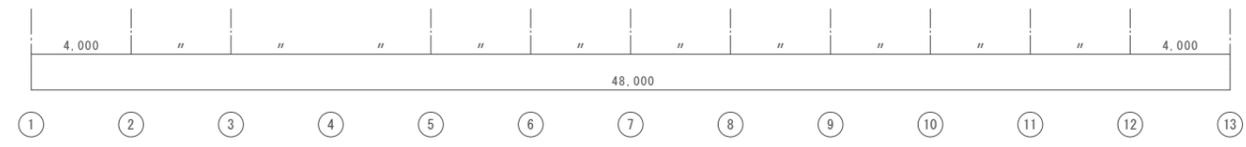




工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	校舎2階 平面図	図面番号	E-04
縮尺	1/200	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

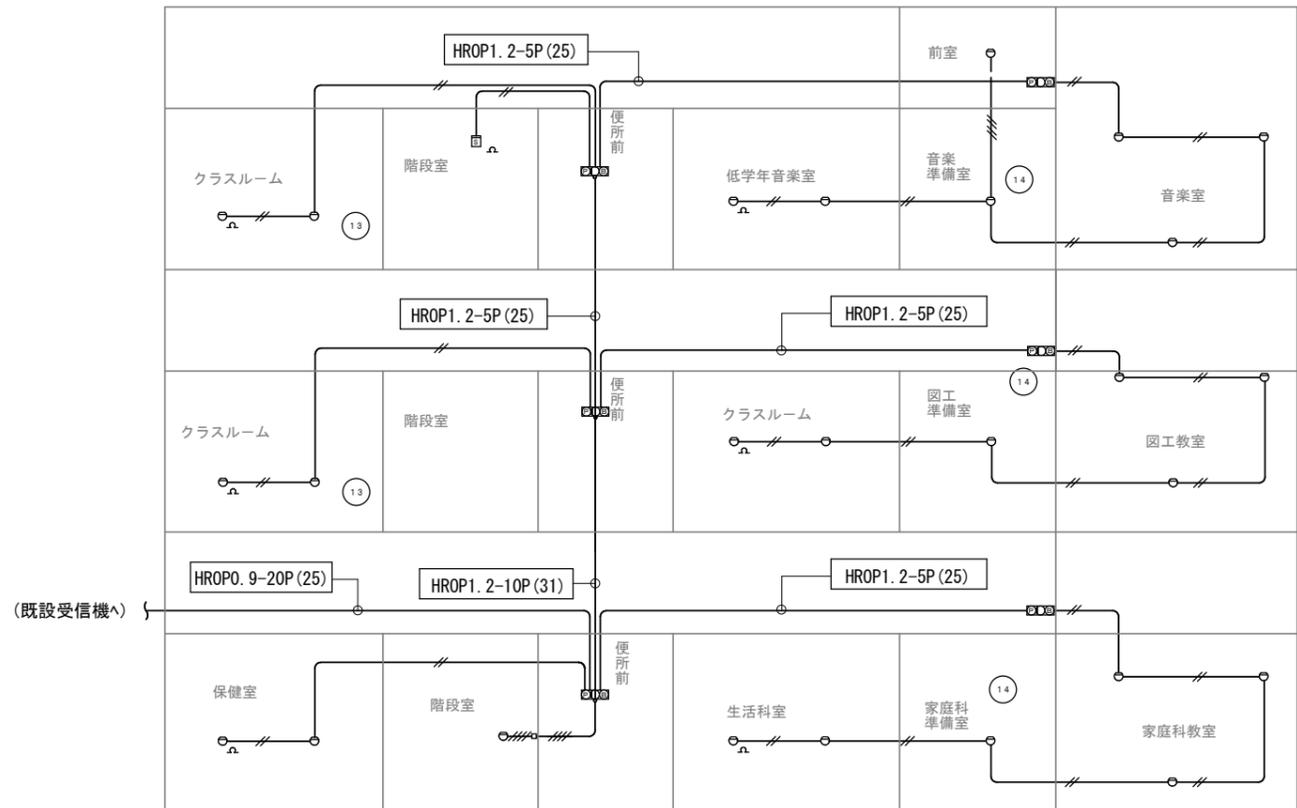


凡例  
 : 工事対象範囲

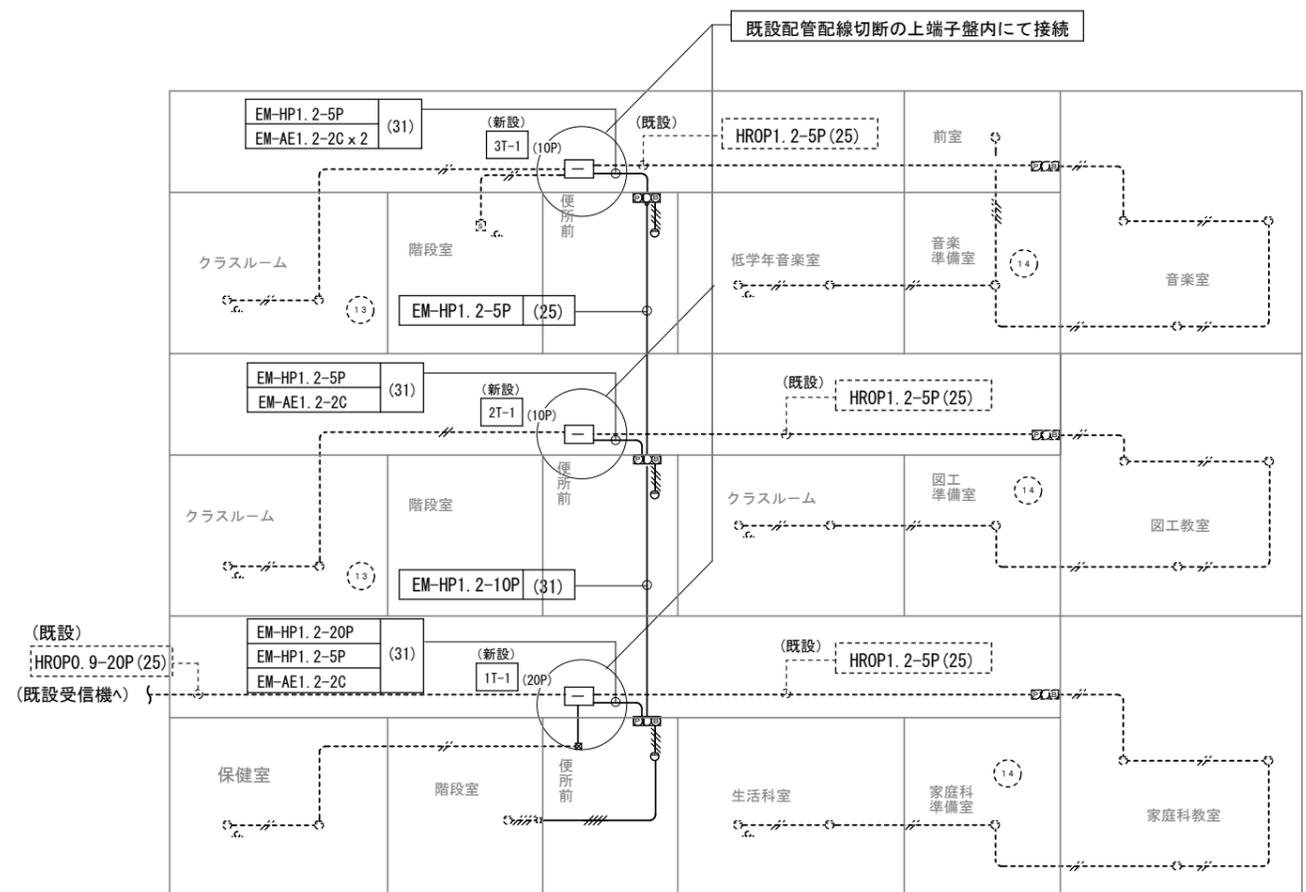


工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	校舎3階 平面図	図面番号	E-05
縮尺	1/200	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

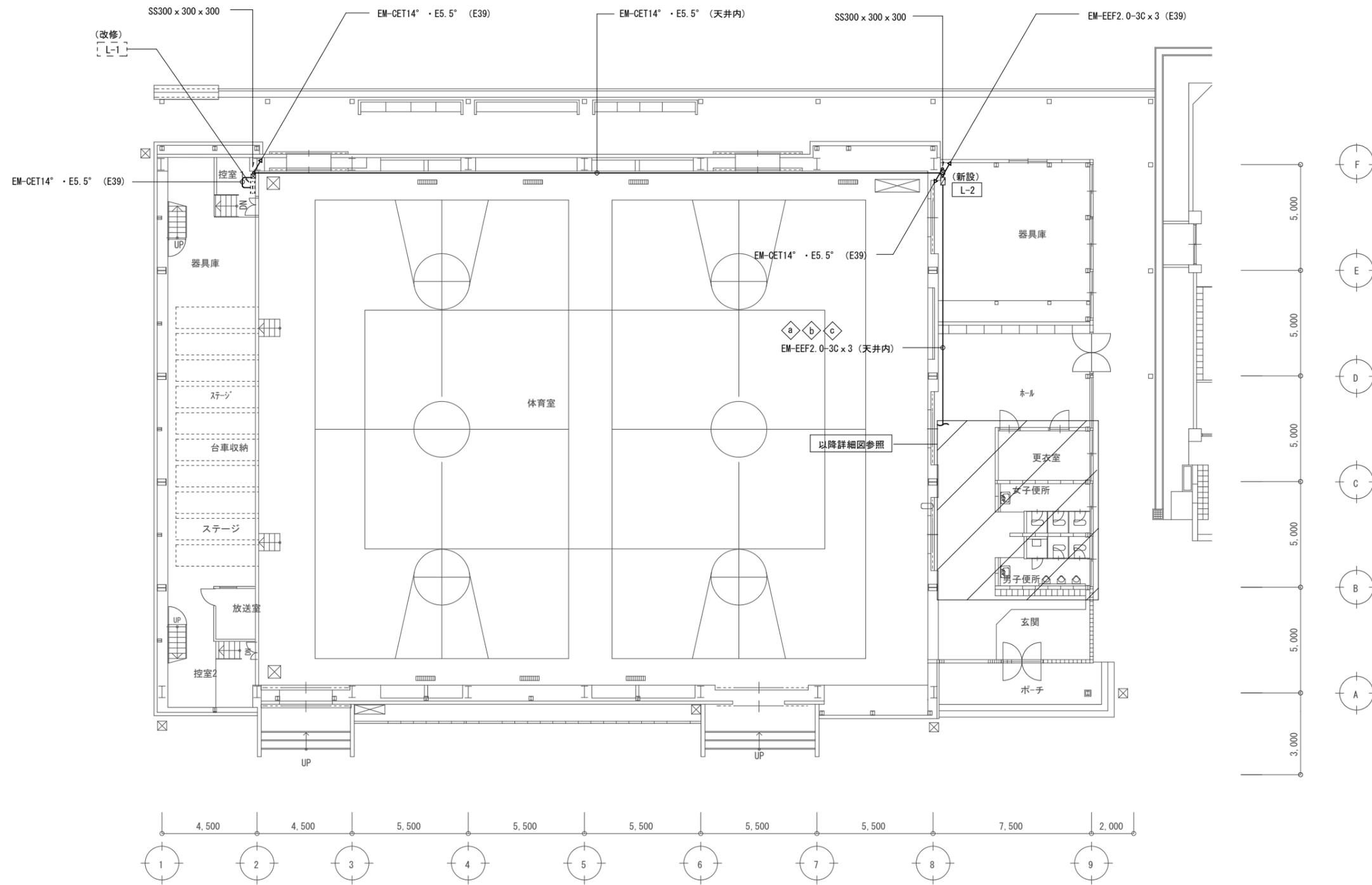
改修前自動火災報知設備系統図



改修後自動火災報知設備系統図



工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	改修前・後 北舎自動火災報知設備系統図	図面番号	E-06
縮尺	-	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		



屋内運動場 平面図

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	屋内運動場 平面図	図面番号	E-07
縮尺	1/150	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

LP-2 壁掛型

(既設一部改修)

負荷容量	負荷名称	配線用 遮断容量	回路 番号	回路 番号	配線用 遮断容量	負荷名称	負荷容量
1060W	1F 児童用トイレ(女) コンセント	MCB 2P 50/20	a	b	MCB 2P 50/20	1F 児童用トイレ(男) 多目的トイレ コンセント	1390W
1440W	2F 児童用トイレ(女) コンセント	"	c	d	"	2F 児童用トイレ(男) コンセント	710W
1170W	3F 児童用トイレ(女) コンセント	"	e	f	"	3F 児童用トイレ(男) コンセント	710W
	配膳室 照明	"	1	2	"	休憩室 車寄せ 電源	
	和教室 照明	"	3	4	"	1F トイレ照明	
	2F トイレ照明	"	5	6	"	3F トイレ照明	
	2F 多目的室照明	"	7	8	"	車寄せコンセント 及びシャッター電源	
	配膳室及びエレベーター 点検用コンセント	"	9	10	"	配膳室コンセント	
	身障者トイレ 照明・コンセント	"	11	12	"	エレベーター電源専用 3Fふるさと学習室	
	1F 和教室 照明	"	13	14	"	1F 和教室 照明	
	1F 配膳室 冷蔵庫コンセント	"	15	16	"	1F 和教室コンセント	
	予備					予備	

1φ3W  
60°  
MCB 3P  
225/150

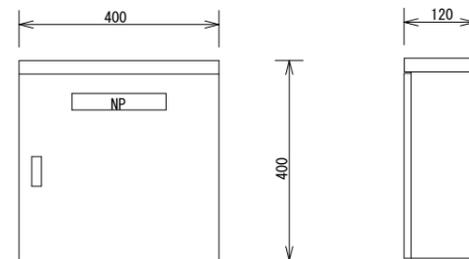
セーラー

3φ3W  
60°  
ELB 3P 150/150A

負荷容量	負荷名称	配線用 遮断容量	回路 番号	回路 番号	配線用 遮断容量	負荷名称	負荷容量
60A	1F 和教室 エアコン	60A	a	b	60A	2F 多目的室 エアコン	
100A	1F 図書室 分電盤	100A	c	d	75A	エレベーター制御盤	
30A	1F 配膳室 エアコン	30A	e	f	50AF	予備	

新設盤参考図 (共通)

屋内壁掛形  
指定色塗装仕上げ

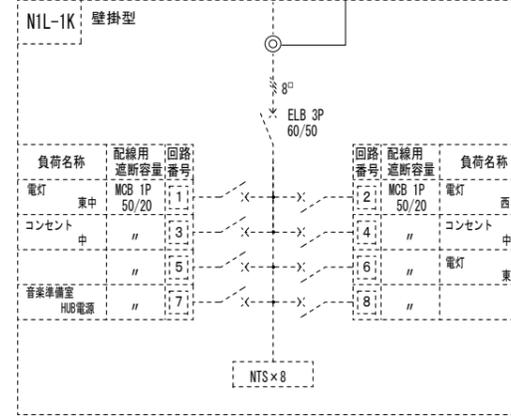


※寸法は参考とする。

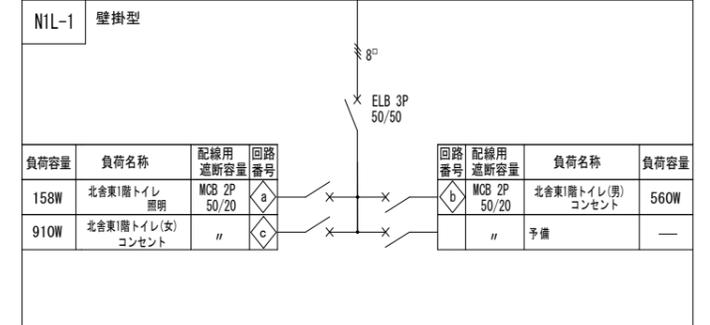
分電盤単線結線図 1、2 のメーカーは以下による。

分電盤メーカー参考 (五順音順)  
・(株)尾関製作所、河村電器産業(株)、三景電機(株)、日東工業(株)、中立電機(株)、パナソニック(株)

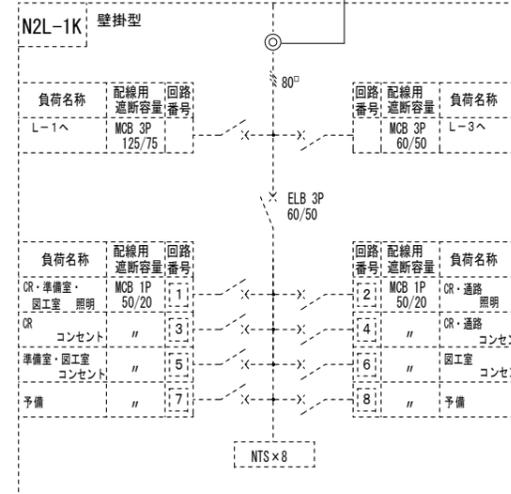
(既設一部改修)



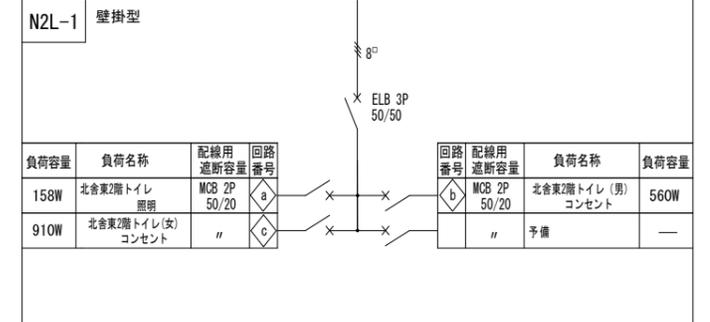
(新設)



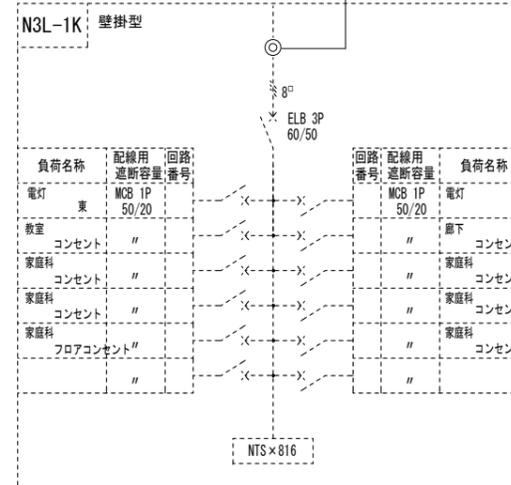
(既設一部改修)



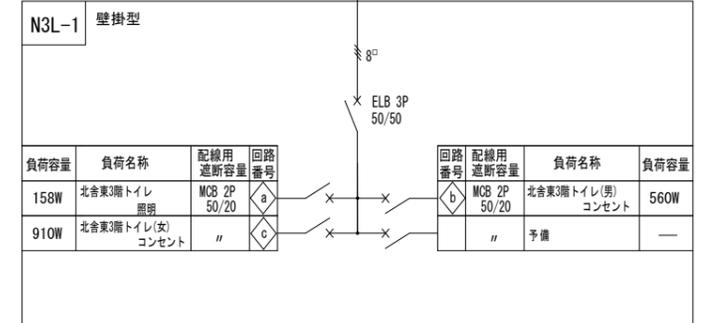
(新設)



(既設一部改修)



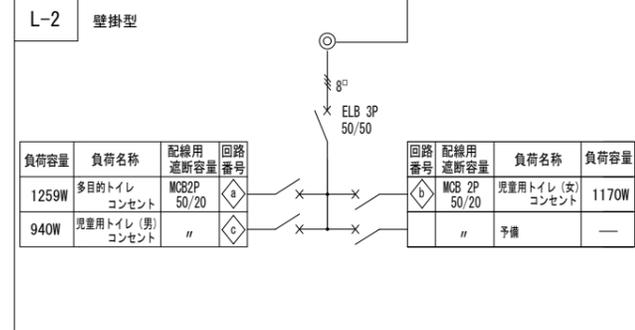
(新設)



工事名	可見市立東明小学校トイレ大規模改造工事(II期)		
種別	分電盤単線結線図 1	図面番号	E-08
縮尺	-	作成年月	令和 6 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		

屋内運動場

(新設)  
屋内運動場 器具庫



EM-CET14° · E5.5°

(既設一部改修)  
屋内運動場 控室 1



工事名	可見市立東明小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
種別	分電盤単線結線図2	図面番号	E-09
縮尺	-	作成年月	令和6年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

凡例

参考図

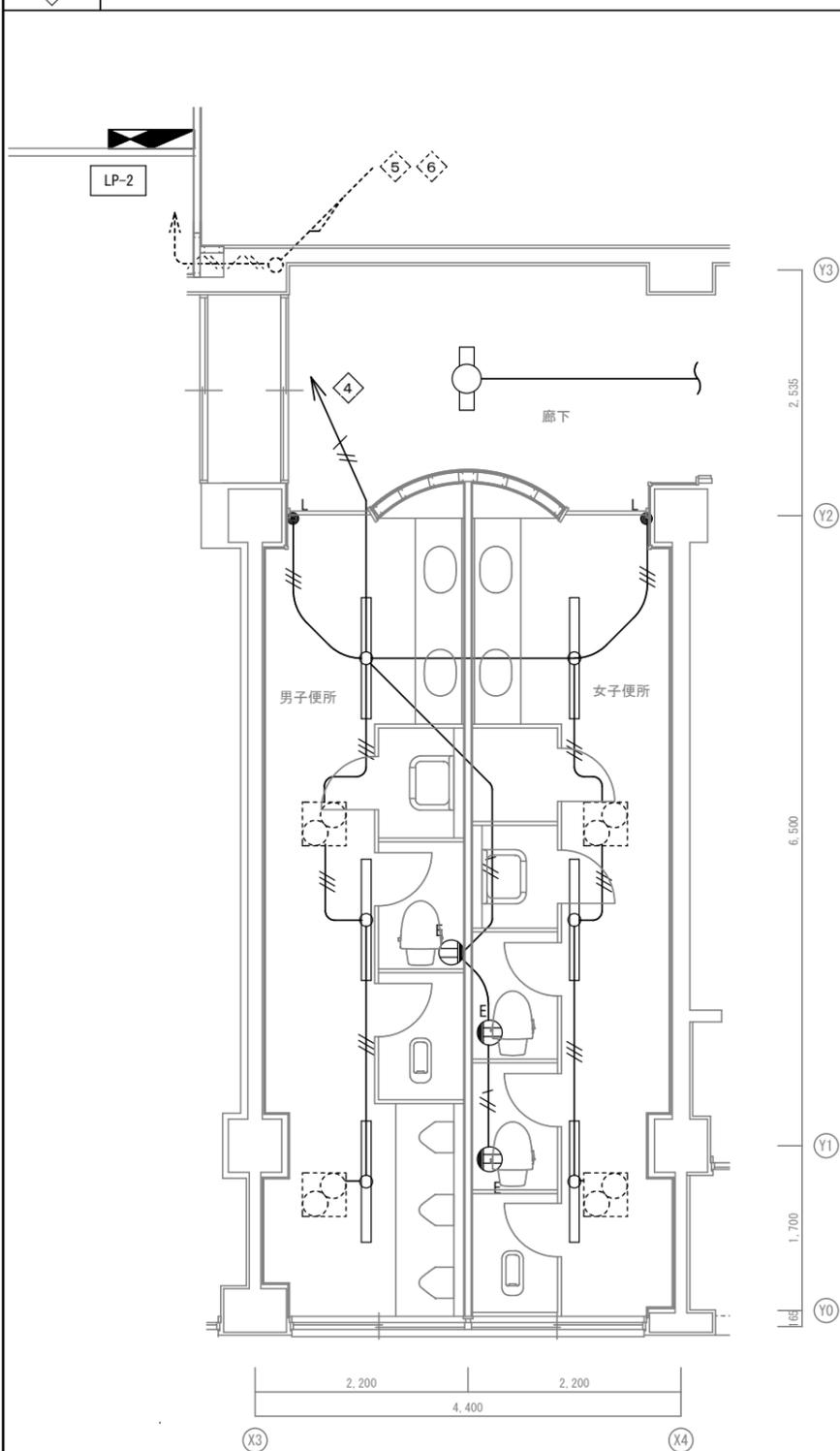
新設

記号	名称	備考
	LED下面開放型照明器具	姿図 参照
	LED下面開放型照明器具	姿図 参照
	LED直付型照明器具	姿図 参照
	LED直付型照明器具	姿図 参照
	LEDダウンライト型器具	姿図 参照
	LEDダウンライト型器具	姿図 参照
	人感センサー	親器
	人感センサー	親器 (換気扇用電源付)
	人感センサー	子器
	人感センサー	子器 (換気扇用電源付)
	切替スイッチ	壁埋込型 1回路用
	切替スイッチ	壁埋込型 2回路用
	埋込型コンセント	2P15A×1+ET×1 スイッチボックス (1個用) (新金属プレート)
	埋込型コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 スイッチボックス (1個用) (新金属プレート)
	埋込型コンセント	2P15A×1 メタルモール用スイッチボックス (1個用) (新金属プレート)
	埋込型コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 メタルモール用スイッチボックス (1個用) (新金属プレート)
	アウトレットボックス	中型四角44mm
	メタルモール	A型
	コーナーボックス	メタルモール用 A型
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1~3個用
	メタルモール	C型
	コーナーボックス	メタルモール用 C型
	換気扇	機器は機械工事、電源接続は電気工事
	スパイラルダクト	機械工事
	ケーブル接続箇所	既設ケーブルとの接続箇所
	呼出装置	1窓 (☒:呼出装置用電源 EM-EEF2.0-2Cにて呼出装置と接続)
	表示灯	
	復旧釦	
	呼出釦	ひも付き
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C (天井内配線) 立下りはPF管による
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C (天井内配線)
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C (天井内配線)
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C×2 (天井内配線)
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C×3C (天井内配線)
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C (PF22) (ｽﾌﾟﾙ・壁内)
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C (PF16) (ｽﾌﾟﾙ・壁内)
	既設配線	

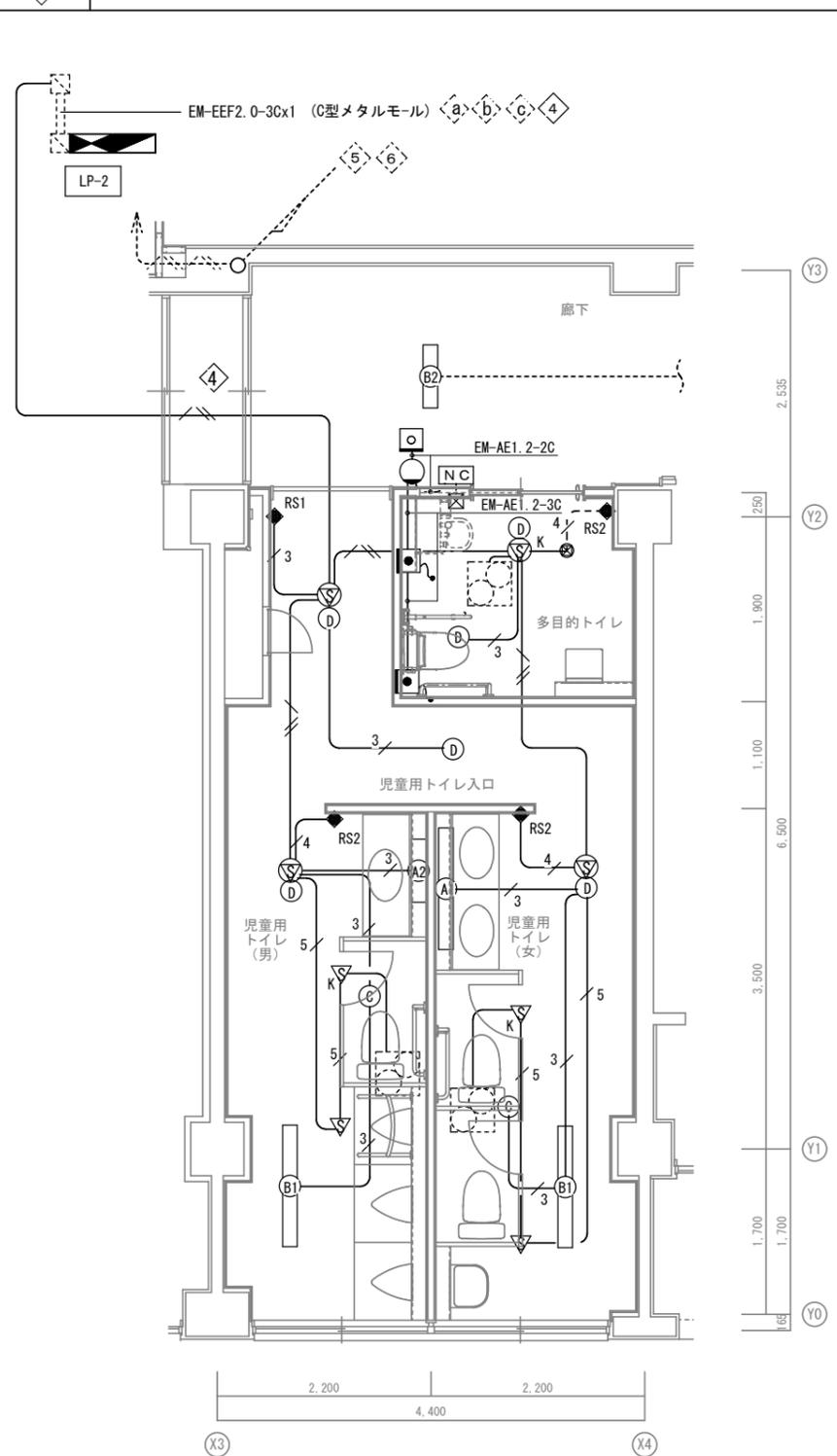
	LEDベースライト 40形 W150		LEDベースライト 20形 W150		LEDベースライト 40形 W150
<p>3,200lmタイプ 天井埋込型 昼白色 20.6W</p> <p>公共品番: LRS6-4-30</p>		<p>1,600lmタイプ 天井埋込型 昼白色 11.6W</p> <p>公共品番: LRS6-2-15</p>		<p>3,200lmタイプ 天井直付型 昼白色 20.6W</p> <p>公共品番: LSS9-4-30</p>	
	LEDベースライト 20形 W150		LEDダウンライト 100形		LEDダウンライト 150形
<p>1,600lmタイプ 天井直付型 昼白色 11.6W</p> <p>公共品番: LSS1-2-15</p>		<p>1,020lm φ100 昼白色 7W</p> <p>トイレ個室</p>		<p>1,675lm φ125 昼白色 11.6W</p>	

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	凡例・照明器具参考図	図面番号	E-10
縮尺	-	作成年月	令和6年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

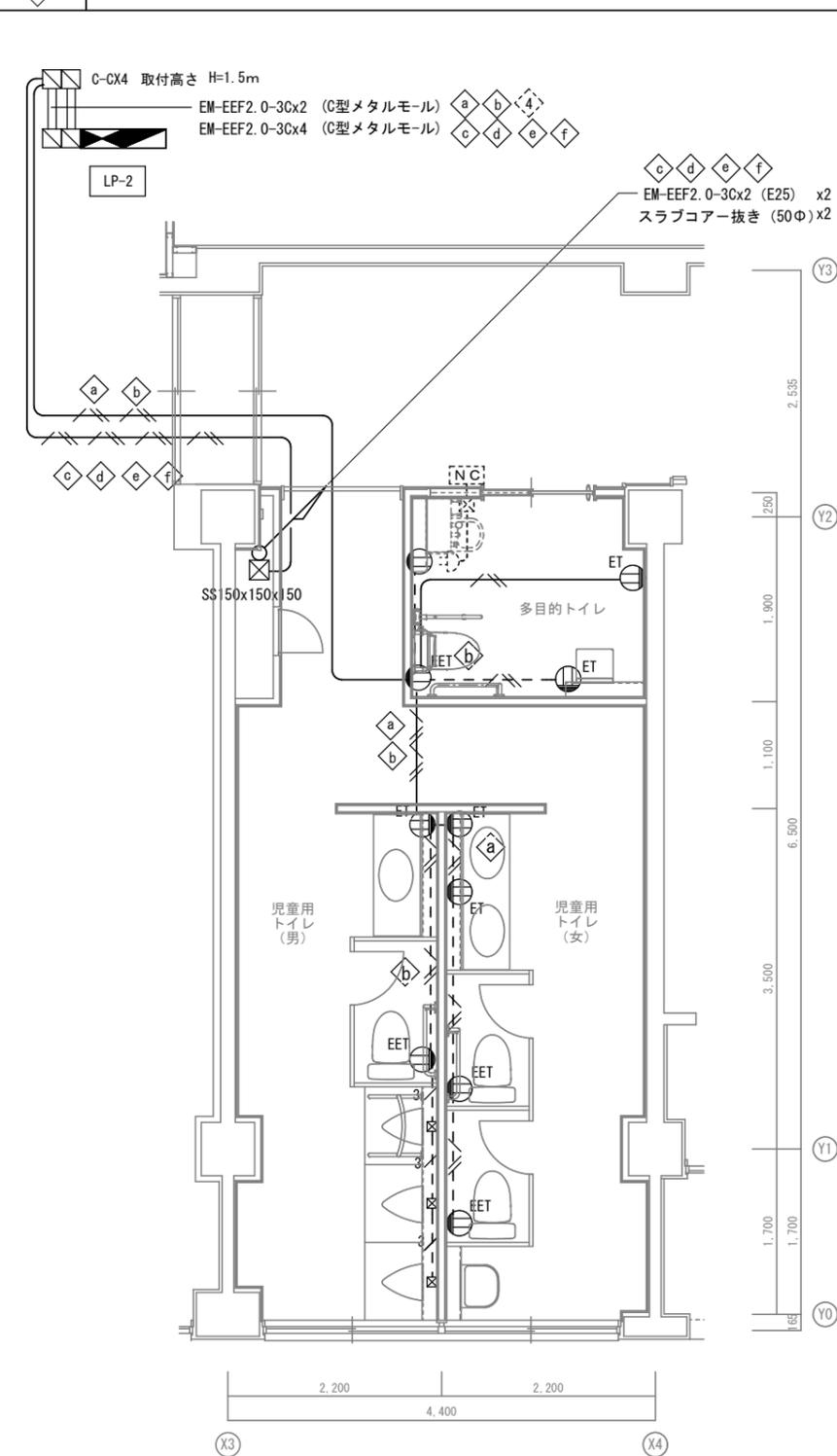
1 改修前 北舎西棟1階トイレ 平面詳細図



2 改修後 北舎西棟1階トイレ 電灯設備図



3 改修後 北舎西棟1階トイレ コンセント設備図



既設凡例

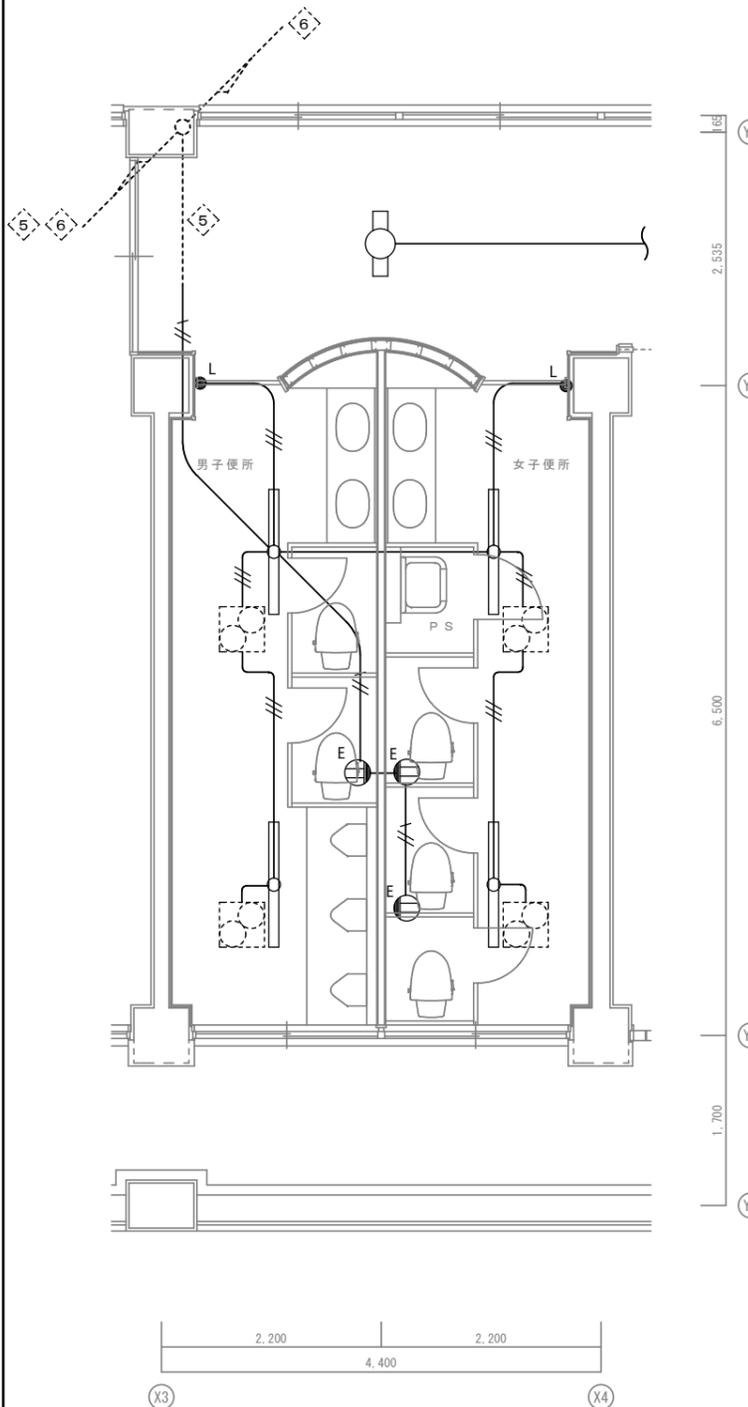
記号	名称	数量	備考
	逆富士型 FL40Wx1	6	撤去
	逆富士型 FL20W x 1	1	撤去
	2P15A (E付) x 1 (新金属P)	3	撤去
	1P15A (L付) x 1 (新金属P)	2	撤去
	IV1.6x2(19)		撤去
	IV1.6x3(19)		撤去
	IV2.0x2・E2.0(19)		撤去

廊下	児童用 トイレ入口	児童用 トイレ(男)	児童用 トイレ(女)	多目的 トイレ
B2	D	A2	A1	D
1	1	B1	B1	K
	RS1	C	C	RS2
		D	D	
		1	1	
		1	1	
		K	K	
		RS2	RS2	
		1	1	

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	改修前・後 北舎1階西トイレ	図面番号	E-11
縮尺	1/50	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

1

改修後 北舎西棟 2階トイレ 平面詳細図

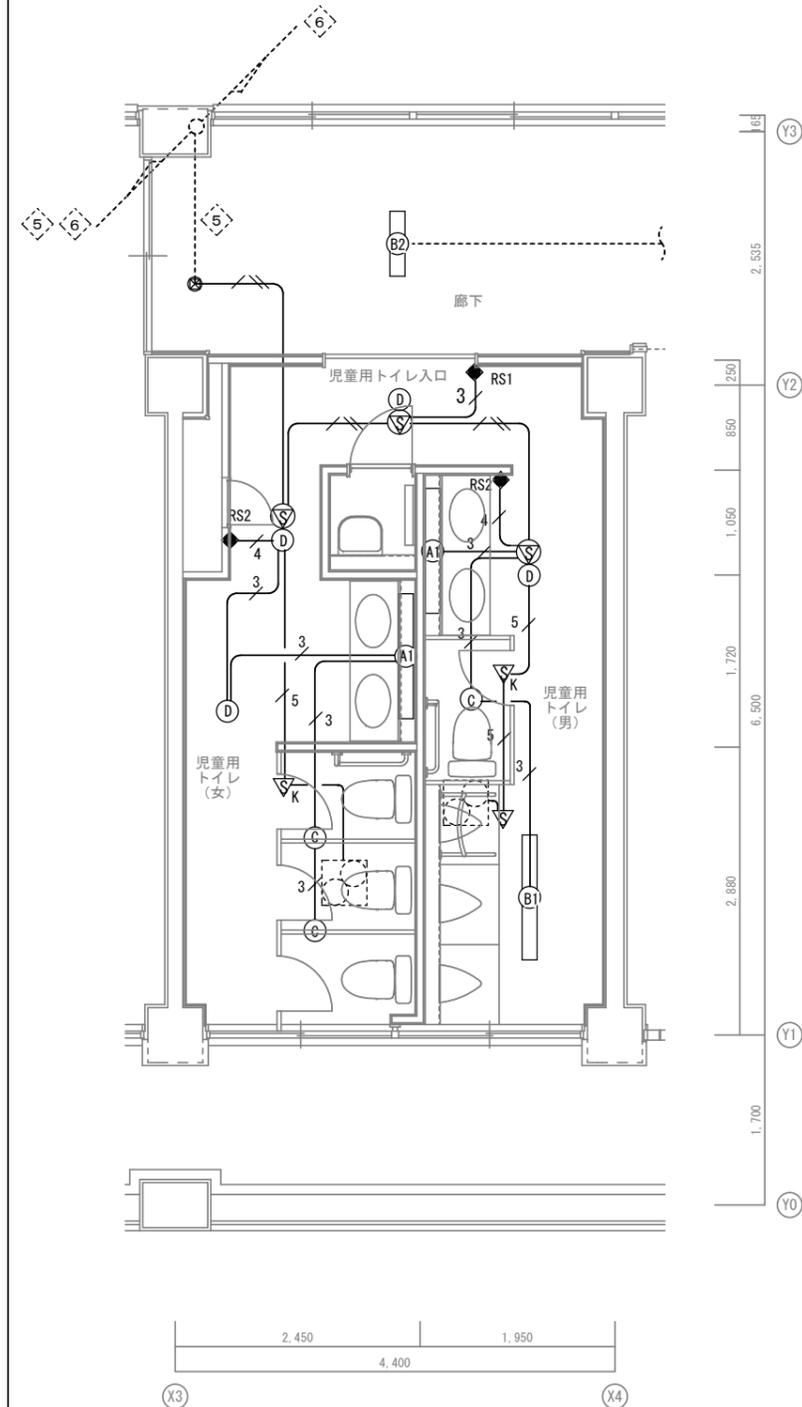


既設凡例

記号	名称	数量	備考
	逆富士型 FL40Wx1	4	撤去
	逆富士型 FL20W x 1	1	撤去
	2P15A (E付) x1 (新金属P)	3	撤去
	1P15A (L付) x1 (新金属P)	2	撤去
	IV1.6 x 2 (19)		撤去
	IV1.6 x 3 (19)		撤去
	IV2.0 x 2 · E2.0 (19)		撤去

2

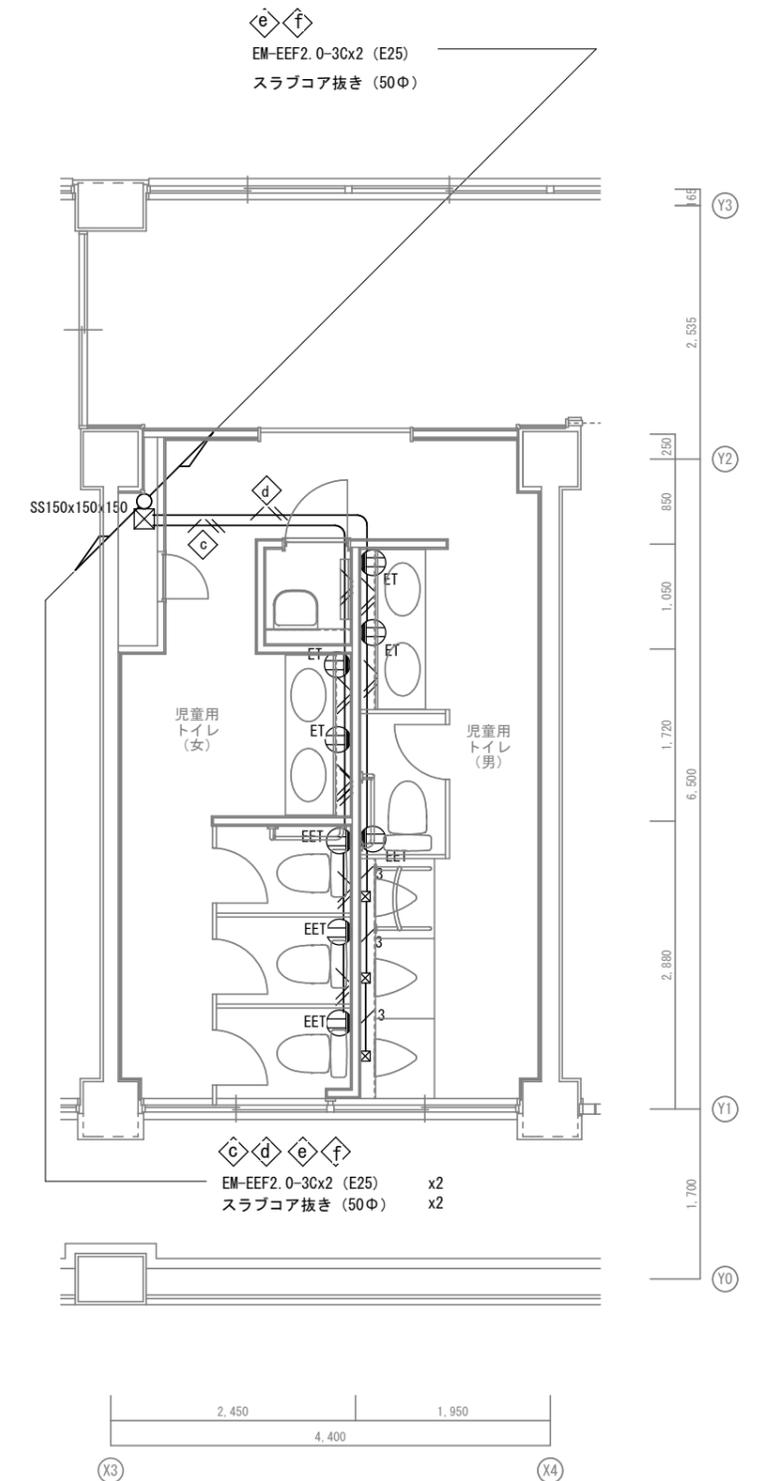
改修後 北舎西棟 2階トイレ 電灯設備図



廊下		児童用 トイレ入口		児童用 トイレ (女)		児童用 トイレ (男)	
	1		1		1		1
			1		2		1
					2		1
					1		1
					1		1
							1
							1

3

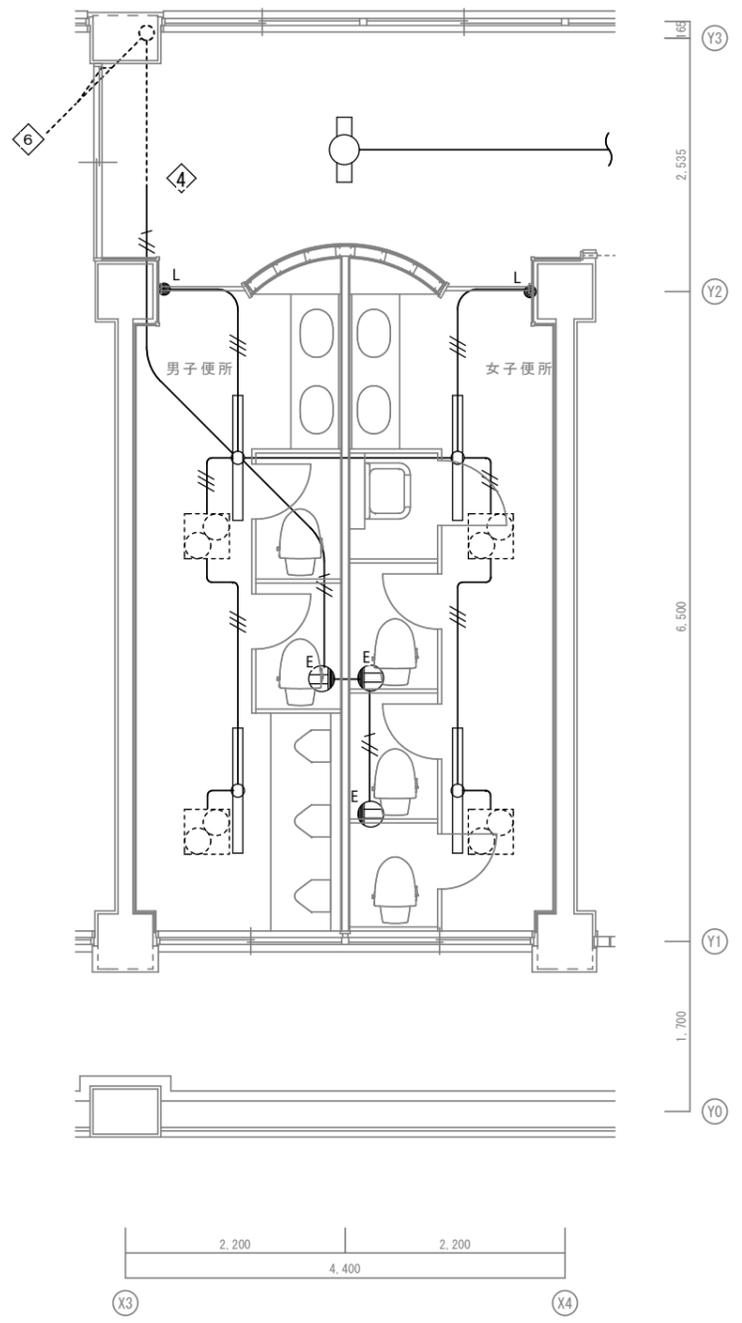
改修後 北舎西棟 2階トイレ コンセント設備図



工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事 (II期)		
種別	改修前・後 北舎2階西トイレ 電灯・コンセント設備図	図面番号	E-12
縮尺	1/50	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

1

改修後 北舎西棟3階トイレ 平面詳細図

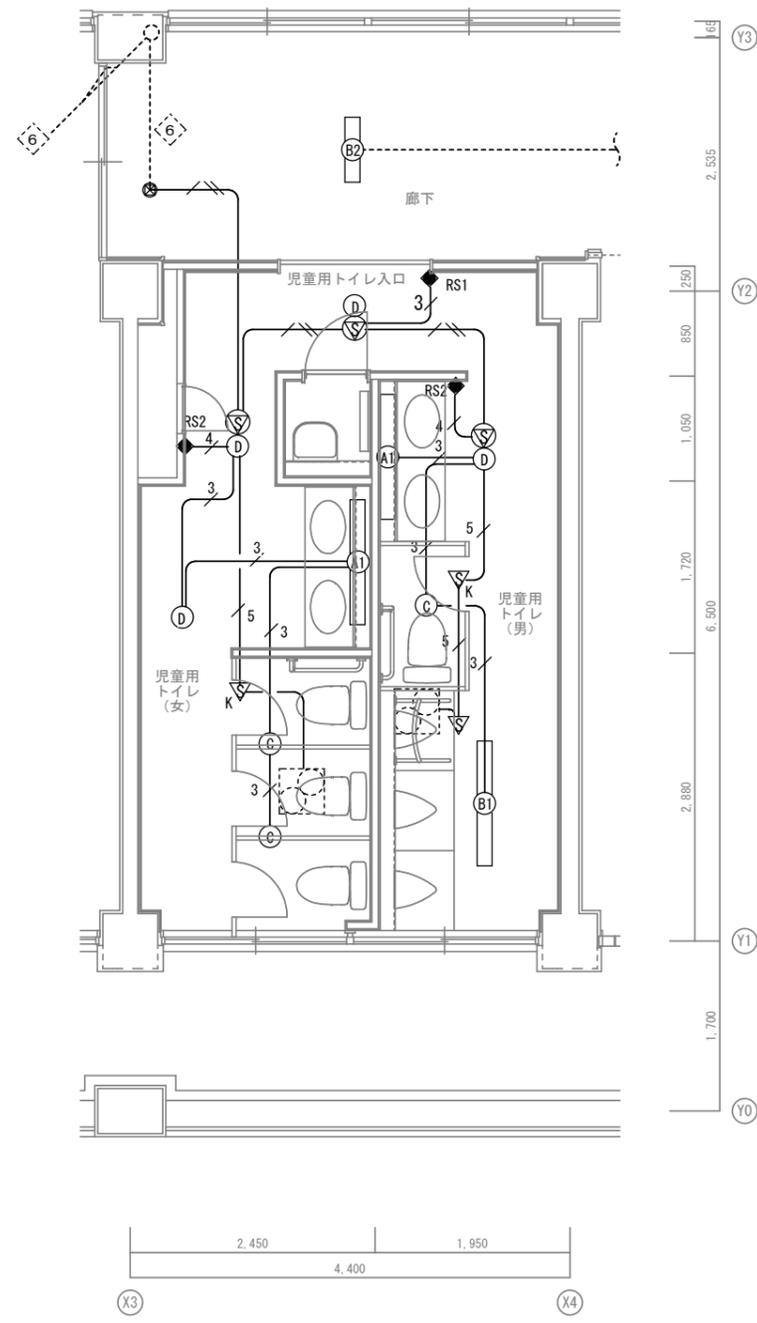


既設凡例

記号	名称	数量	備考
	逆富士型 FL40Wx1	4	撤去
	逆富士型 FL20W x 1	1	撤去
	2P15A (E付) x 1 (新金属P)	3	撤去
	1P15A (L付) x 1 (新金属P)	2	撤去
	IV1.6 x 2 (19)		撤去
	IV1.6 x 3 (19)		撤去
	IV2.0 x 2 (19)		撤去

2

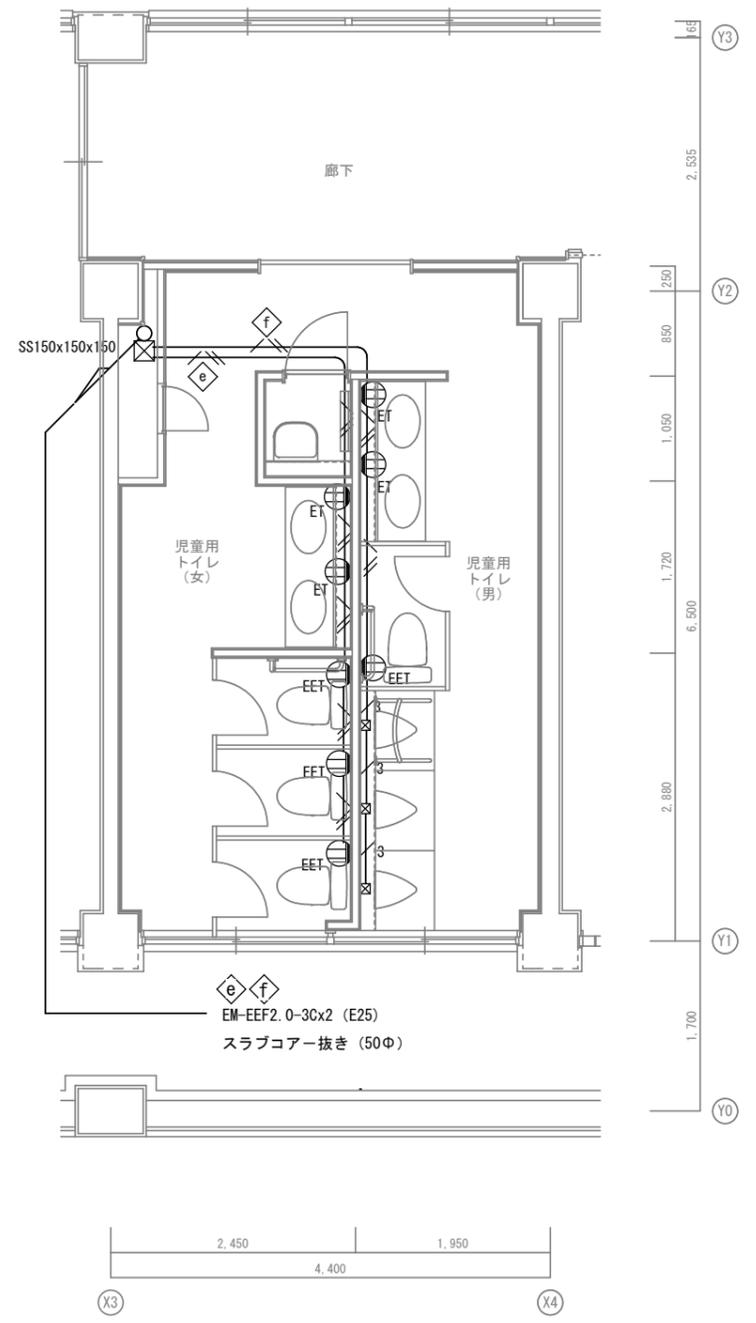
改修後 北舎西棟3階トイレ 電灯設備図



廊下	児童用 トイレ入口	児童用 トイレ(女)	児童用 トイレ(男)
B2	D	A1	A1
	RS1	C	B1
		D	C
		K	D
		RS2	K
			RS2

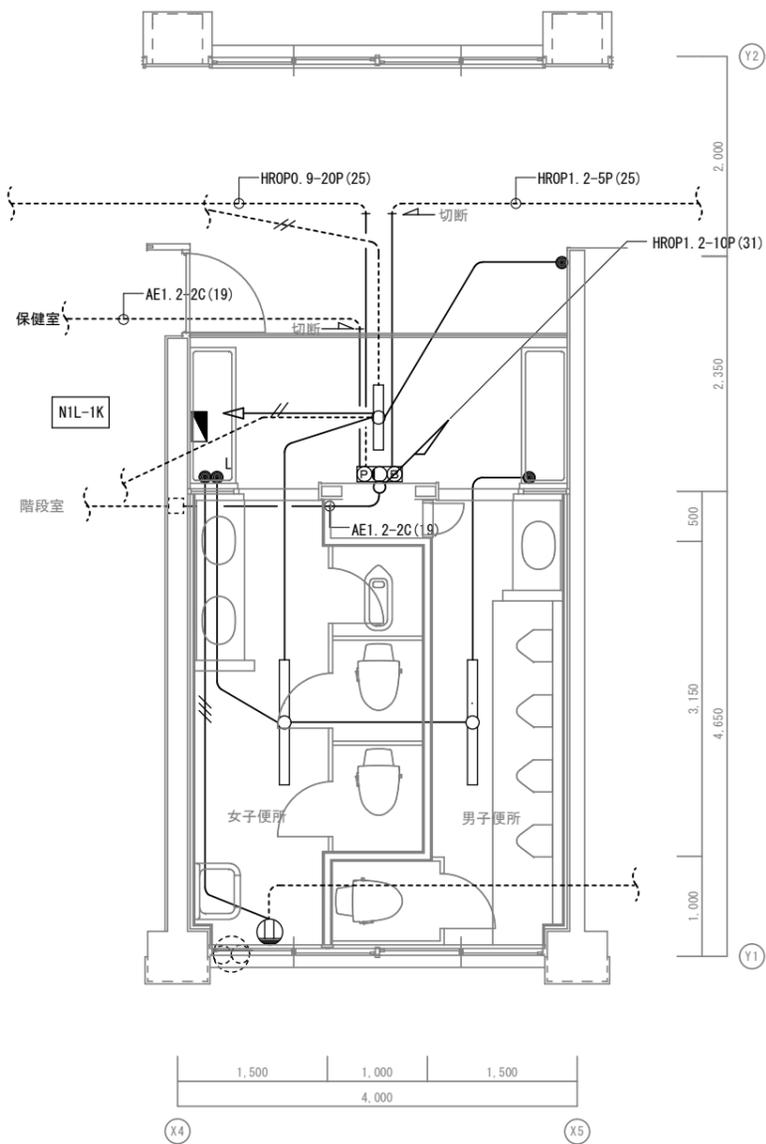
3

改修後 北舎西棟3階トイレ コンセント設備図



工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	改修前・後 北舎3階西トイレ 電灯・コンセント設備図	図面番号	E-13
縮尺	1/50	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

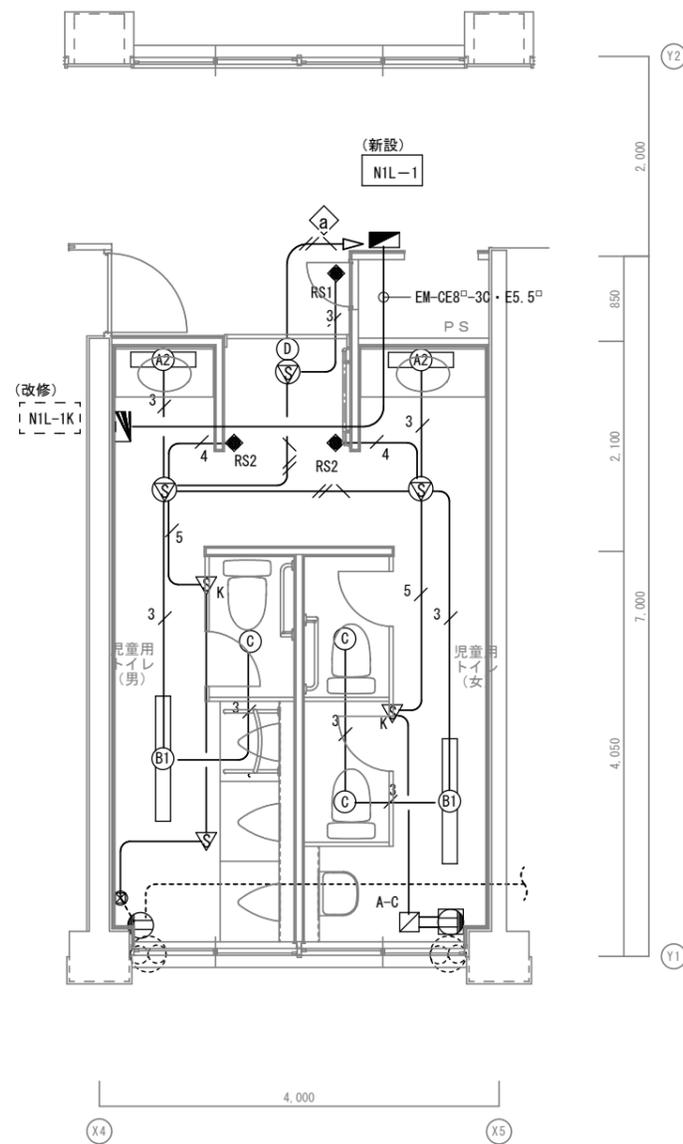
1 改修後 北舎東棟1階トイレ 平面詳細図



既設凡例

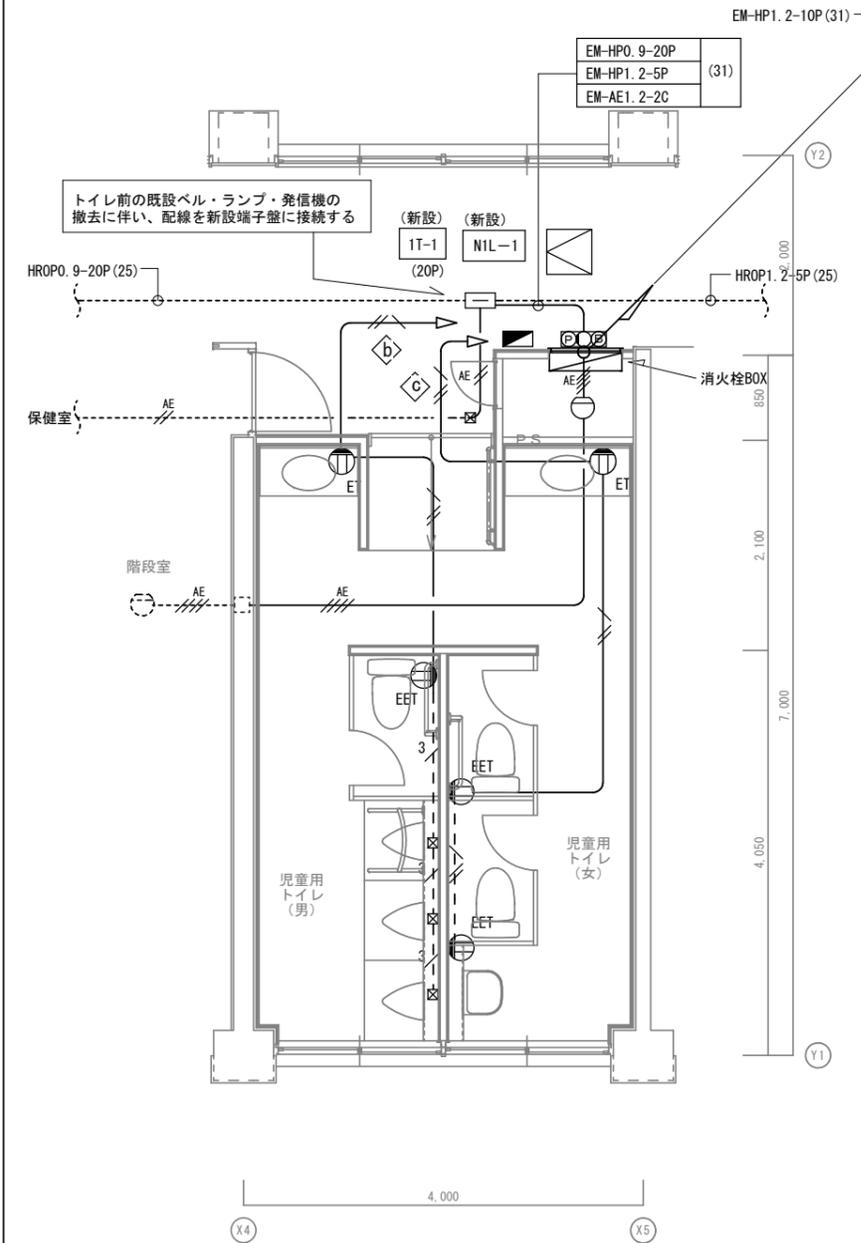
記号	名称	数量	備考
	逆富士型 FL40Wx1	2	撤去
	逆富士型 FL20W x 1	1	撤去
	2P15A x 1 (新金属P)	1	撤去
	1P15A x 1 (新金属P)	2	撤去
	1P15Ax1+1P15A(L付) x 1 (新金属P)	1	撤去
	発信機 (露出型)	1	撤去
	表示灯 (露出型)	1	撤去
	ベル (露出型)	1	撤去
	IV1.6 x 2 (19)		撤去
	IV1.6 x 3 (19)		撤去
	IV2.0 x 2 (19)		撤去

2 改修後 北舎東棟1階トイレ 電灯設備図



入口	児童用トイレ(男)	児童用トイレ(女)
	A2 1	A2 1
	B1 1	B1 1
	C 1	C 2
	1	1
	1	K 1
	1	RS2 1

3 改修後 北舎東棟1階トイレ コンセント・自動火災報知設備図



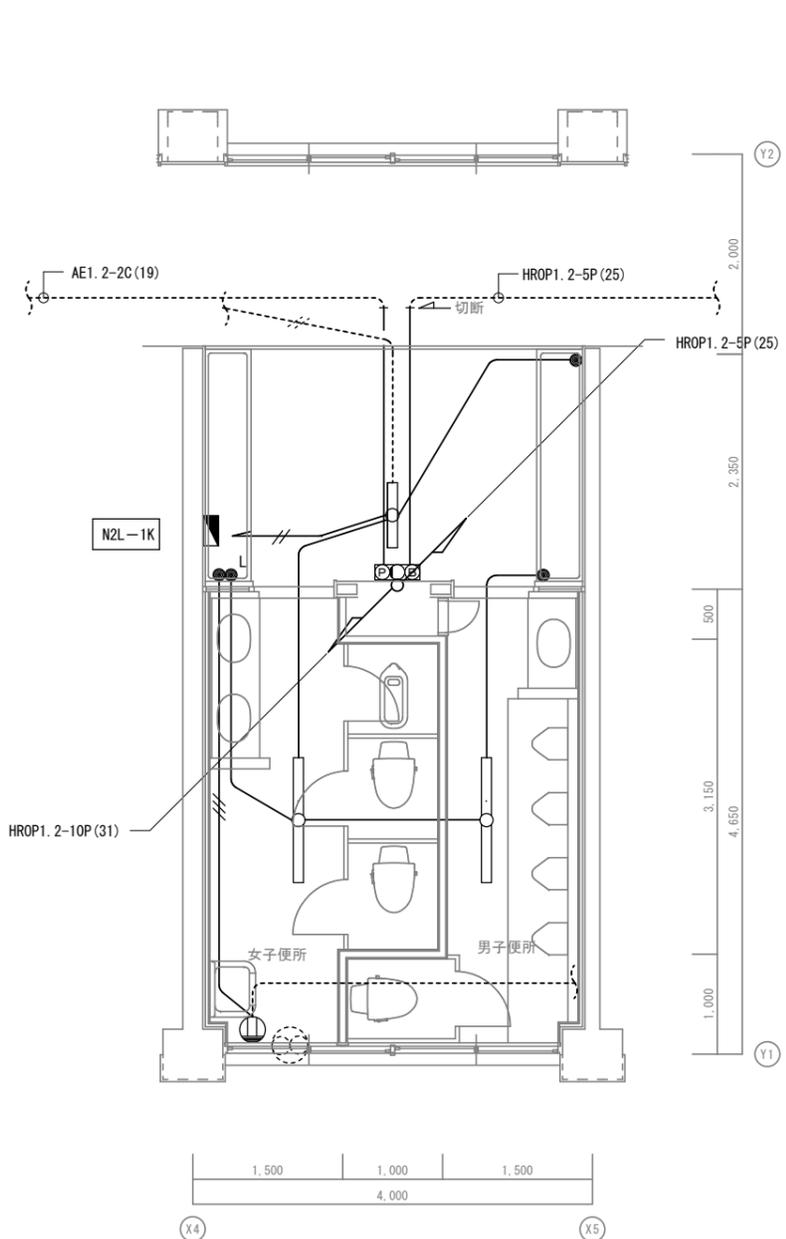
凡例

	発信機 (露出型)	P型1級
	表示灯 (露出型)	AC/DC 24V、LED
	ベル (露出型)	DC 24V
	差動式スポット型感知器	2種 露出
	天井点検口	□450 天井補強付
	EM-AE1.2-2C (E19)	
	EM-AE1.2-4C (E19)	

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(II期)		
種別	改修前・後 北舎1階東トイレ 電灯・コンセント・自動火災報知設備図	図面番号	E-14
縮尺	1/50	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

1

改修後 北舎東棟2階トイレ 平面詳細図

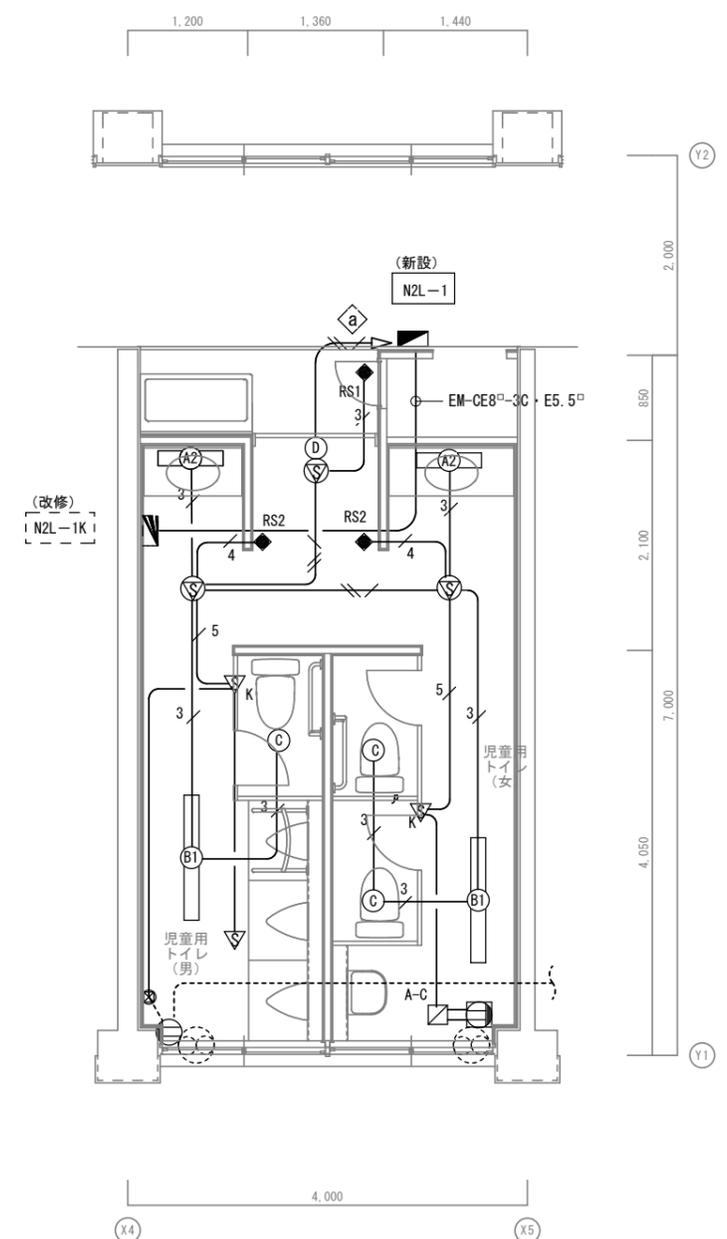


既設凡例

記号	名称	数量	備考
	逆富士型 FL40Wx1	2	撤去
	逆富士型 FL20W x 1	1	撤去
	2P15A x 1 (新金属P)	1	撤去
	1P15A x 1 (新金属P)	2	撤去
	1P15Ax1+1P15A(L付) x 1 (新金属P)	1	撤去
	IV1.6 x 2 (19)		撤去
	IV1.6 x 3 (19)		撤去
	IV2.0 x 2 (19)		撤去

2

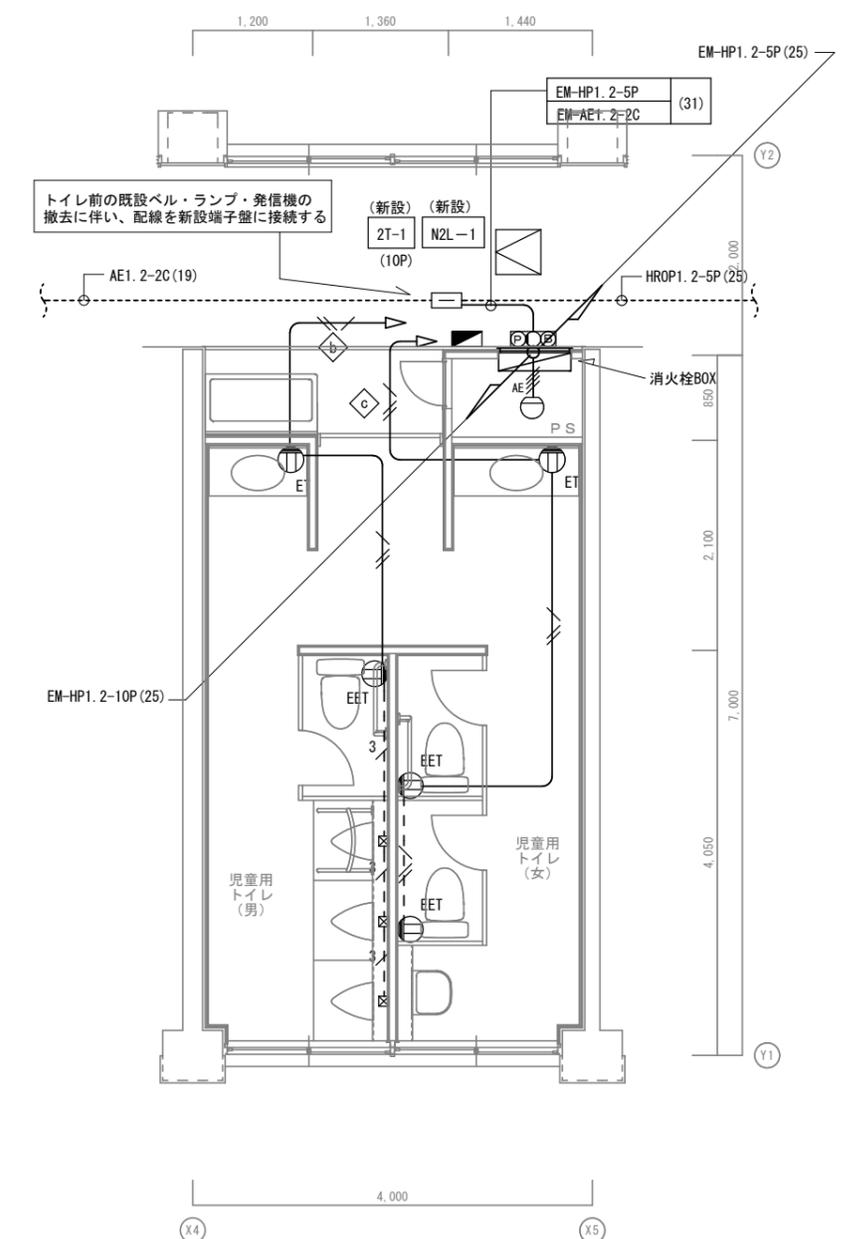
改修後 北舎東棟2階トイレ 電灯設備図



入口	数量	児童用トイレ(男)	児童用トイレ(女)
	1		
	1		

3

改修後 北舎東棟2階トイレ コンセント・自動火災報知設備図



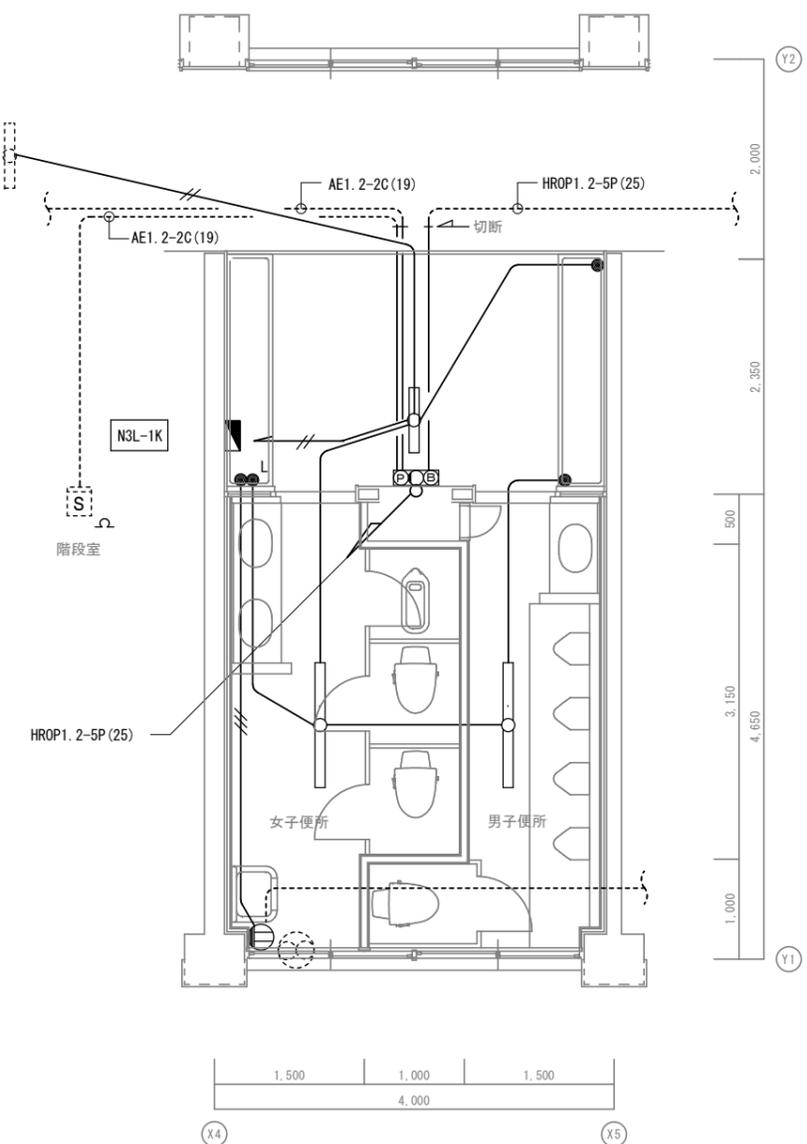
凡例

	発信機 (露出型)	P型 1級
	表示灯 (露出型)	AC/DC 24V、LED
	ベル (露出型)	DC 24V
	差動式スポット型感知器	2種 露出
	天井点検口	□450 天井補強付
	EM-AE1.2-4C (E19)	

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(II期)		
種別	改修前・後 北舎2階東トイレ 電灯・コンセント・自動火災報知設備図	図面番号	E-15
縮尺	1/50	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

1

改修後 北舎東棟3階トイレ 平面詳細図

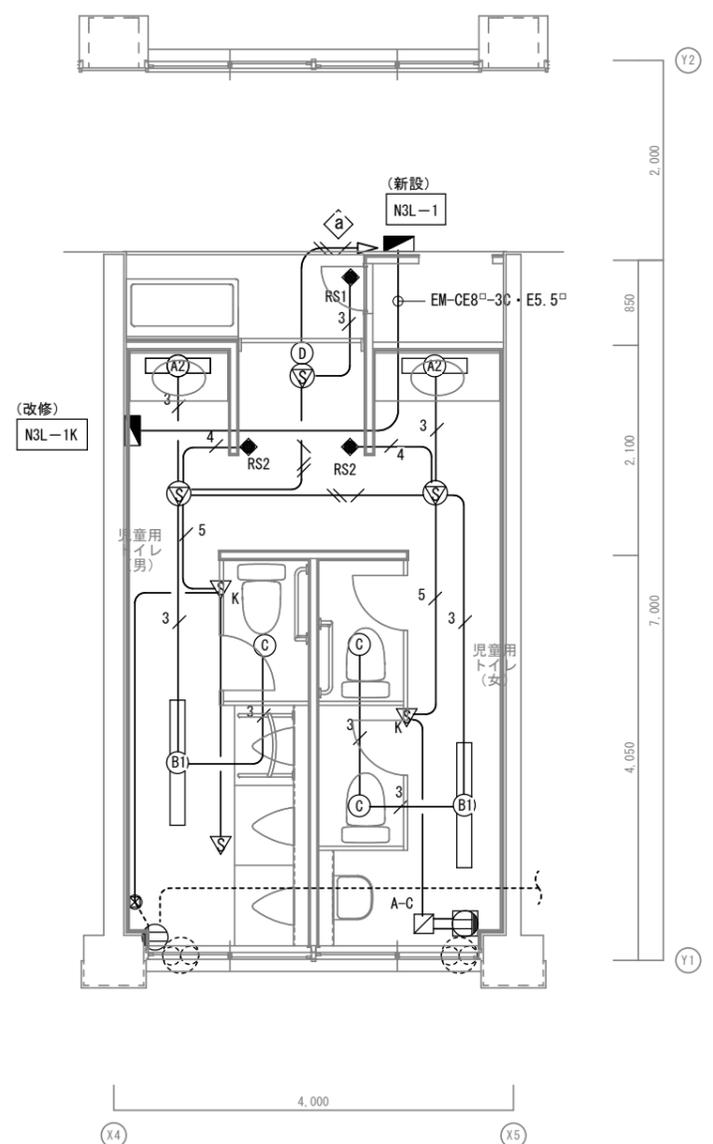


既設凡例

記号	名称	数量	備考
	逆富士型 FL40Wx1	2	撤去
	逆富士型 FL20W x 1	1	撤去
	2P15A x 1 (新金属P)	1	撤去
	1P15A x 1 (新金属P)	2	撤去
	1P15Ax1+1P15A(L付) x 1 (新金属P)	1	撤去
	IV1.6 x 2 (19)		撤去
	IV1.6 x 3 (19)		撤去
	IV2.0 x 2 (19)		撤去
	IV2.0 x 2 (19)		撤去

2

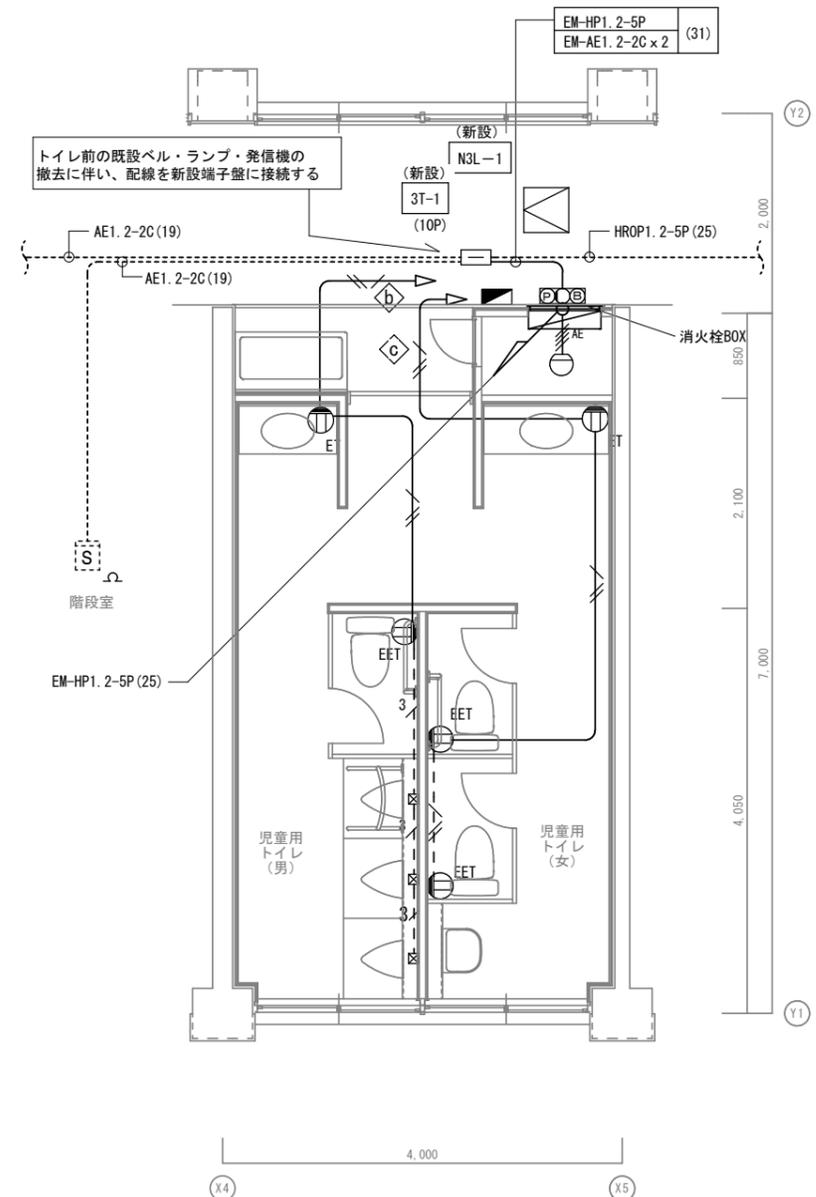
改修後 北舎東棟3階トイレ 電灯設備図



入口		児童用トイレ(男)		児童用トイレ(女)	
	1		1		1
	1		1		1
			1		2
			1		1
			1		1

3

改修後 北舎東棟3階トイレ コンセント・自動火災報知設備図



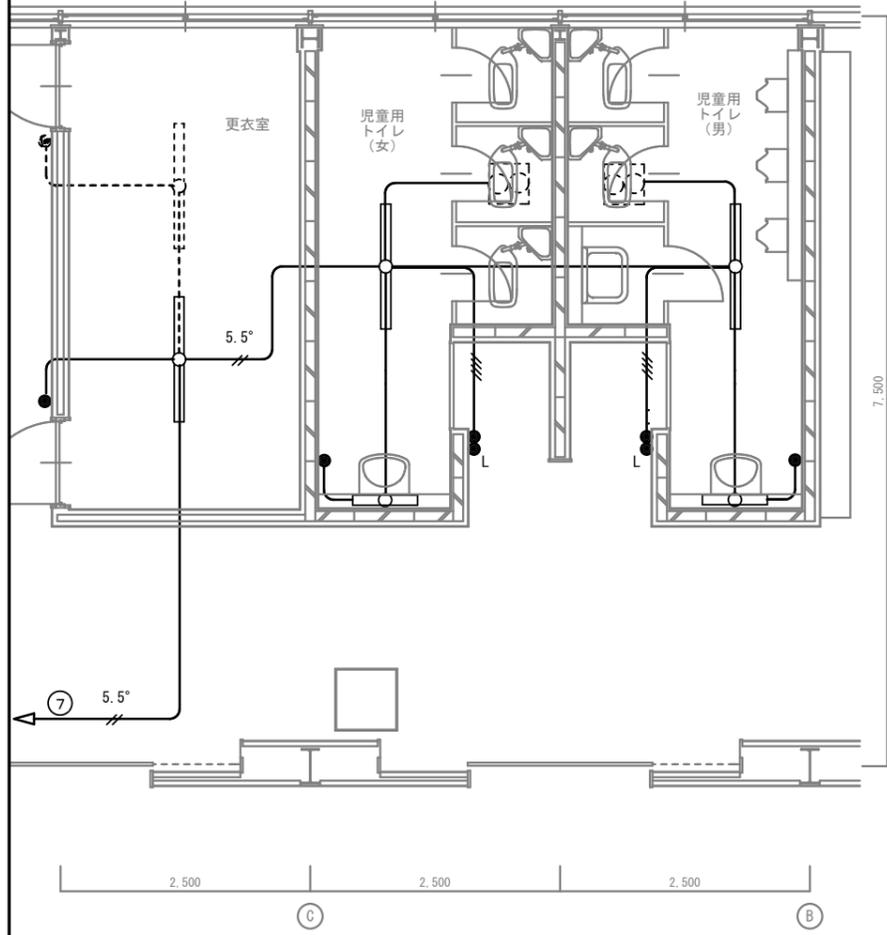
凡例

	発信機 (露出型)	P型 1級
	表示灯 (露出型)	AC/DC 24V、LED
	ベル (露出型)	DC 24V
	差動式スポット型センサー	2種 露出
	天井点検口	□450 天井補強付
	EM-AE1.2-4C (E19)	

工事名	可見市立東明小学校トイレ大規模改造工事(II期)		
種別	改修前・後 北舎3階東トイレ	図面番号	E-16
	電灯・コンセント・自動火災報知設備図		
縮尺	1/50	作成年月	令和6年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

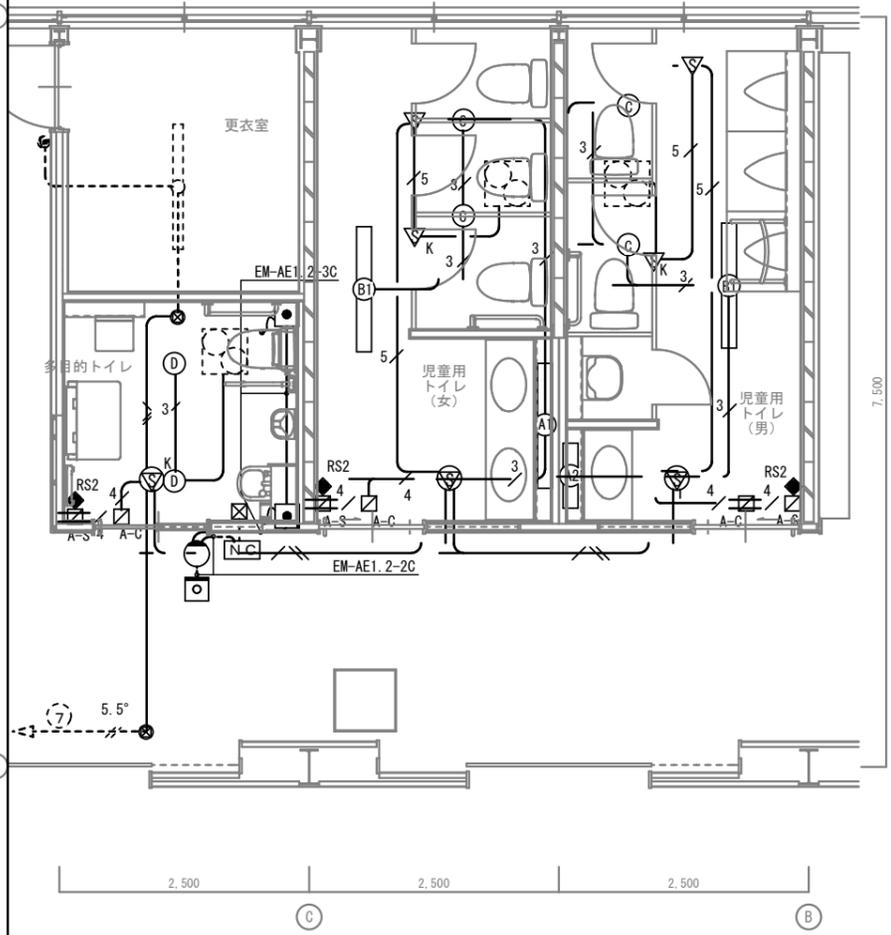
1

改修前 屋内運動場トイレ平面詳細図



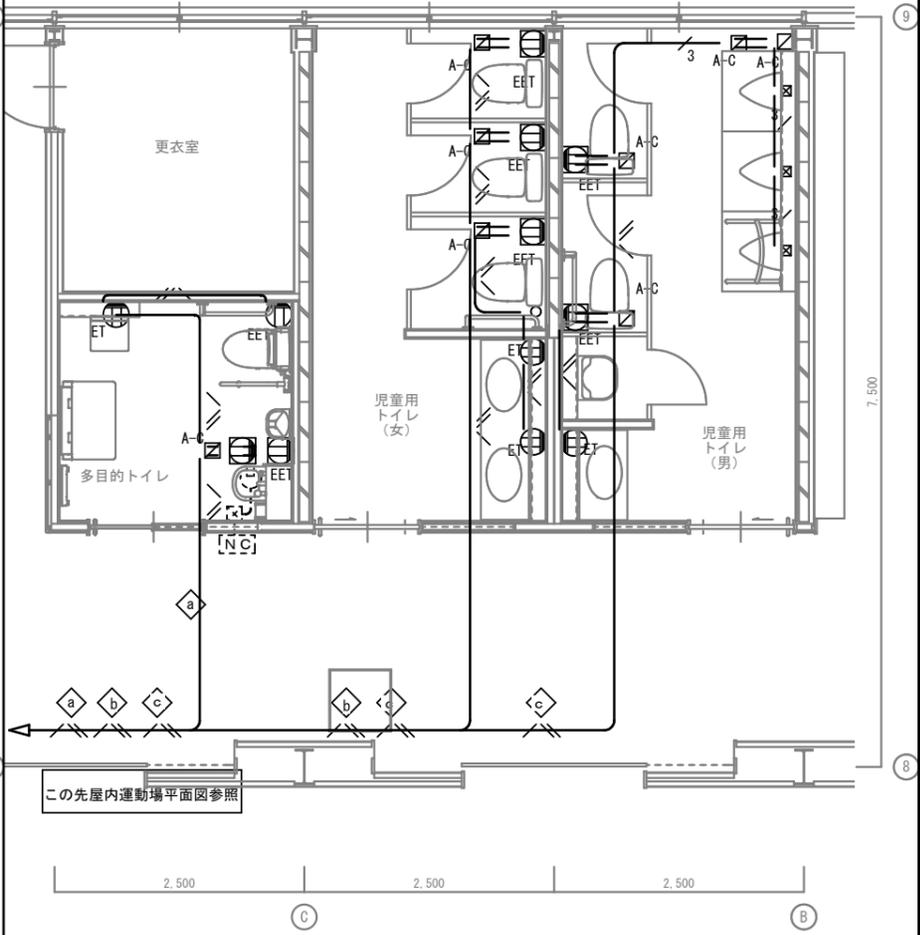
2

改修後 屋内運動場トイレ電灯設備図



3

改修後 屋内運動場トイレコンセント設備図



既設凡例

記号	名称	数量	備考
	逆富士型 FL40Wx1	3	撤去
	逆富士型 FL40Wx1	1	現状のまま
	逆富士型 FL20Wx1	2	撤去
	1P15A x 1 (新金属P)	2	撤去
	1P15Ax1+1P15A(L付) x 1 (新金属P)	2	撤去
	IV1.6x2(19)		撤去
	IV1.6x4(19)		撤去
	IV5.5x2(25)		撤去

多目的トイレ	
	2
	1
	1

児童用トイレ(女)	
	1
	1
	2
	1
	1

児童用トイレ(男)	
	1
	1
	2
	1
	1

この先屋内運動場平面図参照

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	改修前・後 屋内運動場トイレ 電灯・コンセント設備図	図面番号	E-17
縮尺	1/50	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

# 機械設備工事 特記仕様書

## A. 工事概要

1. 工事名称	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)
2. 工事場所	可児市久々利1945
3. 用途地域等	都市計画区域 ○ 都市計画区域内 ( ・ 市街化区域 ・ 市街化調整区域 ○ その他 ) ・ 都市計画区域外 用途地域 ・ 第一種低層住居専用地域 ・ 第二種低層住居専用地域 ・ 第一種中高層住居専用地域 ・ 第二種中高層住居専用地域 ・ 第一種住居地域 ・ 第二種住居地域 ・ 準住居地域 ・ 近隣商業地域 ・ 商業地域 ・ 準工業地域 ・ 工業地域 ・ 工業専用地域 ○ 用途地域の指定のない区域 防火地域 ・ 防火地域 ・ 準防火地域 ○ 指定なし その他の指定 ・ 建築基準法第22条指定区域内 ・ 建築基準法第22条指定区域外 ○ 指定なし
4. 建物概要	

棟番号	建物名称	構造及び階数	延面積	消防法施行令の適用	備考
①-1	北舎西棟	RC-3	885 m <sup>2</sup>	7項	改修
⑧	北舎東棟	RC-3	1,017 m <sup>2</sup>	7項	改修
⑰	屋内運動場	S-1	1,099 m <sup>2</sup>	7項	改修

## 5. 工事種目 ( ○ 印が付いたものが対象)

工事種目	工 事 種 別					
	北舎西棟	北舎東棟	屋内運動場			屋 外
・ 冷暖房設備						
○ 換気設備	○	○	○			
・ 排煙設備						
・ 自動制御設備						
○ 衛生器具設備	○	○	○			
○ 給水設備	○	○	○			
○ 排水通気設備	○	○	○			
・ 給湯設備						
・ ガス設備						
○ 消火設備	○	○				
・ 厨房設備						
・ 浄化槽設備						
・ 昇降機設備						

## 6. 設備概要 ( ○ 印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

方式及び種別	設 備 概 要
・ 空調方式	・ ダクト方式 ( ・ 各階ユニット ・ 中央 ) ・ パッケージ方式 ( ・ マルチ ・ 個別 )
・ 暖房方式	・ ファンコイルユニット・ダクト方式 ・ ガスエンジンヒートポンプ方式 ・ 灯油エンジンヒートポンプ方式
・ 自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 中央監視制御
○ 給水方式	・ 水道直結方式 ○ 高置タンク方式 ・ 圧力タンク方式 ・ ポンプ直送方式 ・ 増圧給水直結方式
○ 排水方式	建物内汚水 雑排水 ( ○ 合流式 ○ 分流式 ) ポンプ排水 ・ 有 ( ・ 汚物 ・ 雑排水 ・ 湧水 ) ・ 無 建物外放流先 汚水 ( ○ 下水管直放流 ・ ) 雑排水 ( ○ 下水管直放流 ・ )
・ 消火設備の種別	・ 屋内消火栓設備 ・ スプリンクラー設備 ・ 泡消火設備 ・ 連結散水設備 ・ 連結送水管 ・ 不活性ガス消火設備 ( ・ )
・ ガスの種類	・ 都市ガス (種別: 発熱量 MJ/m <sup>3</sup> (N) 供給事業者名 ) ・ 液化石油ガス ( ・ ボンベ ・ バルクタンク ・ )

## B. 工事仕様

### 1. 一般仕様

- 1) 新設工事共通仕様書  
(1) 特記仕様、図面及び現場説明書(現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)及び公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(最新版)による。  
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。
- 2) 改修工事共通仕様書  
(1) 特記仕様書、図面及び現場説明書(現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)及び公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(最新版)による。  
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。
- 3) 可児市共通仕様書  
上記仕様書の他、可児市建築工事共通仕様書(最新版)による。
- 4) 設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の(1)~(5)の順番とおとする。  
(1) 質疑回答書(2) 現場説明書(3) 特記仕様(4) 図面(5) 標準仕様書及び標準図
- 5) 提出書類等  
本工事の施工に関して提出書類は、可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき作成し提出又は提示する。  
また、工事着手時に工事用製本(A3二つ折り)3部を提出する。
- 6) 完成時の提出書類  
工事完成時には可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき書類を整理し完成図書としてまとめて監督員に提出すること。完成図は施工図も含め完成製本(A2二つ折り、A3二つ折り)各2部を提出すること。  
また、CADデータ(JWW又はDXF)を提出すること。
- 7) 工事書類の簡素化  
提出・指示書類は可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき実施するものとする。また、工事工事打合簿(指示・協議・承諾は除く)、材料確認簿、段階確認簿、確認・立会願、夜間・休日作業届の書類を提出する場合は、所定様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。  
これらに定めのない事項については、監督員と協議する。

### 2. 特記事項

- この仕様書は下記の要領により適用する。
- 1) 章は●印の付いたものを適用し、項目は○印内に数字のあるものを適用する。
  - 2) 特記事項は○印だけを適用する。
  - 3) 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事については「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措置を講ずるとともに、工事中断などの措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の措置)によって処理されるものとする。

章 項 目	特 記 事 項
● ① 法令その他	本工事は工事に関する法令・条例及び規定等に基づいて施工する。 官公署の検査を必要とするものについては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により、CORINS(工事実施情報サービス)への登録を原則とする。
② 工事実績情報の登録	
③ 機材等	1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に定める品質および性能を有する新品とする。ただし、仮設工事材料・その他特に指定したものは新品でなくともよい。また、これらの機器・機材は監督員の承諾を受け施工する。 2) 主要材料については、速やかに主要機材の製作所名等一覧表を提出し、監督員の確認を受ける。 3) 設計図書に記載してあるもの及び監督員の指示する材料、仕上げの程度、色合い等については、あらかじめ見本を提出して確認を受ける。
④ 環境への配慮	使用資材については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・スチレン・エチルベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。 上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。 ・ 要 ・ 不要 基準以下であることを指定検査センターにて検査確認し、工期内に引渡しを行うこと。又ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の濃度が基準を上回った場合は、直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用の全ては受注者の負担とする。
5. 室内汚染物質の測定	
⑥ 発生材の処理	1) 引き渡しを要するもの ( ・ ) 2) 特別管理産業廃棄物 ( ・ ) 3) 再生資源化を図るもの ( ・ ) 4) 石綿含有品 ( ○ 配管用成形保温材 ・ フランジ用ガasket ( ・ 配管 ・ ダクト ・ ボイラー本体 ) ) 撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理をする。 配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事に撤去する。 処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設産業物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。 混合物の処理については管理最終処分場に持ち込むものとする。 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了後に同計画書の実施報告書(COBRIS)を提出すること。
⑧ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書	
⑨ 残土処分	建設発生土(建設工事に伴い発生する土砂等)を搬出又は搬入する場合は「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」(平成19年4月1日施行)を遵守すること。またその実施に際しては事前に計画書を作成し監督員へ提出、承認を得ること。 ・ 土壌検査 ( ・ 実施する ・ 実施しない ・ 実施済み ) ・ 構内数均し ○ 建築工事に処分
⑩ 足場その他	○ 別契約の関係受注者(包含工事の場合は元請)が設置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。 改修標準仕様書第1編2. 2. 1より足場の種別は以下による。 ・ 内部足場 ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種 ) ・ 外部足場 ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種 )

- 一般共通事項
- ① 機材(工事材料)の検査等
- ② 技能士
- ③ 検査
- ④ 概成工期
- ⑤ 火災保険等
- ⑥ 施工計画書
- ⑦ 施工図等
- ⑧ 軽微な変更等
- ⑨ 工事写真
- 20. 完成図書
- 21. 監督員事務所
- 22. 工事用水・電力等
- 23. 電気保安技術者
- 24. 工所用仮設物
- 25. 総合調整
- 26. 耐震措置
- 27. 案内板
- 28. 配管

使用する機材について、自主検査記録(任意様式)を作成すること。ただし、主要な機材については監督員の検査を受ける。  
なお、監督員検査の結果、合格とされた機材と同じ種類の機材は、以後原則として抽出検査とする。  
また、製造工場等における検査を行う機材については、監督員の指示による。

○ 配管(建築配管作業) ○ 熱絶縁施工(保温保冷工事作業) ・ 建築板金(ダクト板金作業)  
・ 冷凍空調調和機器施工(冷凍空調調和機器施工作業) ・ 空気圧縮装置組立て(空気圧縮装置組立て作業)  
・ 塗装 ・ さく井( ・ パーカッションさく井工事作業 ・ ロータリー式さく井工事作業)  
・ 鉄工( ・ 製缶作業 ・ 構造物鉄工作業)

中間検査 ・ 対象工事(対象部分: ) ・ 対象外工事  
工事施工途中における技術検査の対象箇所・実施回数等は監督員の指示による。  
総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。  
工事施工中、火災保険又は、それに代わる請負賠償責任保険等に加入し、証書の写しを提出する。  
1) 総合施工計画書(仮設含む)  
2) 工種別施工計画書  
施工図等の著作権にかかるとして使用権は、発注者に移譲するものとする。  
1) 本仕様書・設計図に明記なき事項でも本工事完成の機能上・構造上・外観上当然施工を要する事項は請負金額の増減なく完全に施工のこと。  
2) 本設計図書内明記の既設配管は、既設図面及び所轄支所担当課指示に基づき作成されている為、既設の状況と図面との間に差異が生じ、本設計書による事が困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従い施工する。  
国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領(平成24年版)・同解説 工事写真の撮り方(建築設備編)」による他、監督員の指示により撮影し提出する。  
現場説明書による。  
・ 設けない ・ 設ける ( ・ 既設物を使用 ・ 構内に新設 )  
本工事に必要な工事用電力・水等及び諸手続きなどに要する費用はすべて受注者の負担とする。  
・ 要 ・ 不要  
構内につくることが ( ○ できる ・ できない )。  
○ 本工事として下記の測定表を提出する。  
総合調整の項目  
・ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内外空気の温度測定 ・ 室内空気流じんいの測定  
・ 騒音の測定 ○ 振動調整 ○ 初期運転状態の記録 ○ 飲料水の水质の測定(26項目)  
耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版(独立行政法人建築研究所監修)による。  
1) 機器の据付け及び取付け  
設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数( ・ 1. 0 ・ 1. 2 )及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

部 位	機 器 種 別	特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上・及び塔屋	機器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水槽類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中間階	機器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
1階及び地下階	機器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。  
重要機器は次のものを示す。  
・ 給水機器(受水槽) ・ 排水機器( )  
・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災設備  
・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備  
・ 避難経路上に設置する機器  
2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする。  
機器システム図及び重要な定期点検項目等を記載した案内板を設備機庫内に設ける。  
1) 呼び径60SU以下のステンレス鋼管の継手は、下記による。  
メカニカル管継手( ・ 拡管式 ・ プレス式)  
2) 建物導入部配管の変位取付方法は標準図施工4・5(建築物導入部の変位取付管要領)による。  
・ (a) フレキブルジョイントを使用 ・ (b) ボールジョイントを使用 ○ (c) スリークッション  
3) 溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要 ( )

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種 別	機械設備工事特記仕様書1	図面番号	M-01
縮 尺	-	作成年月	令和 6 年 10 月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁		

<p>● 一般共通事項</p> <p>34. 保温工事</p> <p>35. 塗装</p> <p>36. はつり</p> <p>37. 天井上区分</p> <p>38. 他工事又は他工種とのとりあい</p> <p>39. 電線類</p> <p>40. その他</p>	<p>標準仕様書第2編3章1節によるほか次による。ただし各工事種目で別に指定されたものは除く。</p> <p>・ 多湿箇所 室名： 配管：  ・ 共同溝内 ダクト： 配管：  ・ 保温無し屋内露出の配管及びダクトは塗装を行う。（ただし、機械室内及び屋上は除く）  ・</p> <p>既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。  穴開けを行う際は、電磁誘導等の機器で鉄筋・電線管の探査を行う。  穴開け箇所が既設の鉄筋と干渉する場合は、工事監理者と対応を協議すること。  （ ）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。  図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。</p> <p>電線及びEMケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。  電線類は、EMケーブルを使用する。（機器、盤類を除いてもよい）  屋外設置のマンホール類には用途名を入れる。  屋外で使用する鋼材等は、（ ・ 溶融亜鉛めっき仕上げ ○ステンレス鋼材 ）とする。</p>	<p>● 空気調和設備</p> <p>1. 設計温度</p> <p>2. ばいじん量測定口</p> <p>3. ばいじん濃度計取付座</p> <p>4. ダクト</p> <p>5. チャンバー</p> <p>6. ダンパー</p> <p>7. 風量測定口</p> <p>8. 配管材料</p> <p>9. 弁類</p> <p>10. 温度計・圧力計</p> <p>11. 瞬間流量計</p> <p>12. 油面制御装置</p> <p>13. 保温及び消音内貼</p>	<table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2">凍結防止系統</th> </tr> <tr> <th>温度（DB）</th> <th>湿度（RH）</th> <th>温度（DB）</th> <th>湿度（RH）</th> <th>温度（DB）</th> <th>湿度（RH）</th> <th>温度（DB）</th> <th>湿度（RH）</th> </tr> <tr> <th>夏季</th> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <th>冬季</th> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>設ける（測定口は80mm以上とし、取り付け箇所は煙道の直線部とする）</p> <p>・ 設ける ・ 設けない</p> <p>・ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）  ・ アングルフランジ工法</p> <p>・ 高圧1ダクト（範囲は図示による。）</p> <p>1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。  2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼したチャンバーには内貼したチャンバーには点検口を設置し、寸法は図示による。  3) 外壁に面するガラリに直接取り付けするチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。</p> <p>1) 防塵ダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔（定格入力はDC24V 0.7A以下） ・ ）  2) ピストンダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ）</p> <p>図示の位置に取り付ける。</p> <p>1) 冷水水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・  ・ 架橋ポリエチレン管（20A以下）</p> <p>2) 冷却水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・  ・ 硬質ポリ塩化ビニル管</p> <p>3) 空調用排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・  ・ 断熱材被覆鋼管（難燃性）</p> <p>4) 冷媒管 ・ 断熱材被覆鋼管（難燃性）</p> <p>5) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管は配管用炭素鋼鋼管（白）とする。</p> <p>6) 加湿用給水管 ・ ステンレス鋼管 ・ ポリ粉体鋼管（PA又はPB）  ・ 塩ビライニング鋼管（VA又はVB）</p> <p>7) 蒸気管 給気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・  ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40  ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch80</p> <p>8) 油管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ 灯油用被覆鋼管</p> <p>1) 冷水水コイル廻り（標準図）の弁は（ ・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ）とする。  2) 蒸気加熱コイル廻り（標準図）の弁は仕切弁とする。  3) ファンコイルユニットと冷水水管の接続部（注：選）には、ボール弁を取付ける。  また、ファンコイルユニットには、（ ・ 流量調整弁 ・ 定流量弁 ）を設置する。</p> <p>下記表に○をつけた箇所に設置する。なお円形指示計は100mmφ以上とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機材名</th> <th rowspan="2">計測部位</th> <th rowspan="2">温度計の種類</th> <th colspan="2">温度計</th> <th colspan="2">圧力計</th> </tr> <tr> <th>入口側</th> <th>出口側</th> <th>入口側</th> <th>出口側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷水水機</td> <td>冷水水</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷凍機</td> <td>冷却水</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>パッケージ形</td> <td>サブライチャンバー</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>空気調和機</td> <td>レタンチャンバー</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ユニット形</td> <td>冷水水</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>空気調和機</td> <td>サブライチャンバー レタンチャンバー</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>熱交換器</td> <td>防振支持の機器</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ヘッダー</td> <td>水槽類</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>瞬間流量計はビーター管方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。  なお瞬間流量計の形式は、（ ・ 固定式 ・ 着脱式 ）とする。  着脱式の場合、（40A 個 100A 個 ）を付属する。  制御盤には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ）の端子を設ける。  なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。  また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製（油面検出部）とする。  標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。</p> <p>・ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。  ・ 建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項により、空気抜き対象管から空気抜きまでとする。  ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。</p> <p>・ 冷媒管の保温外装は下記による。（ただし、天井内、機械室内、PS内は保温外装不要）  屋内露出（ ・ 合成樹脂製カパー ・ 保温化粧ケース（材質： ） ）  屋外露出（ ・ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース（材質： ）  ・ カラー亜鉛鉄板 ・ 溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 ）</p> <p>・ 外気取入れ用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）  ・ 排気用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）  ・ 送気用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）</p>		外 気				屋内（調整目標値）				一 般 系 統				一 般 系 統		凍結防止系統		温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	夏季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	冬季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	機材名	計測部位	温度計の種類	温度計		圧力計		入口側	出口側	入口側	出口側	冷水水機	冷水水	円形指示計	—	—	—	—	冷凍機	冷却水	円形指示計	—	—	—	—	パッケージ形	サブライチャンバー	円形指示計	—	—	—	—	空気調和機	レタンチャンバー	円形指示計	—	—	—	—	ユニット形	冷水水	円形指示計	—	—	—	—	空気調和機	サブライチャンバー レタンチャンバー	円形指示計	—	—	—	—	熱交換器	防振支持の機器	円形指示計	—	—	—	—	ヘッダー	水槽類	円形指示計	—	—	—	—	<p>● 換気設備</p> <p>1. ダクト</p> <p>2. 風量測定口</p> <p>3. ダンパー</p> <p>4. シールする排気</p> <p>5. チャンバー</p> <p>6. 保温</p>	<p>○ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）  ・ アングルフランジ工法  ○ スパイラルダクト ・ フレキシブルダクト（ ・ 保温付 ・ 保温無 ）</p> <p>・ 高圧1ダクト（範囲は図示による。）  ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト（範囲及び仕様は図示による）  ・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。（範囲は図示による）  図示の位置に取り付ける。  空気調和設備の当該項目による。  ・ 厨房系統 ・ 浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 ・</p> <p>空気調和設備の当該項目による。  次のダクトは保温を行う。  ・ 外気取入れ用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ※取り入れ口より吹き出し口まで全て  ○ 排気用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ※外壁より1m  ・ 多湿箇所のダクトの保温要（保温の厚さ50mm、範囲は図示による）  ・ 厨房及び湯沸室の排気ダクトの保温要（保温の厚さ50mm（RW）、範囲は図示による）</p>
	外 気				屋内（調整目標値）																																																																																																														
	一 般 系 統				一 般 系 統		凍結防止系統																																																																																																												
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）																																																																																																											
夏季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																											
冬季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																											
機材名	計測部位	温度計の種類	温度計		圧力計																																																																																																														
			入口側	出口側	入口側	出口側																																																																																																													
冷水水機	冷水水	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																													
冷凍機	冷却水	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																													
パッケージ形	サブライチャンバー	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																													
空気調和機	レタンチャンバー	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																													
ユニット形	冷水水	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																													
空気調和機	サブライチャンバー レタンチャンバー	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																													
熱交換器	防振支持の機器	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																													
ヘッダー	水槽類	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																													
<p>● 改修関係事項</p> <p>1. 既設との取合い</p> <p>2. 施工調査</p> <p>3. 仮設間仕切</p> <p>4. 養生</p> <p>5. 既設ダクトの再利用</p> <p>6. 非破壊検査</p> <p>7. 試験</p> <p>8. あと施工アンカー</p> <p>9. 撤去工事</p> <p>10. 冷媒（フロン類）の回収</p>	<p>1) 本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。  2) 撤去及び取壊し工事は、既存設備の概要を十分に調査・把握・検討した後着工する事。  事前調査 ○ 本工事 ・ 別途  調査項目 ○ 既存資料調査  調査範囲・方法 ・ 図示 ○ 工事範囲</p> <p>仮設間仕切は、改修標準仕様書第1編2.2.3による。種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ）  既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編3章による。  改修標準仕様書第3編2.2.8「既設ダクトの再利用」による。  改修標準仕様書第3編2.2.9「ダクト清掃」を ・ 行う ・ 行わない  放射線透過検査等による埋設物の調査は（ ・ 要 ・ 不要 ）とする。  範囲は監督職員の指示による。なお、検査費は別途とする。</p> <p>1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。  2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。  3) 給水管は水圧試験、排水管は満水試験を行う。</p> <p>改修標準仕様書第2編5.1.3「インサート及びアンカー」による。  下記試験を行う場合には、範囲は監督員と協議による。  ・ アンカー引抜試験（ ・ 性能確認試験 ・ 施工後確認試験 ）</p> <p>撤去する配管（断熱材被覆鋼管を含む）、ダクト等の保温は分離する。  撤去する配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。  石綿含有分析調査 ・ 本工事 ○ 別途工事  石綿撤去方法 ・ 本工事（ ・ 図示による ） ・ 別途工事  業務用冷凍空調機器の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により、次の書類の写しを監督員に提出する。  ・ 冷媒充填・回収証明書 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）  撤去する前にフロンを屋外側ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行う。  パッケージ形空気調和機の移設等により、冷媒の回収・再充填が必要となる場合においては、上記に準じて冷媒の大気中への放出を防止する措置を講じること。</p>																																																																																																																		
<table border="1"> <tr> <td>工事名</td> <td colspan="3">可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>機械設備工事特記仕様書2</td> <td>図面番号</td> <td>M-02</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>-</td> <td>作成年月</td> <td>令和6年10月</td> </tr> <tr> <td>設計者氏名印</td> <td colspan="3">株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁</td> </tr> </table>	工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）			種別	機械設備工事特記仕様書2	図面番号	M-02	縮尺	-	作成年月	令和6年10月	設計者氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁																																																																																																					
工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）																																																																																																																		
種別	機械設備工事特記仕様書2	図面番号	M-02																																																																																																																
縮尺	-	作成年月	令和6年10月																																																																																																																
設計者氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁																																																																																																																		



1 改修後 換気設備機器表										
符号	名称	付属品及び仕様 (フードは指定色焼付塗装)				電気容量		数量	設置場所	備考
FV-1	天井埋込形換気扇	型式: 低騒音形、プラスチック製本体・ルーバー、風圧式シャッター 能力: 150φ×300m3/h×20Pa 付属品: 取付金具一式				1φ100V	82W	6	北舎西1~3階トイレ(6)	VD-23ZB13(同等品)
FV-2	天井埋込形換気扇	型式: 低騒音形、プラスチック製本体・ルーバー、風圧式シャッター 能力: 100φ×150m3/h×50Pa 付属品: 取付金具一式				1φ100V	15.5W	4	北舎西1階トイレ(1)、体育館1階トイレ(3)	VD-15ZC13(同等品)
FR-1	壁換気扇	型式: 格子グリル型、電気式シャッター式 能力: 250φ×600m3/h 付属品: 取付枠、取付金具一式、SUS製ウェザーカバー(防鳥網付)				1φ100V	30.5W	6	北舎東1~3階トイレ(6)	EX-25EK9-C(同等品)
FR-2	欠番	型式: 格子グリル型、電気式シャッター式 能力: 250φ×600m3/h 付属品: 取付枠、取付金具一式、SUS製FD付ウェザーカバー(防鳥網付)				1φ100V	30.5W	0		EX-25EK9-C(同等品)
F-1	屋外フード	型式: ステンレス製深形フード 100φ ガラリ付 汚垂れ防止タイプ						1	北舎西1階トイレ(1)	
F-2	屋外フード	型式: ステンレス製ベンドキャップ 100φ ガラリ付 汚垂れ防止タイプ						1	体育館1階トイレ(1)	

2 改修後 衛生設備器具表																
器具名	記号	北舎西			北舎東			体育館			合計	参考品番		(陶器は、防汚処理製品とする) (全て、付属品一式とする) (W数は、1φ100Vとする)		
		1階	2階	3階	1階	2階	3階	1階	2階	3階		TOTO	LIXIL			
腰掛便器	C-1	1	2	1	3	1	3	1	2	1	2	2	3	25	便器(リフト対応・掃除口付・フロッグ付) 暖房便座(52W) 標付2連紙巻器 CFS498BMC TCF116 YH701	便器(リフト用・掃除口付) クイックク(床給水) 暖房便座(48W) 標付2連紙巻器 BC-P110HM DQ-PA150CH CF-18ALJ CF-63HST
欠番	C-2													0	便器(リフト対応・掃除口付・フロッグ付) 温水洗浄便座(蓋有・314W) 標付2連紙巻器 CFS498BMC TCF587 YH701	便器(リフト用・掃除口付) クイックク(床給水) 温水洗浄便座(蓋有・310W) 標付2連紙巻器 BC-P110HM DQ-PA150CH CW-PB21-NE CF-63HST
腰掛便器	C-3			1										2	便器(リフト対応・掃除口付・フロッグ付) 温水洗浄便座(蓋無・発電モト・409W) 標付2連紙巻器 CFS498BMC TCF5554AUPR YH701	便器(リフト用・掃除口付) クイックク(床給水) 温水洗浄便座(蓋無・310W) 標付2連紙巻器 BC-P110HM DQ-PA150CH CW-PA21LQE-NEC-R1 CF-63HST
小便器	U-1	3			3	3	3	3	3	3	3			21	小便器(低ワグ・壁排水・AC100V) UF3900R	小便器(低ワグ・壁排水・AC100V) U-A51AP
洗面カウンター	ML-1											1		1	L=900(1方エ)の洗面器 L530 自動水栓(AC100V) TLE28SA1A 床排水金具(オパ-フロ-) TLDS2201JA フロントパネル付	L=900(1方エ)の洗面器 L2291 自動水栓(AC100V) AM-300CV1 床排水金具(オパ-フロ-) LF-105SAL フロントパネル付
洗面カウンター	ML-2					1		1		1				3	L=980(1方エ)の洗面器 L530 自動水栓(AC100V) TLE28SA1A 床排水金具(オパ-フロ-) TLDS2201JA フロントパネル付	L=980(1方エ)の洗面器 L2291 自動水栓(AC100V) AM-300CV1 床排水金具(オパ-フロ-) LF-105SAL フロントパネル付
洗面カウンター	ML-3	1					1		1		1			4	L=1250(1方エ)の洗面器 L530 自動水栓(AC100V) TLE28SA1A 床排水金具(オパ-フロ-) TLDS2201JA フロントパネル付	L=1250(1方エ)の洗面器 L2291 自動水栓(AC100V) AM-300CV1 床排水金具(オパ-フロ-) LF-105SAL フロントパネル付
洗面カウンター	ML-4		1		1	1	1	1						5	L=1600(1方エ)の洗面器 L530×2 自動水栓(AC100V) TLE28SA1A×2 床排水金具(オパ-フロ-) TLDS2201JA×2 フロントパネル付	L=1600(1方エ)の洗面器 L2291×2 自動水栓(AC100V) AM-300CV1×2 床排水金具(オパ-フロ-) LF-105SAL×2 フロントパネル付
洗面カウンター	ML-5											1		1	L=1800(1方エ)の洗面器 L530×2 自動水栓(AC100V) TLE28SA1A×2 床排水金具(オパ-フロ-) TLDS2201JA×2 フロントパネル付	L=1800(1方エ)の洗面器 L2291×2 自動水栓(AC100V) AM-300CV1×2 床排水金具(オパ-フロ-) LF-105SAL×2 フロントパネル付
洗面器	L-1			1									1	2	パネル付型(自動水栓AC100V 壁排水金具) LSA125AN	パネル付型(自動水栓AC100V 壁排水金具(目皿付) LF-30PAL
オストメイトパック	OP-1												1	1	壁掛壁排水汚物流し(電気温水器(600W)・紙巻器) 側板 UAS8LDC1 UTR141	壁掛壁排水汚物流し(電気温水器(700W)・紙巻器) 側板 PTOM-B210W PTOM-E5CR
多目的流し	SK-1		1			1		1		1				7	多目的流し S-17	多目的流し LF-7RZ-13-U SF-25PA
欠番	SK-2													0	掃除口付床置床排水(レバー式自在水栓・フロッグ付)・補高台 SKL330HNFP	掃除口付床置床排水(フロッグ付)・補高台 レバー式自在水栓 LF-12ZF(300)-13-U
ベビーシート	BS-1												1	1	収納式 YKA25N	横型おむつ交換台 AC-OK-21F
ベビーチェア	BC-1												1	1	平壁設置 YKA15S	平壁設置 AC-BK-F62
フィッティングボード	FB-1			1									1	2	収納式 YKA41R	収納式 AC-CB-01
背もたれ	BR-1			1									1	2	ハードタイプ EWC285CR	表面 耐水性 KFC-27511U
L型手すり	TR-1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	樹脂被覆型(34φ700×700×120D) T112CL10	樹脂被覆型(34φ700×700×120D) KF-923AE70J
はね上げ手すり	TR-2			1										2	樹脂被覆型(34φ700W・ワグ付) T112HK7R	樹脂被覆型(34φ700W・ワグ付) KF-471EH70JU
小便器用手すり	TR-3	1			1		1		1		1			7	樹脂被覆型(34φ600W×550D) T112CU22	樹脂被覆型(34φ600W×600D) KF-701AEJ
化粧鏡	M-1	1	2		2	2	2	1	1	1	1	1	1	20	盗難防止形化粧鏡(450×600) YM4560AE	盗難防止形化粧鏡(457×610) KF-4560A
化粧鏡	M-2			1										2	化粧鏡(600×900) YM6090A	化粧鏡(610×914) KF-6090A
欠番	DB-1													0	暖房便座(52W) TCF116	暖房便座(48W) CF-18ALJ
レバー式横水栓	F-1								2		2			4	吐水口回転形 T200BSQ13C	吐水口回転形 LF-7RZ-13-U
モップ掛け	AS-1				1		1							2	モップ掛けパネル UTR422S	

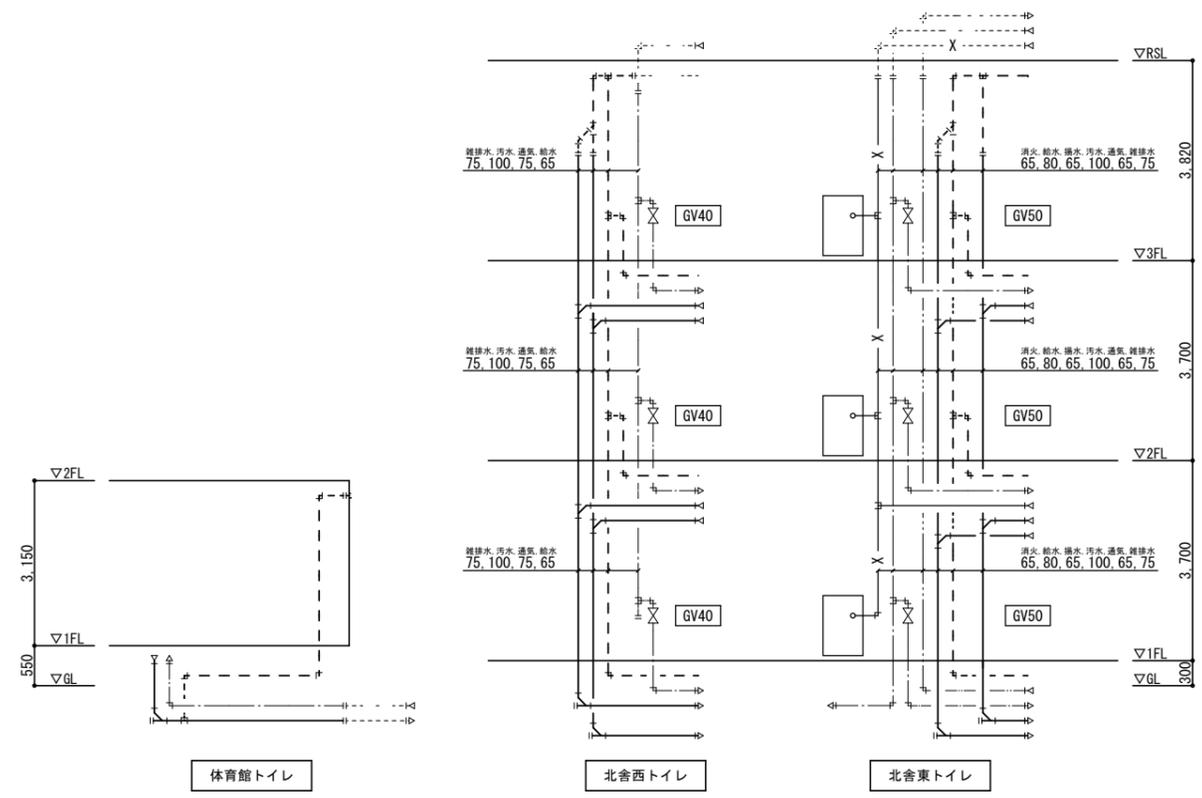
3 改修後 衛生設備機器表										
符号	名称	付属品及び仕様				電気容量	数量	設置場所		
HB-1A	屋内消火栓	型式: 易操作性1号消火栓、埋込式 仕様: 1400H×750W×200D 焼付塗装仕上 (表示灯・発信機は電気設備工事) 付属品: 開閉弁、ホス(30A×30m)、噴霧切替バルブ、ホス収納装置 その他付属品一式					3	北舎東1~3階トイレ(3)		

工事名	可見市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	改修後 換気設備機器表 改修後 衛生設備器具表	図面番号	M-04
縮尺	-	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁		

1

改修前 衛生設備系統図

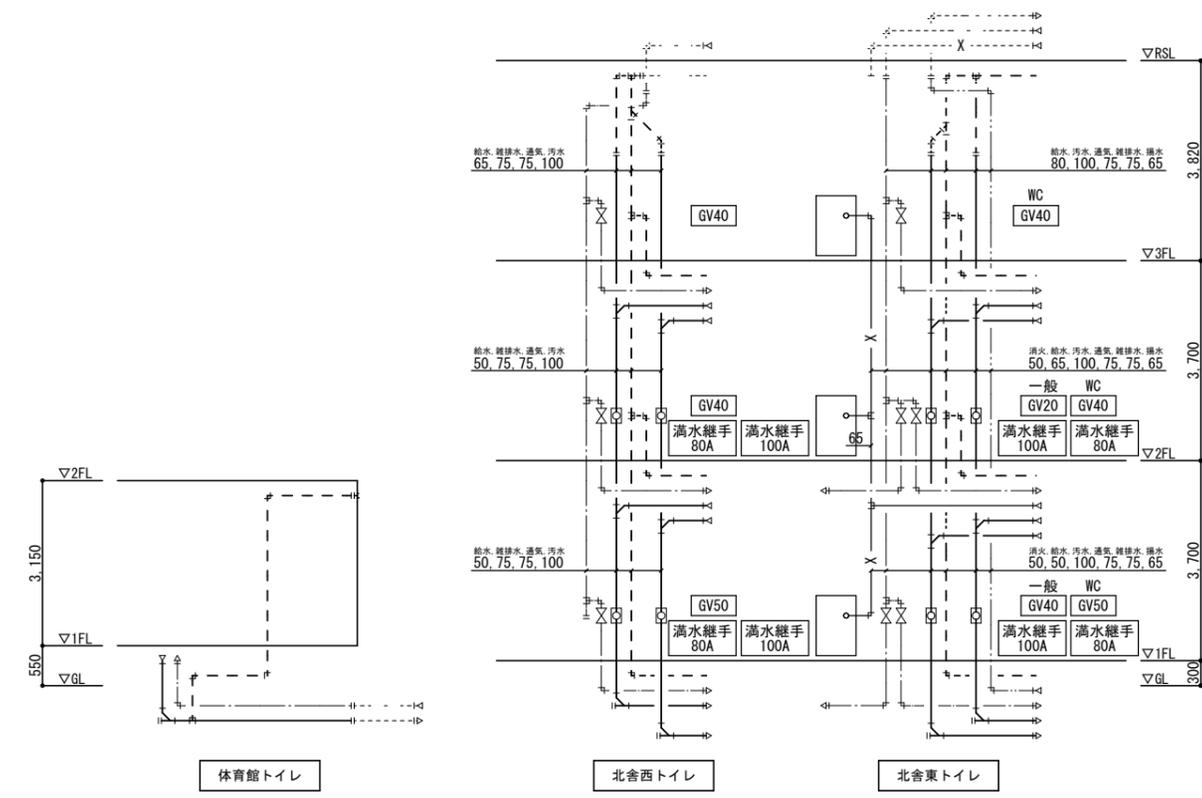
記号	名称	仕様(参考)
—●—●—	揚水管	埋設 外面ポリエチレンライニング鋼管 VB
—○—○—	給水管	埋設以外 硬質塩化ビニルライニング鋼管 VB
—	汚水・雑排水管	埋設 硬質塩化ビニル管 VP
—RD—	雨水管	北舎西のみ 埋設以外 耐火二層管
----	通気管	
—X—	消火管	配管用炭素鋼鋼管 SGP(白)



2

改修後 衛生設備系統図

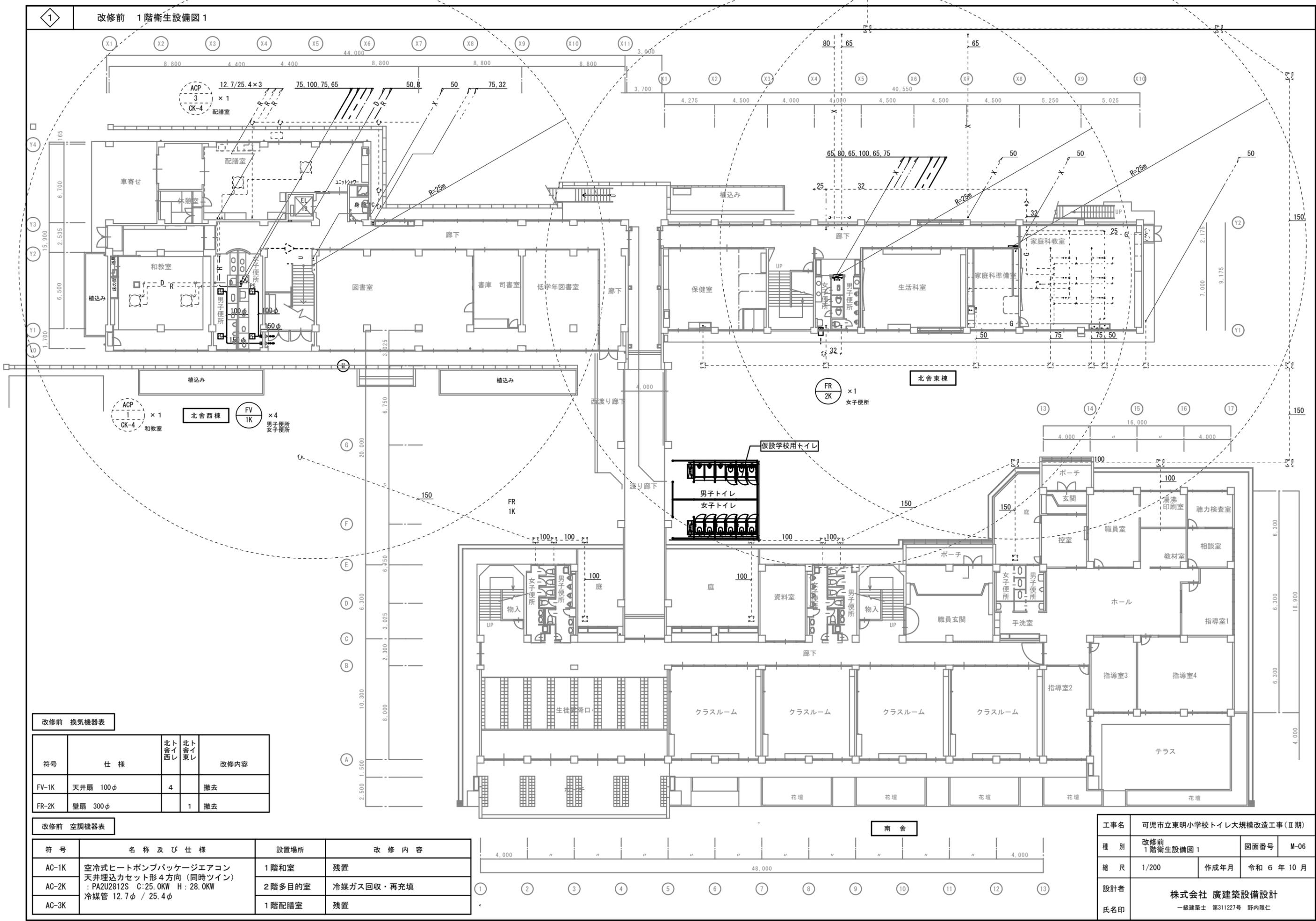
記号	名称	仕様
—●—●—	揚水管	埋設 硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP
—○—○—	給水管	埋設以外 硬質塩化ビニルライニング鋼管 VB
—	汚水・雑排水管	埋設 硬質塩化ビニル管 VP
—RD—	雨水管	埋設以外 耐火二層管
----	通気管	
—X—	消火管	配管用炭素鋼鋼管 SGP(白)



記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
⊗	仕切弁	⊕	床上掃除口	—	実線：撤去配管を示す
⊙	単水栓	⊗	排水目皿	----	破線：既設配管を示す
⊗	フラッシュ弁	⇌	通気金具	—  ----	配管切断・接続を示す
		⊙	塩ビ樹・塩ビ製蓋		
△	コア抜き				

工事名	可見市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	改修前・後 衛生設備系統図	図面番号	M-05
縮尺	-	作成年月	令和6年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		

1 改修前 1階衛生設備図 1



改修前 換気機器表

符号	仕様	北舎西	北舎東	改修内容
FV-1K	天井扇 100φ	4		撤去
FR-2K	壁扇 300φ		1	撤去

改修前 空調機器表

符号	名称及び仕様	設置場所	改修内容
AC-1K	空冷式ヒートポンプパッケージエアコン 天井埋込カセット形4方向(同時ツイン) : PA2U2812S C:25.0KW H:28.0KW	1階和室	残置
AC-2K	冷媒管 12.7φ / 25.4φ	2階多目的室	冷媒ガス回収・再充填
AC-3K		1階配膳室	残置

工事名	可見市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)		
種別	改修前 1階衛生設備図 1	図面番号	M-06
縮尺	1/200	作成年月	令和6年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

